LIXIL

ビューステージ S style 本体 床

＊MAM64G＊

取付説明書

●この度は、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
注意	●取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付け手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付け説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付け説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・妻梁・笠木は戸袋に固定せず、必ず戸袋逃げ柱に固定してください。
・床面・格子に、足がかりになるものを設置しないでください。
・屋根置き式の場合バルコニーの奥行きについては、主柱位置が軒げたより先に出ていないことを確認してください。

注意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ねじ：2.5N･m ± 0.5N･m（25±5kgf･cm）
φ5ねじ：3N･m ± 0.5N･m（30±5kgf･cm）
M6ボルト：5.2N･m ± 0.5N･m（52±5kgf･cm）
M8ボルト：12.5N･m ± 0.5N･m（125±5kgf･cm）
・製品の改造は絶対にしないでください。

MAM-64G_202103
M002_202103H

＜施工上のご注意＞

⚠ 警 告

●製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・独立で取付けず、必ず躯体に取付けてください。
・外壁仕上がり後に先付けブラケットを取付けないでください。
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・本体を取付ける前に先付けブラケットのボルト類の増締めを必ず行ってください。
●大引ブラケットは、柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。

⚠ 注 意

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・指定の個所（特に接続部）にシーリング材を充てんしてください。
・外壁の上から部材を取り付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
・本体取り付け前に、先付けブラケットの周囲にシーリング材が充てんしていることを確認してください。
・シリコーン系シーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール型シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

＜基礎の施工／柱建て納まりの場合＞

⚠ 警 告

●製品倒壊のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・コンクリート・モルタルには急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
・取付け前に調査を行ない、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
・海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・寒冷地では柱の埋込み深さを考慮してください。凍上により浮上するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ10）をあけてください。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重いものをのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

＜施工上のお願い＞

補 足

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付け説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付け説明書にしたがってください。
●取付け説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●先付けブラケットは、足場として使用しないでください。
●フルフラット（柱なしタイプ）の場合、サッシ枠とブラケットが干渉しますので、下記事項を守ってサッシの取付け位置を決めてください。
・単体の場合は、バルコニーのモジュール芯から250mm以内にサッシ枠がこないように取付けてください。
・連棟の場合は、バルコニーの連棟部をまたぐようにサッシを取付けることはできません。
・連棟の場合は、妻梁によせてサッシを取付ける場合、バルコニーモジュール芯から250mm以内にサッシ枠がこないように取付けてください。
・連棟の場合は、中間梁によせてサッシを取付ける場合、バルコニーモジュール芯から左右250mm以内にサッシ枠がこないように取付けてください。
●施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
・作業者などが相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行い、救助を第一に心がけてください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

INDEX

1　梱包明細表 …… 5
2　構造説明図と基本寸法 …… 21
　1構造説明図 …… 21
　2基本寸法 …… 34
3　施工の流れ …… 36
4　本体床の取付け …… 40
　●胴差し納まり　単体の場合 …… 40
　1根太掛けカバー、梁の取付け …… 40
　2面材用の穴加工 …… 42
　3前桁、妻梁の取付け …… 44
　4根太の取付け …… 46
　7横樋の取付け（桁隠しの場合） …… 47
　●胴差し納まり　連棟の場合 …… 48
　1根太掛けカバー、梁の取付け …… 48
　2面材用の穴加工 …… 50
　3前桁の取付け …… 52
　5妻梁、根太の取付け …… 56
　6横樋、連結根太の取付け …… 58
　●柱芯納まりの場合 …… 60
　1背板カバーの取付け …… 60
　2根太掛けカバー、梁の取付け …… 62
　3面材用の穴加工 …… 64
　4前桁の取付け …… 65
　5妻梁、根太の取付け …… 70
　6横樋、連結根太の取付け …… 72
　●フルフラット納まりの場合 …… 74
　1背板カバーの取付け …… 74
　2根太掛けカバー、梁の取付け …… 76
　3大引き、雨樋の取付け …… 78
　4面材用の穴加工 …… 82
　5前桁の取付け …… 83
　6妻梁の取付け …… 88
　7根太の取付け …… 90
　8横樋、連結根太の取付け …… 92
　●柱建て式・屋根置き式納まりの場合 …… 94
　1根太掛けカバーの取付け …… 94
　2面材用の穴加工 …… 96
　3柱－桁の取付け …… 98
　4大引き、雨樋の取付け …… 102
　5根太、前桁－柱の取付け …… 106
　6連棟部の取付け …… 108
　7妻梁の取付け …… 110
　8根太、根太（大）の加工 …… 111
　9根太、根太（大）の取付け …… 112
　10根太（大）連棟部の取付け …… 114
　11柱の補強 …… 116
　12横樋、連結根太の取付け …… 118
　13屋根置き式施工手順 オプション …… 120
5　床材の取付け …… 122
　1床材の取付け …… 122
　2床材の取付け（フルフラットの場合） …… 128
　3雨樋カバーの取付け …… 132
　4床化粧材の取付け …… 133
　5床用不燃パネルの取付け オプション …… 140
6　雨樋の取付け …… 142
　1共通施工手順 …… 142
　2フルフラット施工手順 …… 142
7　納まり図 …… 143
　1胴差し納まり …… 143
　2柱芯納まり …… 149
　3フルフラット納まり …… 155
　4柱建て式納まり …… 156
　5屋根置き式納まり …… 157
　6ジョーブ床 …… 158
　7スリット床 …… 161
　8根太掛け持出し金具納まり …… 164

■梱包明細表

【1】長さセット（胴差し　桁露出）

名　　称	略　図	員　数			
		単体	連棟左	連棟右	3連棟中間
前桁		1	1	1	1
根太掛けカバー		1	1	1	1
笠木		1	1	1	1
横樋		–	1	1	1
笠木スリーブ		–	–	1	1
デッキ水密材 1.0間～1.5間用 (2000、3000)		2	2	2	2
デッキ水密材 2.0間～2.5間用 (4000、5000)		3	3	3	3
取扱い説明書〈MAM-58〉		1	–	1	–

【2】長さセット（柱芯　桁露出）

名　　称	略　図	員　数			
		単体	連棟左	連棟右	3連棟中間
前桁		1	1	1	1
前桁カバー		–	1	1	1
根太掛けカバー		1	1	1	1
笠木		1	1	1	1
横樋		1	1	1	1
笠木スリーブ		–	–	1	1
デッキ水密材 1.0間～1.5間用 (2000、3000)		2	2	2	2
デッキ水密材 2.0間～2.5間用 (4000、5000)		3	3	3	3
取扱い説明書〈MAM-58〉		1	–	1	–

【3】長さセット（胴差し　桁隠し）

名　　称	略　図	員　数			
		単体	連棟左	連棟右	3連棟中間
前桁		1	1	1	1
根太掛けカバー		1	1	1	1
笠木		1	1	1	1
横樋		1	1	1	1
笠木スリーブ		–	–	1	1
デッキ水密材 1.0～1.5間用 (2000、3000)		2	2	2	2
デッキ水密材 2.0～2.5間用 (4000、5000)		3	3	3	3
取扱い説明書〈MAM-58〉		1	–	1	–

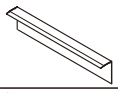
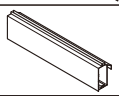
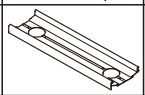
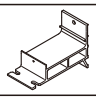
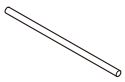
【4】長さセット（柱芯　桁隠し）

名　　称	略　図	員　数			
		単体	連棟左	連棟右	3連棟中間
前桁		1	1	1	1
前桁カバー		–	1	1	1
根太掛けカバー		1	1	1	1
笠木		1	1	1	1
横樋		1	1	1	1
笠木スリーブ		–	–	1	1
デッキ水密材 1.0間～1.5間用 (2000、3000)		2	2	2	2
デッキ水密材 2.0間～2.5間用 (4000、5000)		3	3	3	3
取扱い説明書〈MAM-58〉		1	–	1	–

【5】大引ブラケットセット

名称		略図	員数
大引ブラケット			2
部品箱	【5-1】十字穴付き六角コーチねじφ8×90		4
	【5-2】平ワッシャーM8用		4
	【5-3】ナベドリル小ねじφ4×16		2
	【5-4】六角ボルトM6×16		4
	【5-5】袋ナットM6用		4
	【5-6】スプリングワッシャーM6用		4
	【5-7】平ワッシャーM6用		4

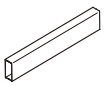
【6】大引きセット

名称		略図	員数		
			L=2000	L=3000	L=4000
デッキ材化粧カバー			1	1	1
大引き（フルフラットタイプ）			1	1	1
雨樋（フルフラットタイプ）			1	1	1
大引ブラケット			2	3	3
雨樋すきまふさぎ			1	1	1
部品箱	後付用梁固定金具		5	7	9
	雨樋（フルフラット）端部カバー		2	2	2
	雨樋パッキン		2	2	2
	雨樋穴塞ぎ		1	1	1
	雨樋アタッチメント[B-24]※		1	1	1
	縦樋アタッチメント		1	1	1
	雨樋ジョイナー		1	1	1

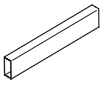
【6】大引きセット（つづき）

名称		略図	員数		
			L=2000	L=3000	L=4000
部品箱	大引き端部カバー		2	2	2
	デッキ材化粧カバー（コーナー用）		2	2	2
	デッキ材化粧カバー用パッキン		1	1	1
	合わせます		1	1	1
	92°エルボ		1	1	1
	雨樋でんでん		4	4	4
	ドレンエルボ		1	1	1
	調整ライナー		6	6	6
	【6-1】ターンナットM5		10	14	18
	【6-2】ナベタッピンねじ3種φ5×25		10	15	19
	【6-3】平ワッシャーM6用		9	13	15
	【6-4】六角ナットM6用		5	7	9
	【6-5】ナベタッピンねじ2種φ4×20		8	8	8
	【6-6】六角ボルトM6×16		6	8	8
	【6-7】ナベドリル小ねじφ4×16		8	9	9
	【6-8】皿タッピンねじ1種φ4×45		5	7	9
	【6-9】十字穴付き六角コーチボルトφ8×90		4	6	6
	【6-10】平ワッシャーM8用		4	6	6
	【6-11】袋ナットM6用		4	6	6
	【6-12】スプリングワッシャーM6用		4	6	6
	【6-13】ナベタッピンねじ1種φ4×65		2	2	2

【7】根太セット（胴差し）

名称	略図	員数		
		1.0間	1.5間	2.0間
根太		1	3	4

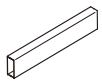
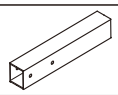
【8】根太セット（柱芯）

名称	略図	員数					
		単体			連棟		
		1.0間	1.5間	2.0間	1.0間	1.5間	2.0間
根太		3	5	7	2	4	6

※総合カタログ技術資料雨樋一覧表に掲載の番号です。

MAM-64E_201803
M002_201803F

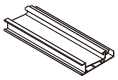
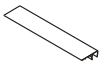
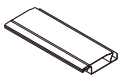
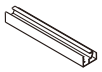
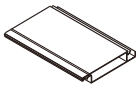
【9】根太セット（柱建て）

名　称		略　図	員　数											
			単体						連棟					
			2尺～4尺			5、6尺			2尺～4尺			5、6尺		
			1.0間	1.5間	2.0間	1.0間	1.5間	2.0間	1.0間	1.5間	2.0間	1.0間	1.5間	2.0間
根太			1	3	5	–	–	–	1	3	5	–	–	–
根太（大）			2	2	2	3	5	7	1	1	1	2	4	6
部品箱	根太固定金具（側面固定用）		左右各2	左右各2	左右各2	左右各3	左右各5	左右各7	左右各1	左右各1	左右各1	左右各2	左右各4	左右各6
部品箱	【9-1】ナベタッピンねじ3種φ4×8		4	4	4	6	10	14	2	2	2	4	8	12
部品箱	【9-2】ナベドリル小ねじφ4×16		8	8	8	13	21	30	4	4	4	8	16	26

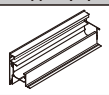
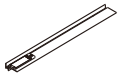
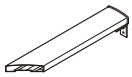
【10】スリット床セット

名　称	略　図	員　数											
		躯体1枚・7本1枚				5本3枚				7本1枚			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
スリット床		2	2	2	2	3	3	3	3	1	1	1	1
ねじ先カバー		4	4	4	4	–	–	–	–	–	–	–	–
【10-1】ナベドリルねじφ4×19		13	21	26	30	19	32	39	45	6	10	13	15

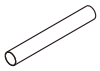
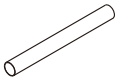
【11】アルミ床セット

名　称	略　図	員　数			
		基本セット		中間（2枚入り）	
		1.0間～1.5間	2.0間～2.5間	1.0間～1.5間	2.0間～2.5間
アルミ床(樋)		1	1	–	–
アルミ床(躯体側B)カバー		1	1	–	–
アルミ床(躯体側A)		1	1	–	–
アルミ床(躯体側B)		1	1	–	–
アルミ床(中間)		2	2	2	2
部品箱 【11-1】AZ特平ドリルねじφ4×16		14	18	14	18
部品箱 【11-2】皿ドリルねじφ4×16		8	10	8	10
部品箱 【11-3】平ワッシャーM6用		8	10	8	10

【12】妻梁セット

名　称	略　図	員　数
妻梁		左右各1
雨樋カバー		左右各1
笠木		左右各1

【13】縦樋セット

名　称	略　図	員　数	
		標準	ロング
縦樋（L＝1000）		1	1
縦樋（L＝3600）		1	–
縦樋（L＝4000）		–	1

【14】柱セット(柱建て)

名称		略図	員数 基本 1本入	員数 基本 2本入	員数 連結部 1本入	員数 1階設置
柱			1	2	−	2
中間柱			−	−	1	−
部品箱	主柱固定ブロック		1	2	1	2
部品箱	火打ち		1	2	2	2
部品箱	アンカー棒		1	2	1	2
部品箱	穴ふさぎシール		2	4	4	4
部品箱	雨樋アタッチメント[B-2] ※		1	2	−	2
部品箱	雨樋ジョイナー		1	2	−	2
部品箱	【14-1】六角ボルトM8×25		2	4	2	4
部品箱	【14-2】平ワッシャーM8用		3	6	4	6
部品箱	【14-3】スプリングワッシャーM8用		3	6	4	6
部品箱	【14-4】袋ナットM8用		3	6	4	6
部品箱	【14-5】六角ボルト(セムス)M8×16		1	2	2	2
部品箱	【14-6】六角ボルトM8×14		1	2	2	2
部品箱	【14-7】ナベタッピンねじ 2種 φ5×50(G=5)		4	8	4	8
部品箱	【14-8】トラスタッピンねじ3種φ5×16		6	12	6	12
部品箱	【14-9】ナベドリル小ねじφ4×16		4	8	−	8

【15】柱セット(屋根置き)

名称		略図	員数
柱			2
調整脚			2
つか台受け			2
筋かい			2
部品箱	主柱固定金具		2
部品箱	つか調整裏板		2
部品箱	つか調整ボルト		2
部品箱	筋かい取付アングル		2
部品箱	根太固定金具R		5
部品箱	根太固定金具用治具		1
部品箱	穴ふさぎシール		4
部品箱	【15-1】ナベドリルねじφ4×16		10
部品箱	【15-2】トラスタッピンねじ3種φ5×12		12
部品箱	【15-3】六角ボルトM8×20		4
部品箱	【15-4】平ワッシャーM8用		12
部品箱	【15-5】六角ナットM8用		8
部品箱	【15-6】六角ボルトM8×60		2
部品箱	【15-7】ナベタッピンねじ3種φ4×8		5
部品箱	【15-8】ナベ小ねじM5×10		10

【16】連結根太セット

名称	略図	員数 胴差し	員数 柱芯
連結根太		1	1
連結根太カバー		1	1
根太(大)		−	2

【17】間柱補強ブラケットセット

名称	略図	員数 胴差し	員数 柱芯
間柱ブラケット		2	−
間柱ブラケットA		−	2
間柱ブラケットB		−	2

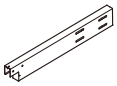
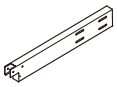
※総合カタログ技術資料雨樋一覧表に掲載の番号です。

MAM-64F_201902
M002_201902G

【18】仮置き金具部品セット

名　称	略　図	員 数
前桁仮置き金具		2
【18-1】六角ボルト（セムス）M8×16		8
【18-2】六角ボルト（セムス）M8×25		4

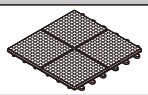
【19】梁セット

名　称	略　図	員　数						
		柱芯	胴差し					
			単体		連棟		3連棟	
			1.0間、1.5間	2.0間	1.0間、1.5間	2.0間	1.0間、1.5間	2.0間
梁		左右各1	2	3	1	2	−	1
梁（連棟用）		−	−	−	1	1	2	2

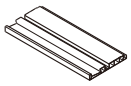
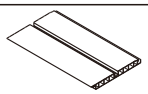
【20】床化粧材セット

名　称	略　図	員　数		
		タイル	プラスチック	
			2枚入	10枚入
床化粧材		10	2	10

【21】床化粧材調整材セット

名　称	略　図	員　数	
		2枚入	10枚入
幅調整材		2	10

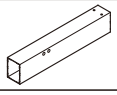
【22】デッキボードセット

名　称	略　図	員　数		
		スターター1枚	中間1枚	中間2枚
スターター用デッキ材		1	−	−
中間用デッキ材		−	1	2

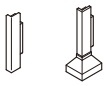
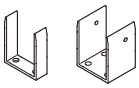
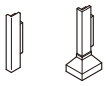
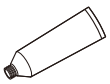
【23】持ち出し根太金具部品セット

名　称	略　図	員　数	
		妻梁用	根太用
妻梁持ち出し金具		左右各1	−
後付用梁固定金具		−	3
【23-1】六角ボルト（セムス）M8×16		4	−
【23-2】トラスタッピンねじ3種φ5×12		4	−
【23-3】ターンナットM5		−	6
【23-4】ナベタッピンねじ3種φ5×25		−	6
【23-5】六角ボルトM6×16		−	3
【23-6】袋ナットM6用		−	3
【23-7】スプリングワッシャーM6用		−	3
【23-8】平ワッシャーM6用		−	3

【24】戸袋逃げ柱セット

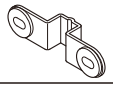
	名　称	略　図	員 数
	戸袋逃げ柱		1
	戸袋逃げ横桟		1
部品箱	戸袋逃げ柱キャップ		1
部品箱	戸袋逃げ柱下部固定金具		1
部品箱	戸袋逃げ柱調整桟躯体取付アングル		1
部品箱	戸袋逃げ柱キャップ		1
部品箱	戸袋逃げ柱上部固定アングル		1
部品箱	【24-1】六角ボルトM6×25		2
部品箱	【24-2】平ワッシャーM6用		2
部品箱	【24-3】六角タッピンねじ1種φ6×70		2
部品箱	【24-4】ナベタッピンねじ3種φ5×12		4
部品箱	【24-5】ナベ小ねじ（Wセムス）M5×14		8

【25】妻梁部品セット（胴差し）

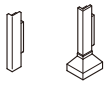
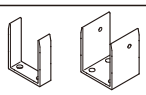
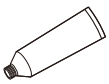
名　称	略　図	員　数											
		縦格子用		パンチングパネル用		フレームレス用		桁露出横格子用		パネル用		桁隠し格子用	サイディング
		単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟		
笠木コーナーブロック		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
連棟用桁・妻梁コーナーブロック		―	左右各1	―	左右各1	―	左右各1	―	左右各1	―	左右各1	左右各1	左右各1
横樋固定部品		―	3	―	3	―	3	―	3	―	3	3	3
横樋アタッチメント[B-28]※		―	1	―	1	―	1	―	1	―	1	1	1
横樋スペーサー		―	6	―	6	―	6	―	6	―	6	6	6
間柱固定金具		―	―	8	8	6	6	12	12	6	6	12	6
間柱台座(35用)		―	―	―	―	2	2	4	4	―	―	4	2
間柱台座(59用)		―	―	―	―	―	―	―	―	2	2	―	―
間柱台座側面用(35用)		―	―	―	―	2	2	4	4	―	―	4	2
間柱台座側面用(59用)		―	―	―	―	―	―	―	―	2	2	―	―
桁・妻梁コーナーブロック		左右各1	―	左右各1	―	左右各1	―	左右各1	―	左右各1	―	―	―
移動柱・コーナー柱固定金具		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	24
前桁雨樋アタッチメント[B-27]※		1	―	1	―	1	―	1	―	1	―	―	―
雨樋穴塞ぎ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴塞ぎパッキン		―	1	―	1	―	1	―	1	―	1	1	1
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
92° エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雨樋でんでん		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※総合カタログ技術資料雨樋一覧表に掲載の番号です。

【25】妻梁部品セット（胴差し）（つづき）

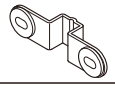
名　称	略　図	員　数											
		縦格子用		パンチングパネル用		フレームレス用		桁露出横格子用		パネル用		桁隠し格子用	サイディング
		単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟	単体	連棟		
パネル固定ブラケット両支持		−	−	−	−	6	6	−	−	−	−	−	−
パネル固定ブラケット片支持		−	−	−	−	6	6	−	−	−	−	−	−
パネル固定金具B		−	−	−	−	18	18	−	−	−	−	−	−
後付ビード		−	−	4	4	−	−	−	−	−	−	−	4
プッシュボタン		−	−	−	−	−	−	−	−	8	8	−	−
雨樋アタッチメントB		−	2	−	2	−	2	−	2	−	2	2	2
パンチングパネルコーナー金具		−	−	4	4	−	−	−	−	−	−	−	−
スペーサー（パネルコーナー用）		−	−	−	−	−	−	−	−	2	2	−	−
丸平ナット締付け治具		−	−	−	−	1	1	−	−	−	−	−	−
【25-1】六角穴付き皿ボルトM8×30		−	−	−	−	18	18	−	−	−	−	−	−
【25-2】ナベタッピンねじ１種φ４×65		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
【25-3】六角ナットM8用		−	3	−	3	−	3	−	3	−	3	3	3
【25-4】ナベドリル小ねじφ４×１６		37	40	81	84	59	62	63	67	63	67	67	135
【25-5】六角タッピンねじ1種φ６×７０		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
【25-6】十字穴付き六角小ねじM４×10		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	26
【25-7】六角ボルトM８×１６		−	−	−	−	12	12	−	−	−	−	−	−
【25-8】袋ナットM８用		−	−	−	−	30	30	−	−	−	−	−	−
【25-9】平ワッシャーM８用		−	−	−	−	30	30	−	−	−	−	−	−
【25-10】スプリングワッシャーM８用		−	−	−	−	30	30	−	−	−	−	−	−
【25-11】六角ボルトM８×３０		−	3	−	3	−	3	−	3	−	3	3	3
【25-12】トラス小ねじM4×10（D=8）		−	−	4	4	−	−	−	−	−	−	−	−
【25-13】袋ナットM4用		−	−	4	4	−	−	−	−	−	−	−	−
【25-14】平ワッシャーM4用		−	−	4	4	−	−	−	−	−	−	−	−
【25-15】ナベドリル小ねじφ4×16（ラッピング色）		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	各20	−
【25-16】ナベドリルねじφ4×19		−	−	−	−	−	−	−	−	8	8	−	−
【25-17】皿ドリルねじ（フレキ頭）φ4×40		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	30
【25-18】丸平ナット		−	−	−	−	18	18	−	−	−	−	−	−
取付け説明書〈MAM-64/M002〉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
取付け説明書〈MAM-65/M003〉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【26】妻梁部品セット（柱芯）

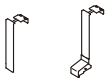
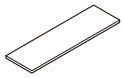
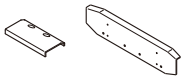
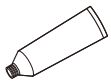
名　称	略　図	員　数										
		縦格子用	パンチングパネル用	フレームレス用		桁露出横格子用		パネル用	桁隠し格子用		サイディング	
				2~3尺	4~6尺	2~3尺	4~6尺		2~3尺	4~6尺	2~3尺	4~6尺
笠木コーナーブロック		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
横樋固定部品		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
横樋アタッチメント[B-28]※		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前桁キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
背板カバー（単体用）		左右各1	左右各1	左右各1	－	左右各1	－	左右各1	左右各1	－	左右各1	－
桁・妻梁コーナーブロック		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
横樋スペーサー		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
間柱固定金具		－	8	6	8	12	14	6	12	14	6	8
間柱台座(35用)		－	－	2	2	4	4	－	4	4	2	2
間柱台座(59用)		－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－
間柱台座側面用(35用)		－	－	2	4	4	6	－	4	6	2	4
間柱台座側面用(59用)		－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－
移動柱・コーナー柱固定金具		－	－	－	－	－	－	－	－	－	24	32
雨樋穴塞ぎ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴塞ぎパッキン		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3
雨樋でんでん		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※総合カタログ技術資料雨樋一覧表に掲載の番号です。

【26】妻梁部品セット（柱芯）（つづき）

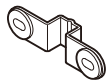
名　称	略　図	員　数										
		縦格子用	パンチングパネル用	フレームレス用		桁露出横格子用		パネル用	桁隠し格子用		サイディング	
				2~3尺	4~6尺	2~3尺	4~6尺		2~3尺	4~6尺	2~3尺	4~6尺
パネル固定ブラケット両支持		–	–	6	12	–	–	–	–	–	–	–
パネル固定ブラケット片支持		–	–	6	6	–	–	–	–	–	–	–
パネル固定金具B		–	–	18	30	–	–	–	–	–	–	–
後付ビード		–	4	–	–	–	–	–	–	–	4	6
雨樋アタッチメントB		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
スペーサー(1.5mm)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	–	–
パンチングパネルコーナー金具		–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–
プッシュボタン（φ10用）		–	–	–	–	–	–	8	–	–	–	–
スペーサー（パネルコーナー用）		–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
丸平ナット締付け治具		–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–
【26-1】六角穴付き皿ボルトM8×30		–	–	18	30	–	–	–	–	–	–	–
【26-2】ナベタッピンねじ１種φ４×65		26	26	26	–	26	–	26	26	–	26	–
【26-3】六角ナットM8用		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
【26-4】ナベドリル小ねじφ４×１６		42	86	64	89	69	93	69	69	93	137	197
【26-5】六角タッピンねじ1種φ６×７０		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
【26-6】AZ特平ドリルねじφ４×１６		–	–	–	29	–	29	–	–	29	–	29
【26-7】十字穴付き六角小ねじM４×10		–	–	–	–	–	–	–	–	–	26	35
【26-8】六角ボルトM8×30		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
【26-9】六角ボルトM８×１６		–	–	12	18	–	–	–	–	–	–	–
【26-10】袋ナットM８用		–	–	30	48	–	–	–	–	–	–	–
【26-11】平ワッシャーM８用		–	–	30	48	–	–	–	–	–	–	–
【26-12】スプリングワッシャーM８用		–	–	30	48	–	–	–	–	–	–	–
【26-13】皿ドリルねじ（フレキ頭）φ4×40		–	–	–	–	–	–	–	–	–	30	39
【26-14】トラス小ねじM4×10（D=8）		–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–
【26-15】ナベドリルねじφ4×19		–	–	–	–	–	–	8	–	–	–	–
【26-16】ナベドリル小ねじφ4×16（ラッピング色）		–	–	–	–	各20	各20	–	各20	各20	–	–
【26-17】袋ナットM4用		–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–
【26-18】平ワッシャーM4用		–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–
【26-19】丸平ナット		–	–	18	30	–	–	–	–	–	–	–
【26-20】トラスタッピンねじ3種φ5×12		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
取付け説明書〈MAM-64/M002〉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
取付け説明書〈MAM-65/M003〉		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【27】連結根太部品セット（面材用）

名　称	略　図	員　数													
		縦格子用		パンチングパネル用		フレームレス用		桁露出横格子用		パネル用		桁隠し格子用		サイディング	
		胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯
根太掛け連結カバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋固定部品		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
横樋連結キャップ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋アタッチメント[B-28]※		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前桁連結カバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
笠木連結カバー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前桁連結パッキン		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前桁連棟スリーブ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
背板カバー（連棟用）		―	1	―	1	―	1	―	1	―	1	―	1	―	1
根太固定金具		―	左右各2	―	左右各2	―	左右各2	―	左右各2	―	左右各2	―	左右各2	―	左右各2
スペーサー		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
間柱固定金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
間柱ブラケットカバー		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
移動柱・コーナー柱固定金具		―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	4	4
デッキ材端部キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
92°エルボ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雨樋でんでん		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※総合カタログ技術資料雨樋一覧表に掲載の番号です。

【27】連結根太部品セット（面材用）（つづき）

名　称	略　図	員　数													
		縦格子用		パンチングパネル用		フレームレス用		桁露出横格子用		パネル用		桁隠し格子用		サイディング	
		胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯	胴差し	柱芯
パネル固定ブラケット両支持		−	−	−	−	6	6	−	−	−	−	−	−	−	−
パネル固定金具B		−	−	−	−	12	12	−	−	−	−	−	−	−	−
後付けビード		−	−	2	2	−	−	−	−	−	−	−	−	1	1
スペーサー(1.5mm)		−	2	−	2	−	2	−	2	−	2	−	2	−	2
30×20穴ふさぎシール		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋アタッチメントB		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
プッシュボタン（φ10用）		−	−	−	−	−	−	−	−	4	4	−	−	−	−
【27-1】六角穴付き皿ボルトM8×30		−	−	−	−	12	12	−	−	−	−	−	−	−	−
【27-2】ナベタッピンねじ１種φ４×65		−	10	−	10	−	10	−	10	−	10	−	10	−	10
【27-3】六角ナットM8用		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
【27-4】ナベドリル小ねじφ４×１６		48	57	48	57	43	59	43	59	43	52	39	54	63	79
【27-5】十字穴付き六角小ねじM４×10		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	4
【27-6】六角ボルト（セムス）M８×１６		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
【27-7】六角ボルトM８×１６		−	−	−	−	6	6	−	−	−	−	−	−	−	−
【27-8】袋ナットM８用		−	−	−	−	18	18	−	−	−	−	−	−	−	−
【27-9】平ワッシャーM８用		−	−	−	−	18	18	−	−	−	−	−	−	−	−
【27-10】スプリングワッシャーM８用		−	−	−	−	18	18	−	−	−	−	−	−	−	−
【27-11】六角ボルトM８×30		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
【27-12】トラス小ねじM5×20		−	6	−	6	−	6	−	6	−	6	−	6	−	6
【27-13】皿小ねじM5×20		−	2	−	2	−	2	−	2	−	2	−	2	−	2
【27-14】六角ボルト（Wセムス）M８×25		−	4	−	4	−	4	−	4	−	4	−	4	−	4
【27-15】ナベタッピンねじ3種φ4×8		−	4	−	4	−	4	−	4	−	4	−	4	−	4
【27-16】ナベドリルねじφ4×13		6	19	6	19	6	19	6	19	6	19	6	19	6	19
【27-17】ナベドリル小ねじφ4×16（ラッピング色）		−	−	−	−	−	−	各8	各8	−	−	各8	各8	−	−
【27-18】ナベドリルねじφ4×19		−	−	−	−	−	−	−	−	4	4	−	−	−	−
【27-19】皿ドリルねじ（フレキ頭）φ4×40		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	8	8
【27-20】丸平ナット		−	−	−	−	12	12	−	−	−	−	−	−	−	−

【28】長さ部品セット

名　　称	略　図	縦格子				パンチング			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
スペーサー（9mm）		2	2	3	4	2	2	3	4
スペーサー（3mm）		2	2	3	4	2	2	3	4
スペーサー（1.5mm）		1	1	1	2	1	1	1	2
スペーサー（側面用）		4	4	6	8	4	4	6	8
穴フサギシール		8	8	12	16	8	8	12	16
間柱パッキン		2	3	5	7	2	3	5	7
横樋スペーサー		2	3	5	7	–	–	–	–
間柱固定金具		–	–	–	–	–	2	4	6
後付けビード		–	–	–	–	2	4	6	8
前桁穴ふさぎ		–	–	–	–	–	–	–	–
間柱台座（35用）		–	–	–	–	–	–	–	–
パネル固定ブラケット両支持		–	–	–	–	–	–	–	–
パネル固定金具B		–	–	–	–	–	–	–	–
間柱台座（59用）		–	–	–	–	–	–	–	–
プッシュボタン		–	–	–	–	–	–	–	–
移動柱・コーナー柱固定金具		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-1】ナベドリル小ねじφ4×16		17	27	34	39	13	31	48	65
【28-2】六角ボルト（セムス）M8×16		8	8	12	16	8	8	12	16
【28-3】六角タッピンねじ1種φ6×70		5	7	9	7	5	7	9	7
【28-4】AZ特平ドリルねじφ4×16		16	23	29	23	16	23	29	23
【28-5】六角穴付き皿ボルトM8×30		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-6】六角ボルトM8×16		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-7】袋ナットM8用		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-8】平ワッシャーM8用		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-9】スプリングワッシャーM8用		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-10】丸平ナット		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-11】ナベドリル小ねじφ4×16（ラッピング色）		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-12】ナベドリルねじφ4×19		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-13】十字穴付き六角小ねじM4×10		–	–	–	–	–	–	–	–
【28-14】皿ドリルねじ（フレキ頭）φ4×40		–	–	–	–	–	–	–	–

フレームレス				パネル				格子面材用				サイディング			
1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
2	2	3	4	2	2	3	4	2	2	3	4	2	2	3	4
2	2	3	4	2	2	3	4	2	2	3	4	2	2	3	4
1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2
4	4	6	8	4	4	6	8	4	4	6	8	4	4	6	8
8	8	12	16	8	8	12	16	8	8	12	16	8	8	12	16
2	3	4	5	2	3	5	7	2	3	5	7	2	3	5	7
–	–	–	–	–	–	1	2	–	–	–	–	–	–	–	–
–	2	4	6	–	2	4	6	–	2	4	6	–	2	4	6
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	2	3	4
–	–	1	2	–	–	–	–	–	–	1	2	–	–	–	–
–	1	2	3	–	–	–	–	–	1	2	3	–	1	2	3
–	3	6	9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	6	12	18	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	1	2	3	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	4	8	12	16	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	8	12	16
8	22	36	50	8	22	36	50	8	22	27	37	26	60	94	126
8	8	12	16	8	8	12	16	8	8	12	16	8	8	12	16
5	7	9	7	5	7	9	7	5	7	9	7	5	7	9	7
16	23	29	23	16	23	29	23	16	23	29	23	16	23	29	23
–	6	12	18	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	3	6	9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	9	18	27	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	9	18	27	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	9	18	27	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	6	12	18	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	各4	各8	各12	–	–	–	–
–	–	–	–	4	8	13	17	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	8	13	17
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6	13	18	24

【29】パネルセット（サイディング枠）

名　称	略　図	員　数						
		前面			側面			
		1スパン用	2スパン用	連棟用	2尺	3尺	2尺補助	3尺補助
上枠		1	2	1	4	4	2	2
下枠A		1	2	1	4	4	2	2
下枠B		2	4	2	4	6	4	4
移動柱		1	2	2	4	6	2	2
コーナー柱		–	–	–	2	2	–	–

【30】パネルセット（縦化粧格子）

名　称	略　図	員　数							
		前面			側面				
		端部	中間(1枚入)	中間(2枚入)	2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
縦化粧格子		2	1	2	1	1	1	2	2
【30-1】ナベドリルねじφ4×13		21	10	21	10	10	10	21	21

【31】パネルセット（横化粧格子）

名　称	略　図	員　数					
		前面				側面	
		端部	1.0間	1.5間	2.0間	2尺～4尺	5尺 6尺
横化粧格子		2	1	2	2	1	1
【31-1】ナベドリルねじφ4×13		21	10	21	39	10	21

【32】パネルセット（パネル）

名　称	略　図	員　数		
		前面		側面
		1枚入	2枚入	
パネル		1	2	2

【33】パネルセット（縦格子）

名　称	略　図	員　数						
		前面					側面	
		単体		連棟				
		1.0間 1.5間	2.0間 2.5間	1.0間 1.5間	2.0間	連結部	1本入	2本入
縦格子		1	2	1	2	1	1	2

【34】パネルセット（縦スリット）

名　称	略　図	員　数							
		前面			側面				
		端部	中間1枚入	中間2枚入	2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
縦スリット		2	1	2	1	1	1	1	1
【34-1】ナベドリルねじφ4×13		21	10	21	10	10	10	21	21

【35】パネルセット（横スリット）

名　称	略　図	員　数					
		前面				側面	
		端部	1.0間/連結部	1.5間	2.0間	2尺～4尺	5尺～6尺
横スリット		2	1	1	2	1	1
【35-1】ナベドリルねじφ4×13		21	10	21	39	10	21

【36】パネルセット（横格子ルーバー）

名　称	略　図	員　数					
		前面				側面	
		端部	1.0間/連結部	1.5間	2.0間	2尺～4尺	5尺～6尺
横格子ルーバー		2	1	1	2	1	2
【36-1】ナベドリルねじφ4×13		21	10	21	39	10	21

【37】パネルセット（横格子面材）

名　称	略　図	員　数					
		前面				側面	
		端部	1.0間/連結部	1.5間	2.0間	2尺～4尺	5尺～6尺
横格子面材		2	1	1	2	1	2
【37-1】ナベドリルねじφ4×13		21	10	21	39	10	21

【38】パネルセット（サイディング×パンチング）

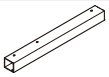
名　称		略　図	員数
パンチングパネル			1
下胴縁			1
通気胴縁			5
部品箱	サイディング下胴縁カバー		1
部品箱	持出しパネル固定ブラケット上		左右各1
部品箱	持出しパネル固定ブラケット下		左右各1
部品箱	【38-1】ナベドリル小ねじφ4×16		5
部品箱	【38-2】平ワッシャーM8用		4
部品箱	【38-3】スプリングワッシャーM8用		4
部品箱	【38-4】袋ナットM8用		4
部品箱	【38-5】丸皿タッピンねじ3種φ5×12		8

【39】移動柱セット（サイディング用）

名　称	略　図	員数
移動柱（サイディング用）		1

MAM-64F_201902
M002_201902G

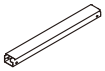
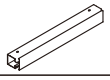
【40】間柱セット（縦格子）

名　称	略　図	員 数
間柱		2

【41】間柱セット（格子面材用）

名　称	略　図	員　数					
		1本入	2本入	3本入	4本入	端部用	連結部
間柱		1	2	3	4	–	–
間柱（端部用）		–	–	–	–	2	–
間柱（連棟用）		–	–	–	–	–	2

【42】間柱セット（パンチングパネル用）

名　称	略　図	員　数				
		2本入	3本入	4本入	端部用	連結部
間柱		2	3	4	–	–
間柱（端部用）		–	–	–	2	–
間柱（連棟用）		–	–	–	–	2

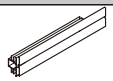
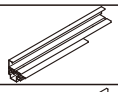
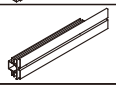
【43】間柱セット（フレームレス用）

名　称	略　図	員　数				
		2本入	3本入	4本入	端部用	連結部
間柱		2	3	4	–	–
間柱（端部用）		–	–	–	2	–
間柱（連棟用）		–	–	–	–	2

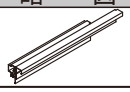
【44】間柱セット（パネル用）

名　称	略　図	員　数				
		2本入	3本入	4本入	端部用	連結部
間柱		2	3	4	–	–
間柱（端部用）		–	–	–	2	–
間柱（連棟用）		–	–	–	–	2

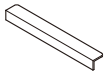
【45】間柱セット（サイディング用）

名　称	略　図	員　数				
		2本入	3本入	4本入	端部用	連結部
間柱		2	3	4	–	–
端部柱		–	–	–	左右各1	–
間柱（連棟用）		–	–	–	–	2

【46】間柱セット（サイディング×異パネル用）

名　称	略　図	員　数
異パネル用間柱		左右各1

【47】パンチングパネル固定部材セット

名　称	略　図	員　数		
		前面		側面
		1枚入	2枚入	
パンチングパネル固定アングル（中間用）		2	4	–
パンチングパネル固定アングル（端部用）		–	–	左右各4

【48】パンチングパネルセット

名　称	略　図	員　数		
		正面用		側面用
		1枚入	2枚入	
パンチングパネル		1	2	2

【49】サイディング化粧パネルセット

名　称	略　図	員　数			
		正面用		側面用	補助用
		1枚入	2枚入		
サイディング化粧パネル(正面用)		1	2	–	–
サイディング化粧パネル(端部用)		–	–	2	–
サイディング化粧パネル(妻側用)		–	–	2	–
サイディング化粧パネル(妻側補助用)		–	–	–	2

【50】フレームレスセット

名　称	略　図	員　数			
		前面用		側面用	
		1枚入	2枚入	基本	補助
ポリカパネル		1	2	1	1

【51】サイディング取付けねじセット

名　称	員数
【51-1】皿ドリルねじ（フレキ頭）φ4×30	42

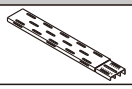
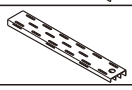
【52】サイディング金具取付けねじセット

名　称	員数
【52-1】ナベドリル小ねじφ4×16	40

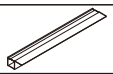
【53】足掛け防止ネット

名　称	略　図	員　数			
		正面	端部	側面	補助
足掛け防止ネット		1	2	2	1

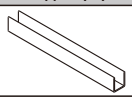
【54】グレーチングセット

名　称	略　図	員　数			
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
グレーチング1		5	8	11	14
グレーチング2		1	1	1	1

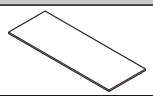
【55】床端部材セット

名　称	略　　図	員　数		
		1.0間	1.5間	2.0間
人工木隙間調整材（L=1750）		1	−	−
人工木隙間調整材（L=2660）		−	1	−
人工木隙間調整材（L=3570）		−	−	1
【55-1】皿ドリルねじφ4×40		10	10	10

【56】デッキボード雨受け部材セット

名　　称	略　図	員 数
デッキボード雨受け材		1
両面テープ		1

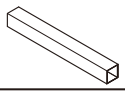
【57】床用不燃パネルセット

名　　称	略　図	員 数	
		1枚入	2枚入
アルミ樹脂複合パネル		1	2

【58】根太掛け持ち出しボルトセット

名　　称	略　図	員 数
根太掛け持ち出しボルト		10

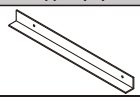
【59】中間柱セット

名　　称	略　図	員 数
中間柱		1

【60】中間柱キャップセット

名　　称	略　図	員 数
中間柱キャップ		1
【60-1】トラスタッピンねじ3種φ5×12		1

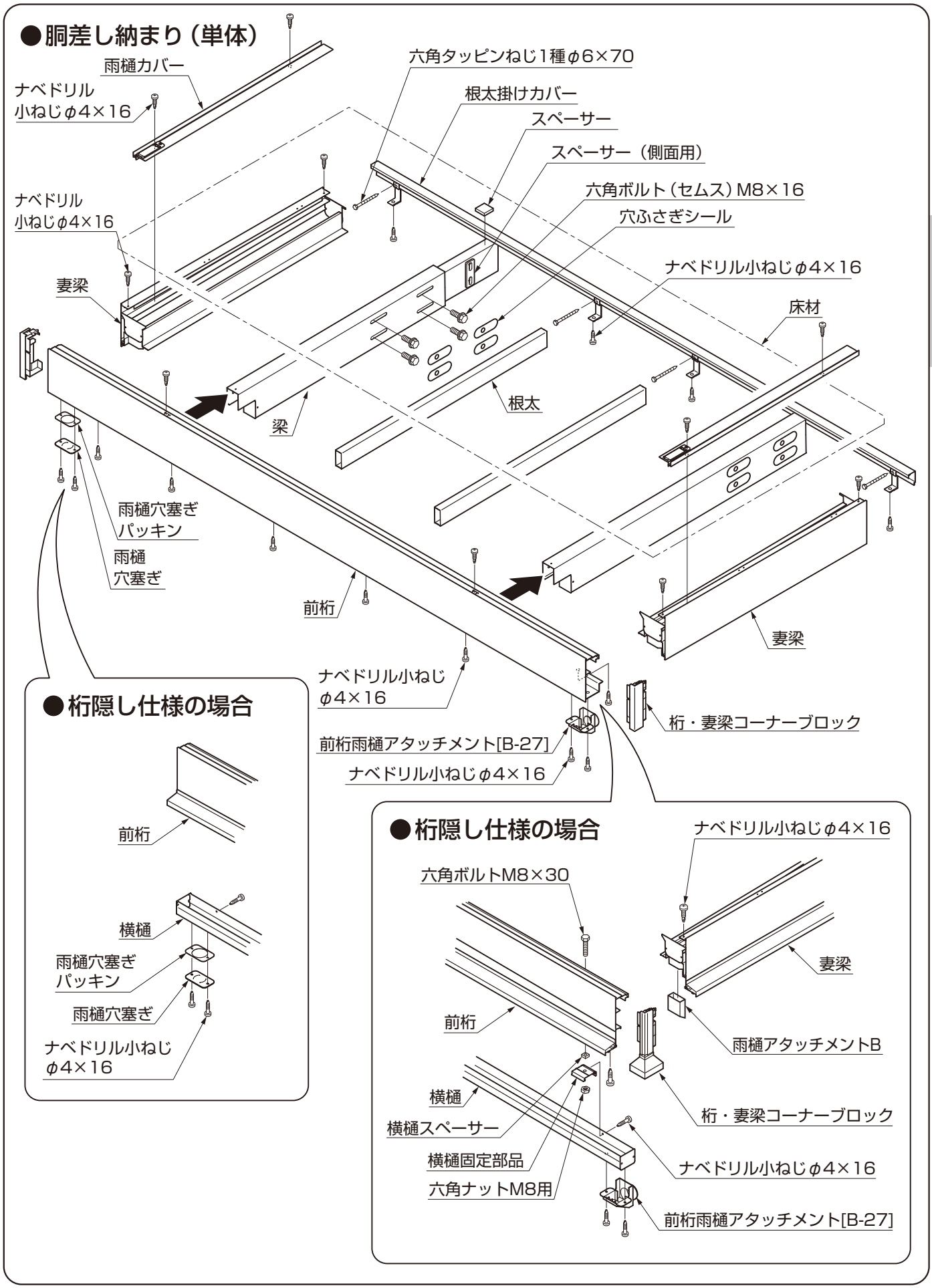
【61】アングルCセット

名　　称	略　図	員 数
アングルC		1

【62】根太掛け防水パッキンセット

名　　称	略　図	員 数
根太掛け防水パッキン（L=4605）		1

1 構造説明図



MAM-64E_201803
M002_201803F

1 構造説明図（つづき）

●胴差し納まり（連棟）

雨樋穴塞ぎパッキン
雨樋穴塞ぎ
ナベドリル小ねじφ4×16
A部
前桁連棟スリーブ
ナベドリルねじφ4×13
前桁連結カバー
30×20穴ふさぎシール
横樋連結キャップ

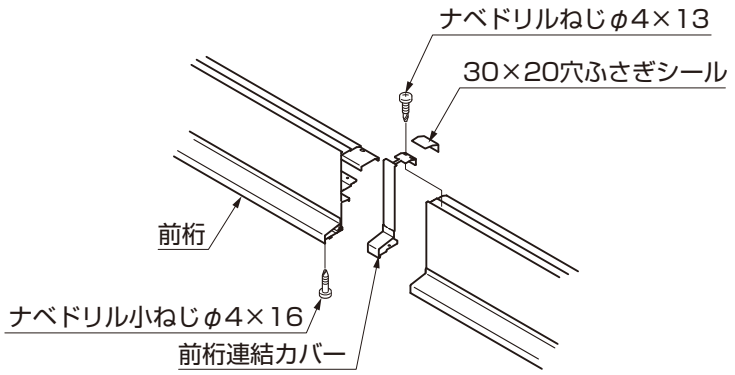


図1-1　A部 桁隠し仕様の場合

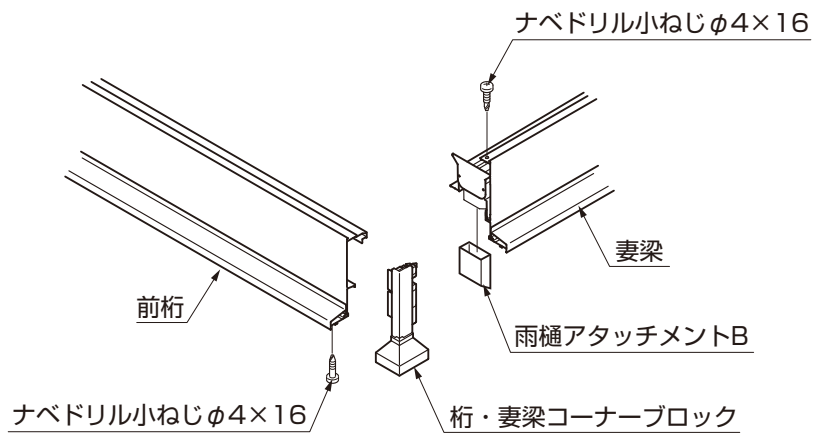


図1-2　B部 桁隠し仕様の場合

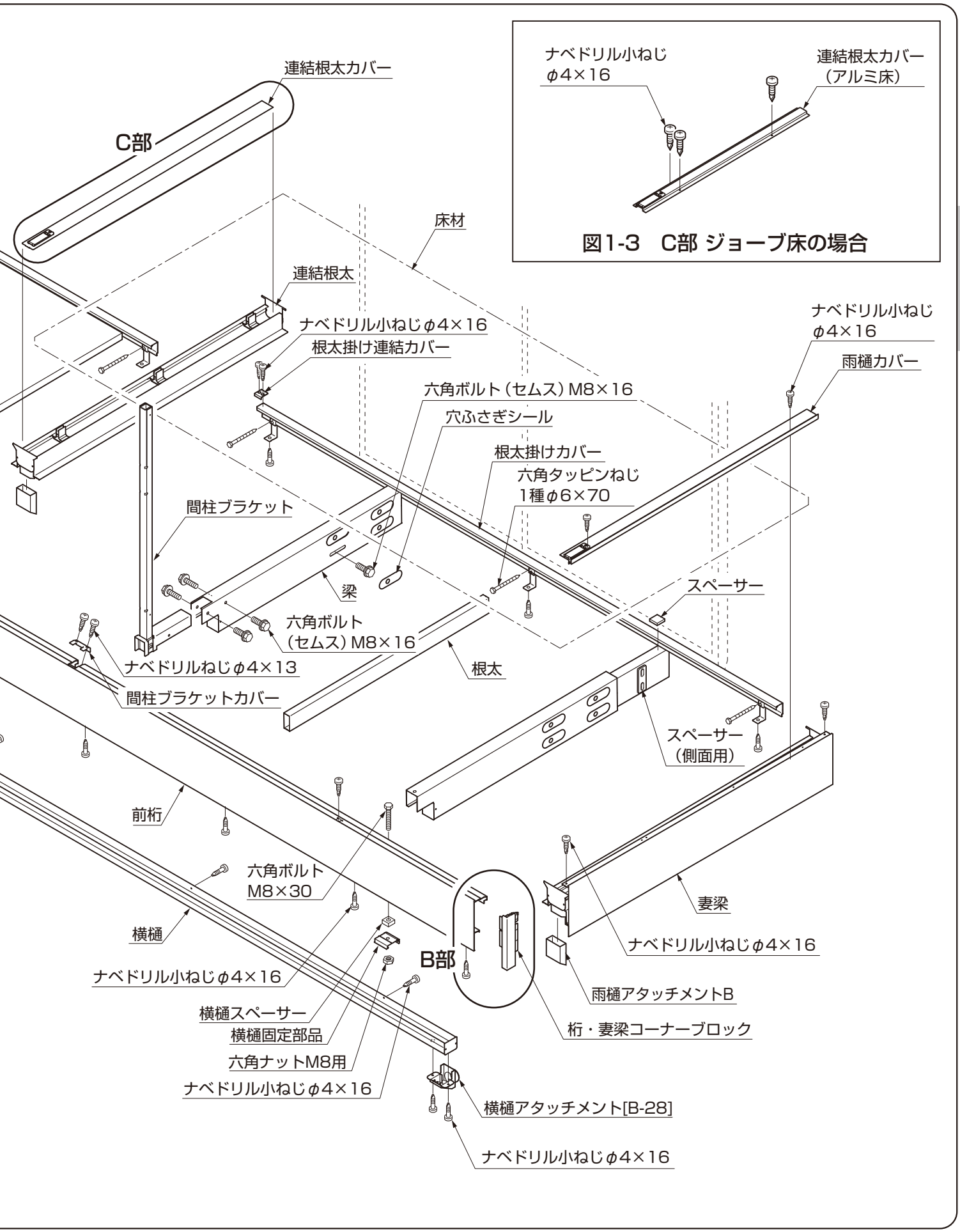
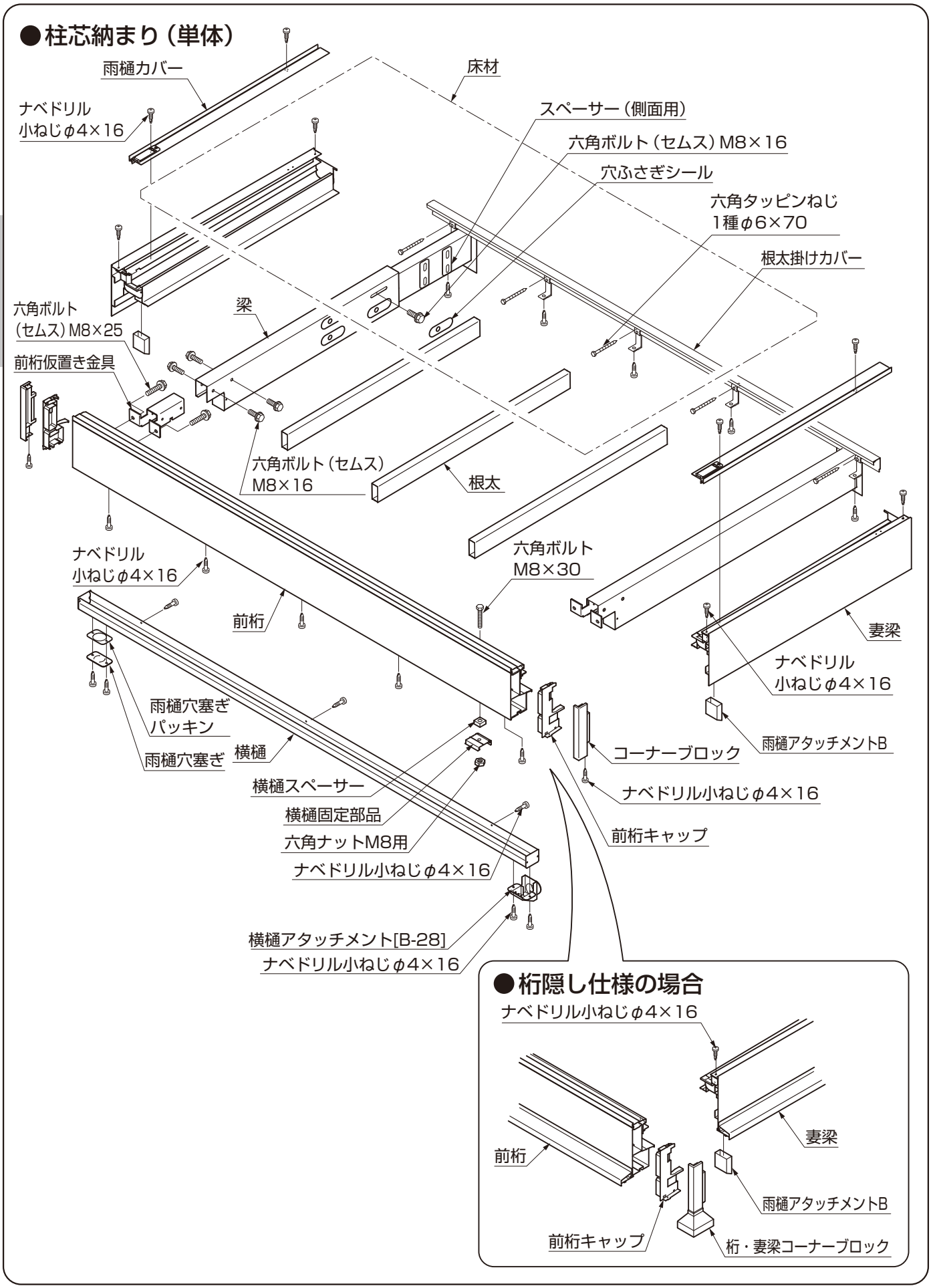


図1-3　C部 ジョーブ床の場合

1 構造説明図（つづき）



MAM-64E_201803
M002_201803F

メモページ

1 構造説明図（つづき）

●柱芯納まり（連棟）

連結根太カバー
D部
連結根太
雨樋穴塞ぎパッキン
雨樋穴塞ぎ
トラス小ねじ
M5×20
ナベドリル小ねじφ4×16
前桁連棟スリーブ
B部
ナベドリルねじφ4×13
前桁連結カバー
30×20穴ふさぎシール
横樋連結キャップ

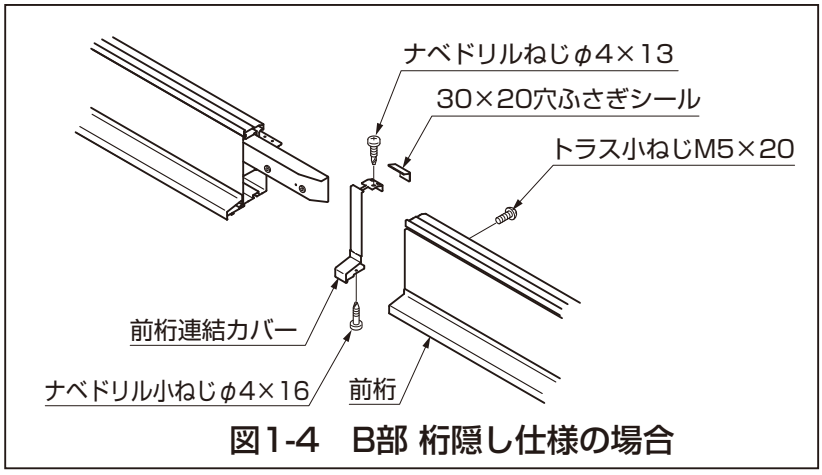


図1-4　B部 桁隠し仕様の場合

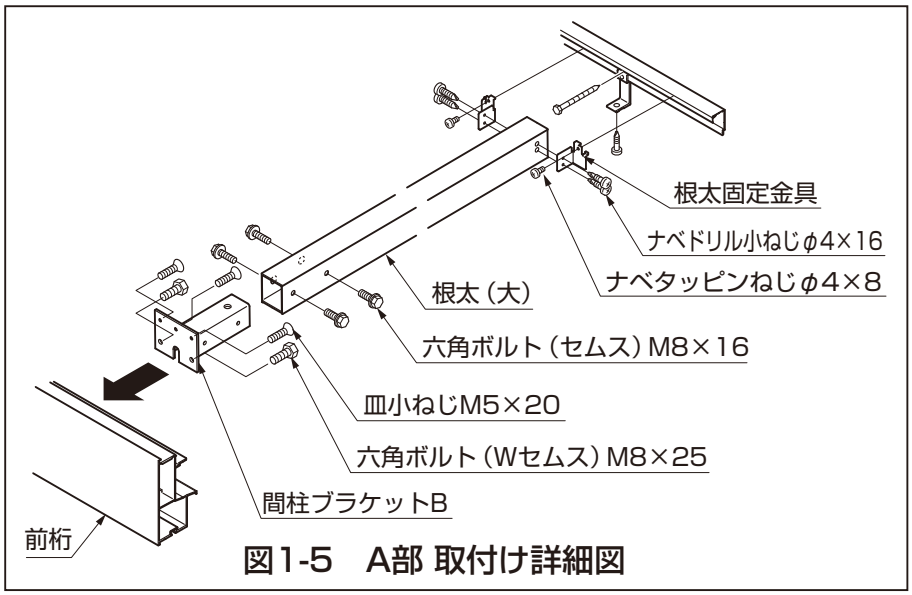


図1-5　A部 取付け詳細図

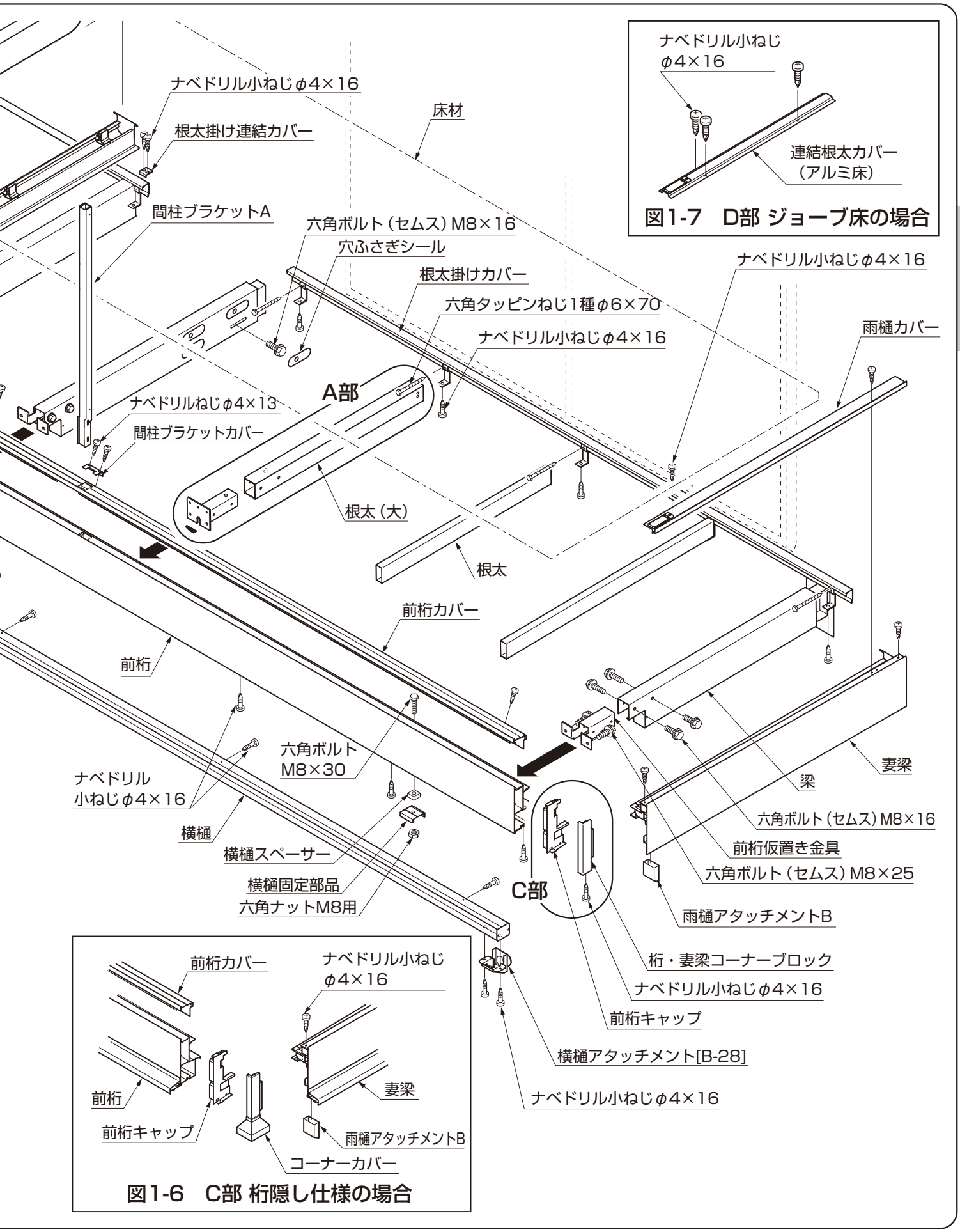


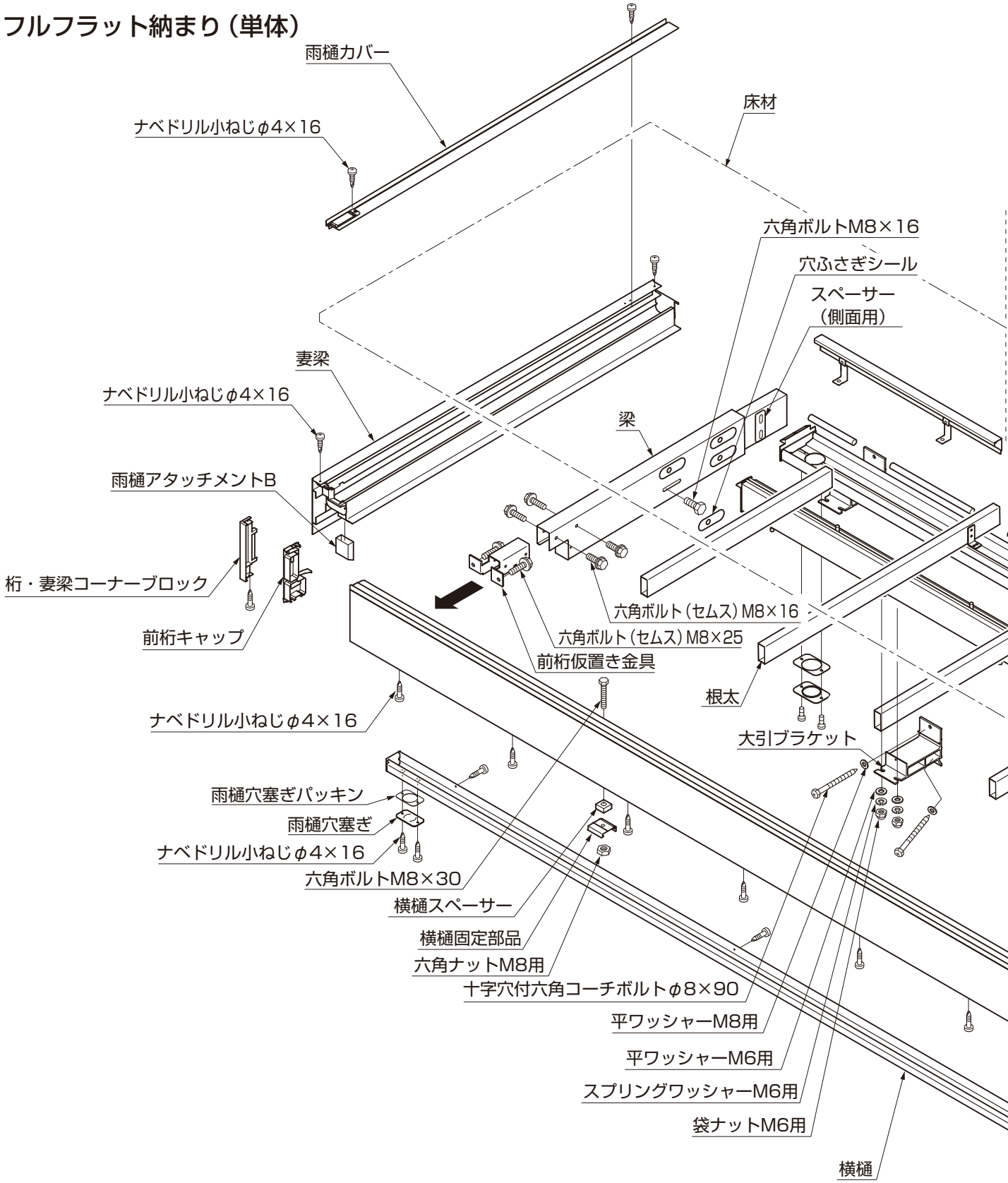
図1-7　D部 ジョーブ床の場合

図1-6　C部 桁隠し仕様の場合

MAM-64E_201803
M002_201803F

1 構造説明図（つづき）

●フルフラット納まり（単体）



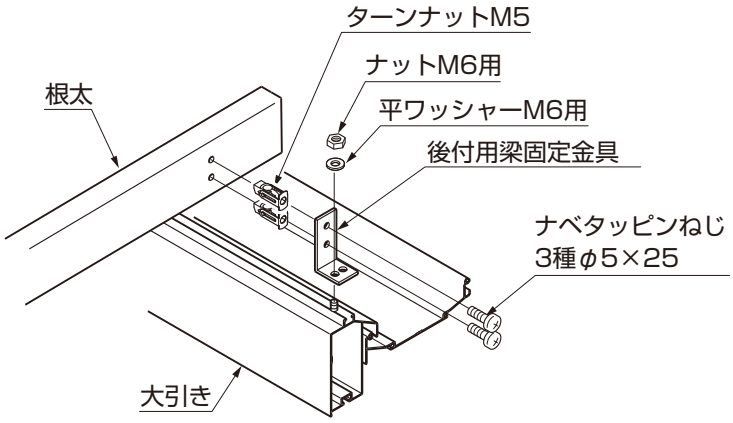


図1-8　A部 取付け詳細図

A部
後付用梁固定金具
雨樋すきまふさぎ
雨樋（フルフラットタイプ）
雨樋（フルフラット）端部カバー
ナベタッピンねじ2種φ4×20
根太掛けカバー
大引き（フルフラット）
六角ボルトM6×16
大引き端部カバー
ナベドリル小ねじφ4×16
六角タッピンねじ1種φ6×70
雨樋パッキン
雨樋アタッチメント[B-24]
ナベドリル小ねじφ4×16
前桁
B部
ナベドリル小ねじφ4×16
横樋アタッチメント[B-28]
ナベドリル小ねじφ4×16

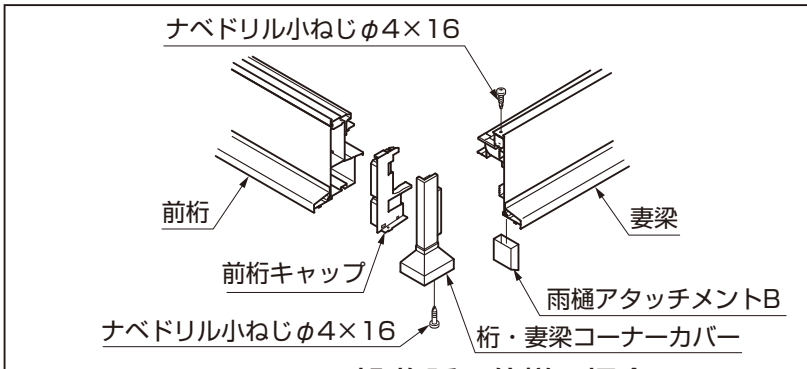


図1-9　B部 桁隠し仕様の場合

1 構造説明図（つづき）

●フルフラット納まり（連棟）

連結根太カバー
連結根太
雨樋穴塞ぎパッキン
雨樋穴塞ぎ
ナベドリル小ねじφ4×16
トラス小ねじ
M5×20
前桁連棟スリーブ
ナベドリルねじφ4×13
前桁連結カバー
30×20穴ふさぎシール
横樋連結キャップ

ナベドリル小ねじφ4×16
根太固定金具
ナベタッピンねじφ4×8
根太（大）
六角ボルト（セムス）M8×16
皿小ねじM5×20
六角ボルト（Wセムス）M8×25
間柱ブラケットB
前桁

図1-10　A部 取付け詳細図

雨樋（フルフラットタイプ）
雨樋すきまふさぎ
ナベドリル小ねじ
φ4×16
雨樋（フルフラット）端部カバー
ナベタッピンねじ2種φ4×25
ナットM6用
平ワッシャーM6用
ターンナットM5
ナベタッピンねじ
3種φ5×25
雨樋パッキン
雨樋アタッチメント[B-24]
ナベドリル小ねじφ4×16
大引き
（フルフラット）
大引ブラケット
六角ボルトM6×16
平ワッシャーM8用
大引き端部カバー
十字穴付六角コーチボルトφ8×90
平ワッシャーM6用
スプリングワッシャーM6用
袋ナットM6用

図1-11　B部 材取付け詳細図

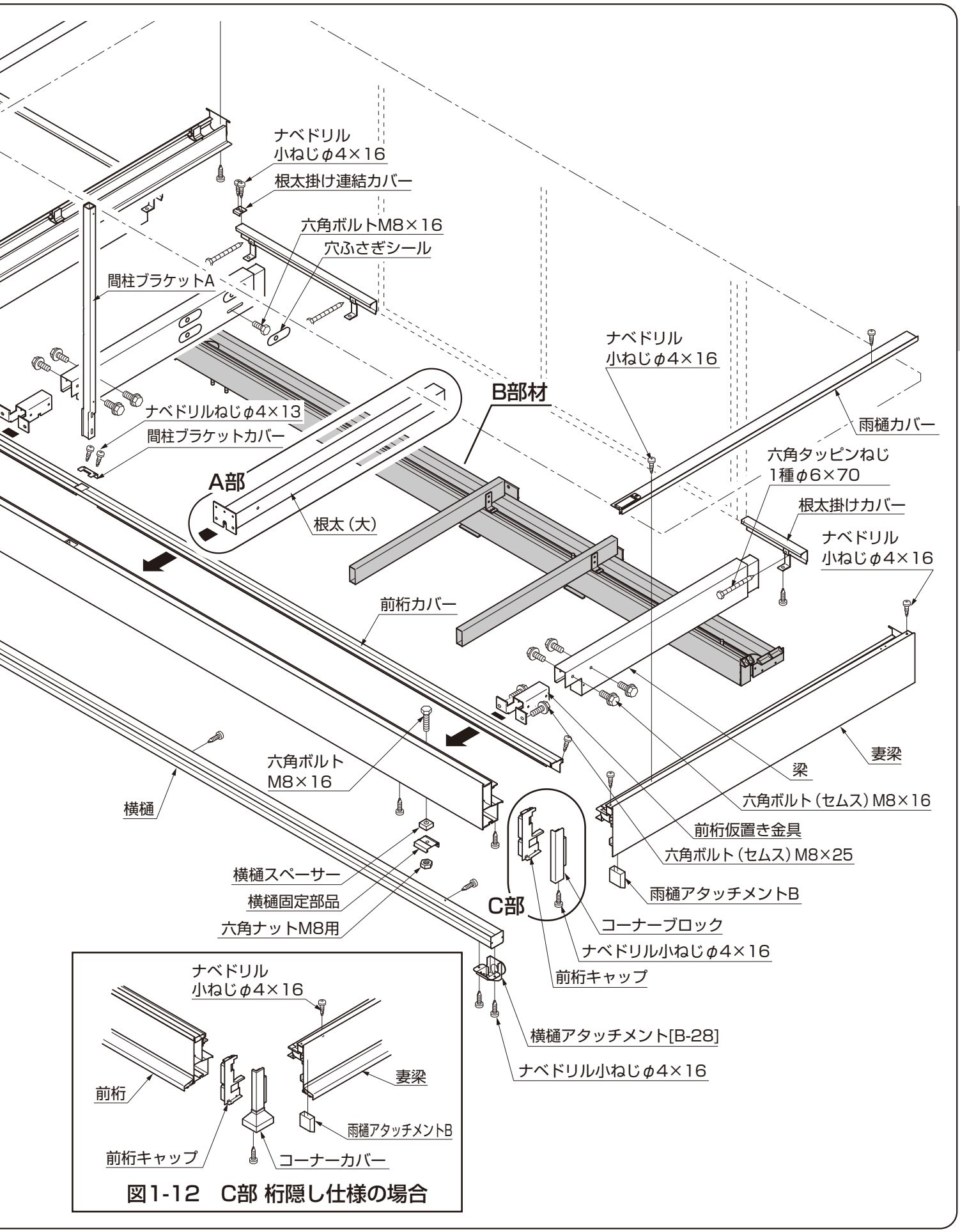
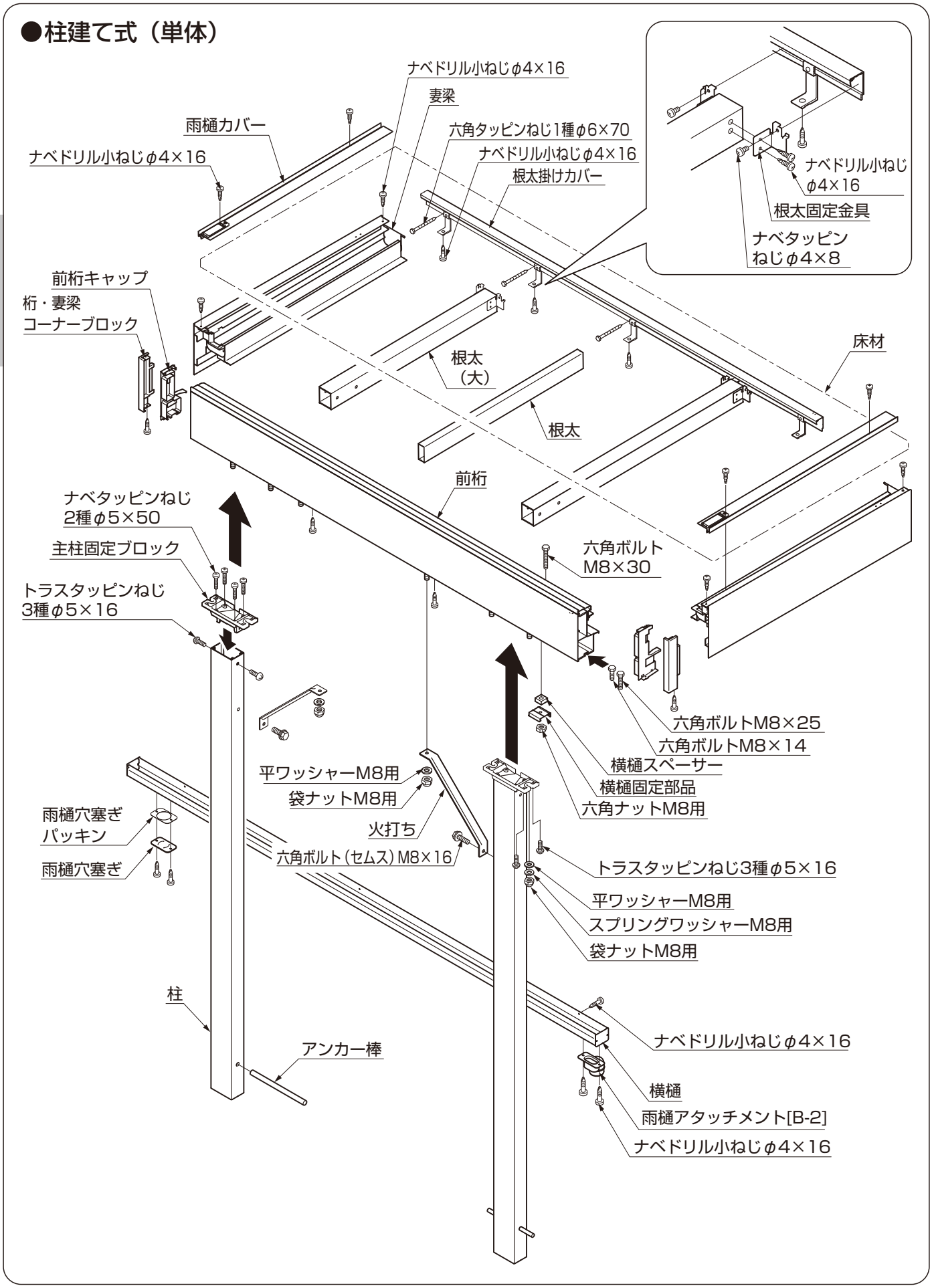


図1-12　C部 桁隠し仕様の場合

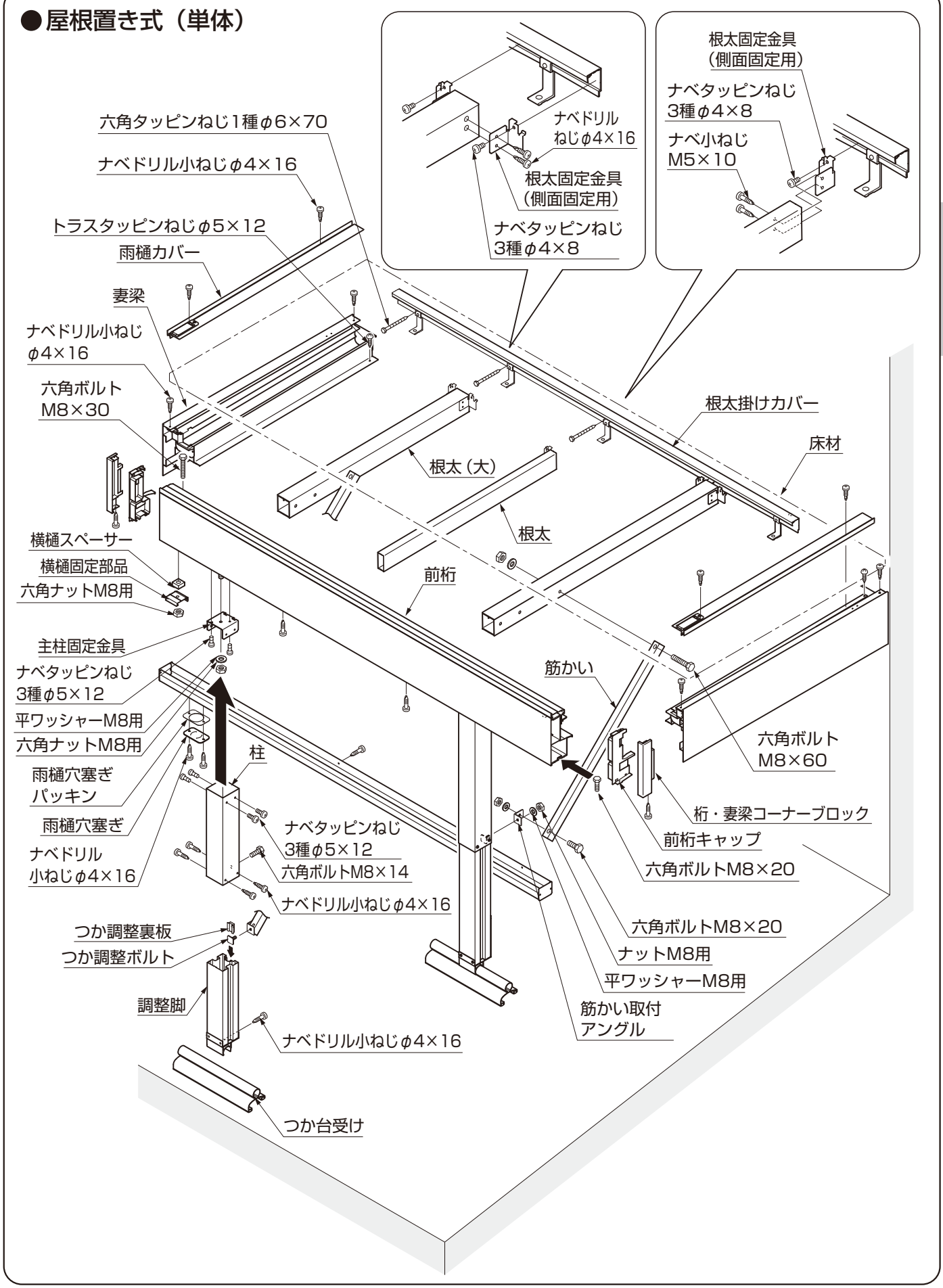
1 構造説明図（つづき）

●柱建て式（単体）



MAM-64E_201803
M002_201803F

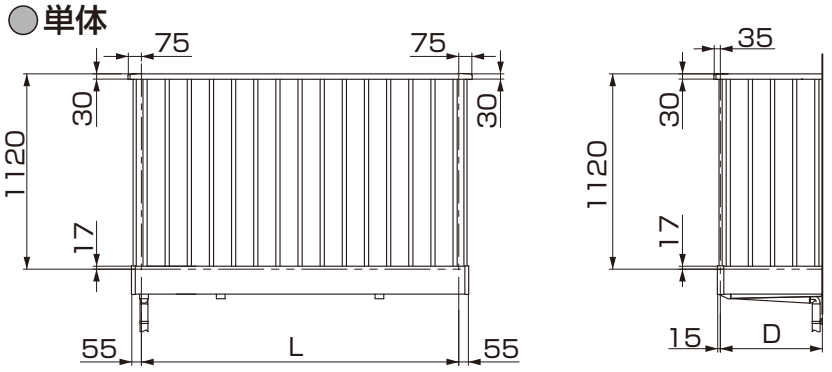
●屋根置き式（単体）


ナベドリル
ねじφ4×16
根太固定金具
（側面固定用）
ナベタッピンねじ
3種φ4×8
根太固定金具
（側面固定用）
ナベタッピンねじ
3種φ4×8
ナベ小ねじ
M5×10
六角タッピンねじ1種φ6×70
ナベドリル小ねじφ4×16
トラスタッピンねじφ5×12
雨樋カバー
妻梁
ナベドリル小ねじ
φ4×16
六角ボルト
M8×30
根太掛けカバー
床材
根太（大）
根太
前桁
横樋スペーサー
横樋固定部品
六角ナットM8用
主柱固定金具
ナベタッピンねじ
3種φ5×12
平ワッシャーM8用
六角ナットM8用
雨樋穴塞ぎ
パッキン
雨樋穴塞ぎ
ナベドリル
小ねじφ4×16
柱
ナベタッピンねじ
3種φ5×12
六角ボルトM8×14
ナベドリル小ねじφ4×16
筋かい
六角ボルト
M8×60
桁・妻梁コーナーブロック
前桁キャップ
六角ボルトM8×20
六角ボルトM8×20
ナットM8用
平ワッシャーM8用
筋かい取付
アングル
つか調整裏板
つか調整ボルト
調整脚
ナベドリル小ねじφ4×16
つか台受け

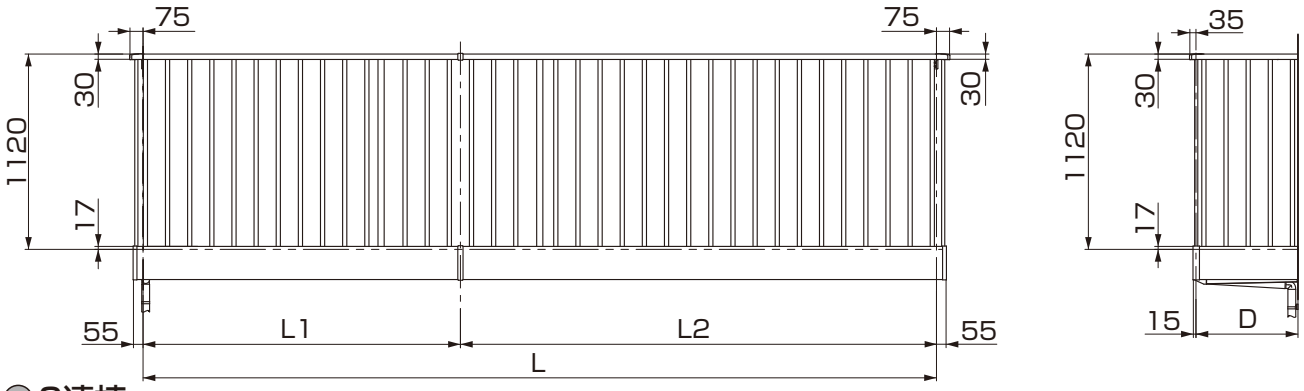
2 基本寸法

●柱無し ※図は縦格子タイプを示しています。

◯単体



◯2連棟



◯3連棟

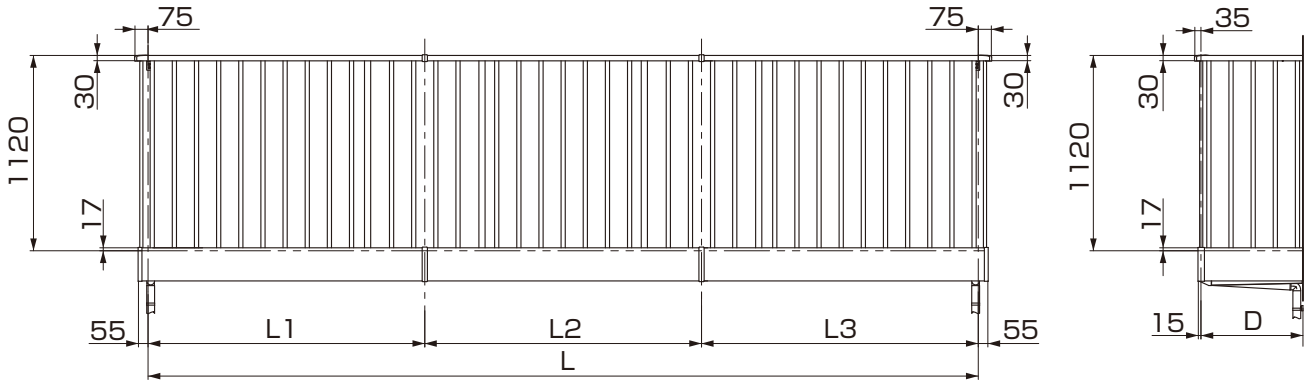


表2-1　L寸法

		関東間				九州・四国間				メーターモジュール			
		L	L1	L2	L3	L	L1	L2	L3	L	L1	L2	L3
単体	1.0	1820	–	–	–	1910	–	–	–	2000	–	–	–
	1.5	2730	–	–	–	2865	–	–	–	3000	–	–	–
	2.0	3640	–	–	–	3820	–	–	–	4000	–	–	–
	2.5	4550	–	–	–	4775	–	–	–	5000	–	–	–
2連棟	2.5	4550	1820	2730	–	4775	1910	2865	–	5000	2000	3000	–
	3.0	5460	2730	2730	–	5730	2865	2865	–	6000	3000	3000	–
	3.5	6370	2730	3640	–	6685	2865	3820	–	7000	3000	4000	–
	4.0	7280	3640	3640	–	7640	3820	3820	–	8000	4000	4000	–
3連棟	4.5	8190	2730	2730	2730	8595	2865	2865	2865	9000	3000	3000	3000
	5.0	9100	2730	3640	2730	9550	2865	3820	2865	10000	3000	4000	3000
	5.5	10010	3640	2730	3640	10505	3820	2865	3820	11000	4000	3000	4000
	6.0	10920	3640	3640	3640	11460	3820	3820	3820	12000	4000	4000	4000

表2-2　D寸法

	D
2尺	585
3尺	885

●柱建て　※図は横格子面材タイプを示しています。

◯単体

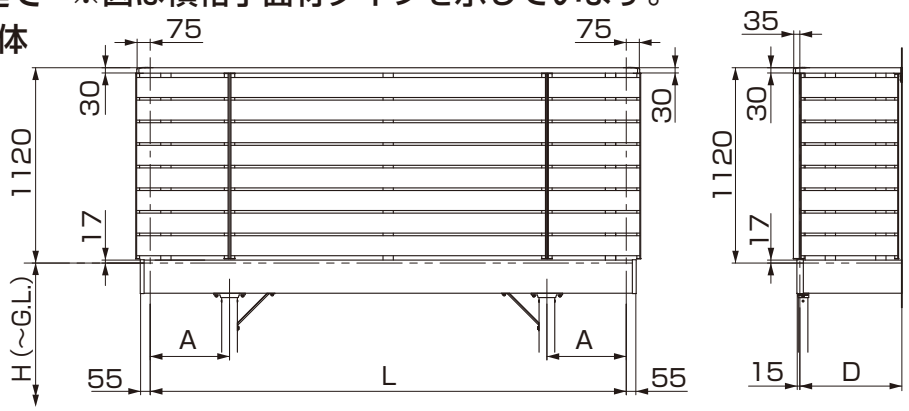
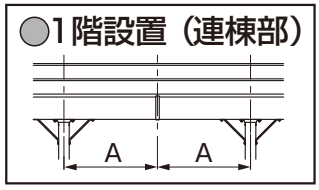


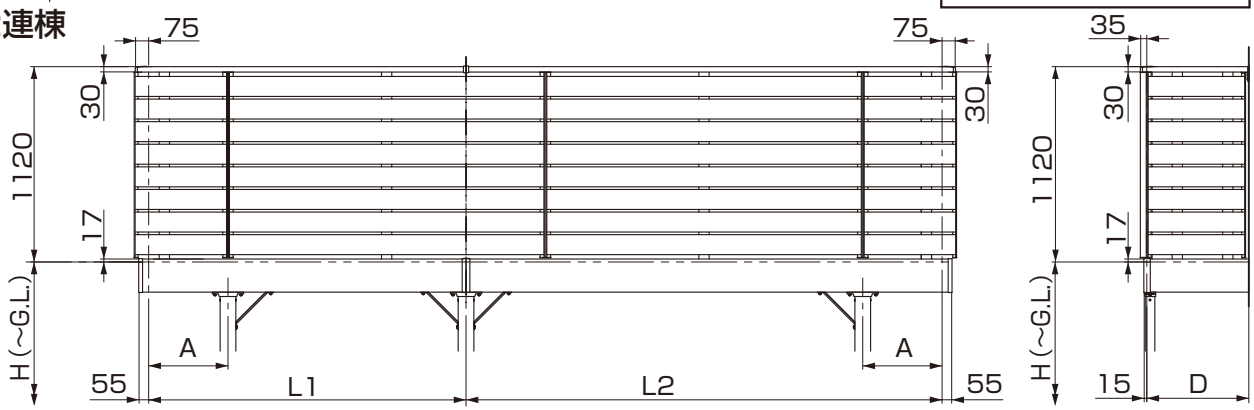
表2-3　H寸法

		H
柱建て	標準	3613
	長尺	4293
1階設置		893
屋根置き		443~818

◯1階設置（連棟部）



◯2連棟



◯3連棟

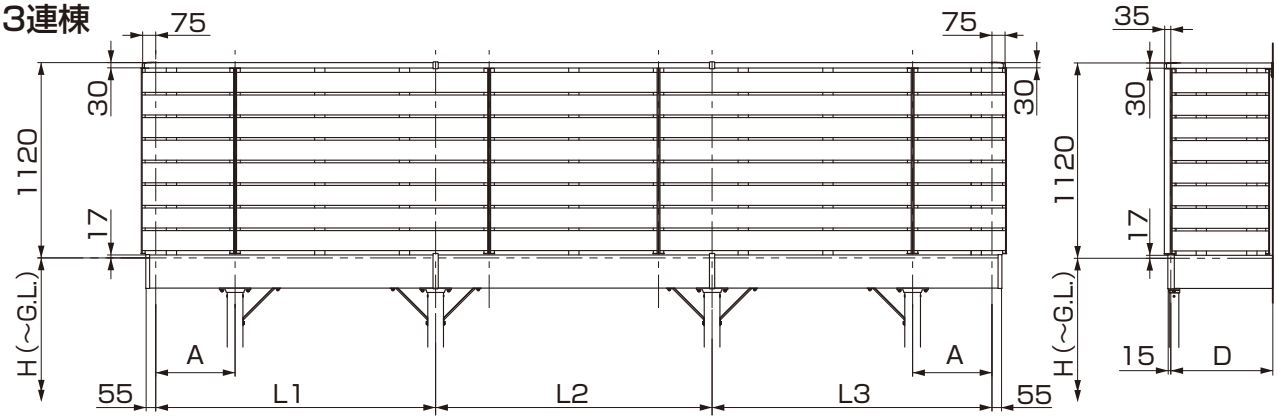


表2-4　L寸法

		関東間				九州・四国間				メーターモジュール			
		L	L1	L2	L3	L	L1	L2	L3	L	L1	L2	L3
単体	1.0	1820	–	–	–	1910	–	–	–	2000	–	–	–
	1.5	2730	–	–	–	2865	–	–	–	3000	–	–	–
	2.0	3640	–	–	–	3820	–	–	–	4000	–	–	–
	2.5	4550	–	–	–	4775	–	–	–	5000	–	–	–
2連棟	2.5	4550	1820	2730	–	4775	1910	2865	–	5000	2000	3000	–
	3.0	5460	2730	2730	–	5730	2865	2865	–	6000	3000	3000	–
	3.5	6370	2730	3640	–	6685	2865	3820	–	7000	3000	4000	–
	4.0	7280	3640	3640	–	7640	3820	3820	–	8000	4000	4000	–
3連棟	4.5	8190	2730	2730	2730	8595	2865	2865	2865	9000	3000	3000	3000
	5.0	9100	2730	3640	2730	9550	2865	3820	2865	10000	3000	4000	3000
	5.5	10010	3640	2730	3640	10505	3820	2865	3820	11000	4000	3000	4000
	6.0	10920	3640	3640	3640	11460	3820	3820	3820	12000	4000	4000	4000

表2-5　D寸法

	D
2尺	585
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

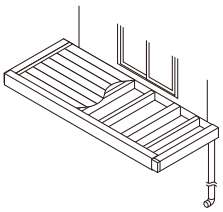
表2-6　A寸法

	A
関東間	455
メーターモジュール	500
九州四国間	477.5

MAM-64A_201402
M002_201402B

単体の場合

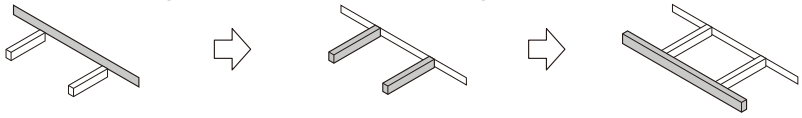
胴差し納まり



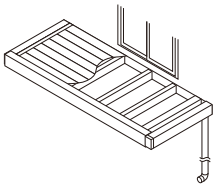
（完成図）

本体床の取付け（P.48～）

根太掛けカバーの取付け P.40～ → 梁の取付け P.40～ → 前桁の取付け P.44～



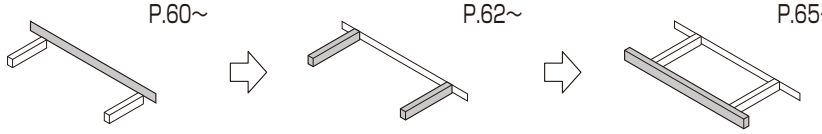
柱芯納まり



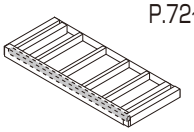
（完成図）

本体床の取付け（P.60～）

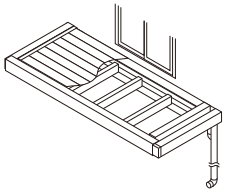
根太掛けカバーの取付け P.60～ → 梁の取付け P.62～ → 前桁の取付け P.65～



横樋の取付け P.72～



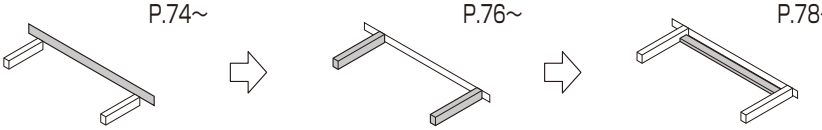
フルフラット納まり



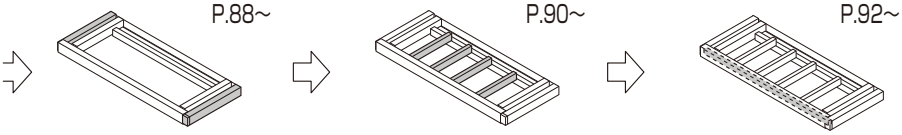
（完成図）

本体床の取付け（P.74～）

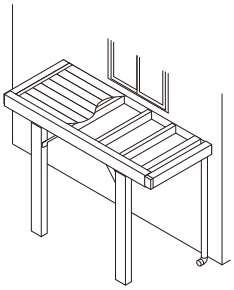
根太掛けカバーの取付け P.74～ → 梁の取付け P.76～ → 雨樋の取付け P.78～



妻梁の取付け P.88～ → 根太の取付け P.90～ → 横樋の取付け P.92～



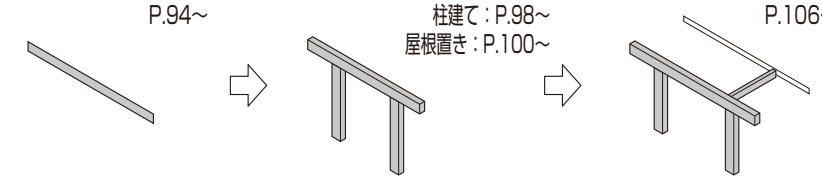
柱建て・屋根置き納まり



（完成図）

本体床の取付け（P.94～）

根太掛けカバーの取付け P.94～ → 柱-桁の組立て 柱建て：P.98～ 屋根置き：P.100～ → 根太、前桁-柱の取付け P.106～



根太掛け持出し金具の取付け　屋根置き式 オプション P.120～

根太の取付け 柱建て：P.112～ 屋根置き：P.113～ → 根太（大）の取付け 柱建て：P.112・114 屋根置き：P.113・114 → 柱の補強 柱建て：P.116～ 屋根置き：P.117～

妻梁の取付け P.44~

根太の取付け P.46~

妻梁の取付け P.70~

根太の取付け P.70~

大引の取付け P.78~

前桁の取付け P.83~

妻梁の取付け P.110~

横樋の取付け P.118~

床材の取付け（P.122～）

デッキボード

床用不燃パネルの取付け オプション

デッキボードの取付け P.122~

雨樋カバーの取付け P.132~

スリット床

スリット床の取付け P.124~

雨樋カバーの取付け P.132~

ジョーブ床

アルミ床の取付け P.126~

雨樋カバーの取付け P.132~

床化粧材の取付け P.133~

雨樋の取付け（P.142～）

雨樋の取付け（P.142～）

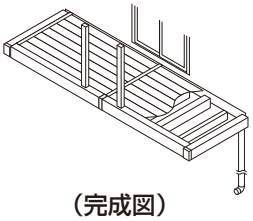
雨樋の取付け（P.142～）

雨樋の取付け（P.142～）

MAM-64E_201803
M002_201803F

連棟の場合

胴差し納まり

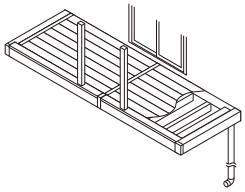


（完成図）

本体床の取付け（P.48～）

- 根太掛けカバーの取付け P.48～
- 梁の取付け P.48～
- 前桁の取付け P.52～
- 妻梁の取付け P.56～
- 横樋の取付け P.58～
- 連結根太の取付け P.58～

柱芯納まり

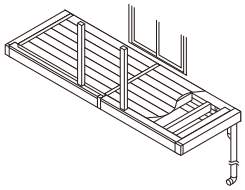


（完成図）

本体床の取付け（P.60～）

- 根太掛けカバーの取付け P.60～
- 梁の取付け P.62～
- 前桁の取付け P.66～
- 根太（大）の取付け P.66～
- 根太の取付け P.70～
- 横樋の取付け P.72～
- 連結根太の取付け P.72～

フルフラット納まり

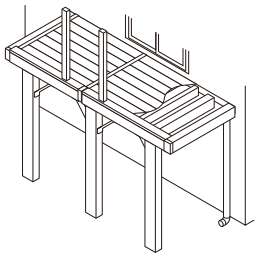


（完成図）

本体床の取付け（P.74～）

- 根太掛けカバーの取付け P.74～
- 梁の取付け P.76～
- 雨樋の取付け P.78～
- 大引の取付け P.78～
- カバーの取付け P.86～
- 妻梁の取付け P.88～
- 根太の取付け P.90～
- 横樋の取付け P.92～

柱建て・屋根置き納まり



（完成図）

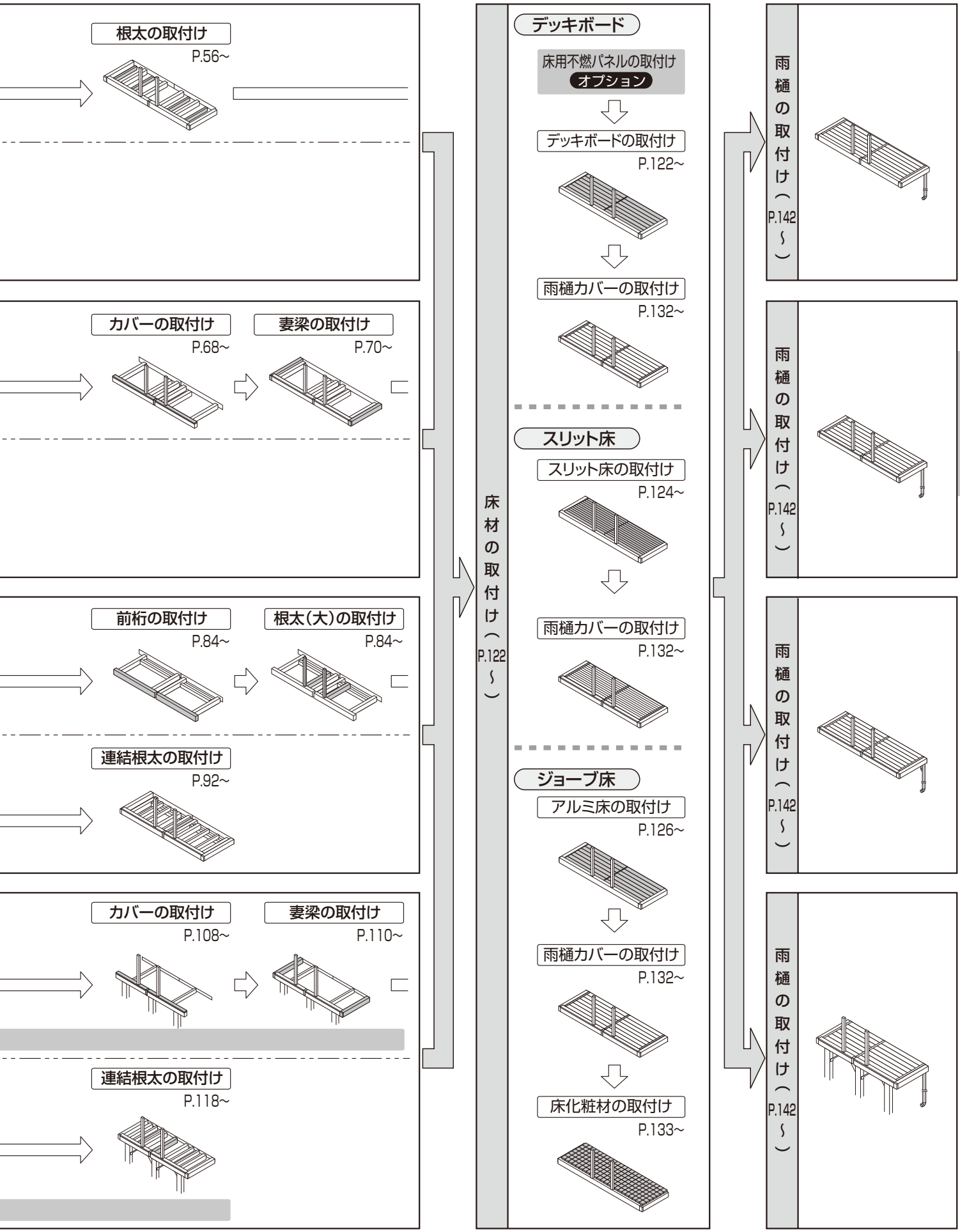
本体床の取付け（P.94～）

- 根太掛けカバーの取付け P.94～
- 柱-桁の組立て 柱建て：P.98～ 屋根置き：P.100～
- 根太、前桁-柱の取付け P.106～
- 間柱ブラケットの取付け P.108～

根太掛け持出し金具の取付け　屋根置き式 オプション P.120～

- 根太の取付け 柱建て：P.112～ 屋根置き：P.113～
- 根太（大）の取付け 柱建て：P.112・114 屋根置き：P.112・114
- 柱の補強 柱建て：P.116～ 屋根置き：P.117～
- 横樋の取付け P.118～

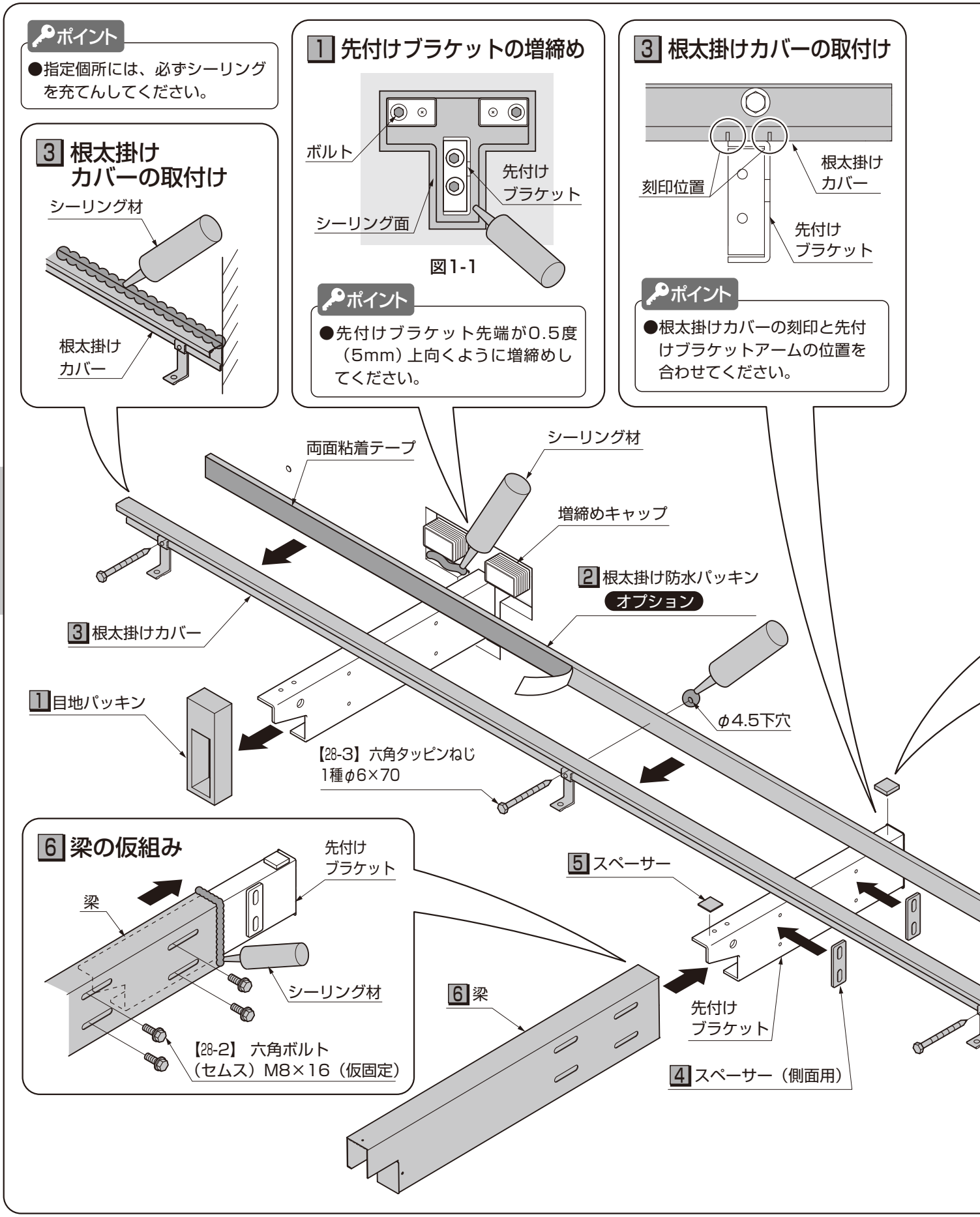
根太掛け持出し金具の取付け　屋根置き式 オプション P.120～



MAM-64E_201803
M002_201803F

胴差し納まり　単体の場合

1 根太掛けカバー、梁の取付け



5 梁取付け前準備 -スペーサーの取付け-

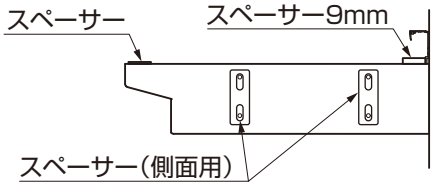
表1-1　スペーサーの使い分け一覧

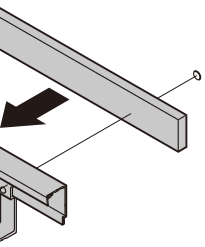
	雨樋位置	間　口		
		1.0・1.5間	2.0間	2.5間
桁露出仕様	内観左雨樋	3mm 9mm 1.5mm	3mm 9mm 1.5mm なし	3mm 9mm 1.5mm なし
桁露出仕様	内観右雨樋	1.5mm 9mm 3mm	なし 9mm 1.5mm 3mm	なし 9mm 1.5mm 3mm
桁隠し仕様	内観右・左雨樋共通	3mm 9mm 3mm	9mm 3mm	9mm 3mm

ポイント

○3mm　○1.5mm

●施工サイズによって張付ける枚数が異なります。
●スペーサー1.5mmには、角に丸みがあります。





1 先付けブラケットの増締め

①先付けブラケットのボルト類を増締めしてください。
②目地パッキンを取外してください。
③増締めキャップを切断し、外壁と同面になるようにしてください。
④先付けブラケット・増締めキャップの周囲に外壁と同面になるようにシーリングしてください。(図1-1参照)

2 根太掛け防水パッキンの取付け オプション
※外壁に凹凸がある場合

①根太掛け防水パッキンを根太掛けカバーの長さに合わせて切断し、張付けてください。

3 根太掛けカバーの取付け

①外壁に穴加工(φ4.5下穴)をし、シーリングをしてください。
②根太掛けカバーを躯体に【28-3】で取付けてください。
③根太掛けカバーにシーリングをしてください。

4 梁取付け前準備 -スペーサー(側面用)の取付け-

①スペーサー(側面用)を先付けブラケットに張付けてください。

5 梁取付け前準備 -スペーサーの取付け-

①スペーサーを先付けブラケットに張付けてください。

6 梁の仮固定

①梁にシーリングし、先付けブラケットに【28-2】で仮固定してください。

2 面材用の穴加工　※図は内観左側を示します。右側は左右対称となります。

●横格子面材・横格子ルーバーの場合

ポイント

●その他の面材の場合は、加工が不要です。

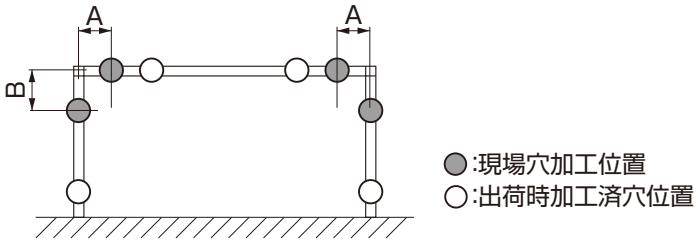
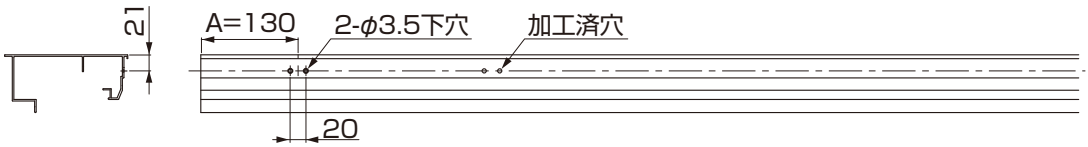
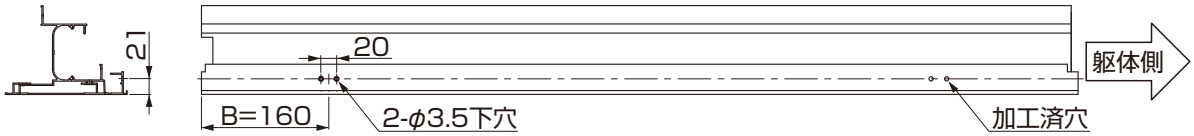


図2-1　穴加工位置

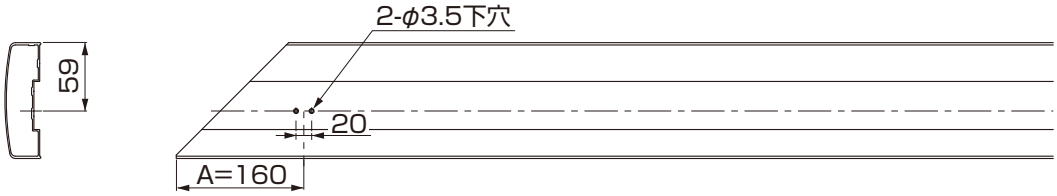
●前桁の穴加工



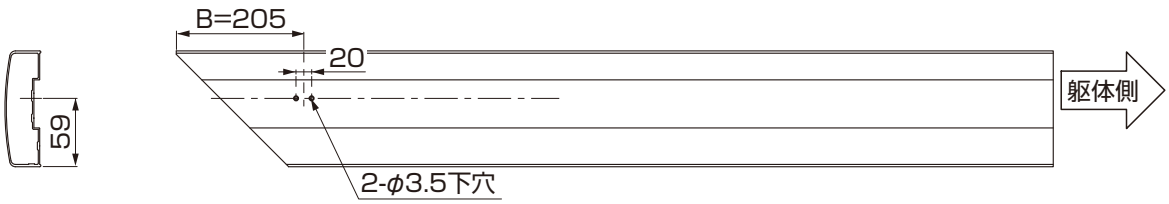
●妻梁の穴加工



●笠木（間口方向）の穴加工



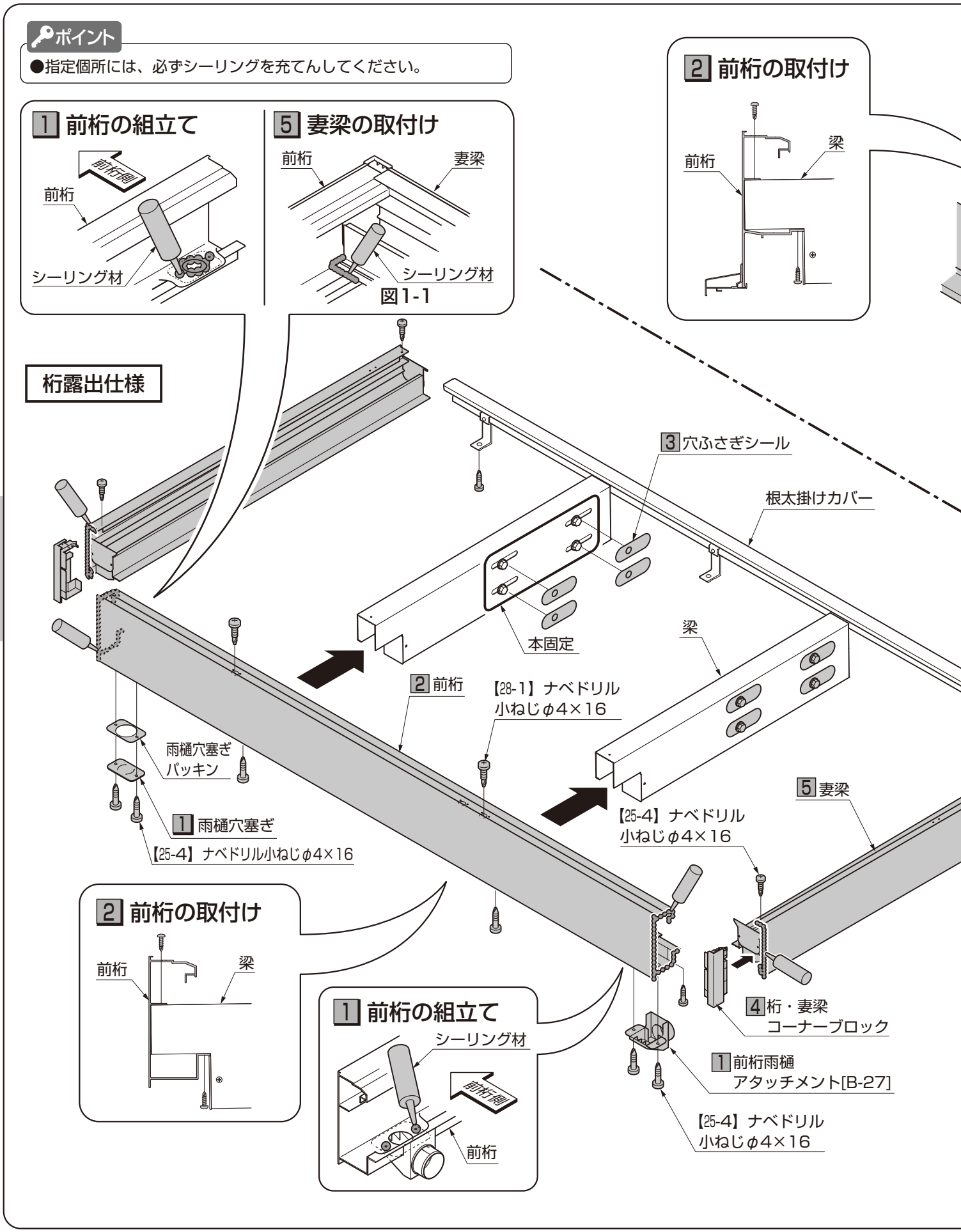
●笠木（出幅方向）の穴加工



①前桁・妻梁・笠木の穴加工位置を確認してください。
②前桁・妻梁・笠木にφ3.2の下穴をあけてください。

メモページ

3 前桁、妻梁の取付け


ポイント
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
1 前桁の組立て
前桁側
前桁
シーリング材
5 妻梁の取付け
前桁
妻梁
シーリング材
図1-1
2 前桁の取付け
前桁
梁
桁露出仕様
3 穴ふさぎシール
根太掛けカバー
本固定
梁
2 前桁
【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16
雨樋穴塞ぎ
パッキン
1 雨樋穴塞ぎ
【25-4】ナベドリル小ねじφ4×16
5 妻梁
【25-4】ナベドリル
小ねじφ4×16
2 前桁の取付け
前桁
梁
1 前桁の組立て
シーリング材
前桁側
前桁
4 桁・妻梁
コーナーブロック
1 前桁雨樋
アタッチメント[B-27]
【25-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

桁隠し仕様

【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16

3 穴ふさぎシール

根太掛けカバー

5 妻梁

本固定

【25-11】六角ボルトM8×30

2 前桁

横樋スペーサー

1 横樋固定部品

【25-3】
六角ナットM8用

4 コーナーブロック

【25-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

5 妻梁の取付け

ポイント

V溝　穴　根太掛けカバー　妻梁

●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。

シーリング材

5 妻梁の取付け

前桁側　妻梁　前桁　シーリング材

図1-2

接着剤　妻梁　前桁側

雨樋
アタッチメントB

1 前桁の組立て

▭：横樋スペーサー　▭：前桁

水下側　水下側　前桁

1.0間　1.5～2.5間

ポイント

●サイズにより横樋スペーサーの取付け個数が異なります。

5 妻梁の取付け

ポイント

V溝　穴　根太掛けカバー　妻梁

●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。

シーリング材

1 前桁の組立て

●桁露出仕様の場合

①前桁雨樋アタッチメント[B-27]、雨樋穴塞ぎ、雨樋穴塞ぎパッキンを前桁に【25-4】で取付けてください。
②取付けたねじの剣先にシーリングをしてください。

●桁隠し仕様の場合

①横樋固定部品と横樋スペーサーを前桁に【25-3】、【25-11】で取付けてください。

2 前桁の取付け

①前桁を梁に【28-1】で取付けてください。

3 梁の固定

①前桁の水平確認を行って仮固定していた梁を本固定してください。
②穴ふさぎシールを張付けてください。

4 コーナーブロックの取付け

①妻梁の前桁側にシーリングをしてください。
②桁・妻梁コーナーブロックを妻梁に差込んでください。

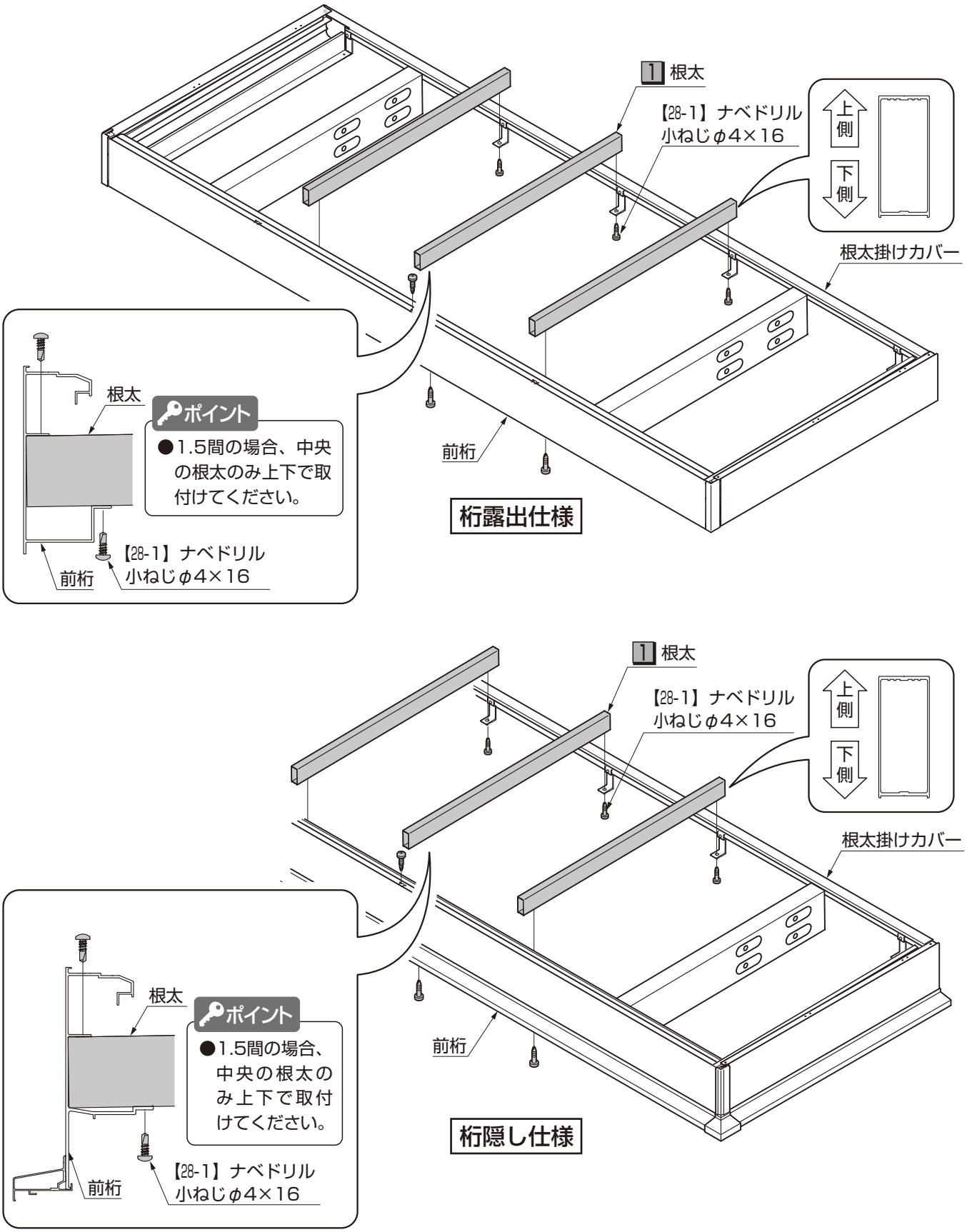
5 妻梁の取付け

①前桁と桁・妻梁コーナーブロックの接合部にシーリングをしてください。
②妻梁を根太掛けカバーと前桁に【25-4】で取付けてください。
（根太掛けカバー上部に障害物がある場合は、根太掛けカバーに下穴をあけてください）
③躯体接合部にシーリングをしてください。
④妻梁と前桁の接合部にシーリングをしてください。（図1-1、図1-2参照）

●桁隠し仕様の場合

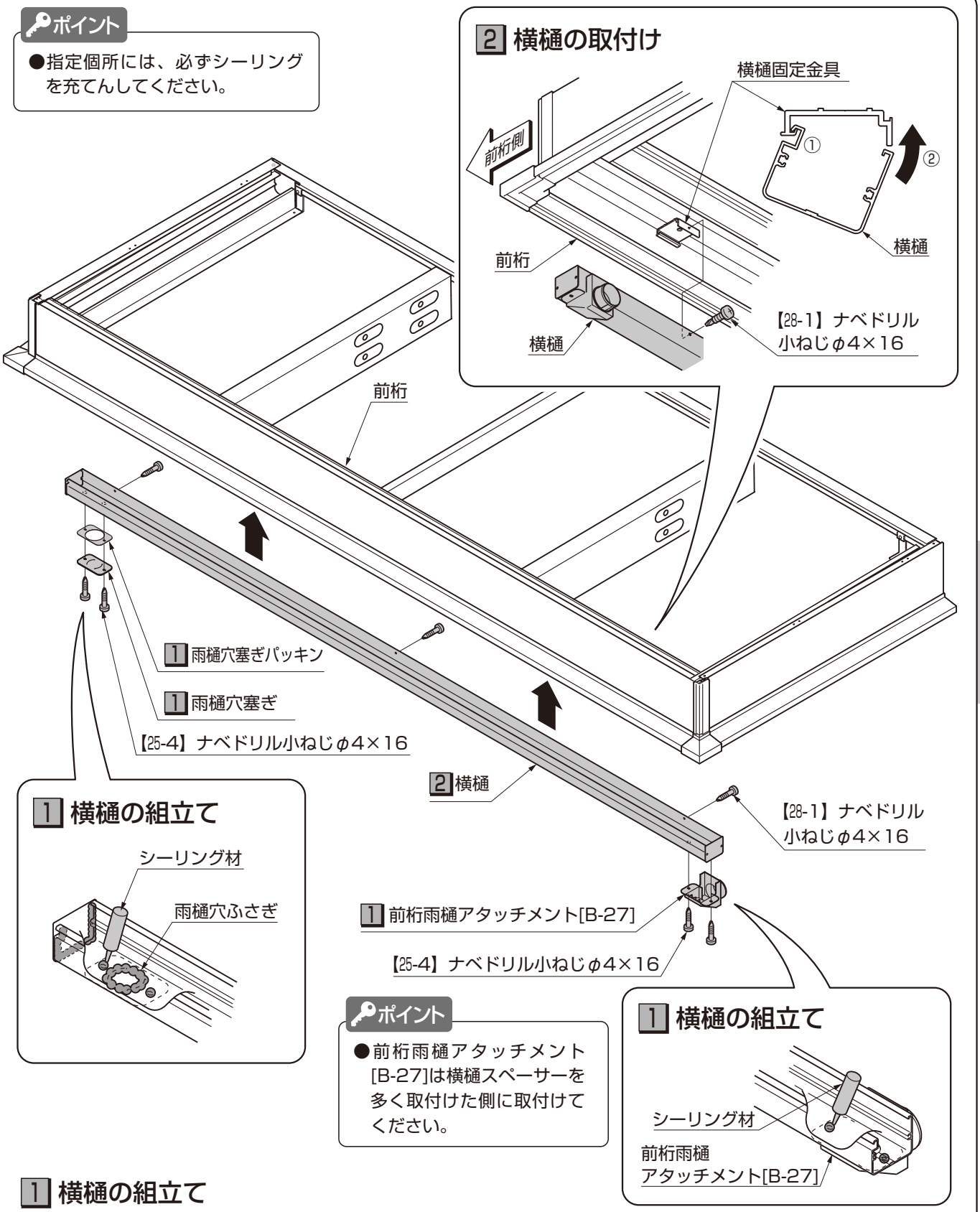
⑤接着剤を妻梁に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。

4 根太の取付け　※図は1.5間を示します。



①根太を前桁と根太掛けカバーに【28-1】で取付けてください。

5 横樋の取付け　※桁隠し仕様の場合の作業です。



1 横樋の組立て

①前桁雨樋アタッチメント[B-27]と雨樋穴塞ぎ、雨樋穴塞ぎパッキンを横樋に【25-4】で取付けてください。
②取付けたねじの剣先にシーリングをしてください。

2 横樋の取付け

①横樋を横樋固定金具に【28-1】で取付けてください。

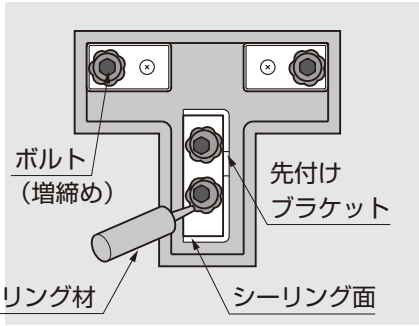
胴差し納まり　連棟の場合

1 根太掛けカバー、梁の取付け

ポイント

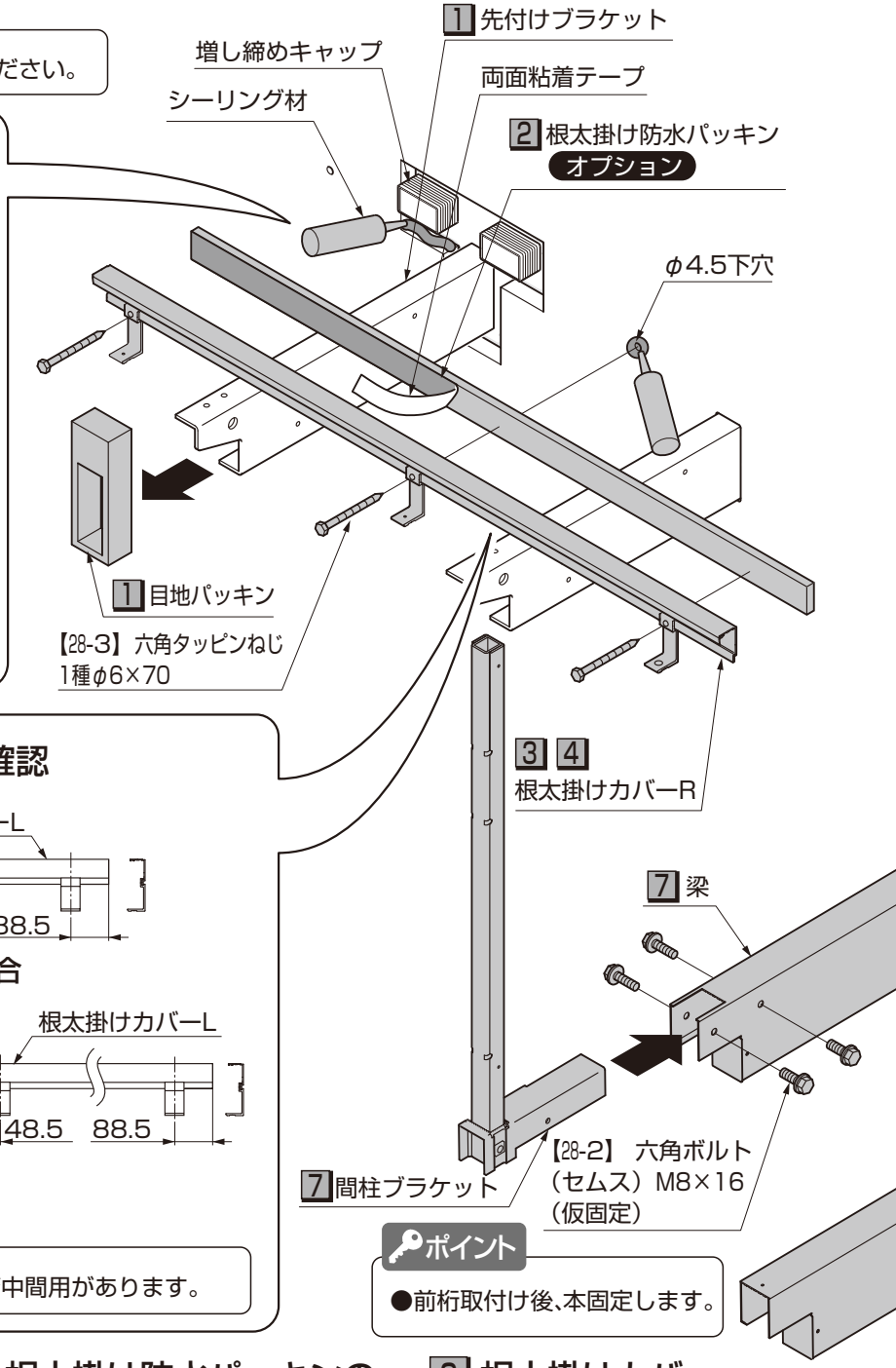
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

1 先付けブラケットの増締め



ポイント

●先付けブラケット先端が0.5度（5mm）上向くように増締めしてください。



3 根太掛けカバー取付け向きの確認

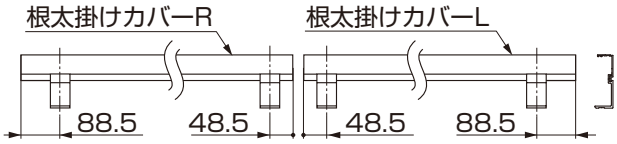


図1-1　2連棟の場合

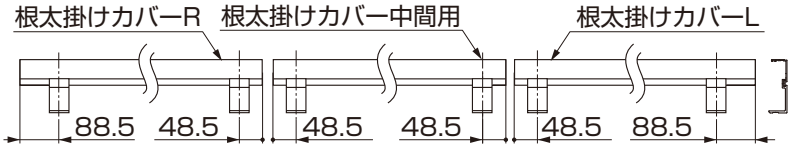


図1-2　3連棟の場合

ポイント

●連棟の場合、根太掛けカバーにはL・Rおよび中間用があります。

ポイント

●前桁取付け後、本固定します。

1 先付けブラケットの増締め

①先付けブラケットのボルト類を増締めしてください。
②目地パッキンを取外してください。
③増締めキャップを切断し、外壁と同面になるようにしてください。
④先付けブラケット・増締めキャップの周囲に外壁と同面になるようにシーリングしてください。

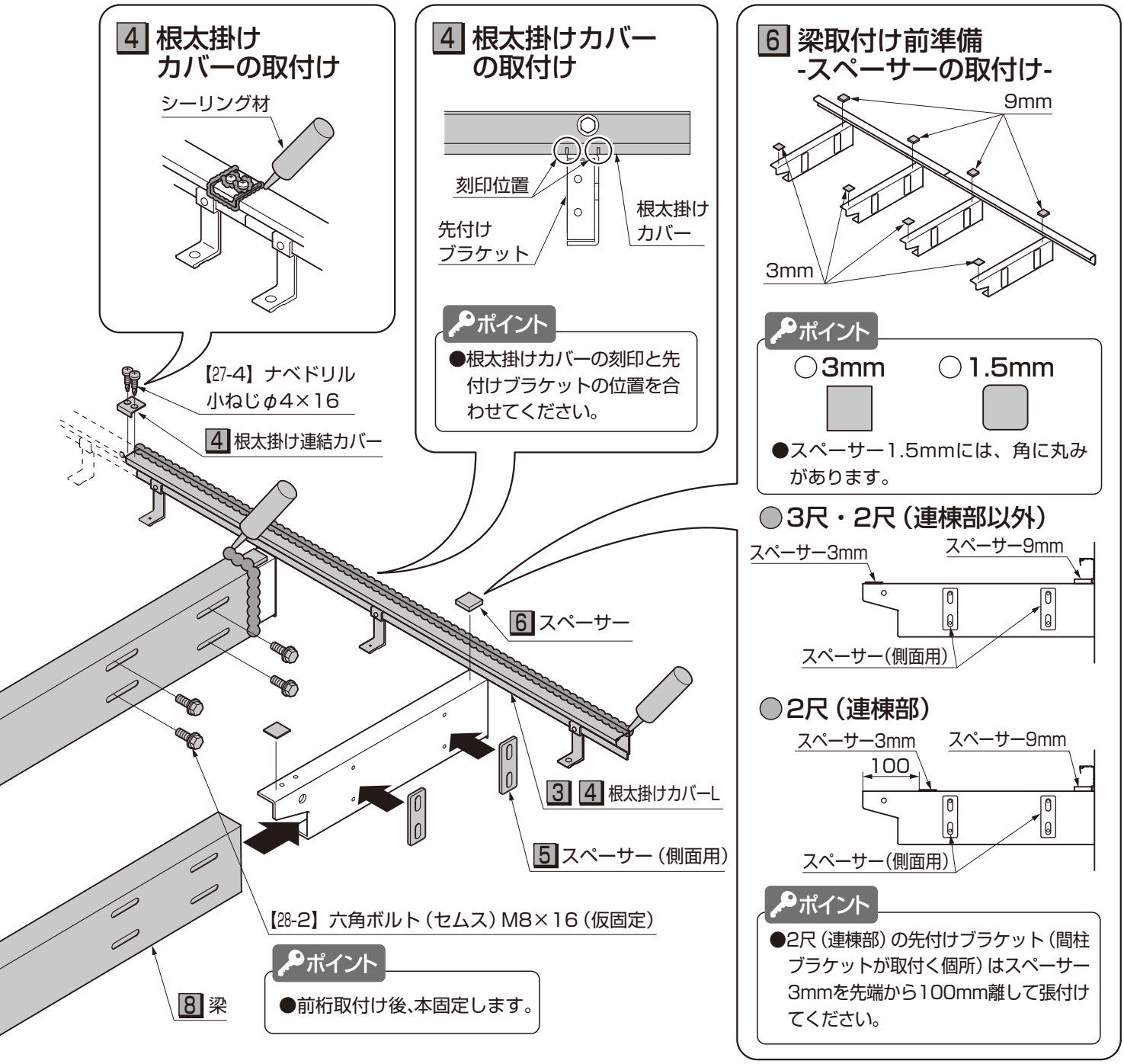
2 根太掛け防水パッキンの取付け オプション

※外壁に凹凸がある場合のみ

①根太掛け防水パッキンを根太掛けカバーの長さに合わせて切断し、張付けてください。

3 根太掛けカバー取付け向きの確認

①根太掛けカバーの取付け向きを確認してください。



4 根太掛けカバーの取付け

①穴加工（φ4.5下穴）を外壁にし、シーリングをしてください。
②根太掛けカバーを躯体に【28-3】で取付けてください。
③根太掛けカバーにシーリングをしてください。
④根太掛け連結カバーを根太掛けカバー連結部に【27-4】で取付けてください。
⑤根太掛け連結カバーのまわりをシーリングしてください。

5 梁取付け前準備 -スペーサー（側面用）の取付け-

①スペーサー（側面用）を先付けブラケットに張付けてください。

6 梁取付け前準備 - スペーサーの取付け-

①スペーサーを先付けブラケットに張付けてください。

7 梁の組立て（連棟部）

①間柱ブラケットを梁に【28-2】で仮固定してください。

8 梁の仮固定

①梁にシーリングし、先付けブラケットに【28-2】で仮固定してください。

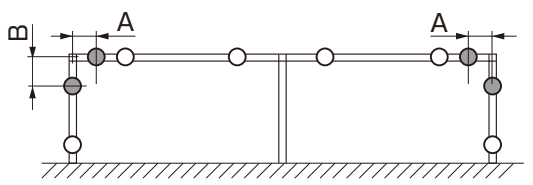
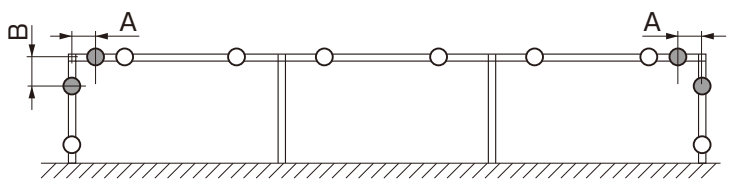
2 面材用の穴加工　※図は内観左側を示します。右側は左右対称となります。

●横格子面材・横格子ルーバーの場合

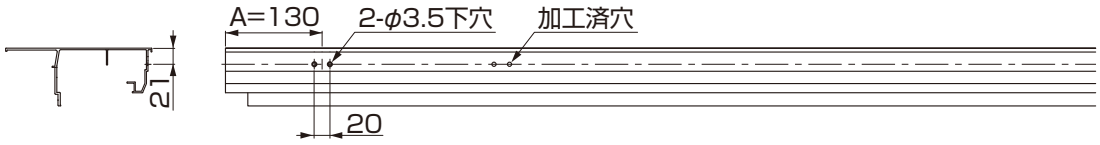
ポイント

●その他の面材の場合は、加工が不要です。

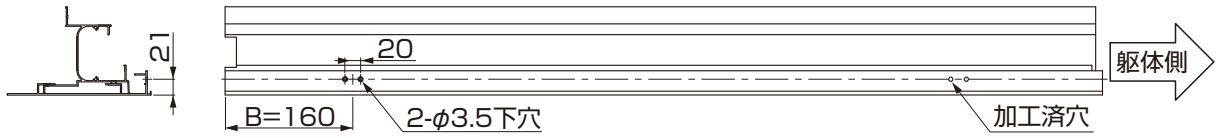
表2-1　穴加工位置（●：現場穴加工位置　○：出荷時加工済穴位置）

2連棟（2.5～4.0間）	3連棟（4.5～6.0間）
	

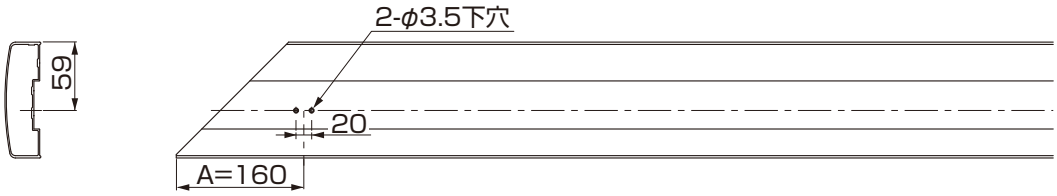
●前桁の穴加工



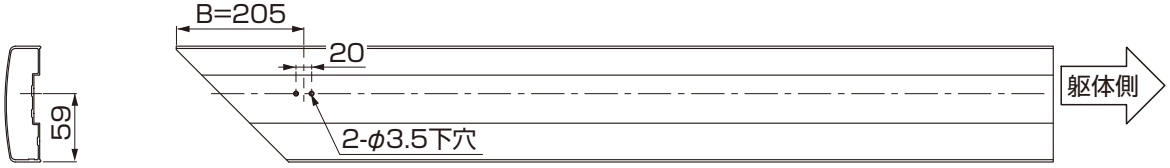
●妻梁の穴加工



●笠木（間口方向）の穴加工



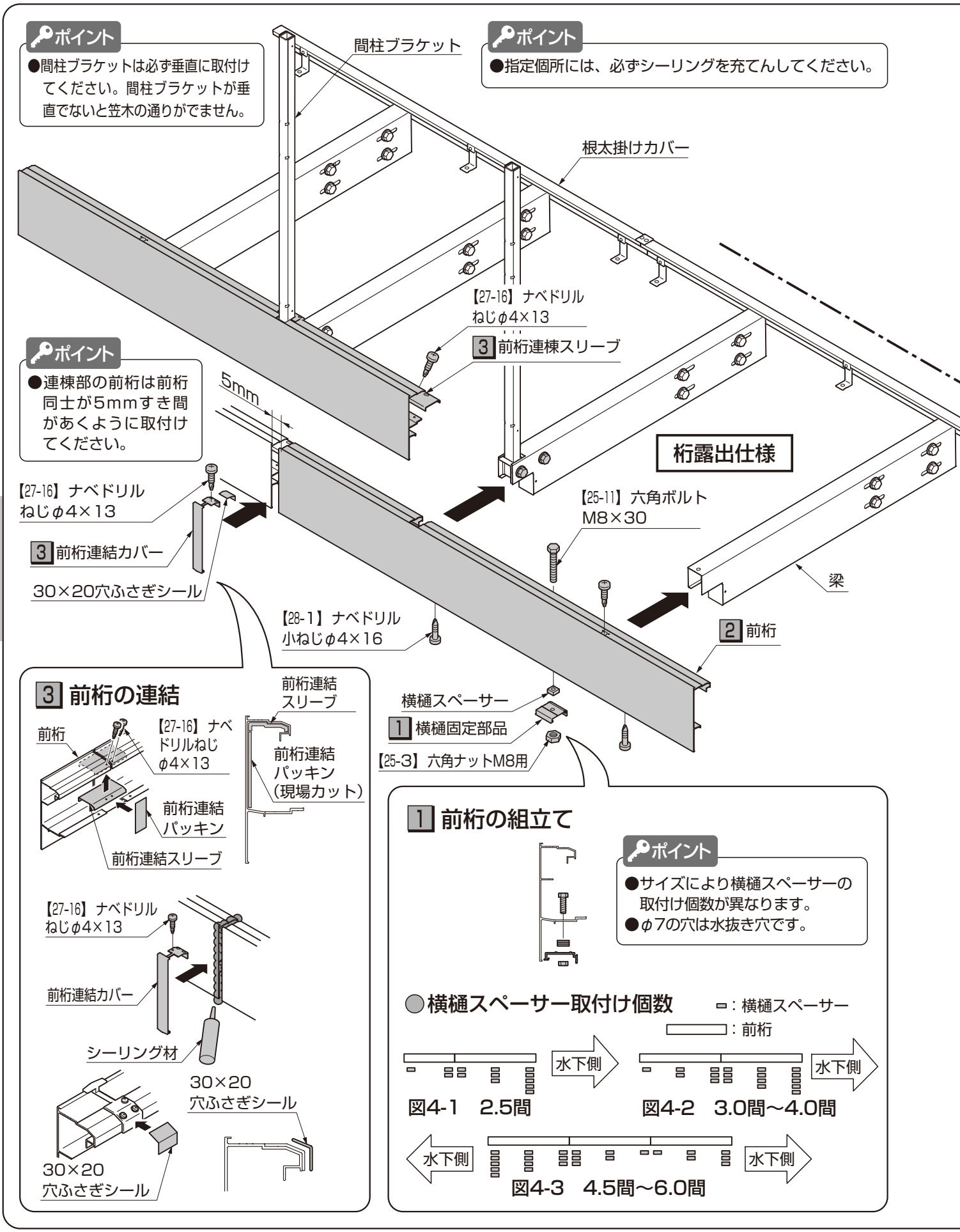
●笠木（出幅方向）の穴加工



①前桁・妻梁・笠木の穴加工位置を確認してください。
②前桁・妻梁・笠木にφ3.2の下穴をあけてください。

メモページ

3 前桁の取付け

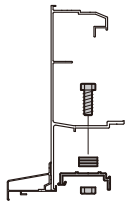

ポイント
●間柱ブラケットは必ず垂直に取付けてください。間柱ブラケットが垂直でないと笠木の通りがでません。
間柱ブラケット
ポイント
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
根太掛けカバー
【27-16】ナベドリル
ねじφ4×13
3 前桁連棟スリーブ
ポイント
●連棟部の前桁は前桁同士が5mmすき間があくように取付けてください。
5mm
桁露出仕様
【27-16】ナベドリル
ねじφ4×13
3 前桁連結カバー
30×20穴ふさぎシール
【25-11】六角ボルト
M8×30
梁
【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16
2 前桁
横樋スペーサー
1 横樋固定部品
【25-3】六角ナットM8用
3 前桁の連結
前桁
【27-16】ナベドリルねじφ4×13
前桁連結スリーブ
前桁連結パッキン（現場カット）
前桁連結パッキン
前桁連結スリーブ
【27-16】ナベドリル
ねじφ4×13
前桁連結カバー
シーリング材
30×20
穴ふさぎシール
30×20
穴ふさぎシール
1 前桁の組立て
ポイント
●サイズにより横樋スペーサーの取付け個数が異なります。
●φ7の穴は水抜き穴です。
横樋スペーサー取付け個数
：横樋スペーサー
：前桁
水下側
水下側
図4-1　2.5間
図4-2　3.0間～4.0間
水下側
水下側
図4-3　4.5間～6.0間

ポイント
●間柱ブラケットは必ず垂直に取付けてください。間柱ブラケットが垂直でないと笠木の通りがでません。

桁隠し仕様

間柱ブラケット
根太掛けカバー
【27-16】ナベドリル ねじφ4×13
3 前桁連結スリーブ
【25-11】六角ボルト M8×30
【28-1】ナベドリル 小ねじφ4×16
梁
5mm
30×20 穴ふさぎシール
【27-16】ナベドリル ねじφ4×13
2 前桁
3 前桁連結カバー
横樋スペーサー
1 横樋固定部品
【25-3】六角ナットM8用

1 前桁の組立て



ポイント
●サイズにより横樋スペーサーの取付け個数が異なります。
●φ7の穴は水抜き穴です。

●横樋スペーサー取付け個数

▭：横樋スペーサー
▭：前桁

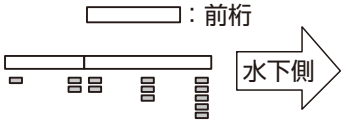
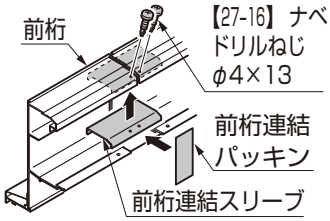


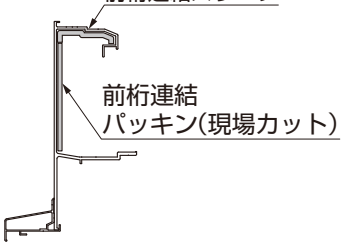
図4-1　2.5間

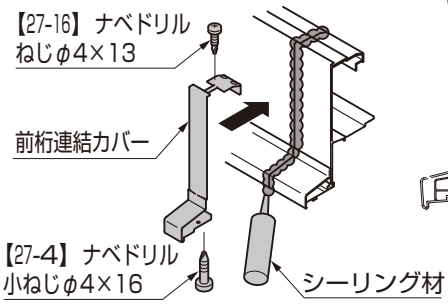
図4-2　3.0間～4.0間

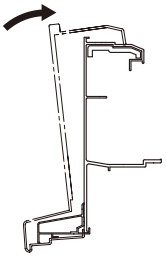
図4-3
水下側 4.5間～6.0間 水下側

3 前桁の連結

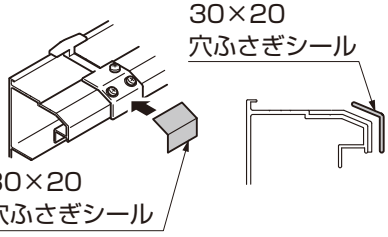




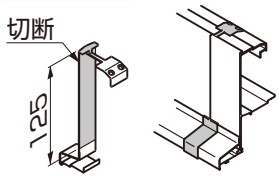




ポイント
●前桁連結カバーは下部からはめてください。



ポイント



サイディング納まりの場合
●連棟部にサイディングパネルがくる場合、前桁連結カバーを加工してください。

1 前桁の組立て

①横樋固定部品と横樋スペーサーを前桁に【25-11】、【25-3】で取付けてください。

2 前桁の取付け

①前桁を梁に【28-1】で取付けてください。

3 前桁の連結

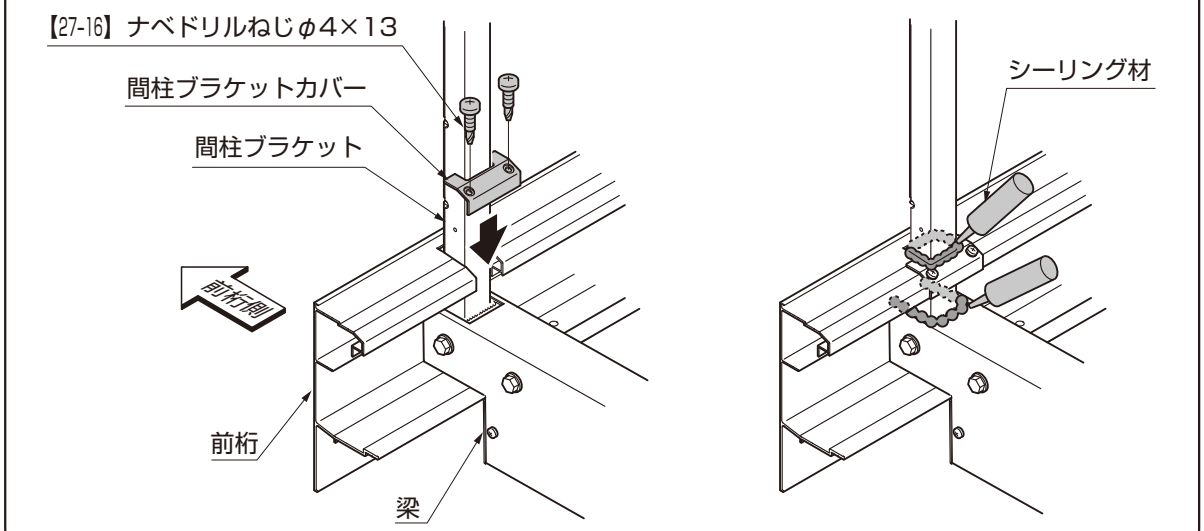
①前桁連棟スリーブと前桁連結カバーを前桁に【27-4】【27-16】で取付けてください。
②前桁連結パッキンを前桁の連結部に張付け、シーリングをしてください。
③30×20穴ふさぎシールを前桁連結カバーに取付けてください。

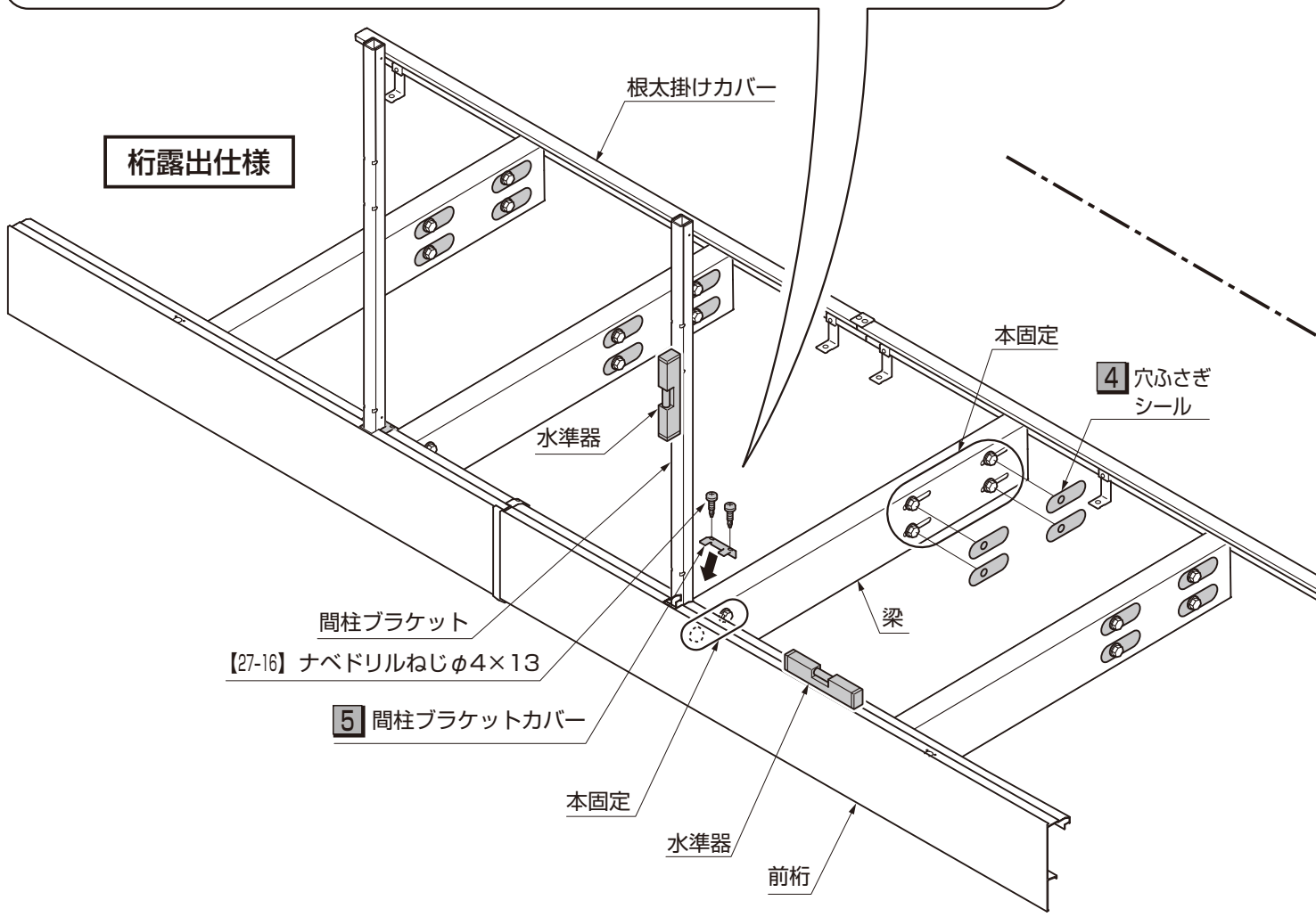
3 前桁の取付け（つづき）

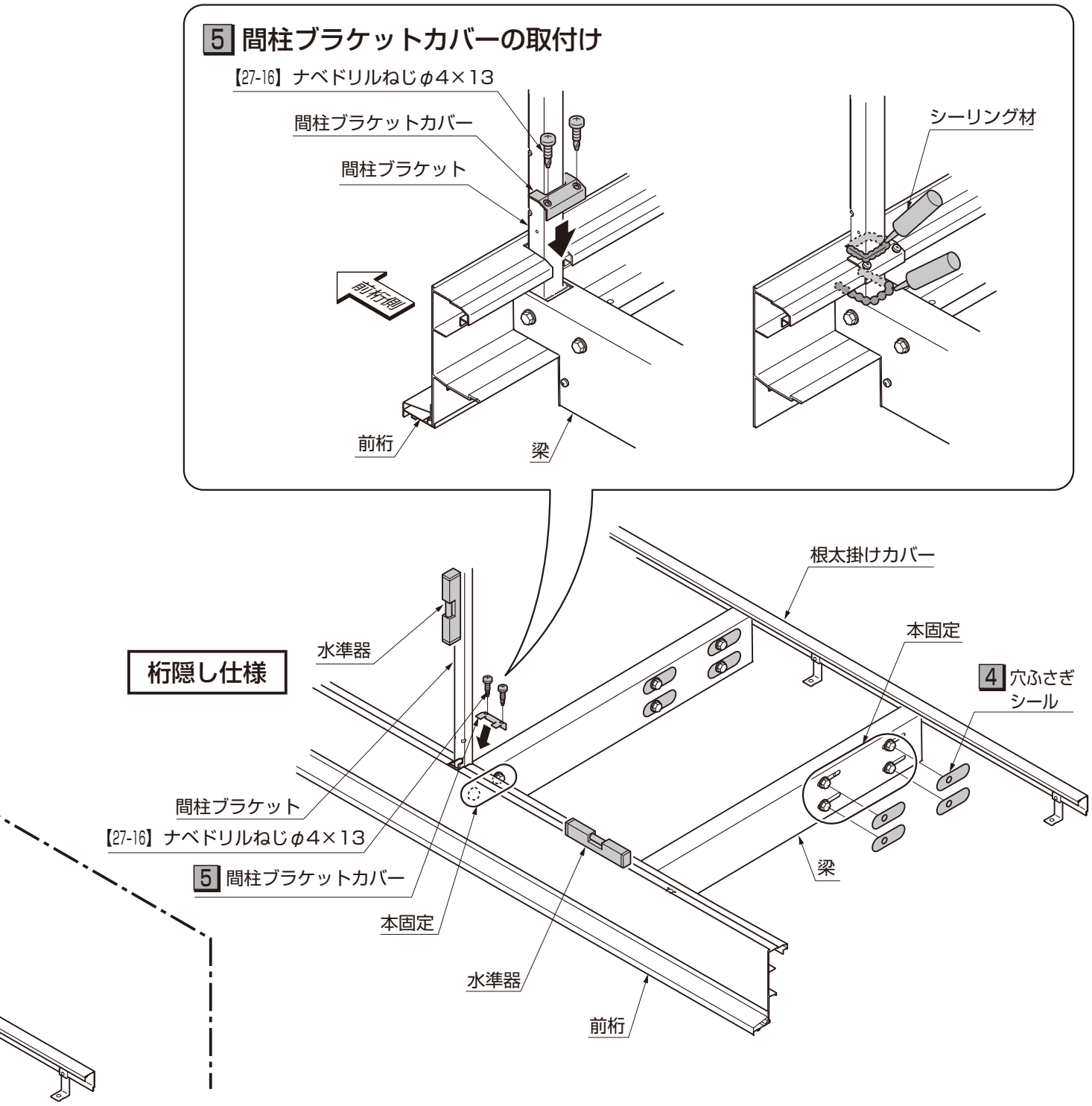
ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

5 間柱ブラケットカバーの取付け







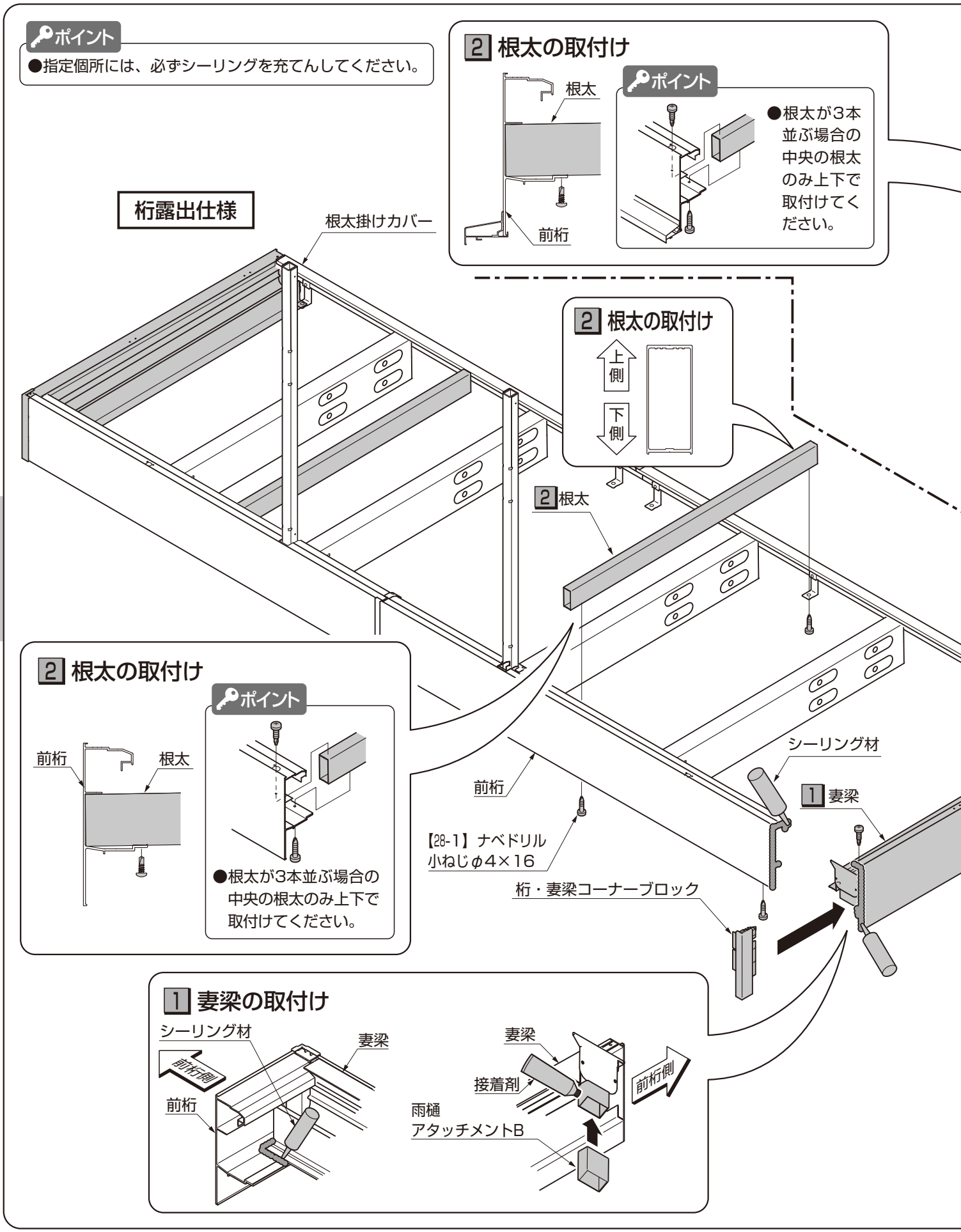
4 梁の固定

①前桁と間柱ブラケットの水平確認を行って梁のボルト類を本固定してください。
②穴ふさぎシールを梁に張付けてください。

5 間柱ブラケットカバーの取付け

①間柱ブラケットカバーを前桁に【27-16】で取付けてください。
②間柱ブラケットとの接合部分にシーリングをしてください。

4 妻梁、根太の取付け


ポイント
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
2 根太の取付け
根太
前桁
ポイント
●根太が3本並ぶ場合の中央の根太のみ上下で取付けてください。
桁露出仕様
根太掛けカバー
2 根太の取付け
上側
下側
2 根太
2 根太の取付け
前桁
根太
ポイント
●根太が3本並ぶ場合の中央の根太のみ上下で取付けてください。
シーリング材
前桁
1 妻梁
【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16
桁・妻梁コーナーブロック
1 妻梁の取付け
シーリング材
妻梁
前桁側
前桁
妻梁
接着剤
前桁側
雨樋
アタッチメントB

桁隠し仕様

2 根太の取付け

上側
下側

1 妻梁の取付け

ポイント

V溝　穴
根太掛けカバー　妻梁
●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。

シーリング材

2 根太

【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16

根太掛けカバー

【25-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

シーリング材

前桁

桁・妻梁
コーナーブロック

1 妻梁

【25-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

1 妻梁の取付け

シーリング材　妻梁
前桁側
前桁
接着剤　妻梁
前桁側
雨樋
アタッチメントB

1 妻梁の取付け

ポイント

V溝　穴
根太掛けカバー　妻梁
●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。

シーリング材

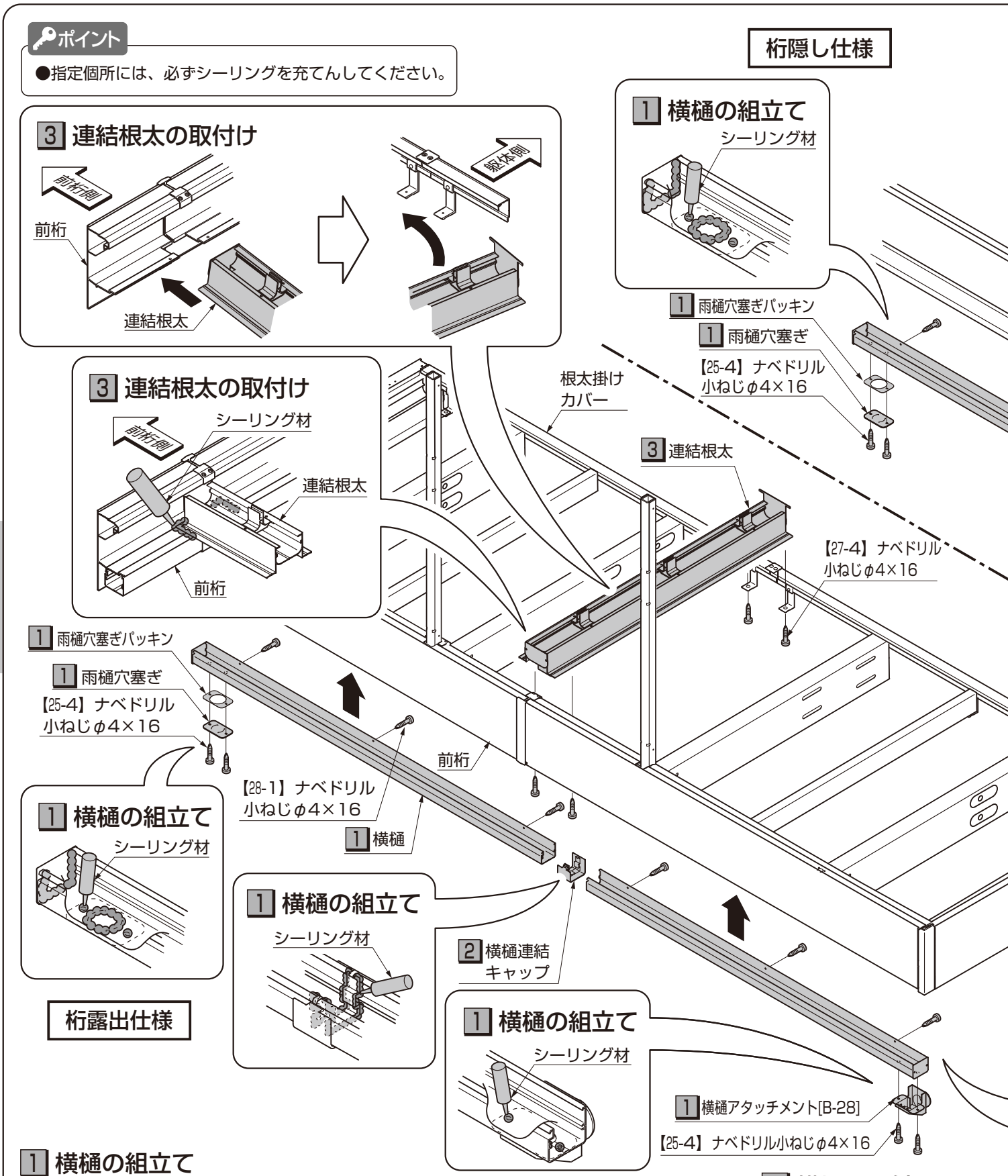
1 妻梁の取付け

①妻梁の前桁側にシーリングをして、桁・妻梁コーナーブロックを妻梁に差込んでください。
②前桁の桁・妻梁コーナーブロック接合部にシーリングをして、妻梁を根太掛けカバーと前桁に【25-4】で取付けてください。
（根太掛けカバー上部に障害物がある場合は根太掛けカバーに下穴をあけてください。）
③躯体接合部にシーリングをしてください。
④接着剤を妻梁に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。

2 根太の取付け

①根太を前桁と根太掛けに【28-1】で取付けてください。

5 横樋、連結根太の取付け

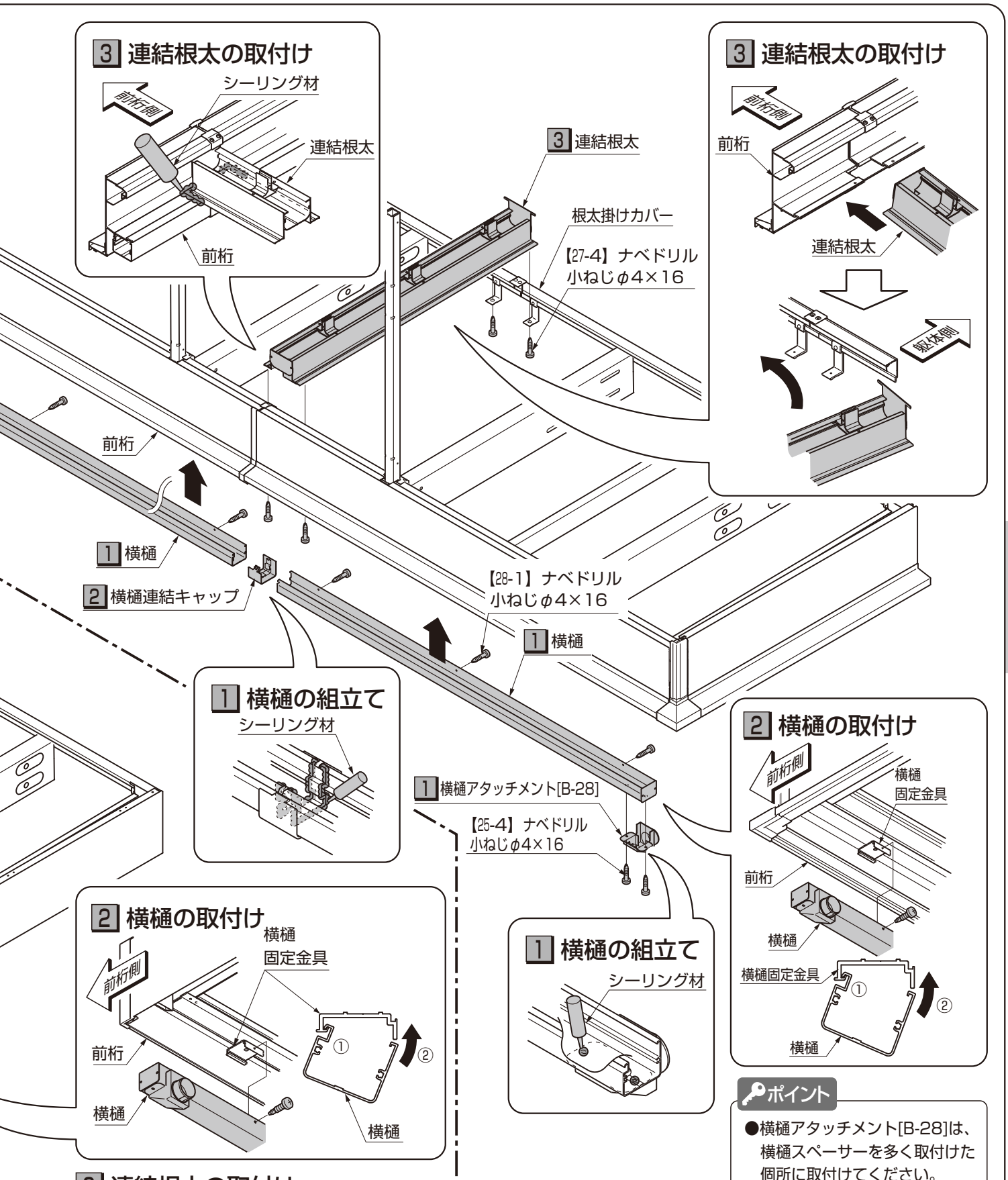


1 横樋の組立て

①横樋アタッチメント[B-28]、雨樋穴塞ぎ、雨樋穴塞ぎパッキンを横樋に【25-4】で取付けてください。
②取付けたねじの剣先にシーリングをしてください。
③横樋を横樋連結キャップで連結させてください。
④横樋連結キャップにシーリングしてください。

2 横樋の取付け

①横樋を横樋固定金具に【28-1】で取付けてください。



ポイント

●横樋アタッチメント[B-28]は、横樋スペーサーを多く取付けた個所に取付けてください。

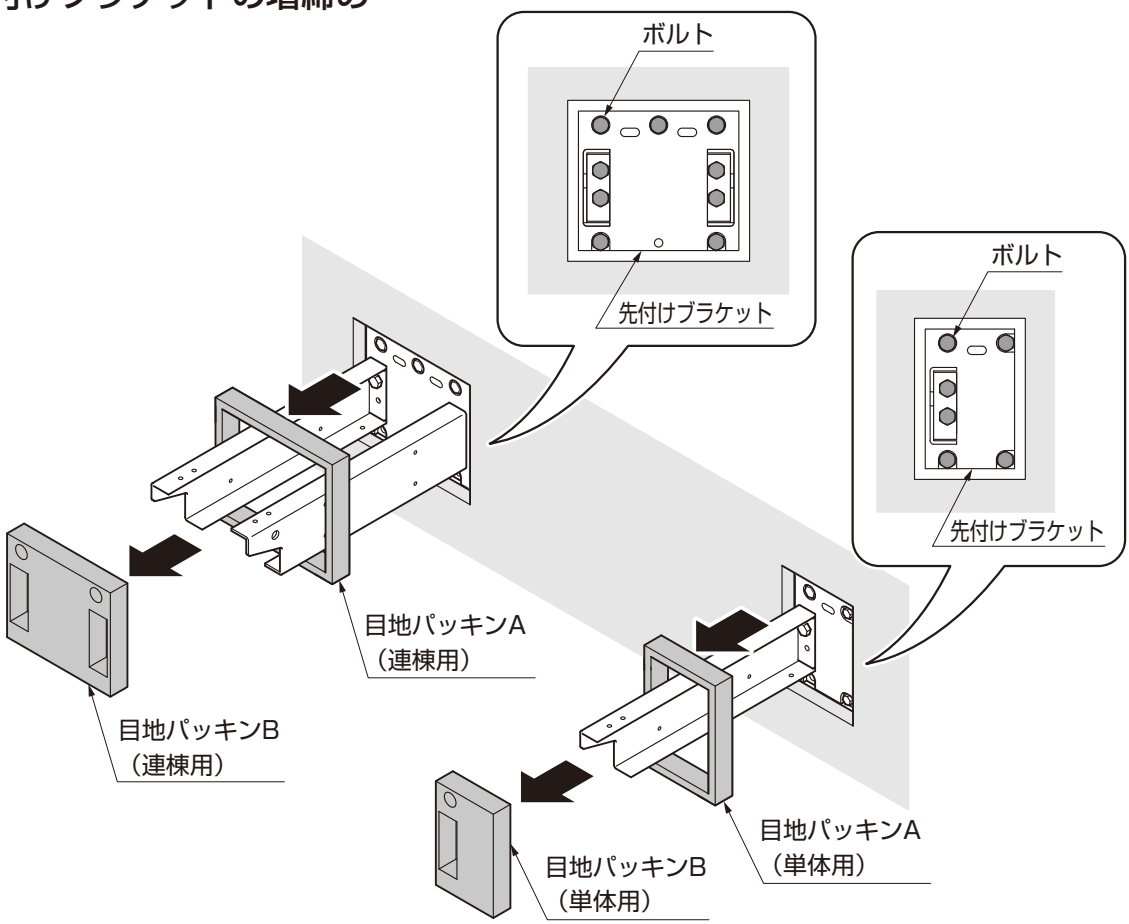
3 連結根太の取付け

①連結根太を下側から前桁に差込んでください。
②連結根太の躯体側を回転させて根太掛けカバーにのせてください。
③連結根太を前桁と根太掛けに【27-4】で取付けてください。
④連結根太の前桁側にシーリングをしてください。

柱芯納まりの場合

1 背板カバーの取付け

1 先付けブラケットの増締め

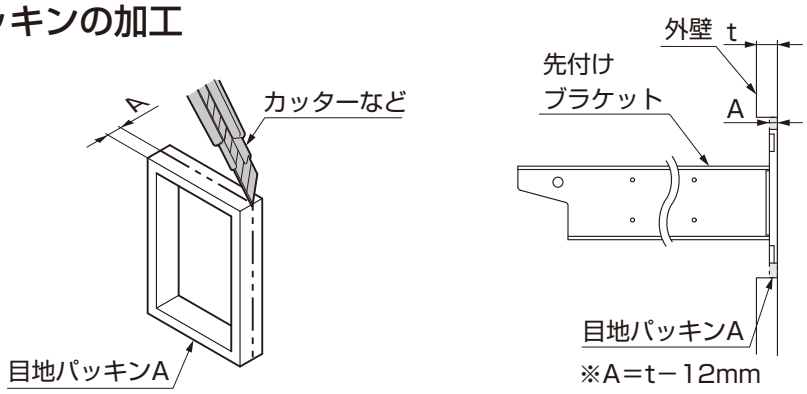


①目地パッキンAと目地パッキンBを取外してください。
②先付けブラケットのボルト類を増締めしてください。

ポイント

●先付けブラケット先端が0.5度（5mm）上向くように増締めしてください。

2 目地パッキンの加工

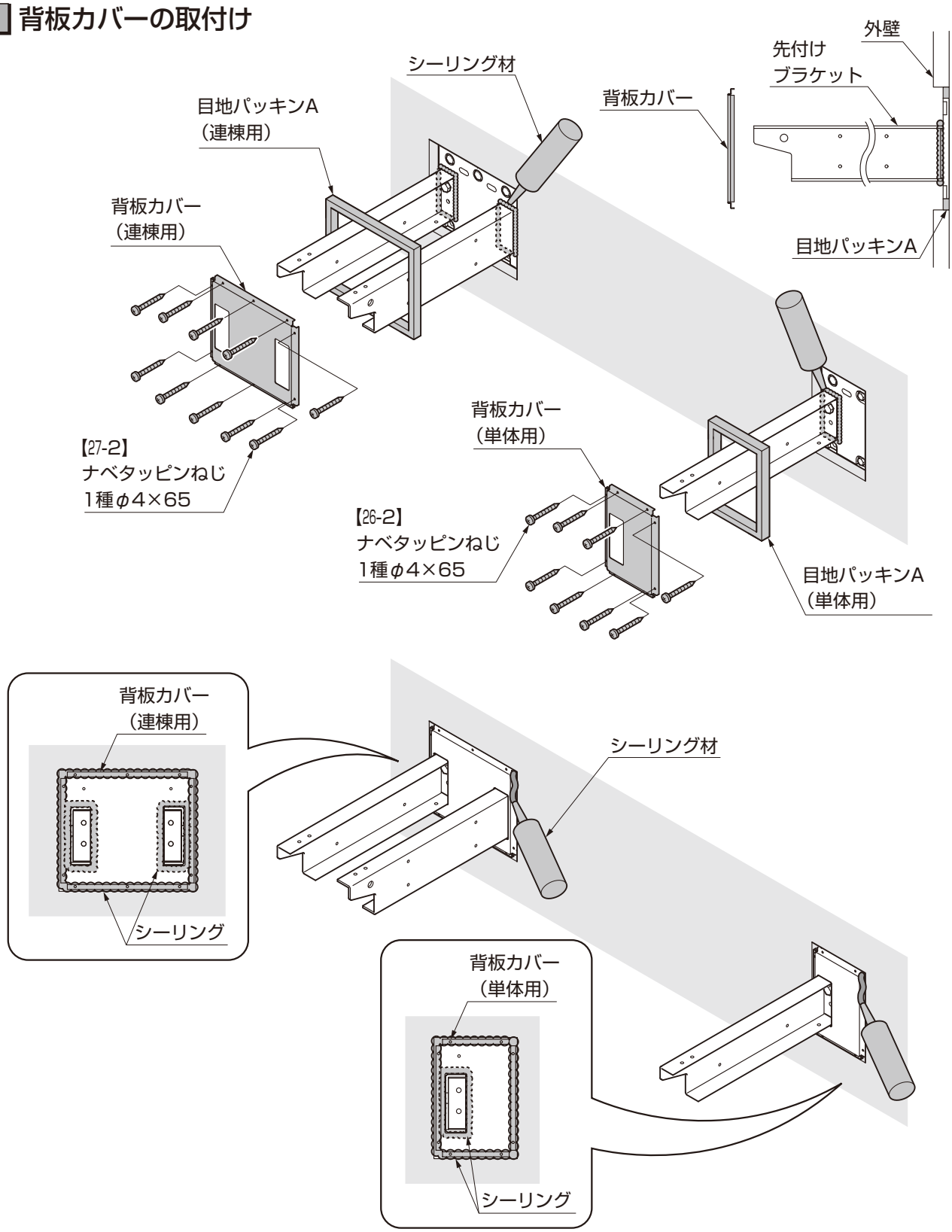


①目地パッキンAを図のように厚みを外壁と同じ位に加工してください。

ポイント

●目地パッキンは、カッターなどで切断してください。

3 背板カバーの取付け



①目地パッキンA、背板カバーを【26-2】【27-2】で取付けてください。
②背板カバーの周囲をシーリングしてください。（外壁と同面になるようにしてください。）

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

2 根太掛けカバー、梁の取付け

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

2 根太掛けカバー取付け向きの確認

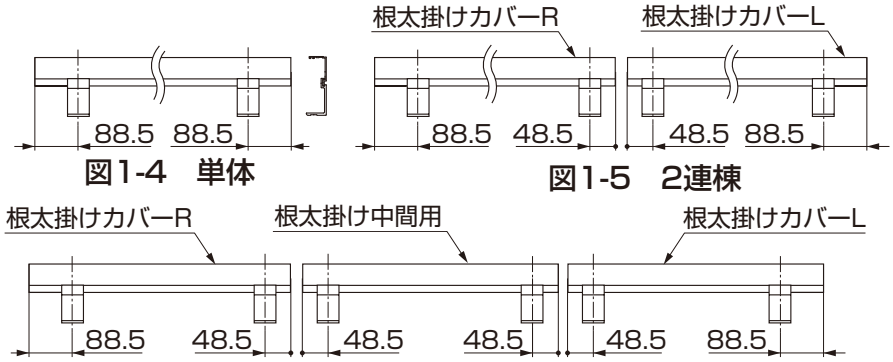
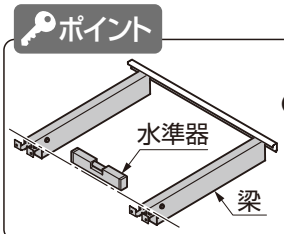


図1-4　単体　　図1-5　2連棟

図1-6　3連棟

ポイント

●連棟の場合、根太掛けカバーにはL・Rおよび中間用があります。



ポイント

●梁の先端の高さが揃うように取付けてください。

ポイント

●2尺の場合は、3ヵ所仮固定してください。

5 スペーサー

先付けブラケット

4 スペーサー（側面用）

6 7 梁

6 前桁仮置き金具

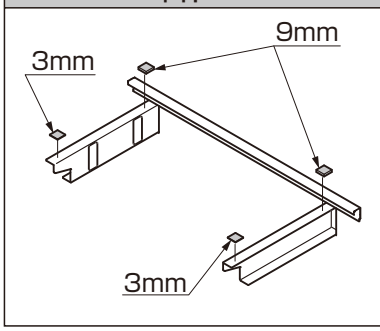
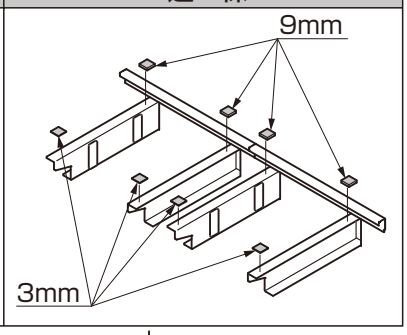
ポイント

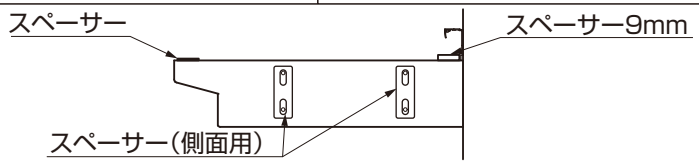
●前桁取付け後、本固定します。

【18-1】六角ボルト（セムス）
M8×16（仮固定）

5 梁取付け前準備 -スペーサーの取付け-

表2-1　スペーサーの使い分け一覧

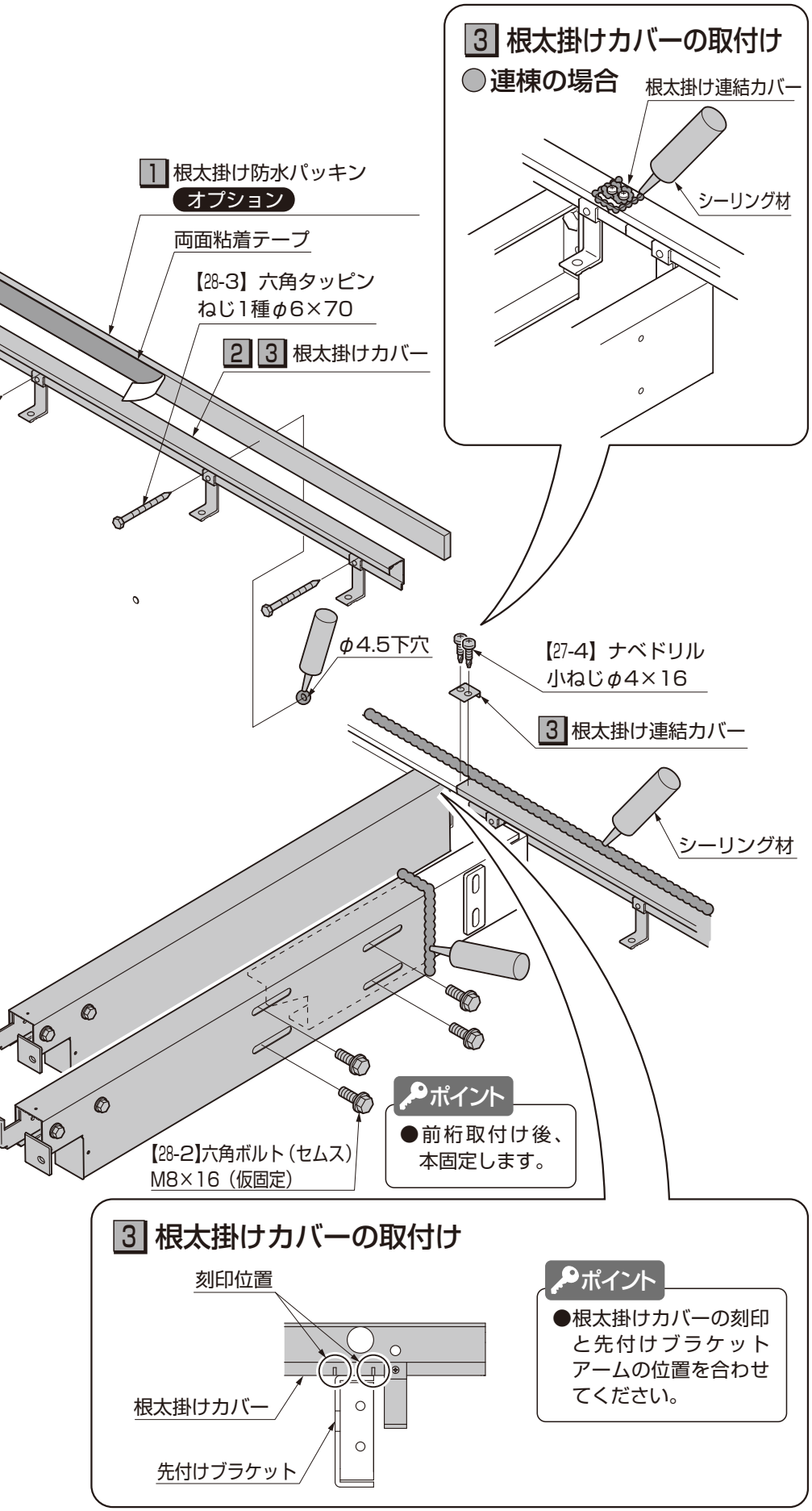
単体	連　棟
	



ポイント

●3mm　●1.5mm

●スペーサー1.5mmには、角に丸みがあります。
●連棟の場合、連棟部の梁の水平が出ていない場合は、現場に合わせて先付けブラケット先端に1.5mmのスペーサーを張付けてください。



1 根太掛け防水パッキンの取付け オプション

※外壁に凹凸がある場合のみ

①根太掛け防水パッキンを根太掛けカバーの長さに合わせて切断し、張付けてください。

2 根太掛けカバー取付け向きの確認

①根太掛けカバーの取付け向きを確認してください。

3 根太掛けカバーの取付け

①穴加工（φ4.5下穴）を外壁にし、シーリングをしてください。
②根太掛けカバーを躯体に【28-3】で取付けてください。
③根太掛けカバーにシーリングをしてください。

●連棟の場合

④根太掛け連結カバーを根太掛けカバー連結部に【27-4】で取付けてください。
⑤根太掛け連結カバーのまわりをシーリングしてください。

4 梁取付け前準備 -スペーサー（側面用）の取付け-

①スペーサー（側面用）を先付けブラケットに張付けてください。

5 梁取付け前準備 -スペーサーの取付け-

①スペーサーを先付けブラケットに張付けてください。

6 梁の組立て

①前桁仮置き金具を梁に【18-1】で仮固定してください。

7 梁の仮固定

①梁にシーリングし、先付けブラケットに【28-2】で仮固定してください。

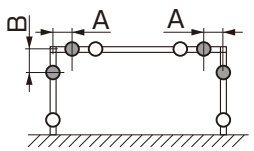
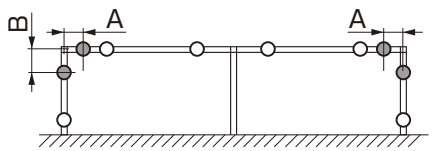
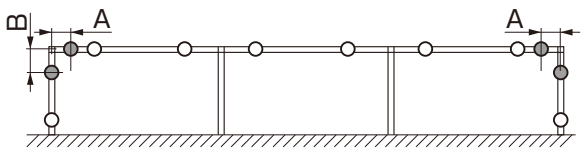
3 面材用の穴加工　※図は内観左側を示します。右側は左右対称となります。

●横格子面材・横格子ルーバーの場合

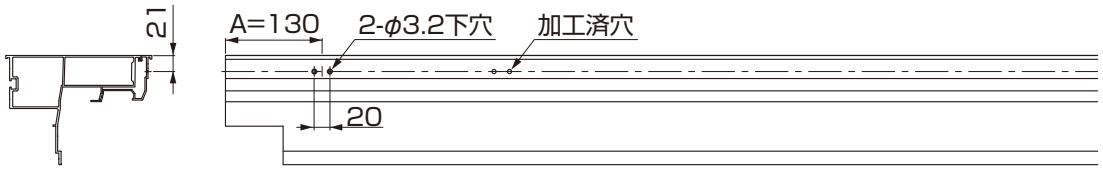
ポイント

●その他の面材の場合は、加工が不要です。

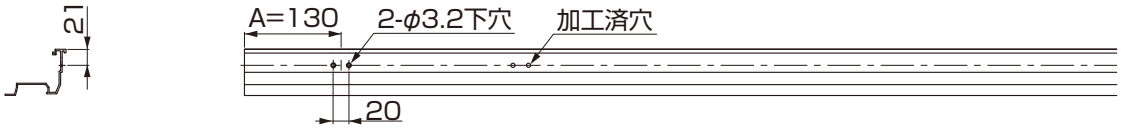
表3-1　穴加工位置（●：現場穴加工位置　○：出荷時加工済穴位置）

単体（1.0～2.5間）	2連棟（2.5～4.0間）	3連棟（4.5～6.0間）
		

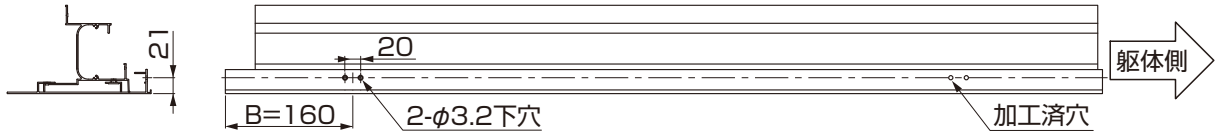
●前桁（単体）の穴加工



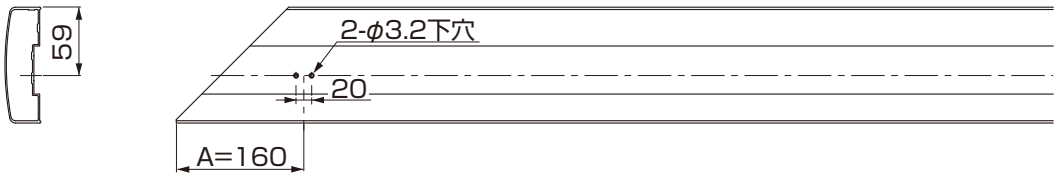
●前桁（連棟）の穴加工



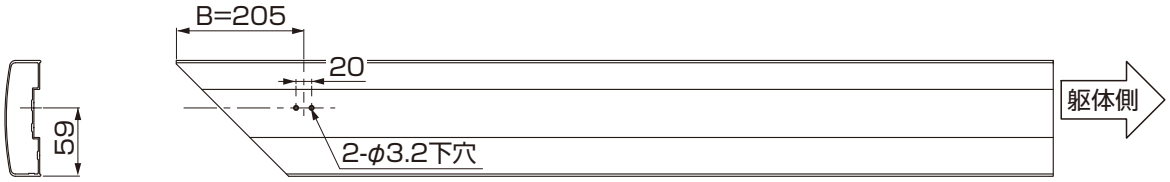
●妻梁の穴加工



●笠木（間口方向）の穴加工



●笠木（出幅方向）の穴加工



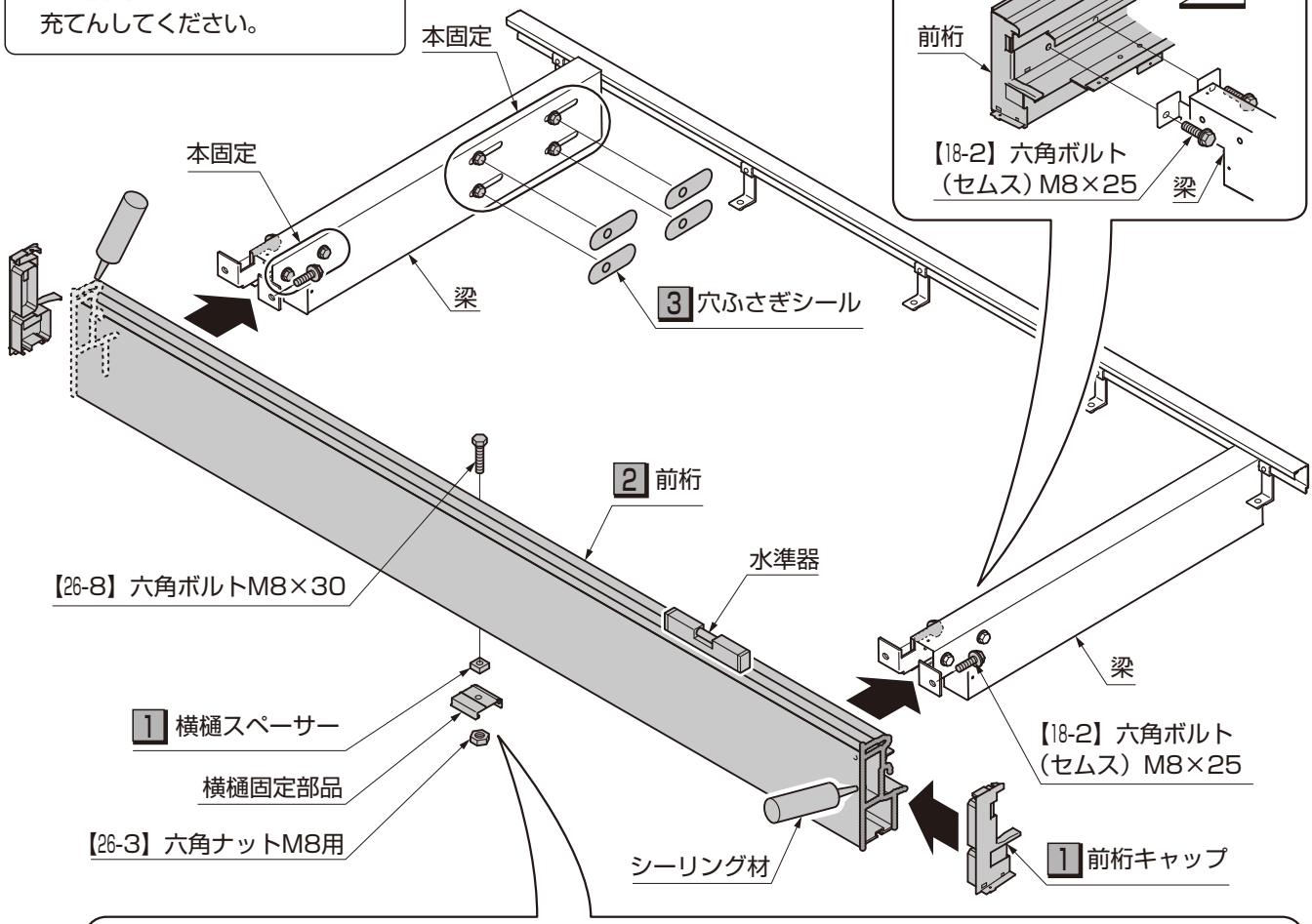
①前桁・妻梁・笠木の穴加工位置を確認してください。
②前桁・妻梁・笠木にφ3.2の下穴をあけてください。

4 前桁の取付け　※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けになります。

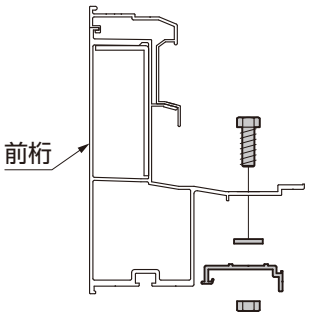
●単体の場合

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。



1 前桁の組立て



● 横樋スペーサー取付け個数

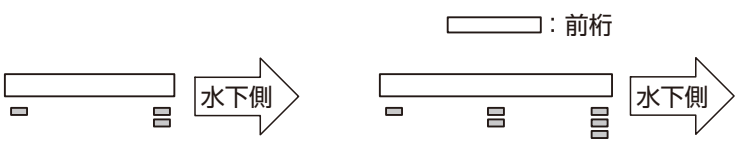


図4-1　1.0間　　図4-2　1.5～2.0間

ポイント

●サイズにより横樋スペーサーの取付け個数が異なります。

1 前桁の組立て

①横樋固定部品と横樋スペーサーを前桁に【26-3】【26-8】で取付けてください。
②前桁にシーリングをしてください。
③前桁キャップを前桁にはめ込んでください。

2 前桁の取付け

①前桁を梁に【18-2】で取付けてください。

3 梁の固定

①前桁の水平確認を水準器などを使って行い、梁のボルト類を本固定してください。
②穴ふさぎシールを梁に張付けてください。

ポイント

●次の取付け手順を確認してください。

本手順完了 → 5 妻梁、根太の取付け（P.70）

4 前桁の取付け（つづき）

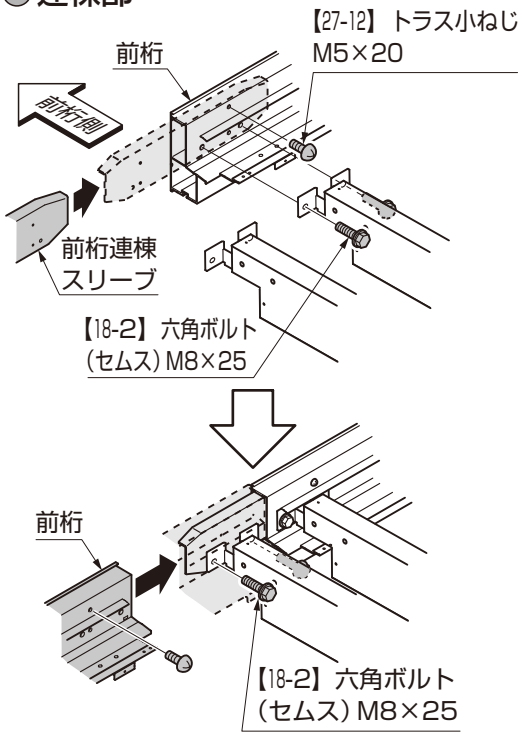
●連棟の場合

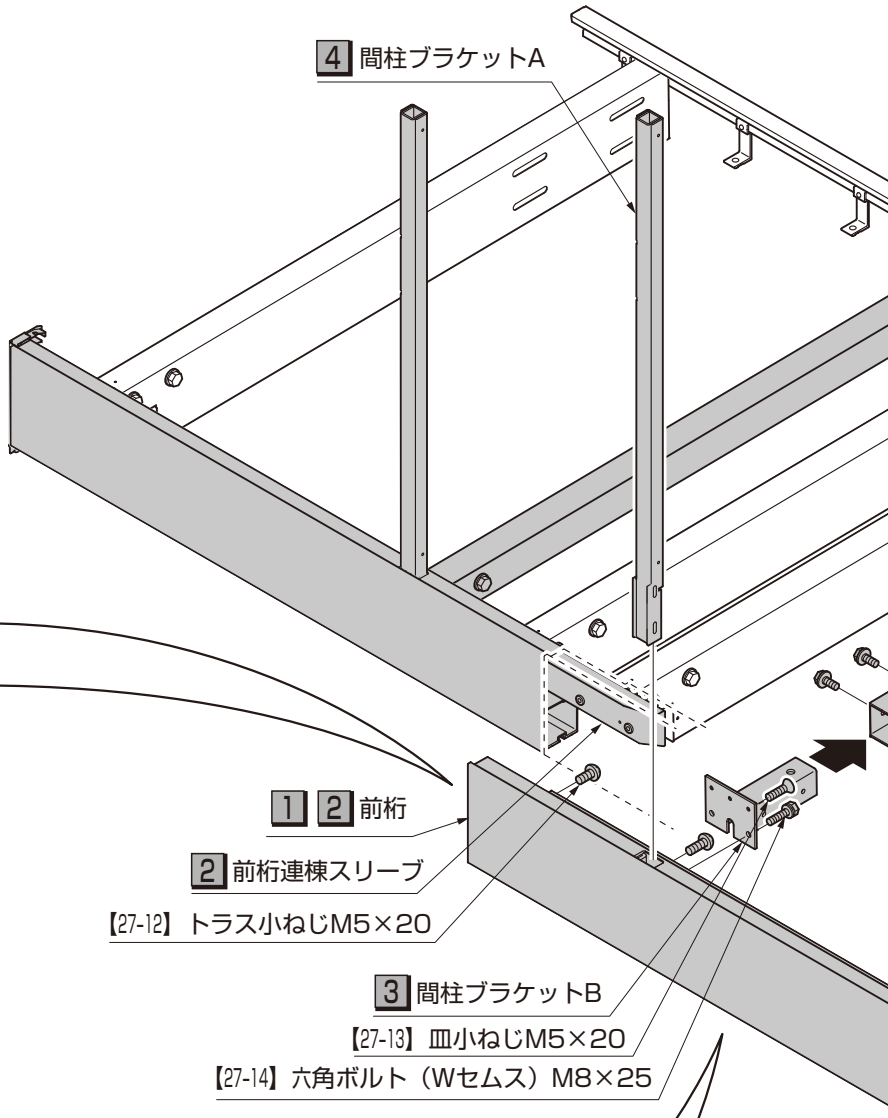
ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

2 前桁の取付け

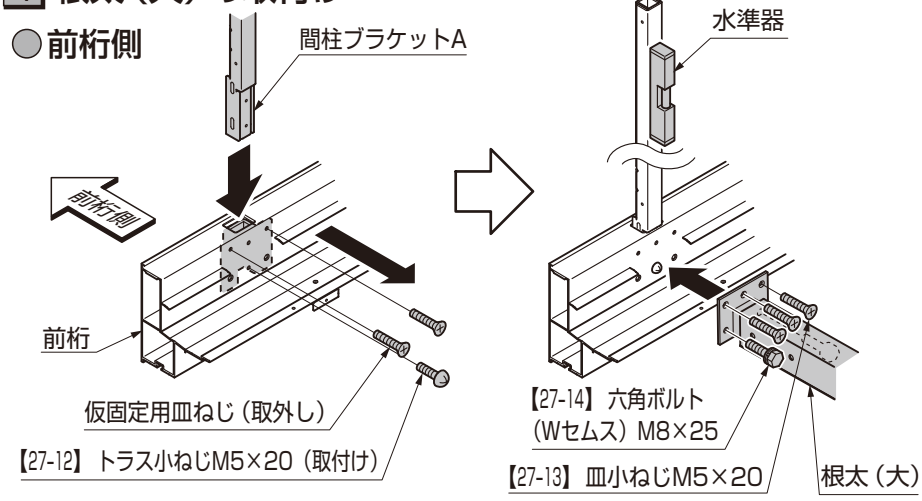
◯連棟部





4 根太（大）の取付け

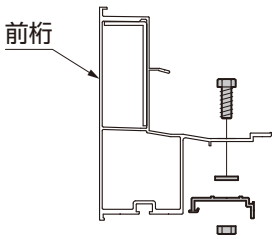
◯前桁側

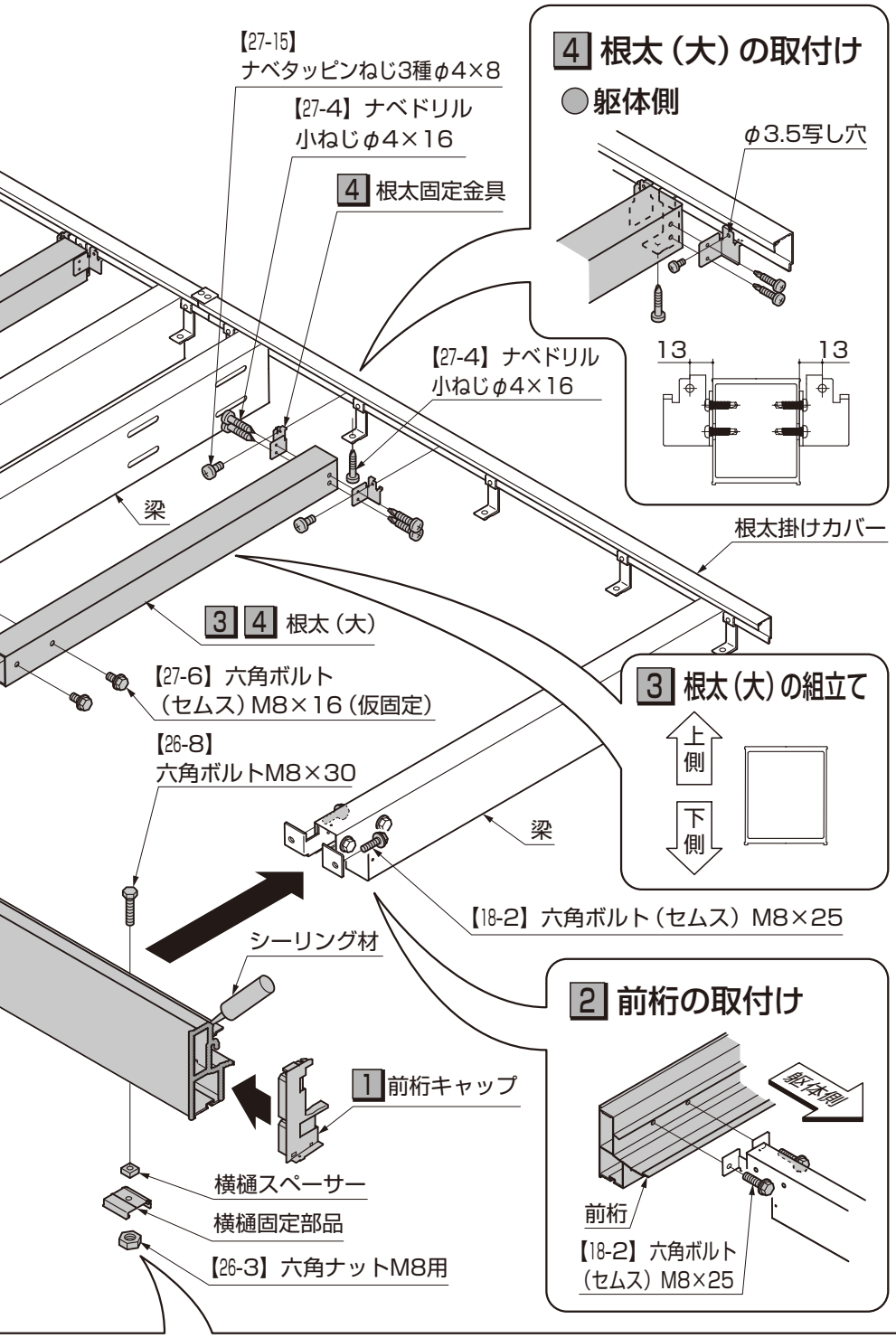


ポイント

●間柱ブラケットAは必ず垂直に取付けてください。
間柱ブラケットAが垂直でないと笠木の通りがでません。

1 前桁の組立て





1 前桁の組立て

①横樋固定部品と横樋スペーサーを前桁に【26-3】と【26-8】で取付けてください。
②前桁にシーリングをしてください。
③前桁キャップを前桁にはめ込んでください。

2 前桁の取付け

①前桁に前桁連棟スリーブをはめ込み【27-12】で取付けてください。
②前桁を梁に【18-2】で取付けてください。
③連結する前桁を前桁連棟スリーブにはめ込み【27-12】で取付けてください。
④連結した前桁を梁に【18-2】で取付けてください。

3 根太（大）の組立て

①間柱ブラケットBを根太（大）に【27-6】で取付けてください。

4 根太（大）の取付け

●前桁側

①前桁に付いている仮固定用の皿ねじを取外してください。
②間柱ブラケットAを前桁に差込み【27-12】で固定してください。
③根太（大）を前桁に【27-13】【27-14】で取付けてください。

●躯体側

①根太（大）を根太掛けカバーに【27-4】で取付けてください。
②根太固定金具を根太掛けカバーに引掛け、根太掛けカバーにφ3.5写し穴をあけてください。
③根太固定金具を根太（大）に【27-4】で取付けてください。
④根太固定金具を根太掛けカバーに【27-15】で取付けてください。

●横樋スペーサー取付け個数

▭：横樋スペーサー
▭：前桁

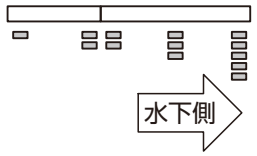


図4-4　2.5間

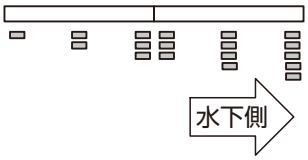


図4-5　3.0間～4.0間

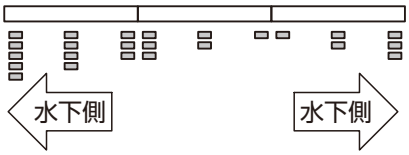


図4-6　4.5間～6.0間

ポイント

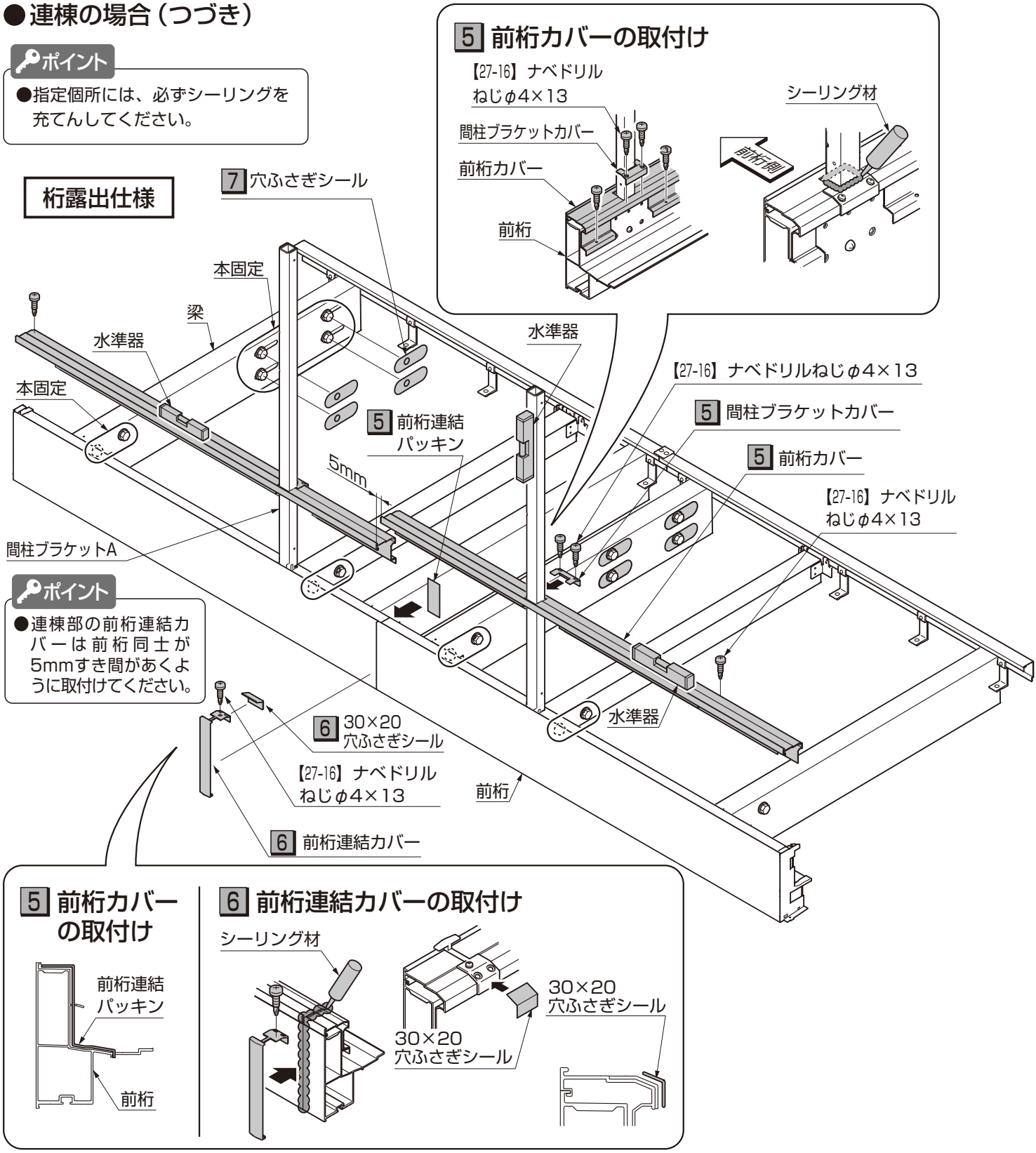
●サイズにより横樋スペーサーの取付個数が異なります。
●φ7の穴は水抜き穴です。

4 前桁の取付け（つづき）

●連棟の場合（つづき）

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。



ポイント

●連棟部の前桁連結カバーは前桁同士が5mmすき間があくように取付けてください。

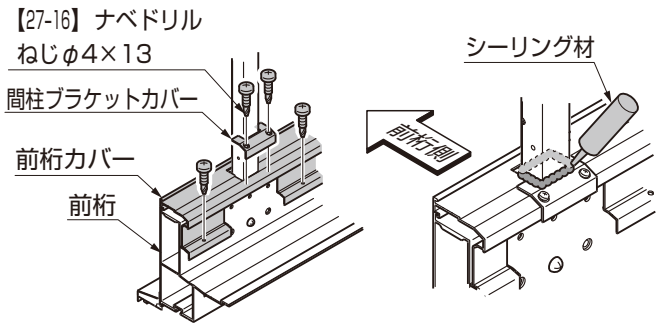
5 前桁カバーの取付け

①前桁連結パッキンを前桁連棟部に取付けてください。
②前桁カバーを間柱ブラケットAに差込み、前桁に【27-16】で取付けてください。
③間柱ブラケットカバーを前桁カバーに【27-16】で取付けてください。
④間柱ブラケットAと間柱ブラケットカバーまわりをシーリングしてください。

6 前桁連結カバーの取付け

①前桁連結部にシーリングをしてください。
②前桁連結カバーを前桁に【27-16】（桁隠し：【27-4】【27-16】）で取付けてください。
③30×20穴ふさぎシールを前桁連結カバーに張付けてください。

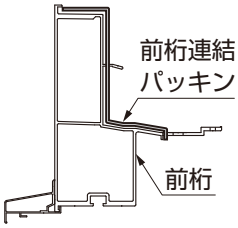
5 前桁カバーの取付け



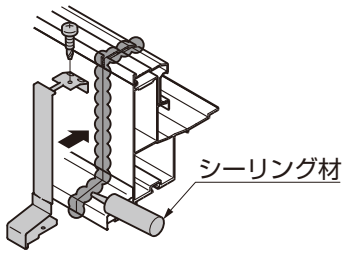
桁隠し仕様

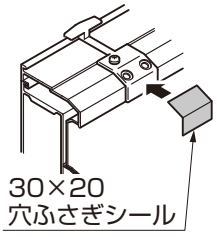
【27-16】ナベドリルねじφ4×13
5 間柱ブラケットカバー
5 前桁連結パッキン
5mm
水準器
6 30×20 穴ふさぎシール
【27-16】ナベドリル ねじφ4×13
6 前桁連結カバー
【27-4】ナベドリル 小ねじφ4×16
本固定
水準器
間柱ブラケットA
前桁
梁
7 穴ふさぎシール
本固定
水準器
【27-16】ナベドリル ねじφ4×13
5 前桁カバー

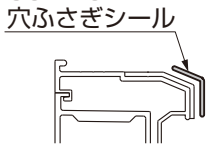
5 前桁カバーの取付け



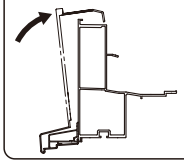
6 前桁連結カバーの取付け







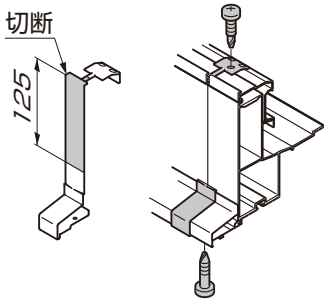
ポイント



●前桁連結カバーは下部からはめてください。

ポイント

●サイディングパネルの場合

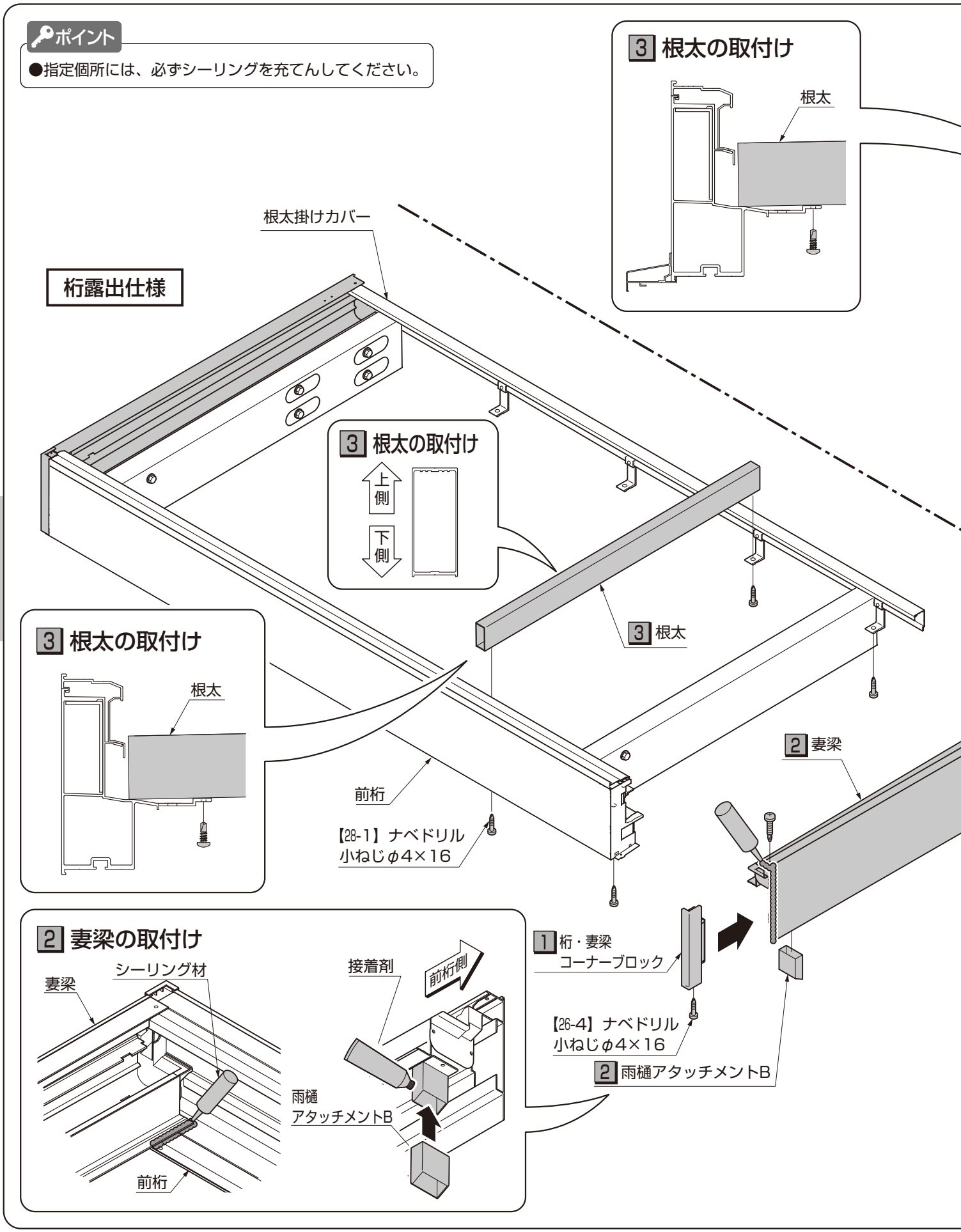


●サイディングパネルを取付ける場合は前桁連結カバーを加工してください。

7 梁の固定

①前桁と間柱ブラケットAの水平確認を水準器などを使って行い、梁のボルト類を本固定してください。
②穴ふさぎシールを梁に張付けてください。

5 妻梁、根太の取付け


ポイント
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
3 根太の取付け
根太
根太掛けカバー
桁露出仕様
3 根太の取付け
上側
下側
3 根太
3 根太の取付け
根太
2 妻梁
前桁
【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16
2 妻梁の取付け
妻梁
シーリング材
接着剤
前桁側
雨樋
アタッチメントB
前桁
1 桁・妻梁
コーナーブロック
【26-4】ナベドリル
小ねじφ4×16
2 雨樋アタッチメントB

桁隠し仕様

3 根太

【28-1】ナベドリル
小ねじφ4×16

根太掛けカバー

前桁

3 根太の取付け

上側

下側

2 妻梁

1 桁・妻梁
コーナーブロック

【26-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

【26-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

2 雨樋アタッチ
メントB

【26-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

2 妻梁の取付け

ポイント

V溝　穴

根太掛けカバー　妻梁

●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。

シーリング材

2 妻梁の取付け

妻梁　シーリング材　接着剤　前桁側

前桁　雨樋アタッチメントB

2 妻梁の取付け

ポイント

V溝　穴

根太掛け
カバー　妻梁

●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。

シーリング材

1 桁・妻梁コーナーブロックの取付け

①妻梁にシーリングをしてください。
②桁・妻梁コーナーブロックを妻梁に差込んでください。

2 妻梁の取付け

①妻梁を根太掛けカバーと前桁に【26-4】で取付けてください。
（根太掛けカバー上部に障害物がある場合は、根太掛けカバーに下穴をあけてください）
②妻梁の前桁側にシーリングをしてください。
③躯体接合部にシーリングをしてください。
④接着剤を妻梁に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。

3 根太の取付け

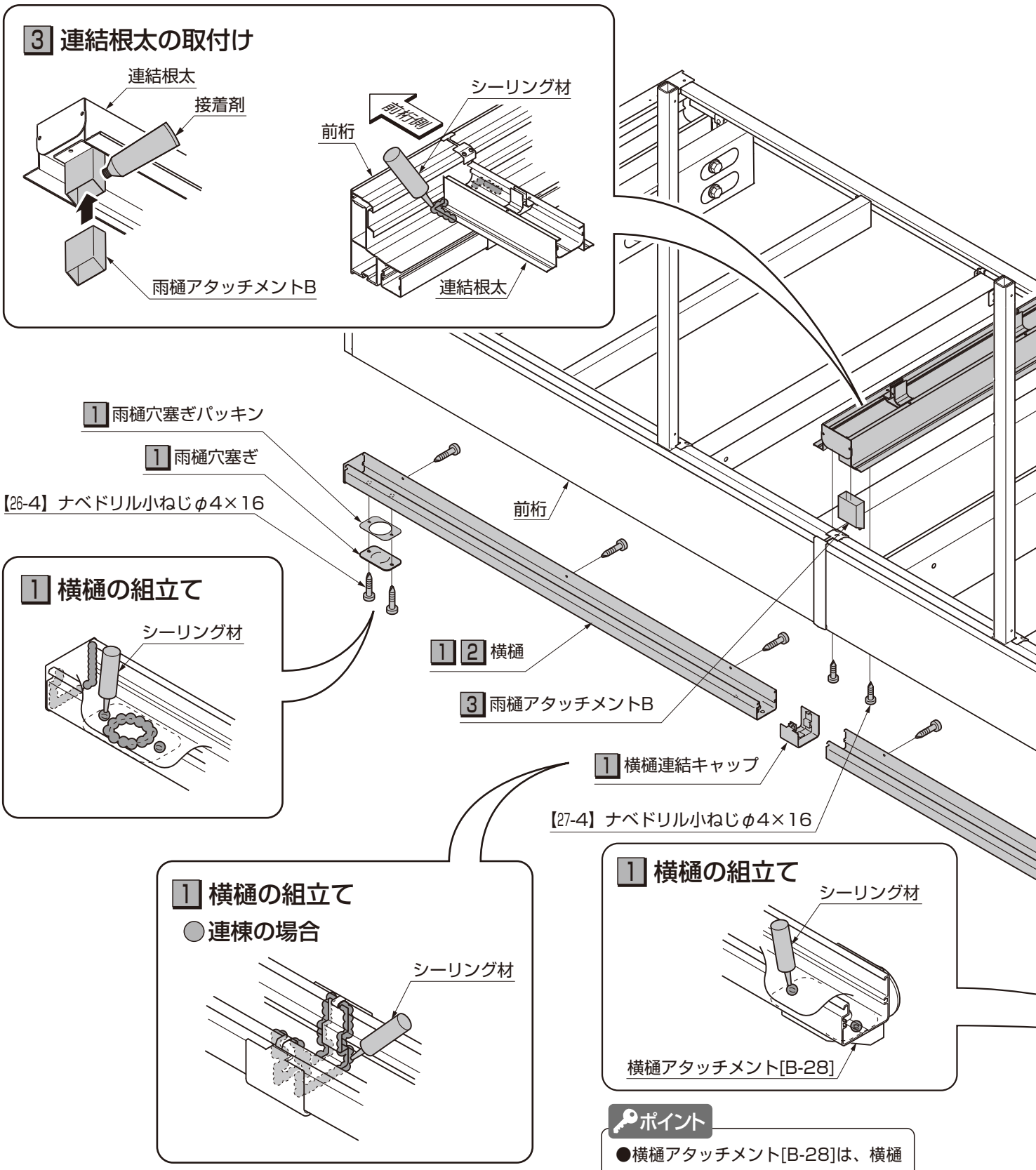
①根太を根太掛けカバー、前桁に【28-1】で取付けてください。
②根太を前桁に【28-1】で取付けてください。

6 横樋、連結根太の取付け

※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けになります。

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

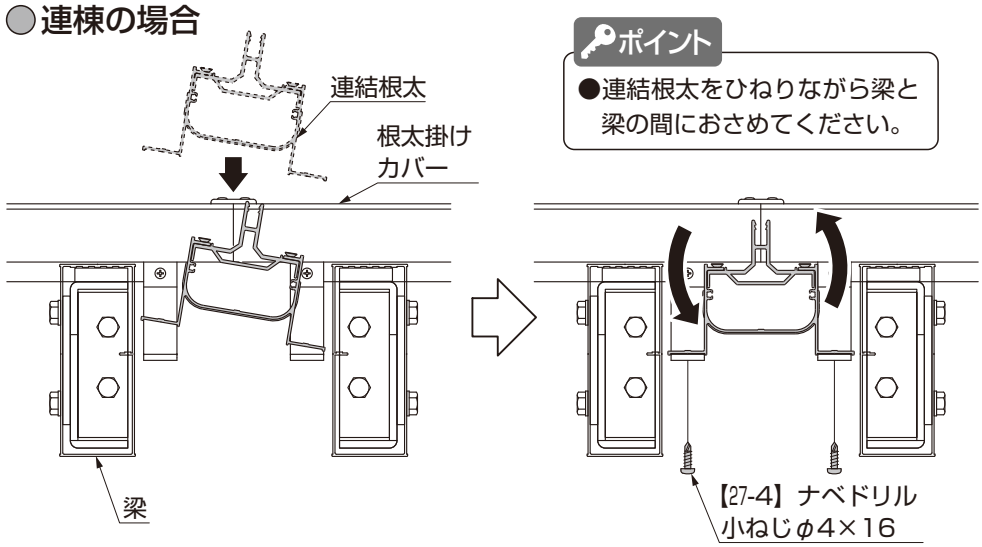


ポイント

●横樋アタッチメント[B-28]は、横樋スペーサーを多く取付けた個所に取付けてください。

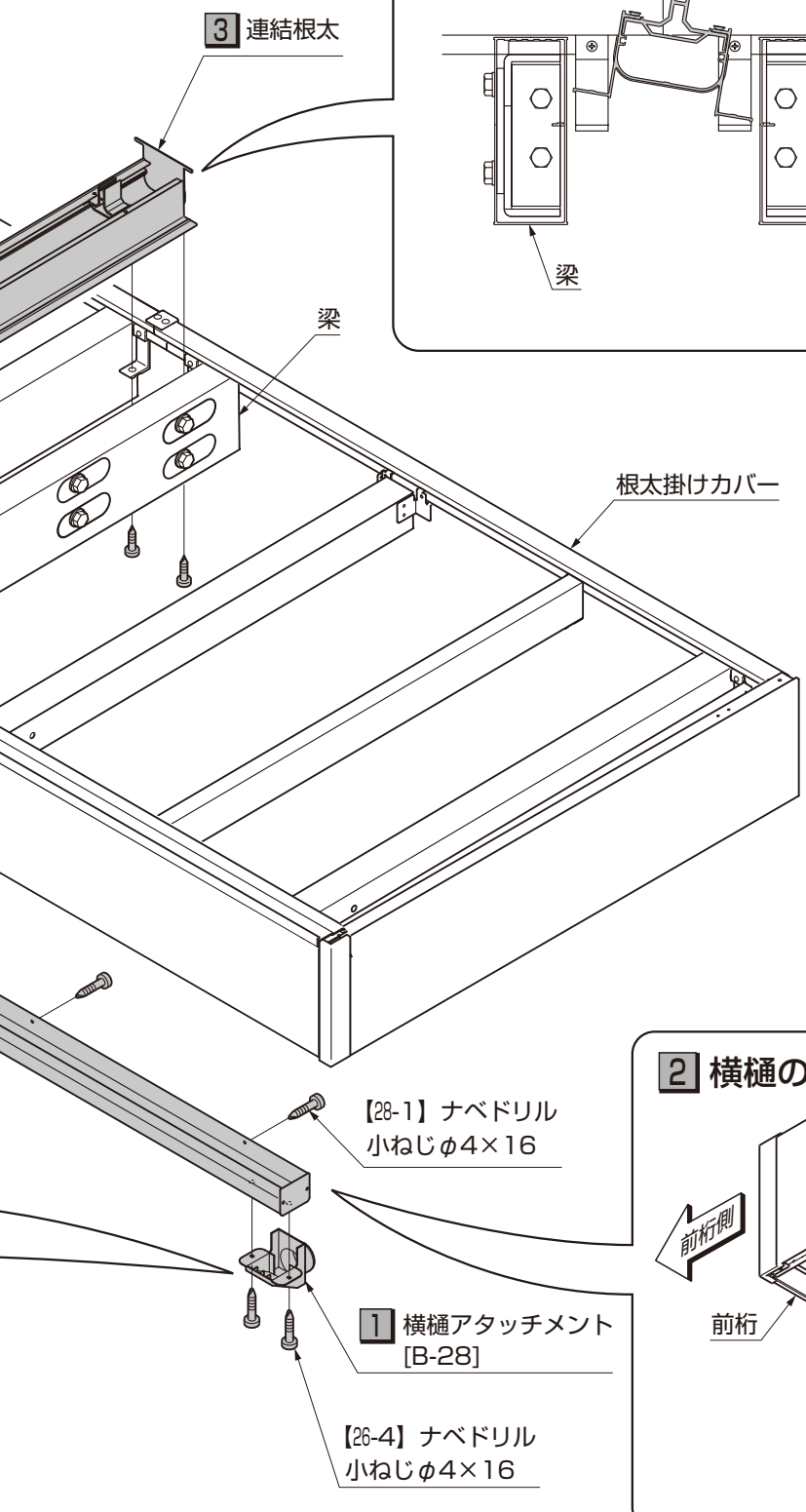
3 連結根太の取付け

●連棟の場合



ポイント

●連結根太をひねりながら梁と梁の間におさめてください。



1 横樋の組立て

①横樋アタッチメント[B-28]、雨樋穴塞ぎ、雨樋穴塞ぎパッキンを横樋に【26-4】で取付けてください。
②取付けたねじの剣先にシーリングをしてください。

●連棟の場合

③横樋を横樋連結キャップで連結させてください。
④横樋連結キャップにシーリングをしてください。

2 横樋の取付け

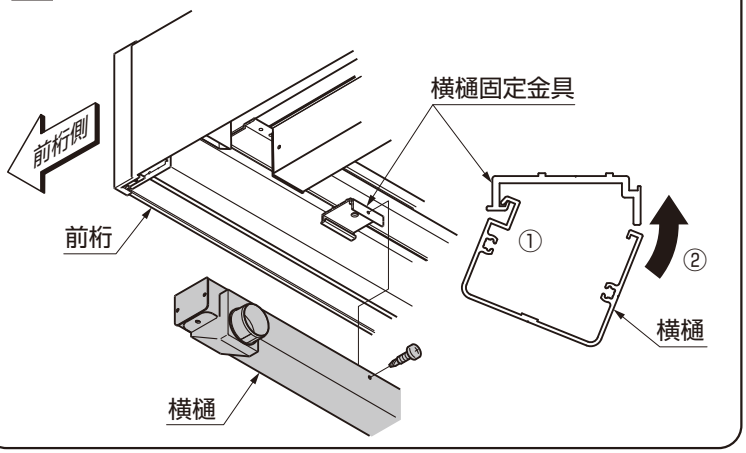
①横樋を横樋固定金具に【28-1】で取付けてください。

3 連結根太の取付け

●連棟の場合

①接着剤を連結根太に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。
②連結根太を前桁と根太掛けカバーに【27-4】で取付けてください。
③連結根太の前桁側にシーリングをしてください。

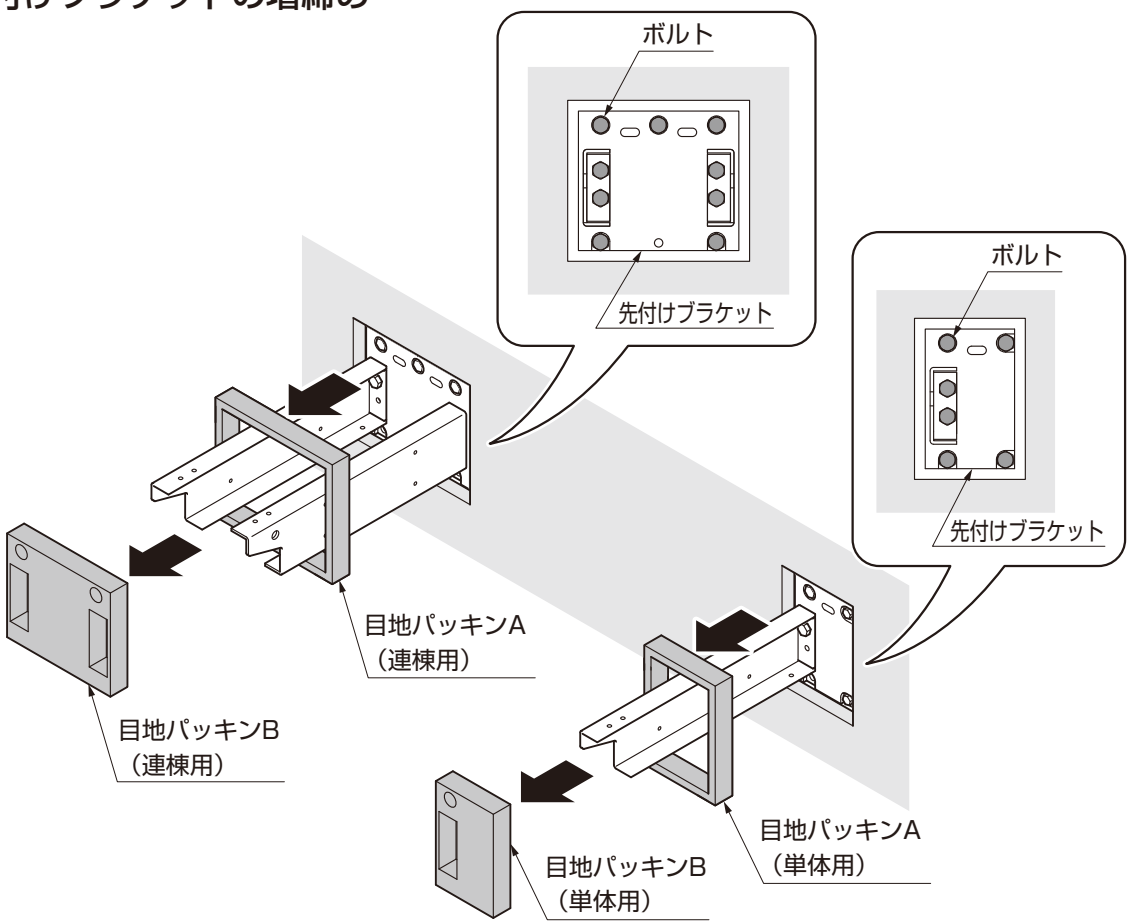
2 横樋の取付け



フルフラット納まりの場合

1 背板カバーの取付け

1 先付けブラケットの増締め

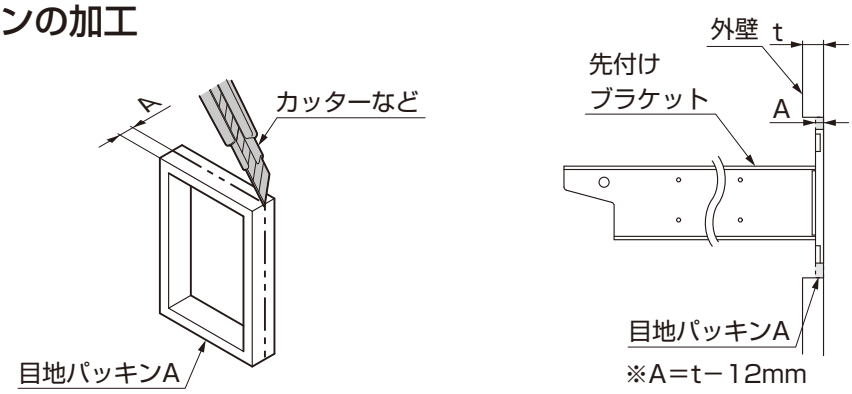


①目地パッキンAと目地パッキンBを取外してください。
②先付けブラケットのボルト類を増締めしてください。

ポイント

●先付けブラケット先端が0.5度（5mm）上向くように増締めしてください。

2 目地パッキンの加工

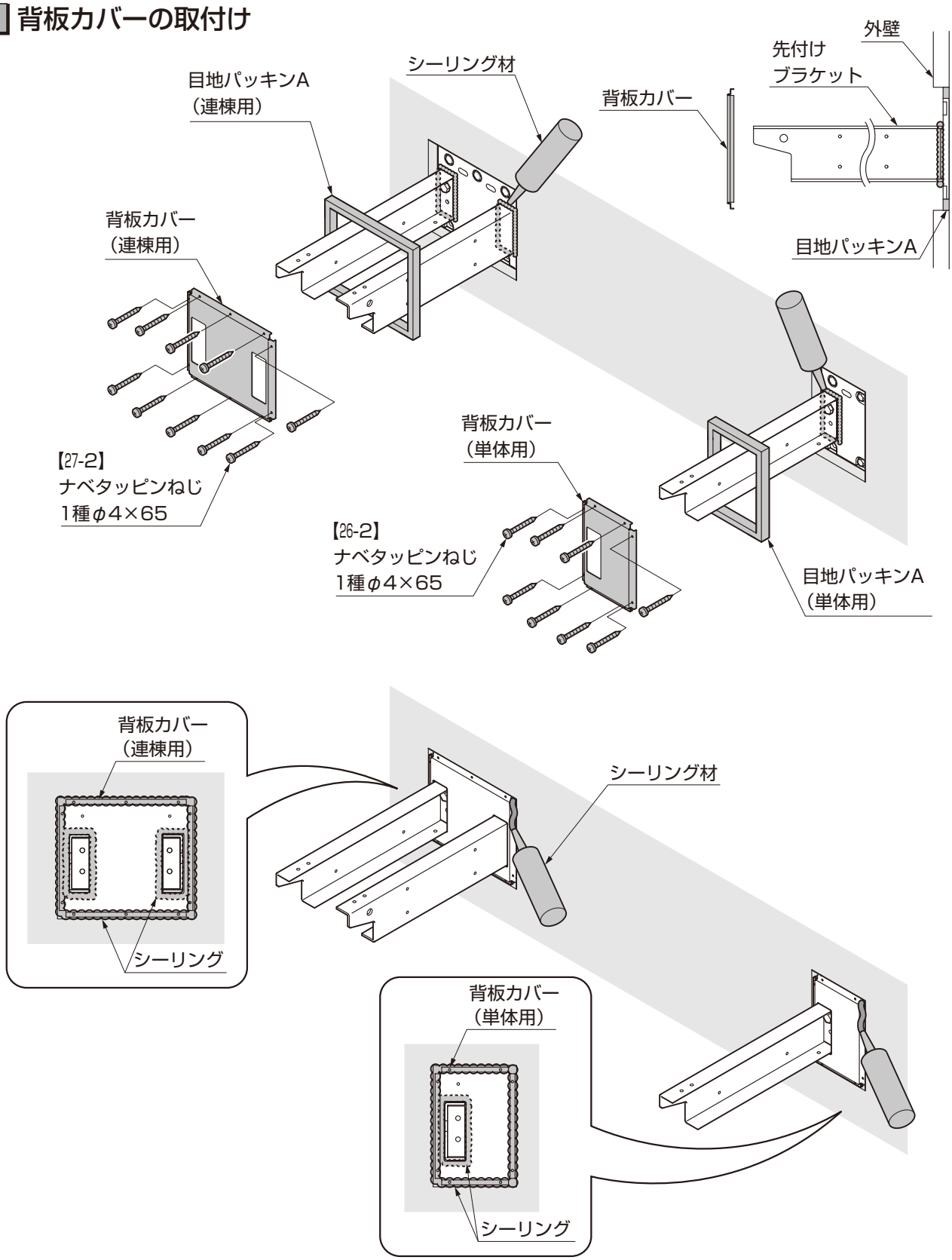


①目地パッキンAを図のように厚みを外壁と同じ位に加工してください。

ポイント

●目地パッキンは、カッターなどで切断してください。

3 背板カバーの取付け



①目地パッキンA、背板カバーを【26-2】【27-2】で取付けてください。
②背板カバーの周囲をシーリングしてください。（外壁と同面になるようにしてください。）

ポイント

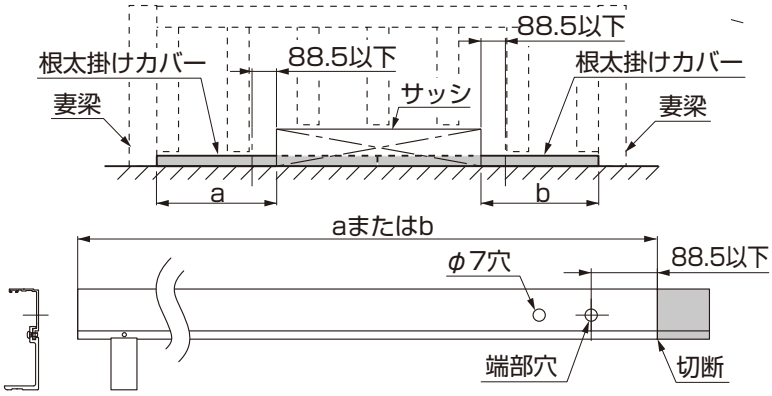
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

2 根太掛けカバー、梁の取付け

ポイント

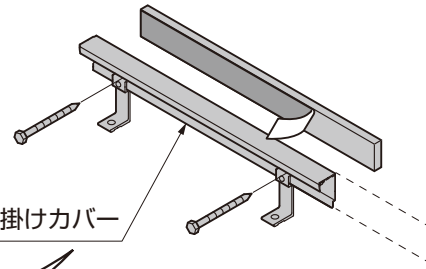
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

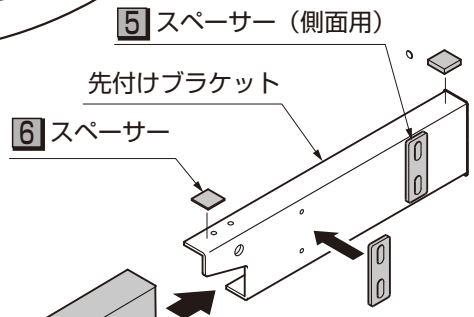
1 根太掛けカバーの切断

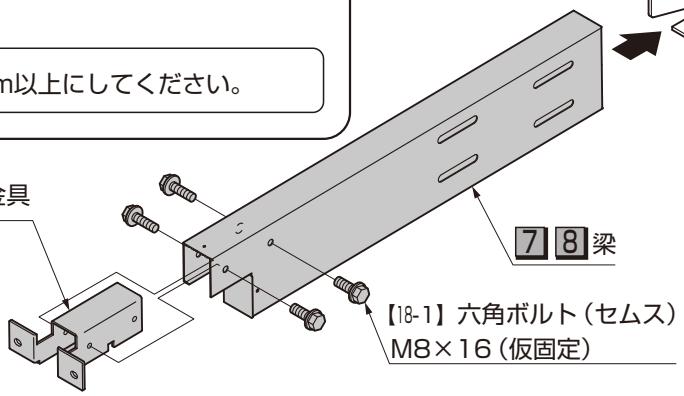


ポイント

●根太掛けカバーのa、b寸法は250mm以上にしてください。





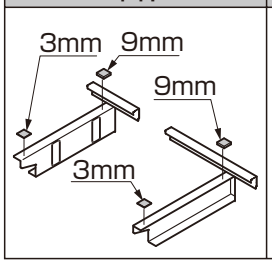
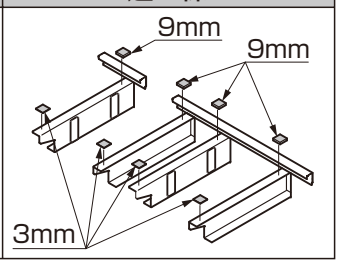


ポイント

●2尺の場合は、3ヵ所仮固定してください。

6 梁取付け前準備 -スペーサーの取付け-

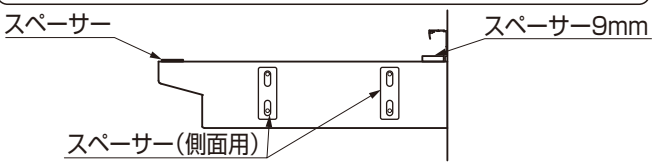
表2-1　スペーサーの使い分け一覧

単体	連　棟
	

ポイント

3mm　1.5mm

●スペーサー1.5mmには、角に丸みがあります。
●連棟の場合、連棟部の梁の水平が出ていない場合は、現場に合わせて先付けブラケット先端に1.5mmのスペーサーを張付けてください。



1 根太掛けカバーの切断

①根太掛けカバーのa、b寸法を測定し、サッシと干渉する範囲を切断してください。
②切断側端部の既存穴が、切断面から88.5mm以上の場合は、φ7の穴加工をしてください。

2 根太掛け防水パッキンの取付け オプション
※外壁に凹凸がある場合

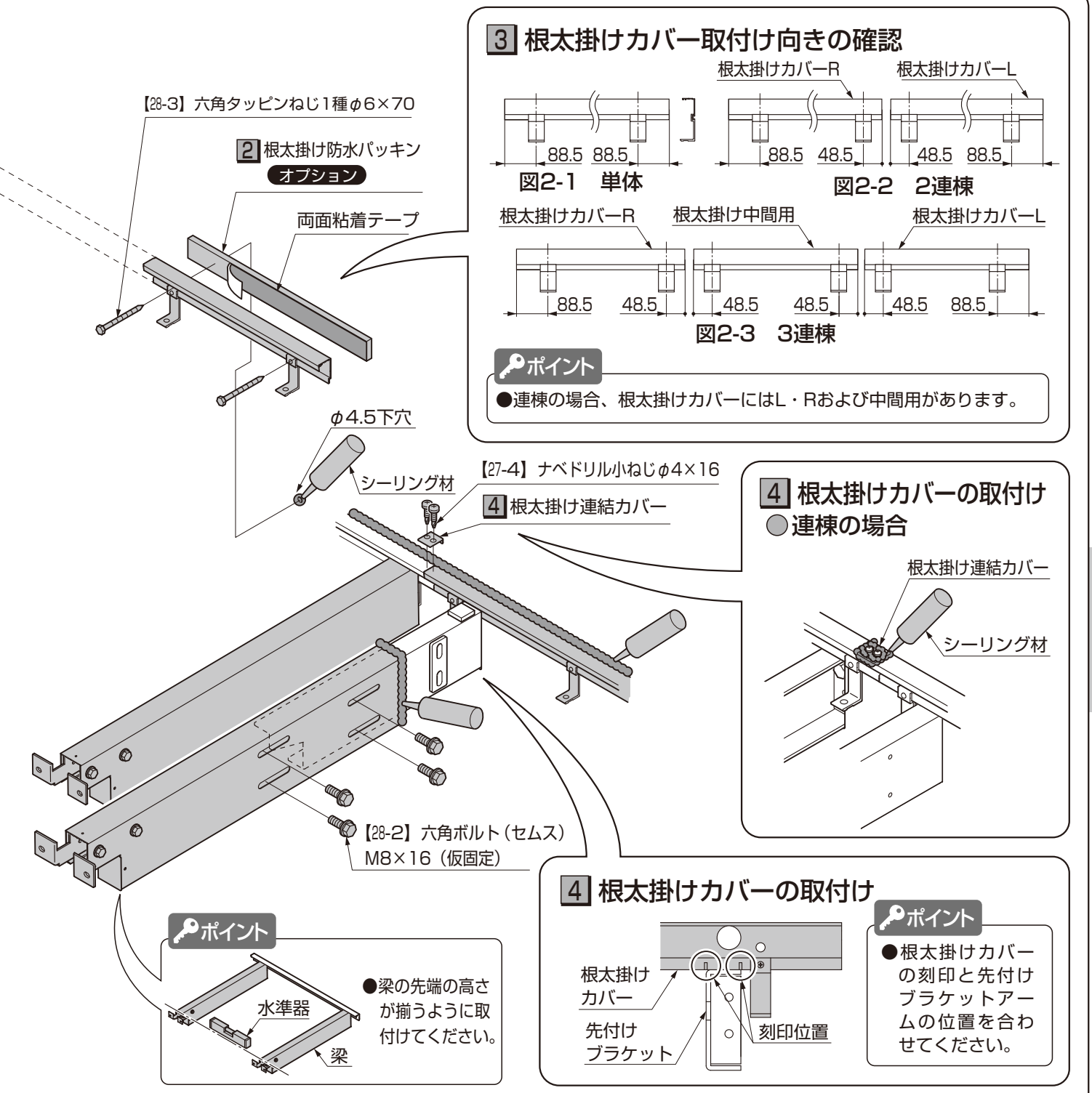
①根太掛け防水パッキンを根太掛けカバーの長さに合わせて切断し、張付けてください。

3 根太掛けカバー取付け向きの確認

①根太掛けカバーの取付け向きを確認してください。

4 根太掛けカバーの取付け

①穴加工（φ4.5下穴）を外壁にし、シーリングをしてください。
②根太掛けカバーを躯体に【28-3】で取付けてください。
③根太掛けカバーにシーリングをしてください。



4 根太掛けカバーの取付け（つづき）

●連棟の場合

④根太掛け連結カバーを根太掛けカバー連結部に【27-4】で取付けてください。

⑤根太掛け連結カバーのまわりをシーリングしてください。

5 梁取付け前準備 -スペーサー（側面用）の取付け-

①スペーサー（側面用）を先付けブラケットに張付けてください。

6 梁取付け前準備 -スペーサーの取付け-

①スペーサーを先付けブラケットに張付けてください。

7 梁の組立て

①前桁仮置き金具を梁に【18-1】で仮固定してください。

8 梁の仮固定

①梁にシーリングし、先付けブラケットに【28-2】で仮固定してください。

3 大引き、雨樋の取付け

1 大引ブラケットの位置確認

※〈　〉は九州・四国間、［　］はメーターモジュールを示します。
※表示寸法は目安です。躯体構造体のある個所に取付けてください。

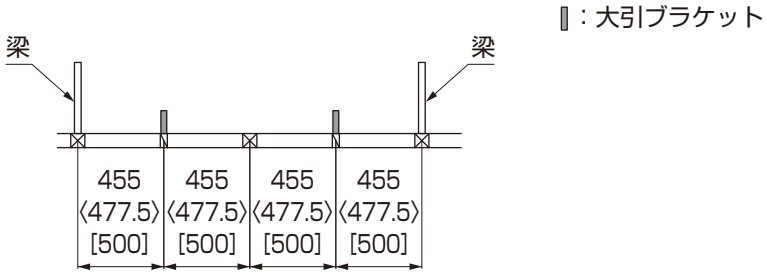


図3-1　1.0間

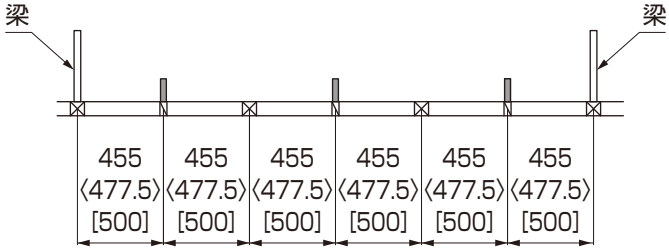


図3-2　1.5間

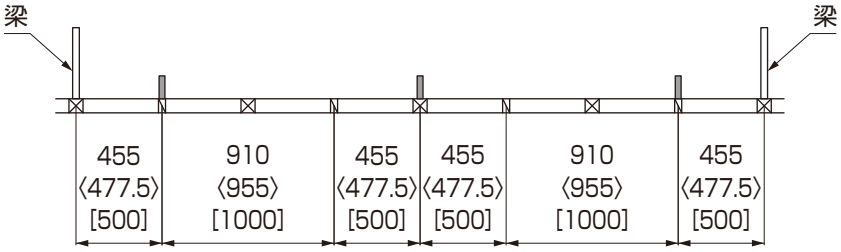
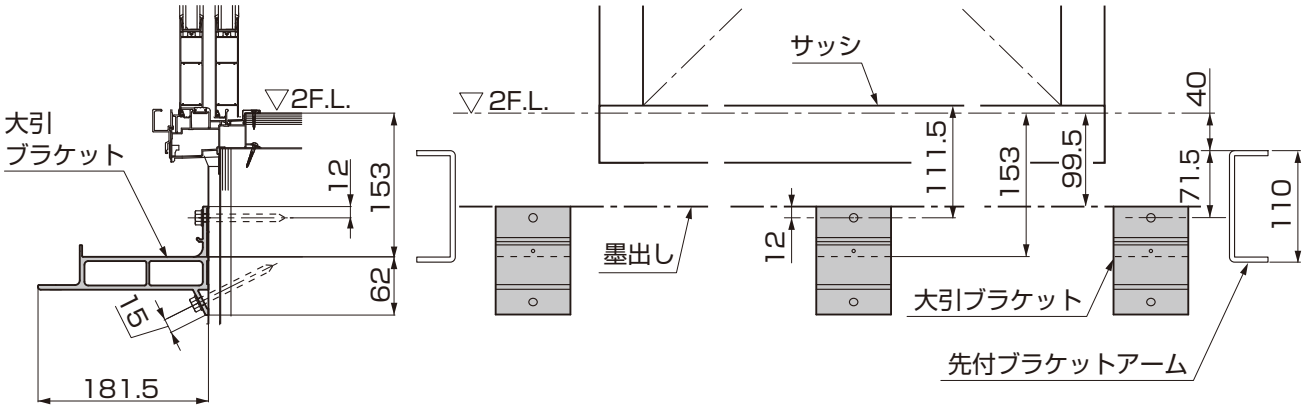


図3-3　2.0間



①大引ブラケットの取付け位置を確認してください。

ポイント

●大引ブラケットの取付け高さをすべて合わせて取付けます。

2 大引き、雨樋の加工

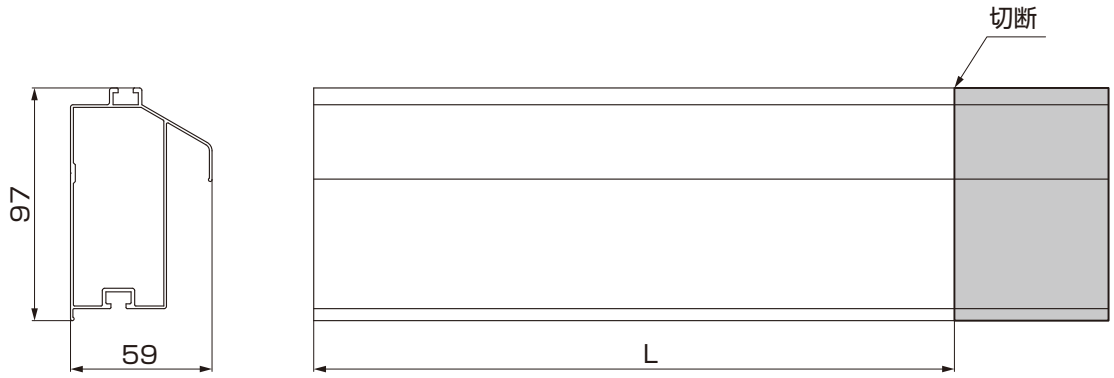


図3-4　大引き

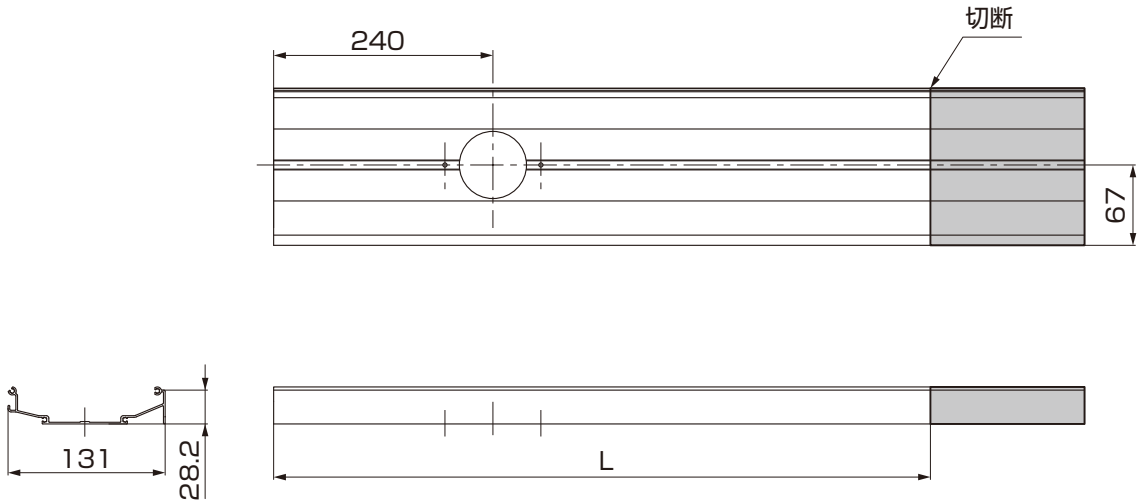


図3-5　雨樋

表3-1　L寸法

		L	
		大引き	雨樋
関東間	1.0間	1539	1540
	1.5間	2449	2450
	2.0間	3359	3360
メーターモジュール	2000	切断加工不要	切断加工不要
	3000		
	4000		
九州四国間	1.0間	1629	1630
	1.5間	2584	2585
	2.0間	3539	3540

①大引きと雨樋を切断加工してください。

3 大引き、雨樋の取付け（つづき）

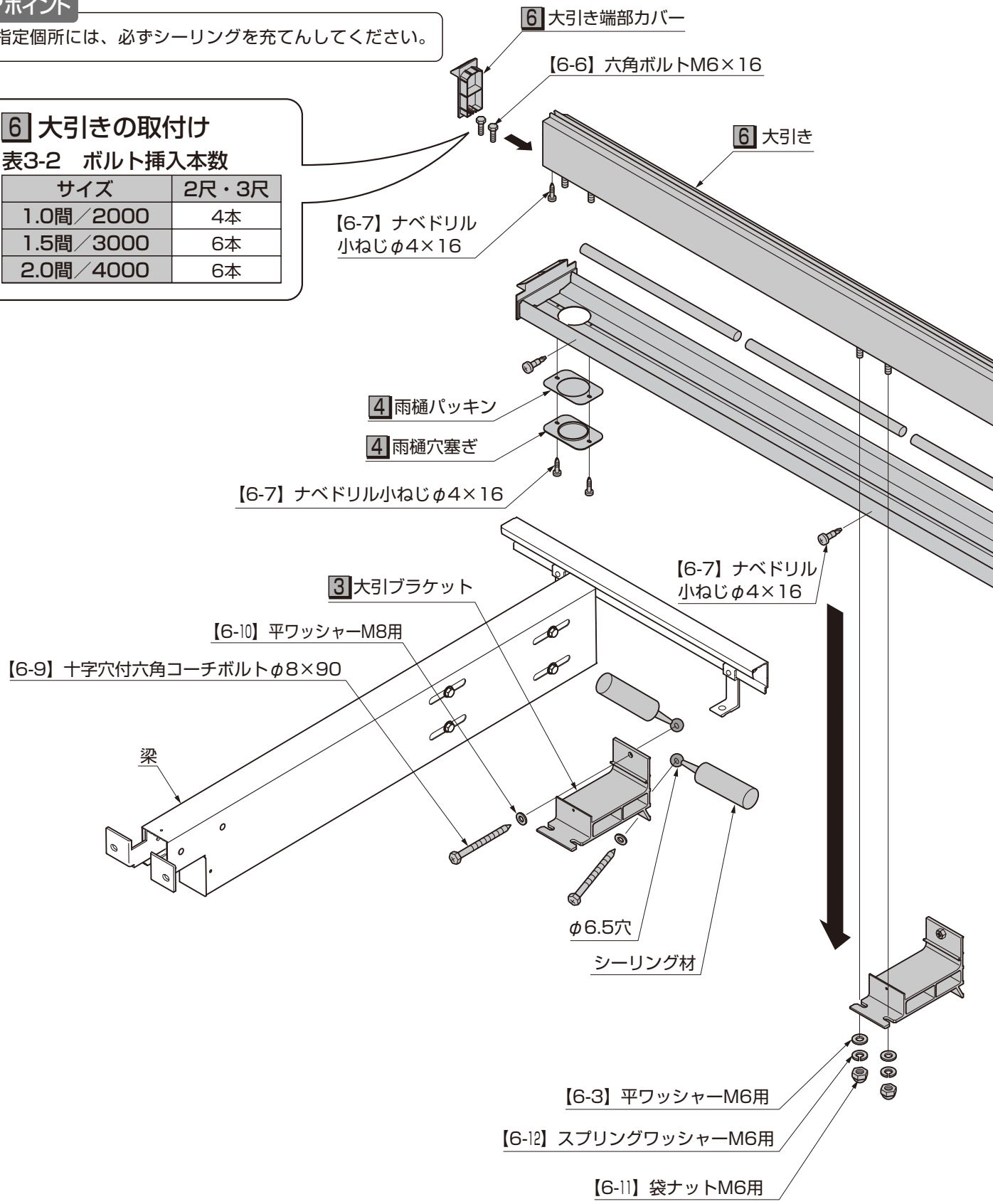
ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

6 大引きの取付け

表3-2　ボルト挿入本数

サイズ	2尺・3尺
1.0間／2000	4本
1.5間／3000	6本
2.0間／4000	6本



3 大引ブラケットの取付け

①φ6.5の穴を躯体にあけ、下穴にシーリングをしてください。
②大引ブラケットを躯体に【6-9】【6-10】で取付けてください。

4 雨樋の組立て

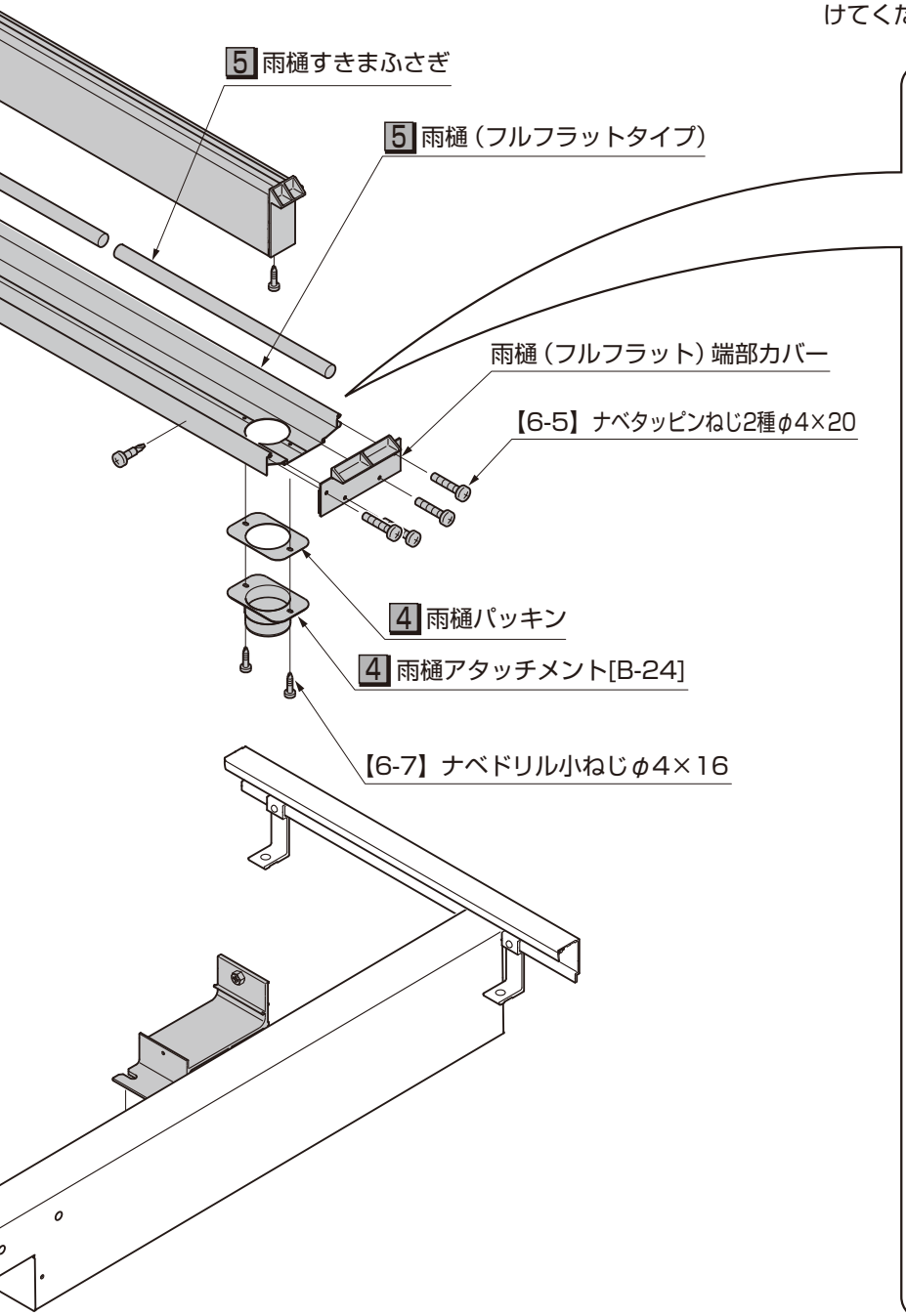
①雨樋アタッチメント[B-24]、雨樋パッキンを水下側の水抜き穴に【6-7】で取付けてください。
②雨樋穴塞ぎ、雨樋パッキンをもう一方の水抜き穴に【6-7】で取付けてください。
③雨樋(フルフラット)端部カバーを雨樋に【6-5】で取付けてください。

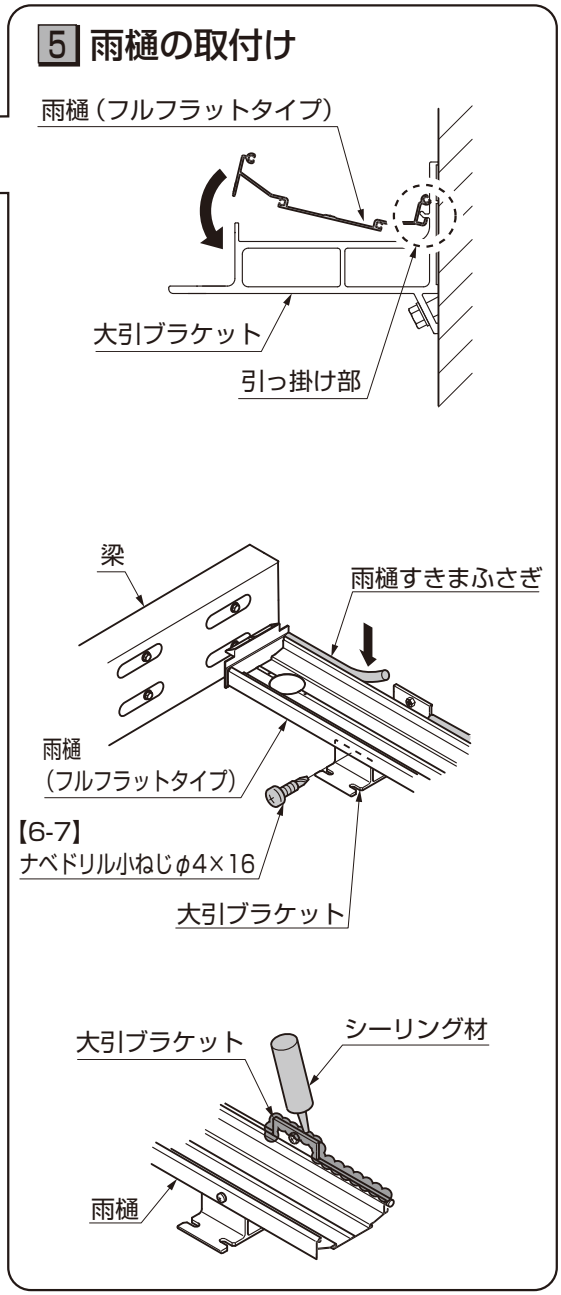
5 雨樋の取付け

①雨樋（フルフラットタイプ）を大引ブラケットに引っ掛けてください。
②雨樋（フルフラットタイプ）を大引ブラケットに【6-7】で取付けてください。
③雨樋すきまふさぎを雨樋と躯体の間に詰めてください。
④雨樋すきまふさぎの上、大引ブラケットの周辺にシーリングしてください。

6 大引きの取付け

①【6-6】を大引きの下側のボルトホールに必要本数挿入してください。(表3-2参照)
②大引き端部カバーを大引きに【6-7】で取付けてください。
③大引きを大引ブラケットに【6-3】【6-11】【6-12】で取付けてください。





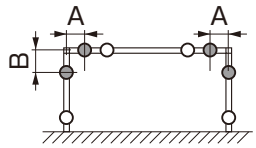
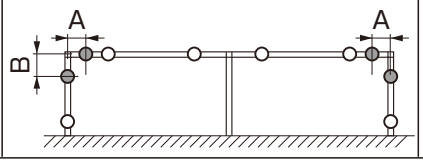
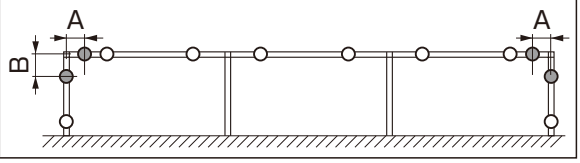
4 面材用の穴加工　※図は内観左側を示します。右側は左右対称となります。

●横格子面材・横格子ルーバーの場合

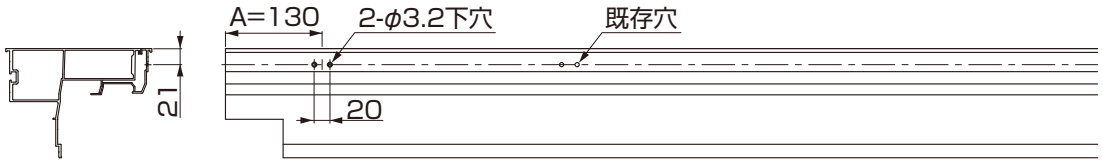
ポイント

●その他の面材の場合は、加工が不要です。

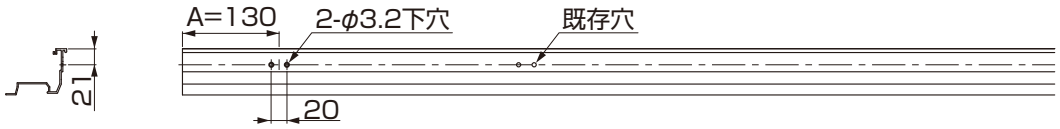
表4-1　穴加工位置（●：現場穴加工位置　○：出荷時加工済穴位置）

	単体（1.0～2.5間）	2連棟（2.5～4.0間）	3連棟（4.5～6.0間）
2・3尺			

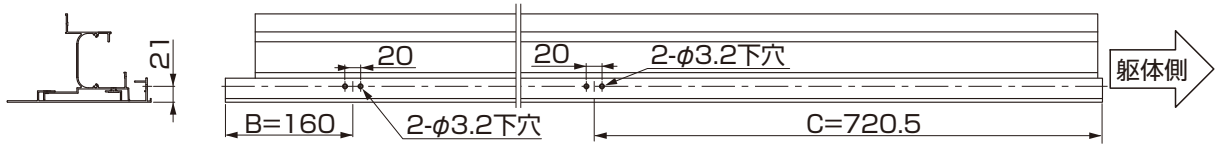
●前桁（単体）の穴加工



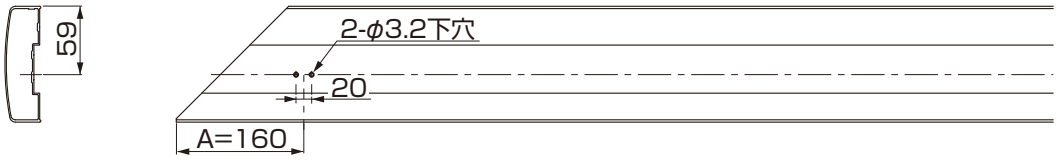
●前桁（連棟）の穴加工



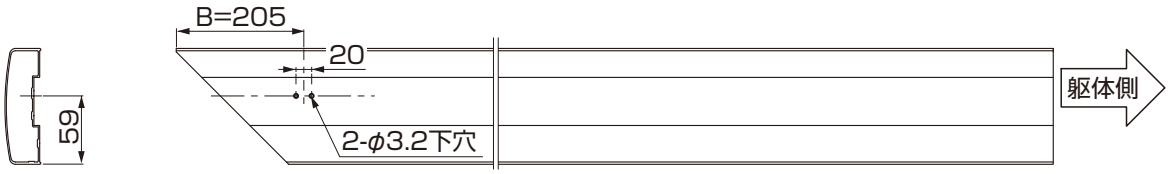
●妻梁の穴加工



●笠木（間口方向）の穴加工



●笠木（出幅方向）の穴加工

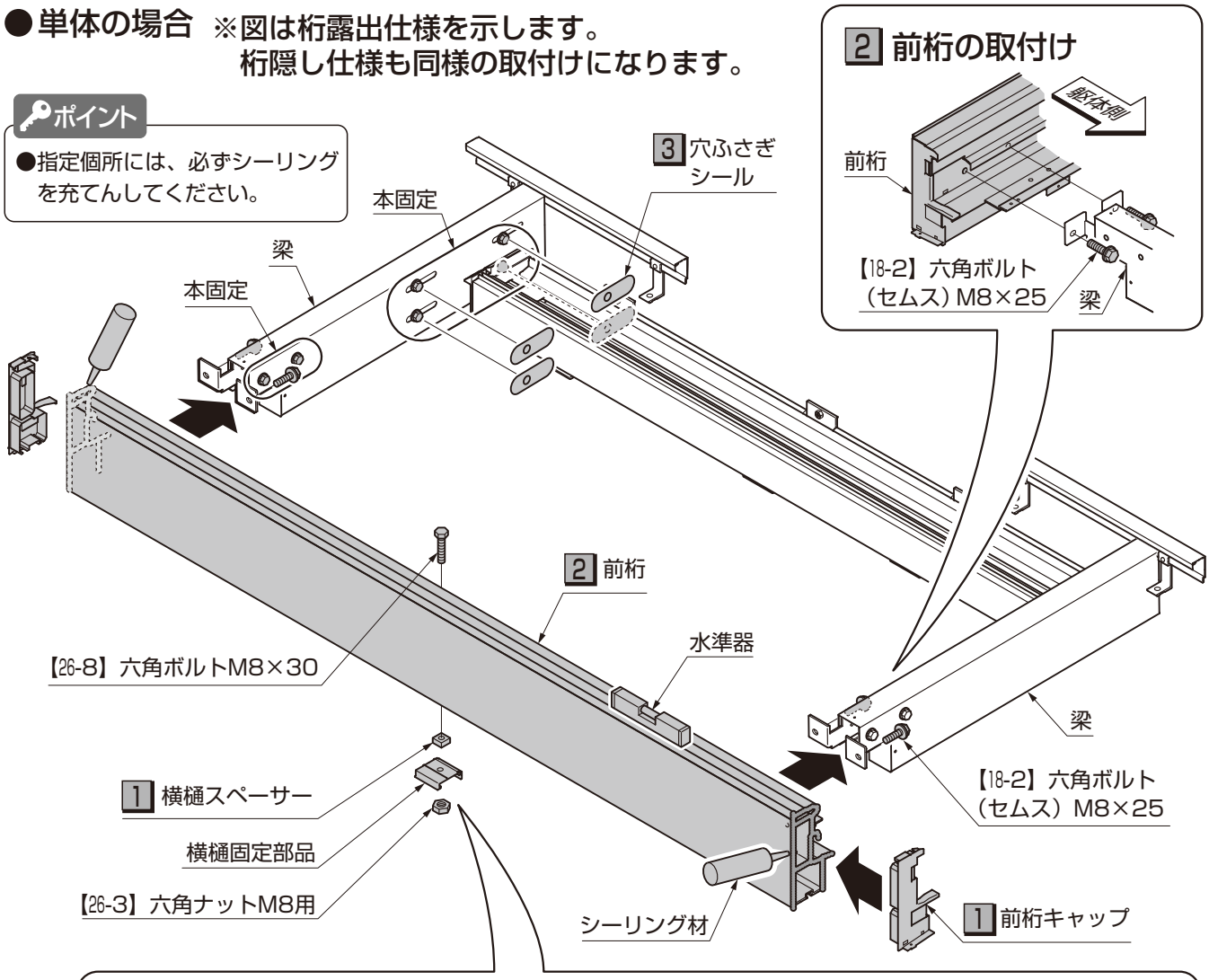


①前桁・妻梁・笠木の穴加工位置を確認してください。
②前桁・妻梁・笠木にφ3.2の下穴をあけてください。

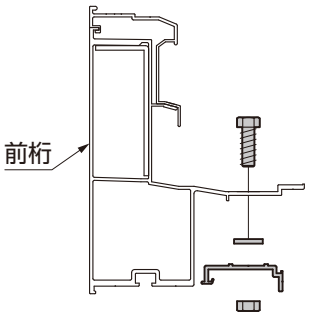
5 前桁の取付け

●単体の場合 ※図は桁露出仕様を示します。
桁隠し仕様も同様の取付けになります。

ポイント
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。



1 前桁の組立て



● 横樋スペーサー取付け個数

▭：横樋スペーサー
▭：前桁

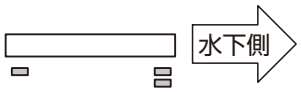


図5-1　1.0間

図5-2　1.5～2.0間

ポイント
●サイズにより横樋スペーサーの取付け個数が異なります。

1 前桁の組立て

①横樋固定部品と横樋スペーサーを前桁に【26-3】【26-8】で取付けてください。
②前桁にシーリングをしてください。
③前桁キャップを前桁にはめ込んでください。

2 前桁の取付け

①前桁を梁に【18-2】で取付けてください。

3 梁の固定

①前桁の水平確認を水準器などを使って行い、梁のボルト類を本固定してください。
②穴ふさぎシールを梁に張付けてください。

ポイント
●次の取付け手順を確認してください。
本手順完了 → 6 妻梁の取付け（P.88）

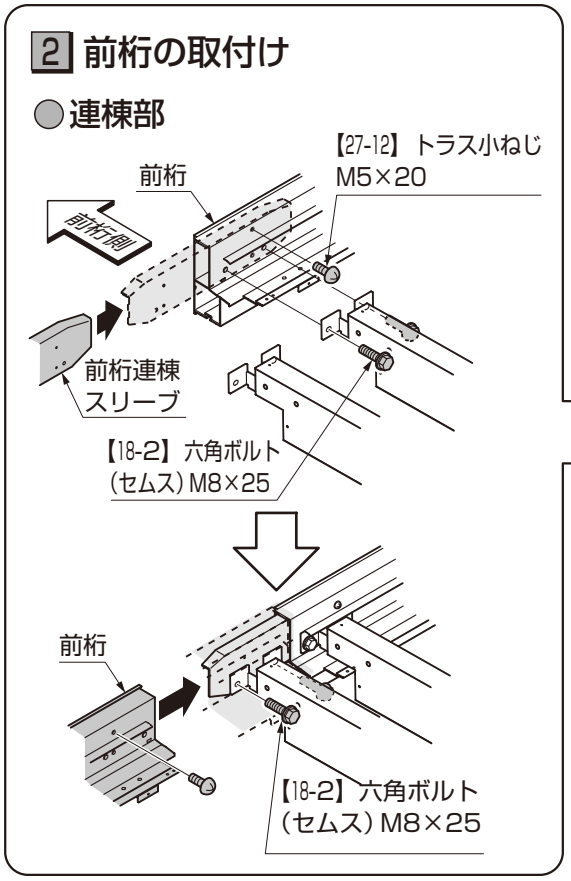
5 前桁の取付け（つづき）

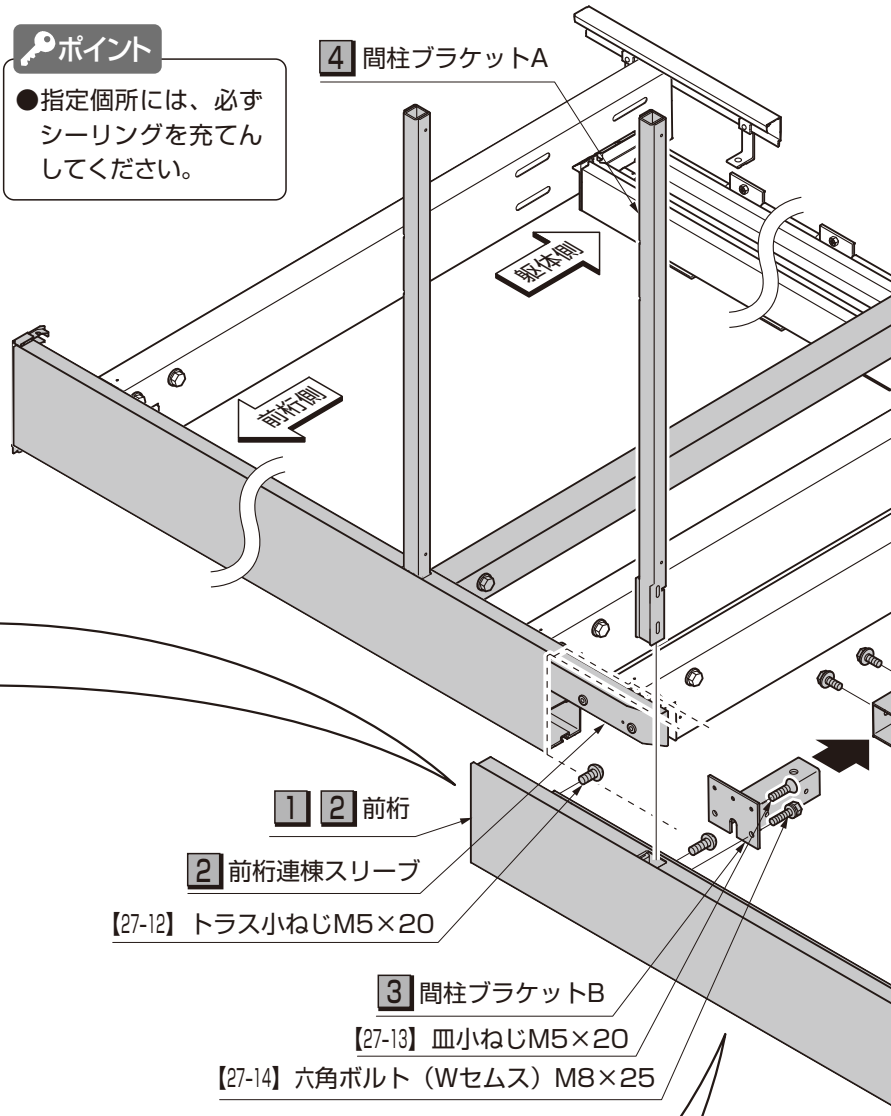
●連棟の場合

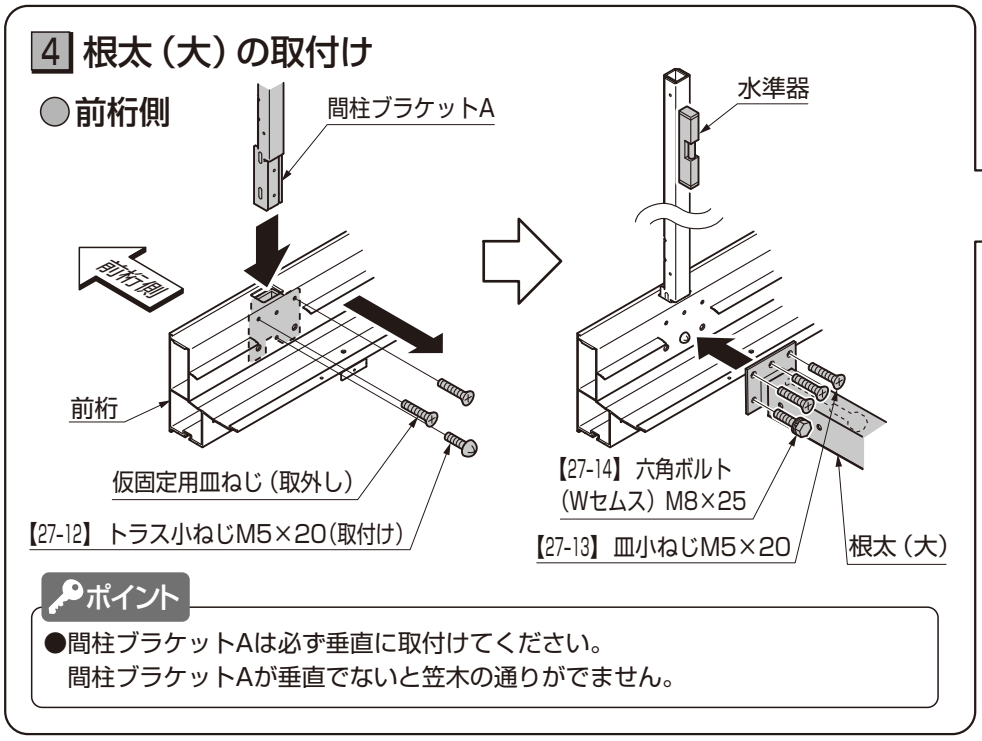
※1～4の図は桁露出仕様を示します。
桁隠し仕様も同様の取付けとなります。
5～7は桁露出仕様と桁隠し仕様で
取付けが異なります。

ポイント

●指定個所には、必ず
シーリングを充てん
してください。

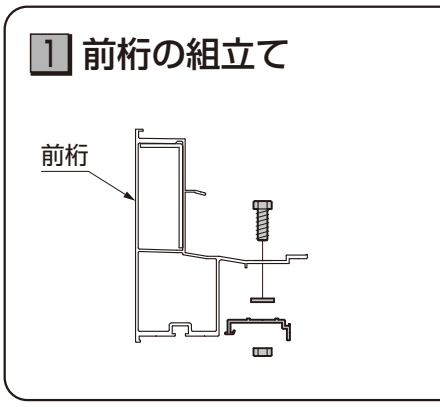


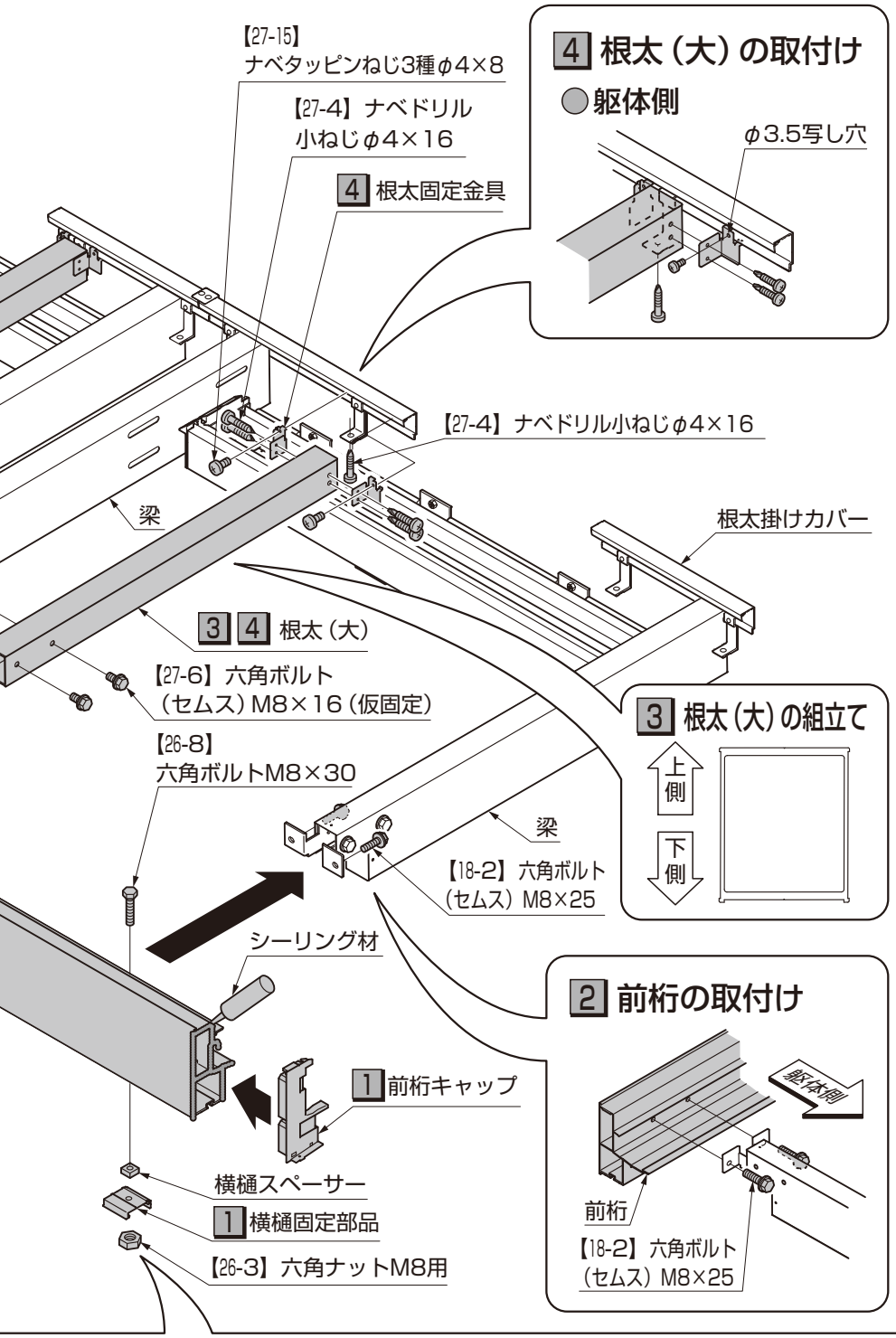




ポイント

●間柱ブラケットAは必ず垂直に取付けてください。
間柱ブラケットAが垂直でないと笠木の通りがでません。





1 前桁の組立て

①横樋固定部品と横樋スペーサーを前桁に【26-3】と【26-8】で取付けてください。
②前桁にシーリングをしてください。
③前桁キャップを前桁にはめ込んでください。

2 前桁の取付け

①前桁に前桁連棟スリーブをはめ込み【27-12】で取付けてください。
②前桁を梁に【18-2】で取付けてください。
③連結する前桁を前桁連棟スリーブにはめ込み【27-12】で取付けてください。
④連結した前桁を梁に【18-2】で取付けてください。

3 根太（大）の組立て

①間柱ブラケットBを根太（大）に【27-6】で取付けてください。

4 根太（大）の取付け

●前桁側

①前桁に付いている仮固定用の皿ねじを取外してください。
②間柱ブラケットAを前桁に差込み【27-12】で固定してください。
③根太（大）を前桁に【27-13】【27-14】で取付けてください。

●躯体側

①根太（大）を根太掛けカバーに【27-4】で取付けてください。
②根太固定金具を根太掛けカバーに引掛け、根太掛けカバーにφ3.5写し穴をあけてください。
③根太固定金具を根太（大）に【27-4】で取付けてください。
④根太固定金具を根太掛けカバーに【27-15】で取付けてください。

●横樋スペーサー取付け個数

▭：横樋スペーサー
▭：前桁

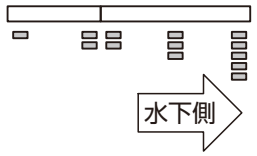


図5-4　2.5間

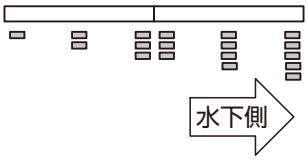


図5-5　3.0間～4.0間

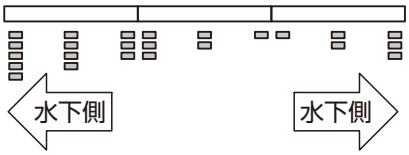


図5-6　4.5間～6.0間

ポイント

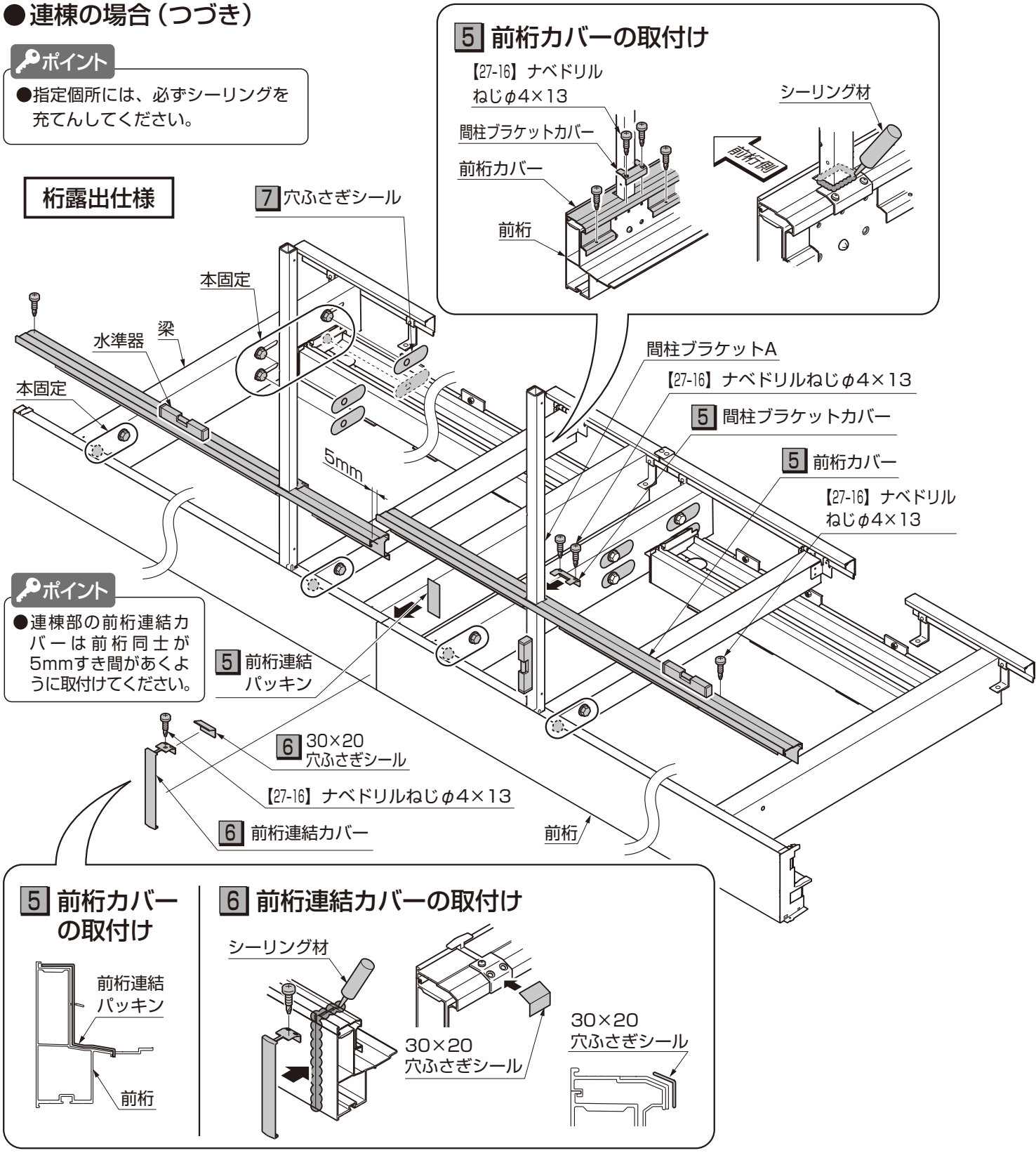
●サイズにより横樋スペーサーの取付け個数が異なります。
●φ7の穴は水抜き穴です。

5 前桁の取付け（つづき）

●連棟の場合（つづき）

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。



ポイント

●連棟部の前桁連結カバーは前桁同士が5mmすき間があくように取付けてください。

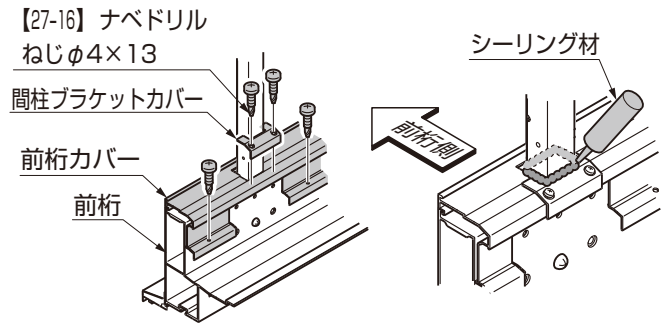
5 前桁カバーの取付け

①前桁連結パッキンを前桁連棟部に取付けてください。
②前桁カバーを間柱ブラケットAに差込み、前桁に【27-16】で取付けてください。
③間柱ブラケットカバーを前桁カバーに【27-16】で取付けてください。
④間柱ブラケットAと間柱ブラケットカバーまわりをシーリングしてください。

6 前桁連結カバーの取付け

①前桁連結部にシーリングをしてください。
②前桁連結カバーを前桁に【27-16】（桁隠し：【27-4】【27-16】）で取付けてください。
③30×20穴ふさぎシールを前桁連結カバーに張付けてください。

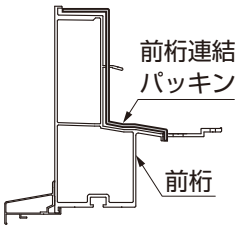
5 前桁カバーの取付け



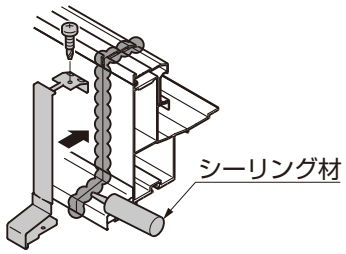
桁隠し仕様

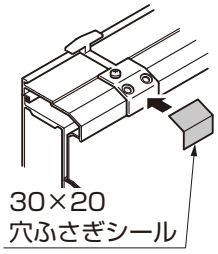
【27-16】ナベドリルねじφ4×13
5 間柱ブラケットカバー
5 前桁連結パッキン
5mm
6 30×20
穴ふさぎシール
【27-16】ナベドリル
ねじφ4×13
6 前桁連結カバー
【27-4】ナベドリル
小ねじφ4×16
本固定
間柱ブラケットA
前桁
本固定
7 穴ふさぎシール
梁
水準器
【27-16】ナベドリル
ねじφ4×13
5 前桁カバー

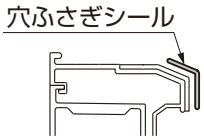
5 前桁カバーの取付け



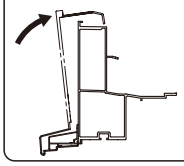
6 前桁連結カバーの取付け







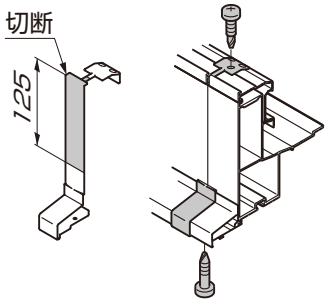
ポイント



●前桁連結カバーは下部からはめてください。

ポイント

●サイディングパネルの場合

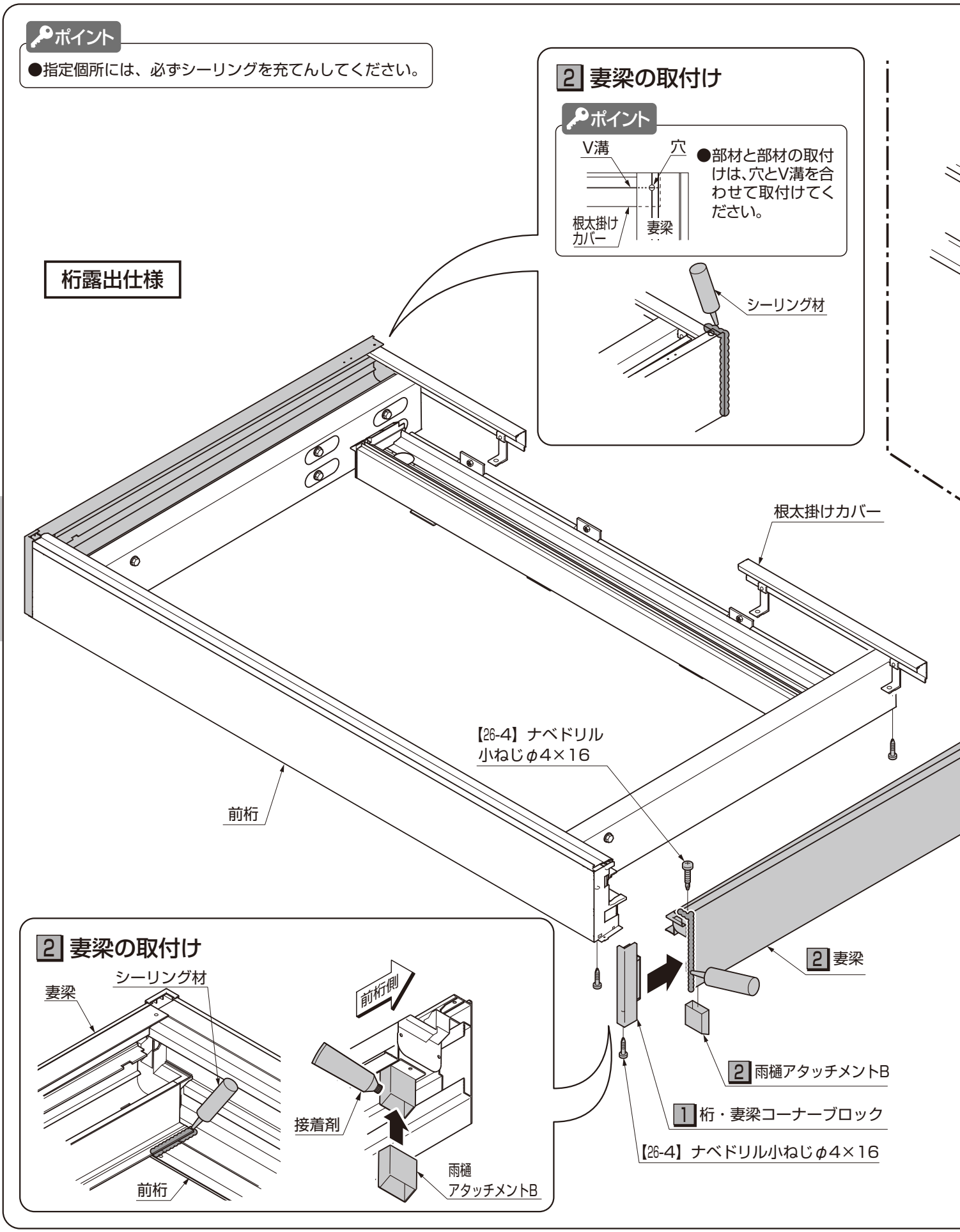


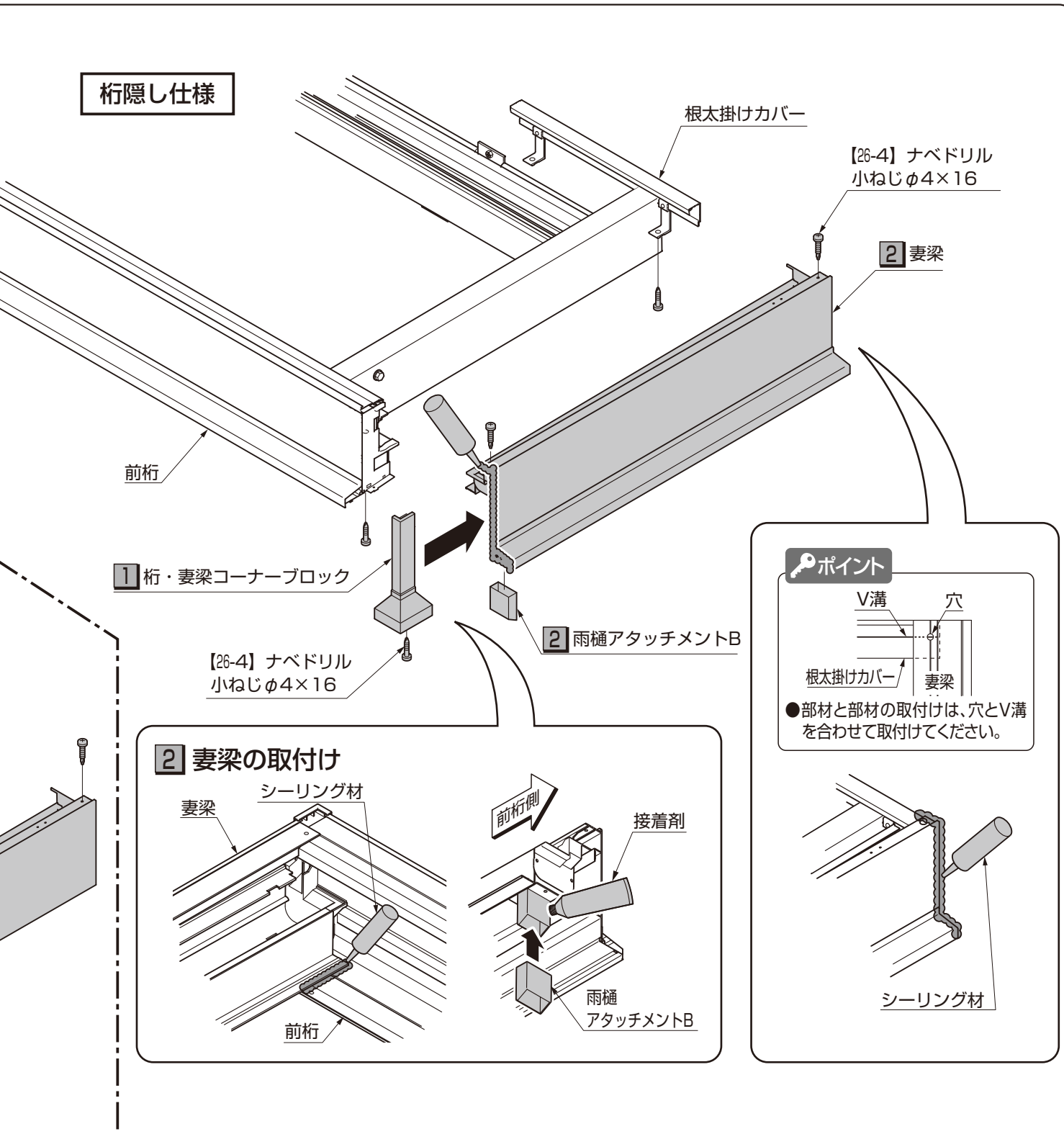
●サイディングパネルを取付ける場合は前桁連結カバーを加工してください。

7 梁の固定

①前桁と間柱ブラケットAの水平確認を水準器などを使って行い、梁のボルト類を本固定してください。
②穴ふさぎシールを梁に張付けてください。

6 妻梁の取付け


ポイント
●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
2 妻梁の取付け
ポイント
V溝
穴
●部材と部材の取付けは、穴とV溝を合わせて取付けてください。
根太掛けカバー
妻梁
シーリング材
桁露出仕様
根太掛けカバー
【26-4】ナベドリル小ねじφ4×16
前桁
2 妻梁
2 雨樋アタッチメントB
1 桁・妻梁コーナーブロック
【26-4】ナベドリル小ねじφ4×16
2 妻梁の取付け
妻梁
シーリング材
前桁
前桁側
接着剤
雨樋アタッチメントB



1 桁・妻梁コーナーブロックの取付け

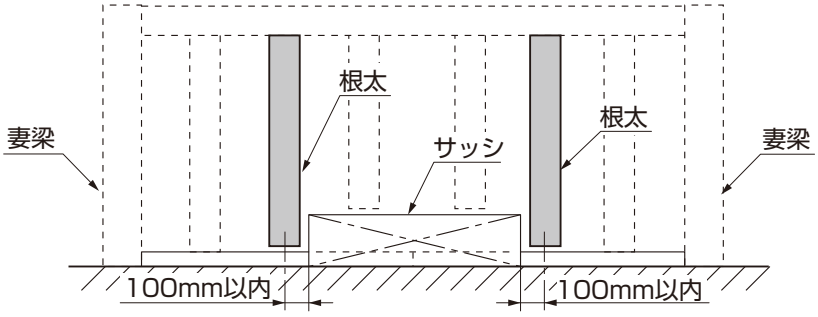
①妻梁にシーリングをしてください。
②桁・妻梁コーナーブロックを妻梁に差込んでください。

2 妻梁の取付け

①妻梁を根太掛けカバーと前桁に【26-4】で取付けてください。
（根太掛けカバー上部に障害物がある場合は、根太掛けカバーに下穴をあけてください）
②妻梁の前桁側にシーリングをしてください。
③躯体接合部にシーリングをしてください。
④接着剤を妻梁に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。

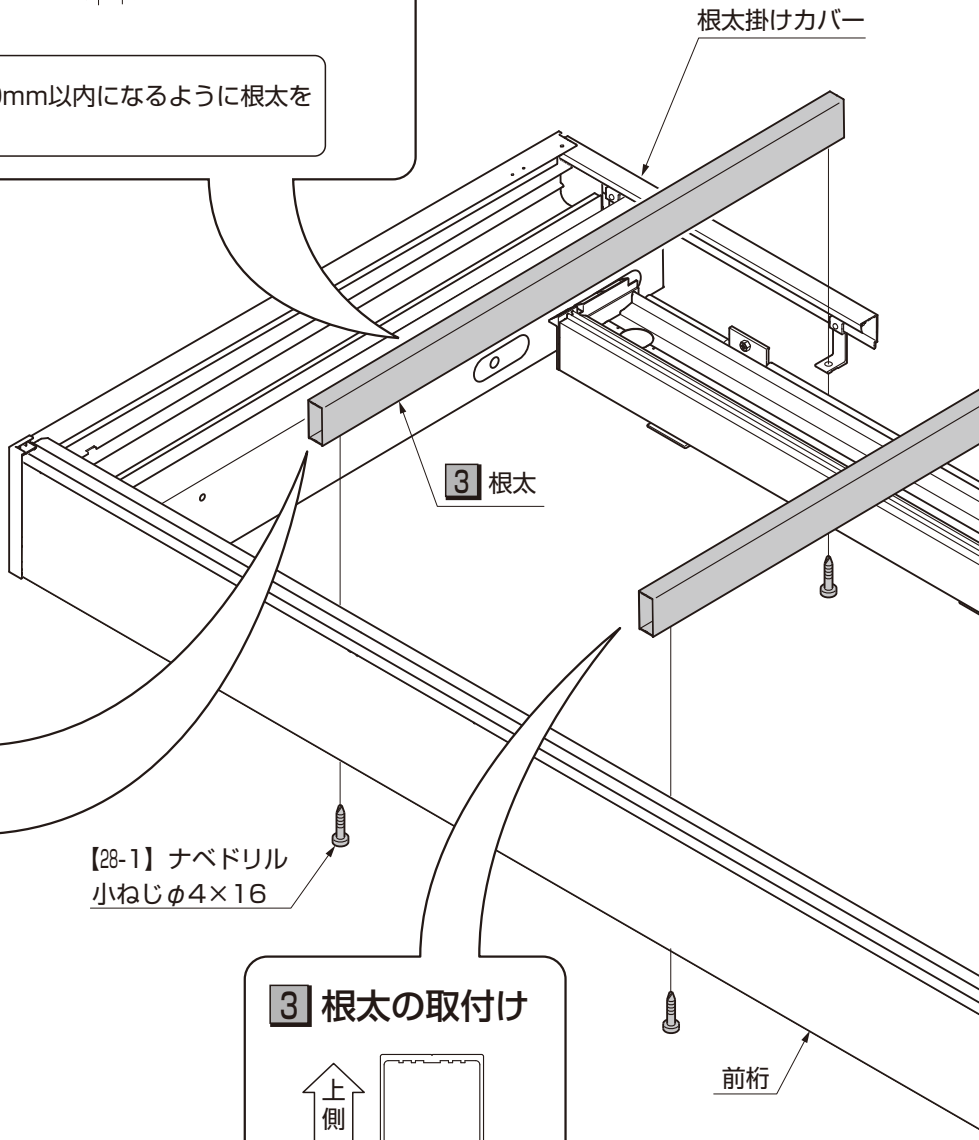
7 根太の取付け　※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けになります。

1 根太の取付け位置の確認
●アルミ床・スリット床の場合

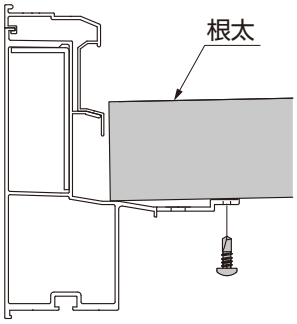


ポイント

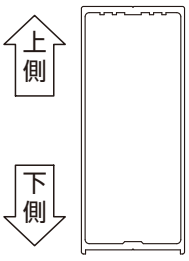
●サッシ枠から根太までの距離が100mm以内になるように根太を取付けてください。

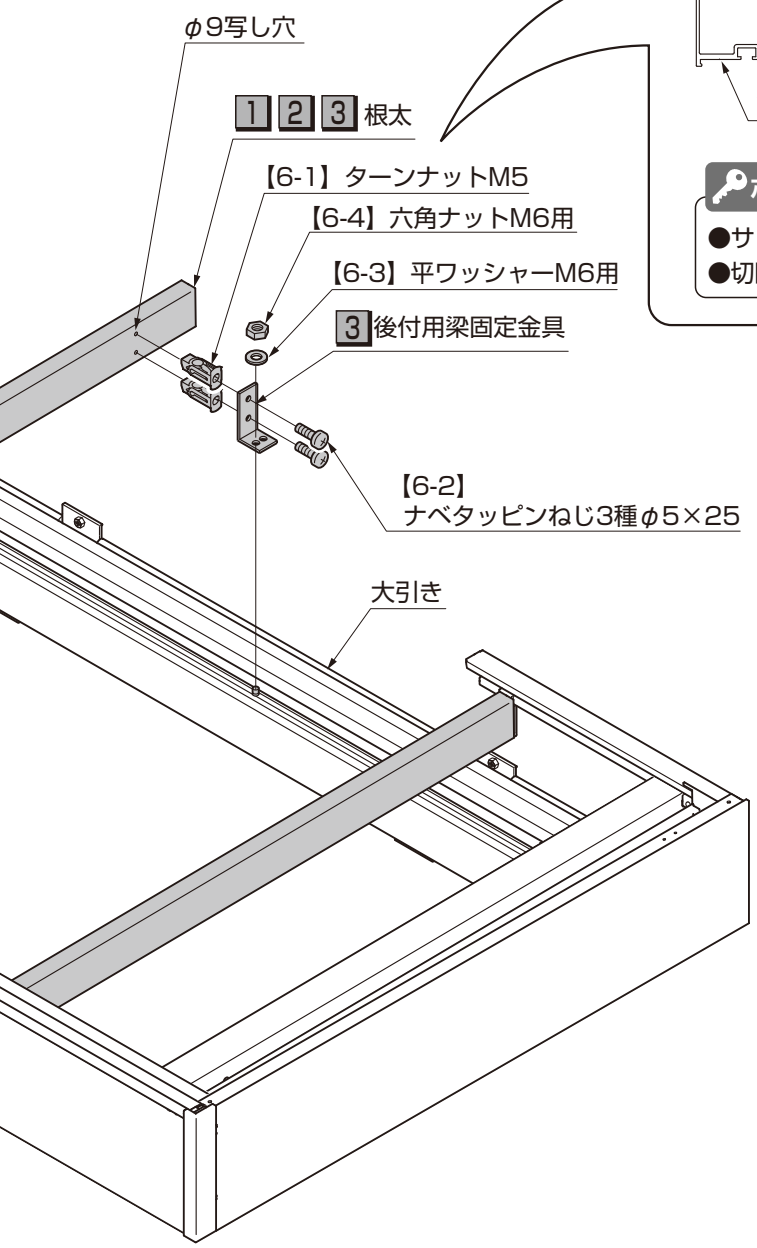


3 根太の取付け

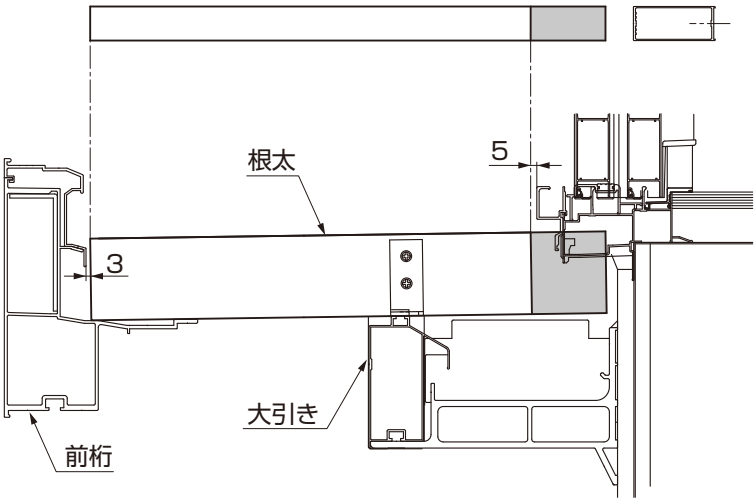


3 根太の取付け





2 根太の加工



ポイント

- サッシ枠に干渉する部分に取付ける根太のみ切断してください。
- 切断位置はサッシ下枠外面より5mm外側の位置としてください。

1 根太の取付け位置の確認

●アルミ床・スリット床の場合

①根太の取付け位置を確認してください。

2 根太の加工

①根太をサッシ枠の出幅に合わせて切断してください。

3 根太の取付け（サッシ部）

①根太を前桁と根太掛けカバーに【28-1】で取付けてください。
②根太にφ9の写し穴をあけてください。
③根太を大引きに後付用梁固定金具と【6-1】【6-2】【6-3】【6-4】で取付けてください。

ポイント

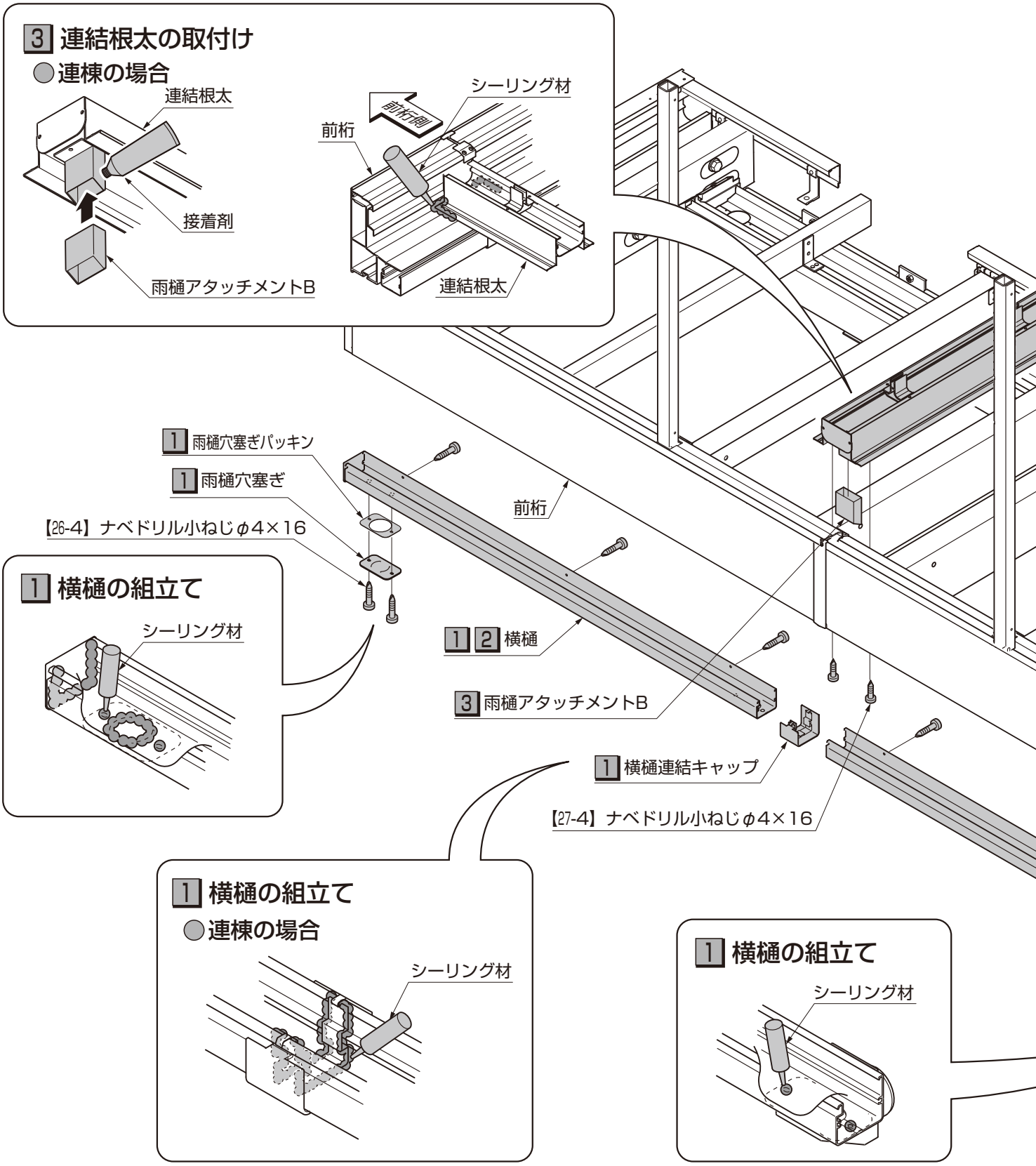
- 根太（大）がサッシ枠に干渉する場合も同様に加工・取付けを行ってください。

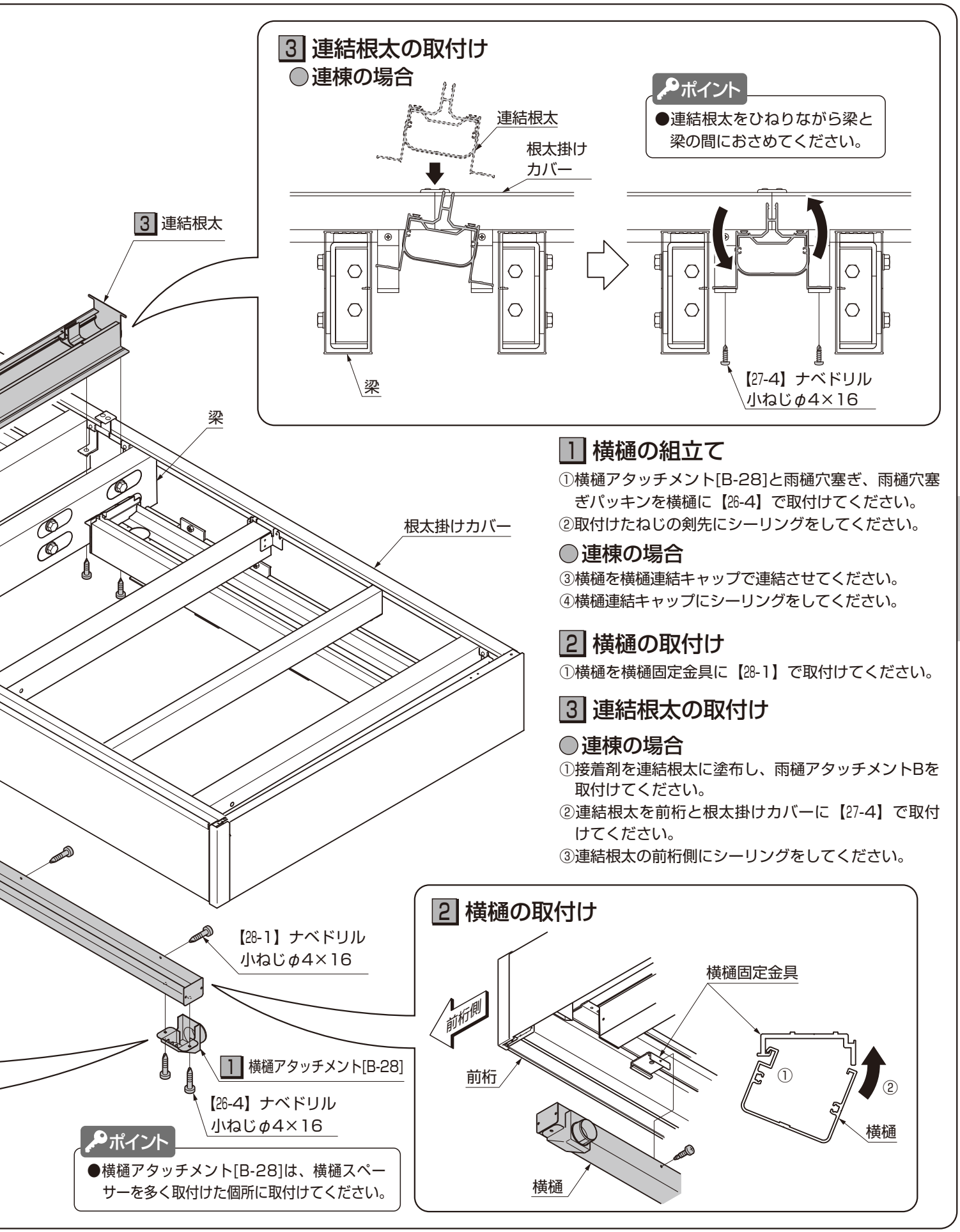
8 横樋、連結根太の取付け

※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けになります。

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。





1 横樋の組立て

①横樋アタッチメント[B-28]と雨樋穴塞ぎ、雨樋穴塞ぎパッキンを横樋に【26-4】で取付けてください。
②取付けたねじの剣先にシーリングをしてください。

●連棟の場合

③横樋を横樋連結キャップで連結させてください。
④横樋連結キャップにシーリングをしてください。

2 横樋の取付け

①横樋を横樋固定金具に【28-1】で取付けてください。

3 連結根太の取付け

●連棟の場合

①接着剤を連結根太に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。
②連結根太を前桁と根太掛けカバーに【27-4】で取付けてください。
③連結根太の前桁側にシーリングをしてください。

柱建て式・屋根置き式納まりの場合

1 根太掛けカバーの取付け

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

2 根太掛け防水パッキン オプション

1 3 根太掛けカバー

【28-3】六角タッピン
ねじ1種φ6×70

シーリング材

φ4.5下穴

3 根太掛けカバー取付け向きの確認

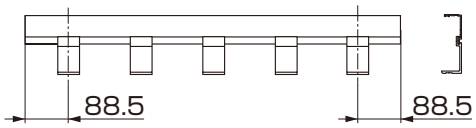


図1-1　単体

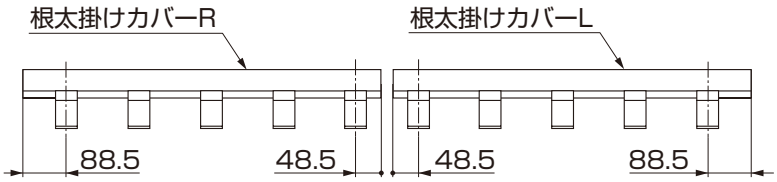


図1-2　2連棟

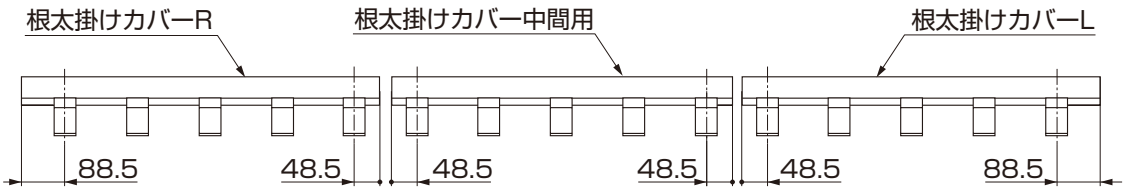
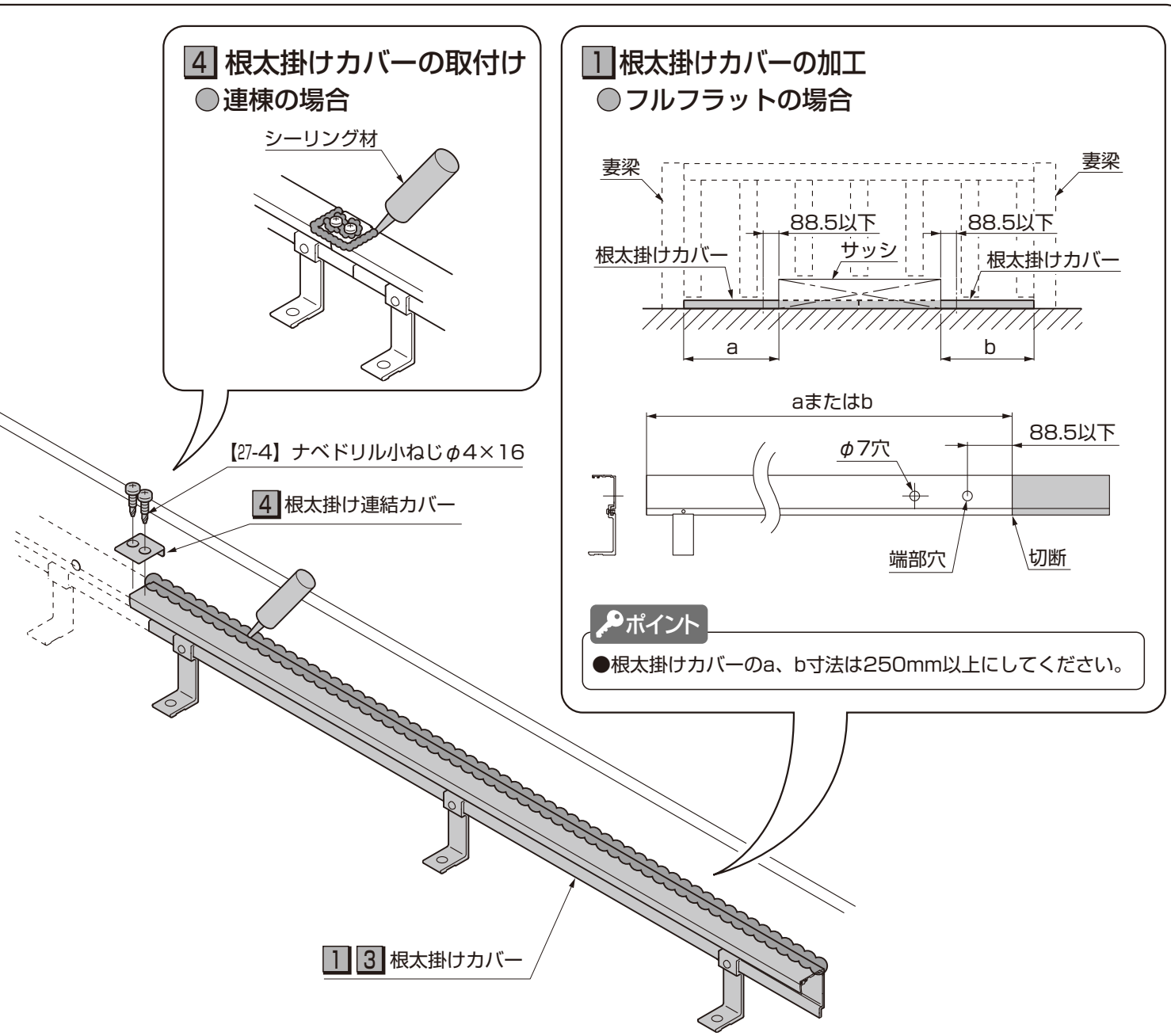


図1-3　3連棟

ポイント

●連棟の場合、根太掛けカバーにはL・Rおよび中間用があります。



1 根太掛けカバーの加工
●フルフラットの場合

①根太掛けカバーのa、b寸法を測定し、サッシと干渉する範囲を切断してください。
②切断側端部の既存穴が、切断面から88.5mm以上の場合は、φ7の穴加工をしてください。

2 根太掛け防水パッキンの取付け オプション
※外壁に凹凸がある場合

①根太掛け防水パッキンを根太掛けカバーの長さに合わせて切断し、根太掛けカバーに張付けてください。

3 根太掛けカバー取付け向きの確認

①根太掛けカバーの取付け位置を確認してください。

4 根太掛けカバーの取付け

①穴加工（φ4.5下穴）を外壁にし、シーリングをしてください。
②根太掛けカバーを躯体に【28-3】で取付けてください。
③根太掛けカバーにシーリングをしてください。

●連棟の場合

④根太掛け連結カバーを根太掛けカバー連結部に【27-4】で取付けてください。
⑤根太掛け連結カバーのまわりをシーリングしてください。

2 面材用の穴加工　※図は内観左側を示します。右側は左右対称となります。

ポイント

●本手順完了後、次の取付け手順を確認してください。

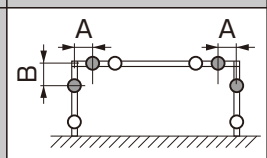
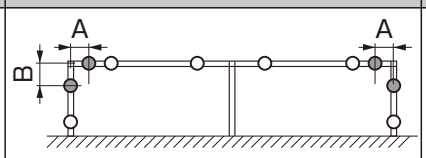
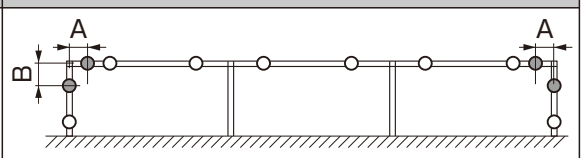
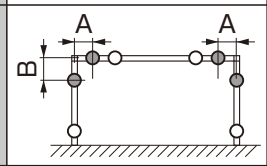
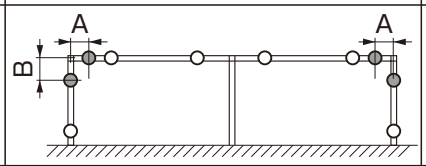
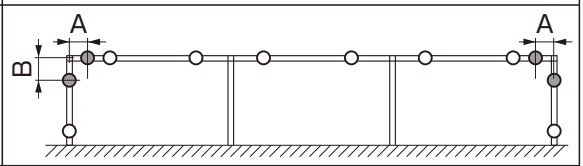
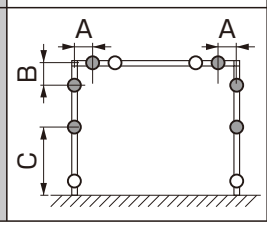
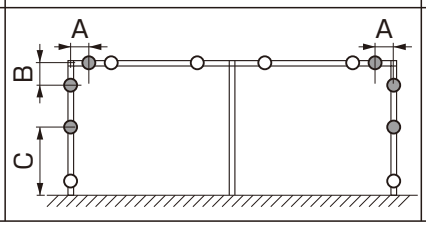
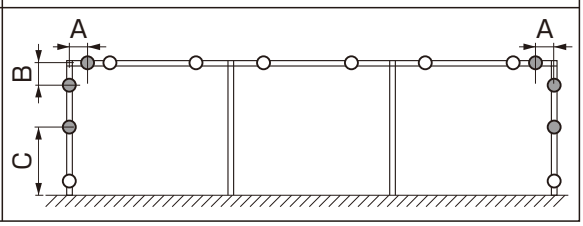
本手順完了 → 柱建て式 → 3 柱-桁の取付け（P.98）
本手順完了 → 屋根置き式 → 3 柱-桁の取付け（P.100）

●横格子面材・横格子ルーバーの場合

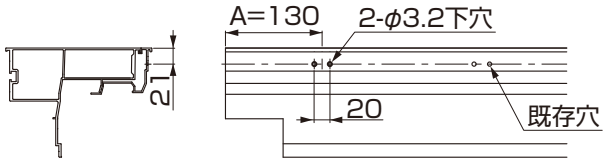
ポイント

●その他の面材の場合は、加工が不要です。

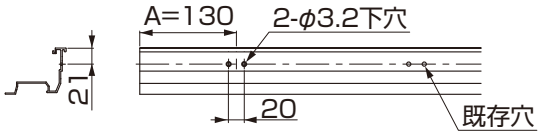
表2-1　穴加工位置（●：現場穴加工位置　○：出荷時加工済穴位置）

	単体（1.0～2.5間）	2連棟（2.5～4.0間）	3連棟（4.5～6.0間）
2・3尺			
4尺			
5・6尺			

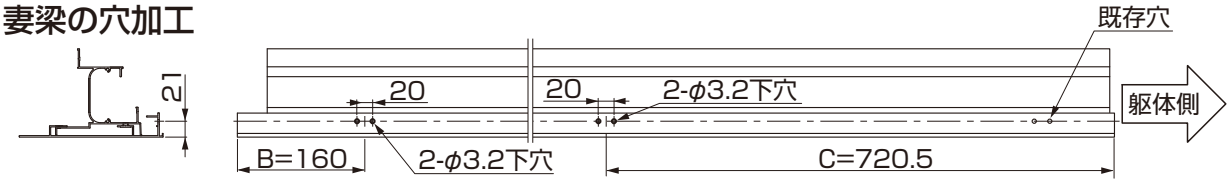
●前桁（単体）の穴加工



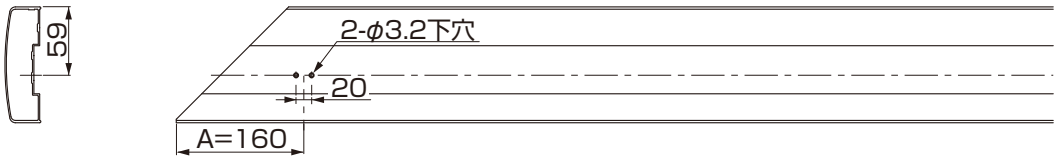
●前桁（連棟）の穴加工



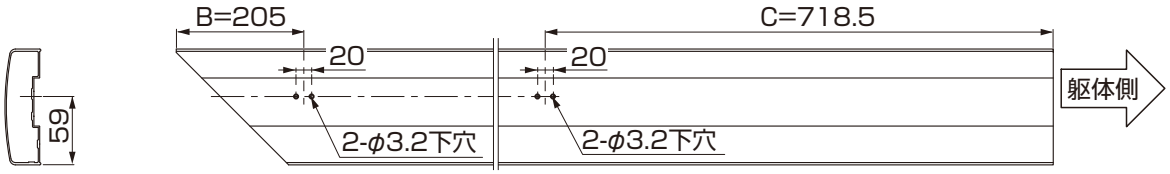
●妻梁の穴加工



●笠木（間口方向）の穴加工



●笠木（出幅方向）の穴加工



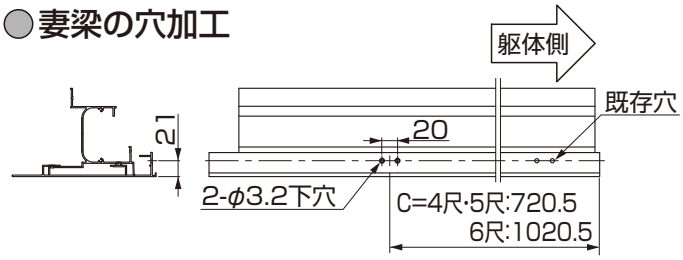
①前桁・妻梁・笠木の穴加工位置を確認し、φ3.2の下穴をあけてください。

●フレームレスの場合

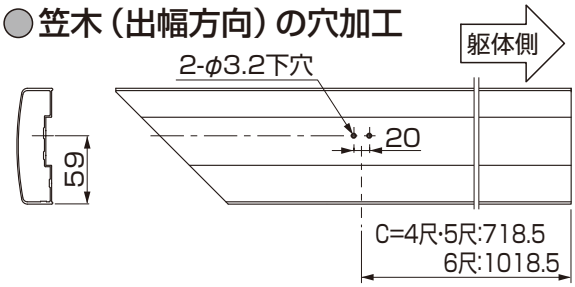
表2-2　穴加工位置（●：現場穴加工位置　○：出荷時加工済穴位置）

	単体（1.0～2.5間）	2連棟（2.5～4.0間）	3連棟（4.5～6.0間）
2・3尺	穴加工不要		
4・5・6尺	C	C	C

●妻梁の穴加工



●笠木（出幅方向）の穴加工



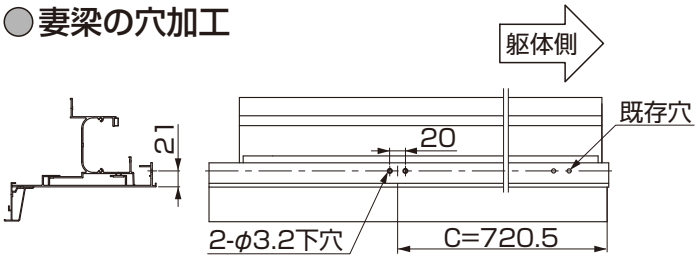
①妻梁・笠木の穴加工位置を確認してください。
②妻梁・笠木にφ3.2の下穴をあけてください。

●サイディングの場合

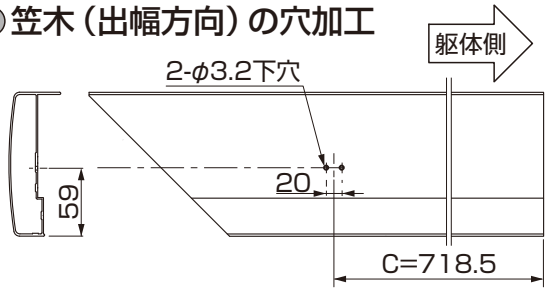
表2-3　穴加工位置（●：現場穴加工位置　○：出荷時加工済穴位置）

	単体（1.0～2.5間）	2連棟（2.5～4.0間）	3連棟（4.5～6.0間）
2・3尺	穴加工不要		
4尺	C	C	C
5・6尺	穴加工不要		

●妻梁の穴加工



●笠木（出幅方向）の穴加工



①妻梁・笠木の穴加工位置を確認してください。
②妻梁・笠木にφ3.2の下穴をあけてください。

3 柱-桁の取付け

●柱建て式納まりの場合

1 柱固定ボルトの取付け

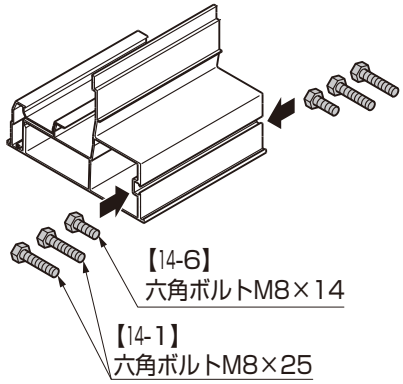


図3-1　単体、
1階設置（単体・連棟共通）

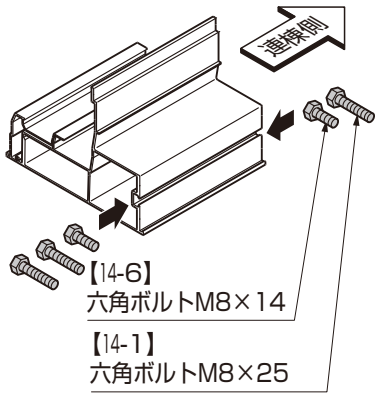


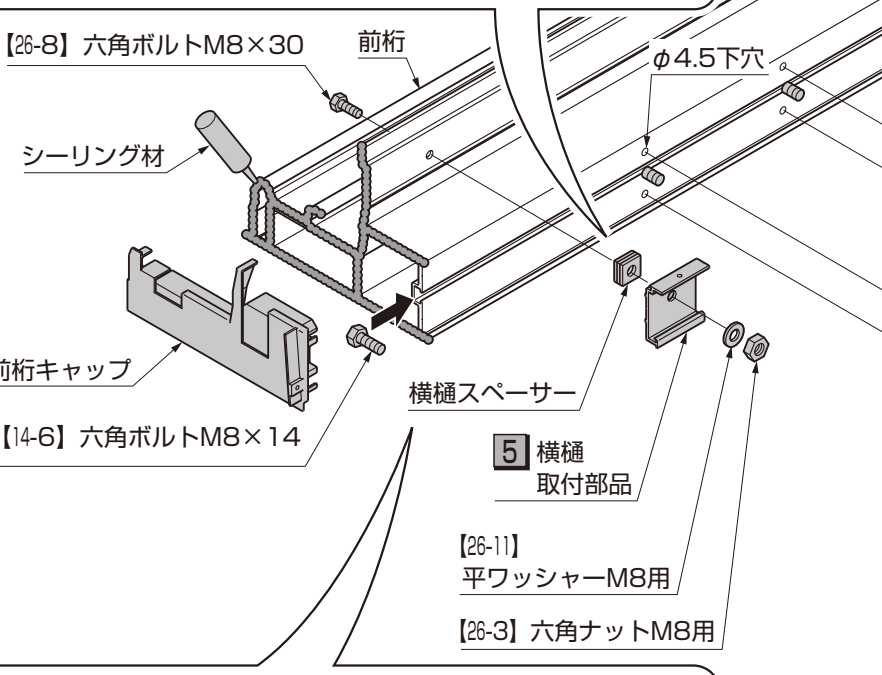
図3-2　連棟

ポイント

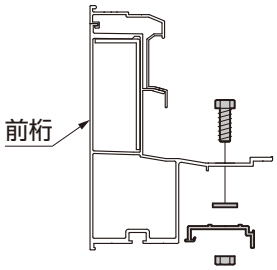
- 【14-1】【14-6】は図の順番・個数で挿入してください。
- 1階設置の場合、単体・連棟でボルト順番・個数が同じになります。

ポイント

- 指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。



5 部品の取付け



●横樋スペーサー取付け個数

▭：横樋スペーサー
▭：前桁

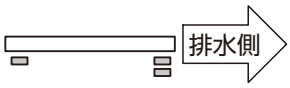


図3-3　1.0間

図3-4　1.5間～2.0間

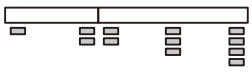


図3-5　2.5間

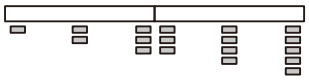


図3-6　3.0間～4.0間

図3-7　4.5間～6.0間

ポイント

- サイズにより横樋スペーサーの取付個数が異なります。
- φ7の穴は水抜き穴です。

1 柱固定ボルトの取付け

①【14-1】【14-6】を前桁のボルトホールに挿入してください。

2 柱固定ブロックの取付け

①主柱固定ブロックを柱に【14-7】【14-8】で取付けてください。

3 アンカー棒の取付け

①主柱にφ10の水抜き穴をあけてください。
②アンカー棒を柱に差し込んでください。

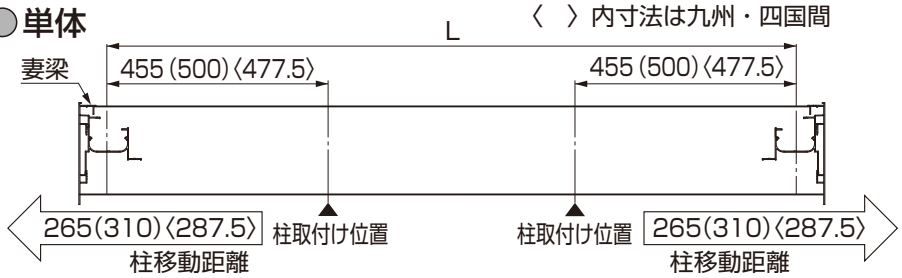
4 柱の取付け

①柱の取付け位置を確認してください。
②前桁にφ4.5の下穴をあけてください。
③柱を前桁に【14-2】【14-3】【14-4】【14-8】で取付けてください。

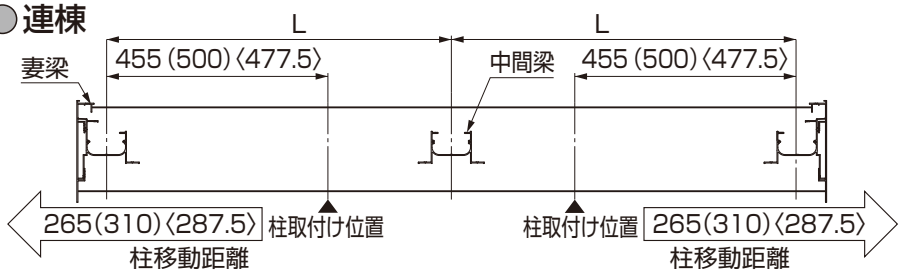
4 柱の取付け

※（　）内寸法はメーター
〈　〉内寸法は九州・四国間

●単体

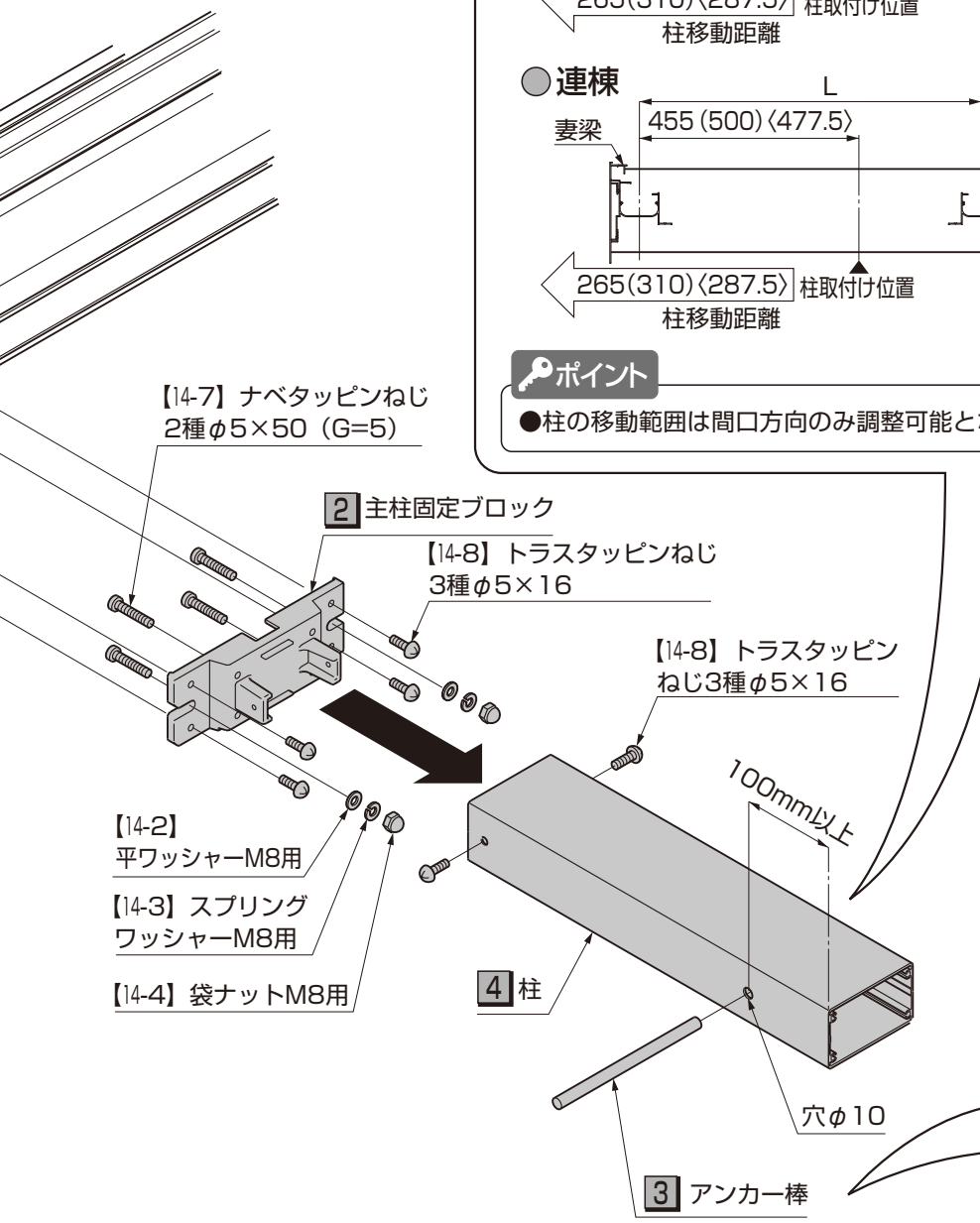


●連棟

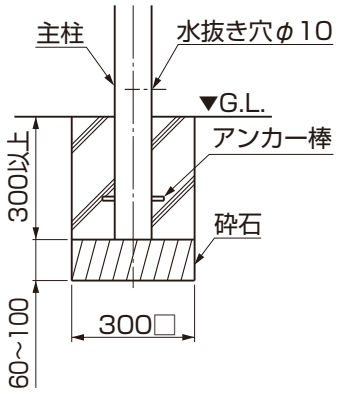


ポイント

●柱の移動範囲は間口方向のみ調整可能となります。出幅方向には調整できません。



3 アンカー棒の取付け



ポイント

●土など基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。

5 部品の取付け

①横樋取付部品と横樋スペーサーを前桁に【26-3】【26-8】【26-11】で取付けてください。
②前桁にシーリングをしてください。
③前桁キャップを前桁に取付けてください。

ポイント

●次の取付け手順を確認してください。

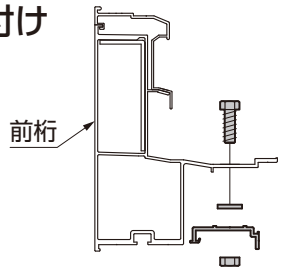
本手順完了 → フルフラット → 4 大引き、雨樋の取付け（P.102）
本手順完了 → 標準 → 5 根太、前桁-柱の取付け（P.106）

MAM-64F_201902
M002_201902G

3 柱-桁の取付け（つづき）

●屋根置き式納まりの場合

3 部品の取付け



ポイント

●サイズにより横樋スペーサーの取付個数が異なります。
●φ7の穴は水抜き穴です。

●横樋スペーサー取付け個数

▭：横樋スペーサー
▭：前桁

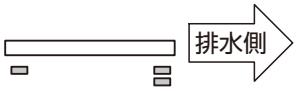


図3-8　1.0間

図3-9　1.5間～2.0間

図3-10　2.5間

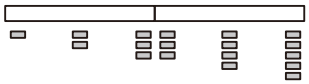
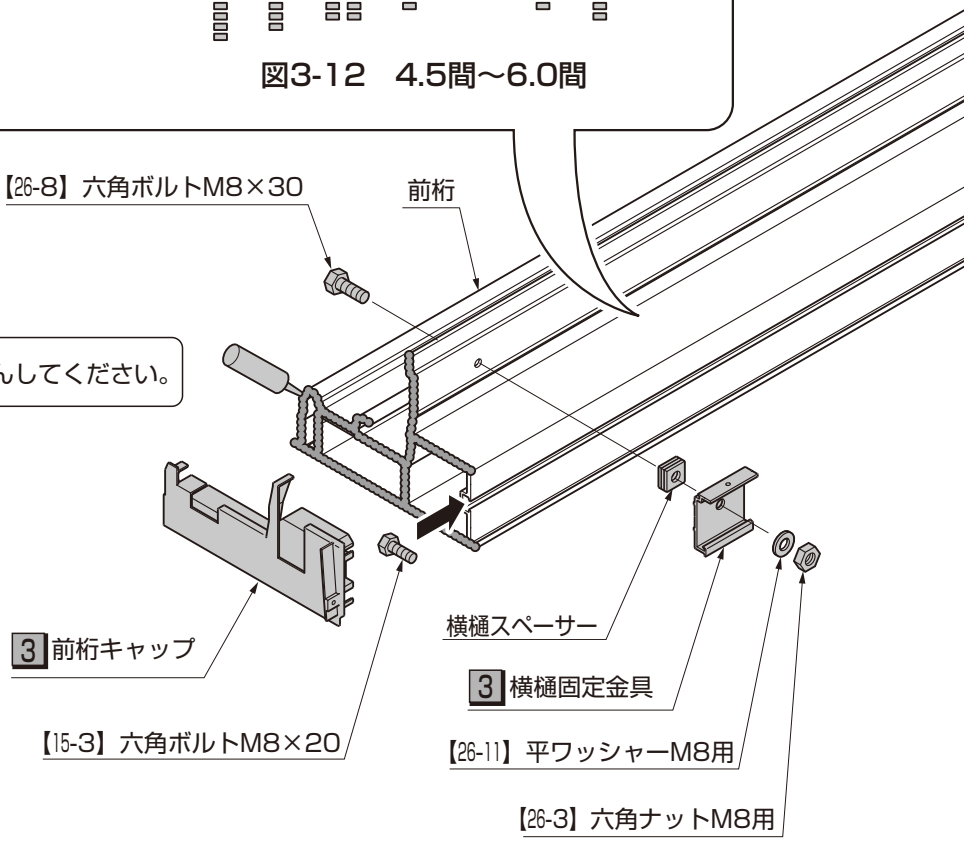


図3-11　3.0～4.0間

図3-12　4.5間～6.0間



ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

1 柱固定金具の取付け

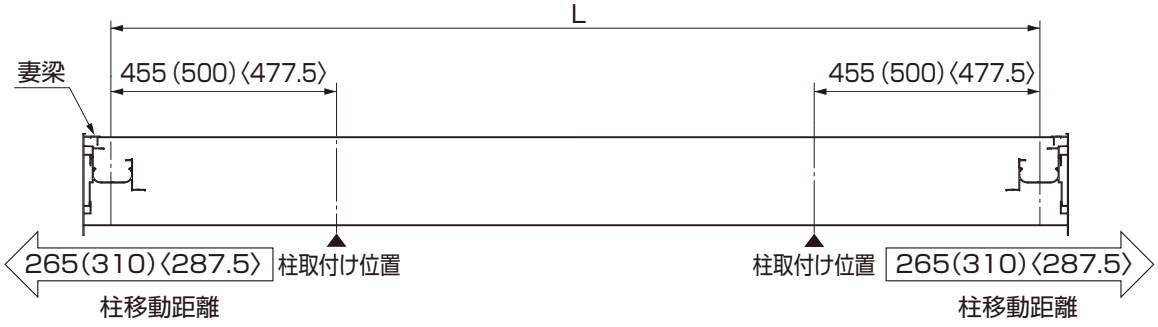
①柱固定金具の取付け位置を確認してください。
②前桁にφ4.5の下穴をあけてください。
③【15-3】を前桁のボルトホールに挿入してください。
④柱固定金具を前桁に【15-2】【15-4】【15-5】で取付けてください。

2 柱の取付け

①つか台受けを調整脚に【15-1】で取付けてください。
②つか調整ボルトとつか調整裏板を調整脚に差込んでください。
③調整脚を柱にスライドして高さを決め、【15-1】【15-3】【15-4】で仮止めしてください。
④柱を柱固定金具に【15-2】で取付けてください。

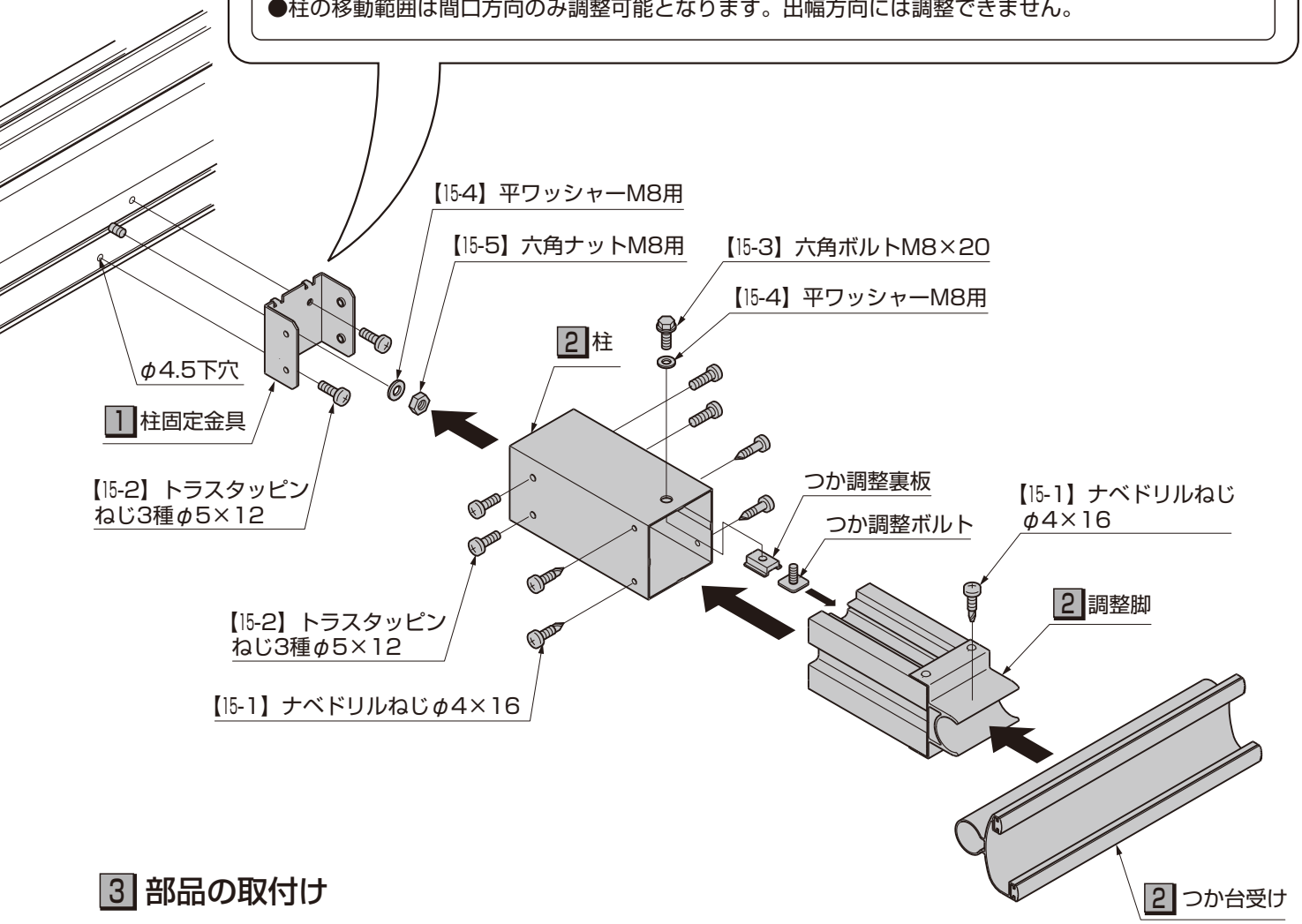
1 柱固定金具の取付け

※（　）内寸法はメーター
〈　〉内寸法は九州・四国間



ポイント

●柱の移動範囲は間口方向のみ調整可能となります。出幅方向には調整できません。



3 部品の取付け

①横樋固定金具と横樋スペーサーを前桁に【26-3】【26-8】【26-11】で取付けてください。
②前桁にシーリングをしてください。
③前桁キャップを前桁に取付けてください。

ポイント

●次の取付け手順を確認してください。

本手順完了 → フルフラット → 4 大引き、雨樋の取付け（P.102）
本手順完了 → 標準 → 5 根太、前桁-柱の取付け（P.106）

4 大引き、雨樋の取付け　※フルフラットの場合の作業です。

1 大引ブラケットの位置確認

※〈　〉は九州・四国間、［　］はメーターモジュールを示します。
※表示寸法は目安です。躯体構造体のある個所に取付けてください。

▯：大引ブラケット
▌：大引ブラケット
（4～6尺の時に追加）

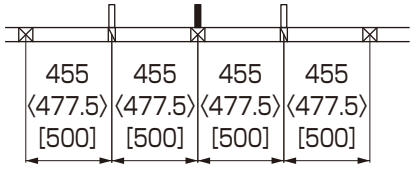


図4-1　1.0間

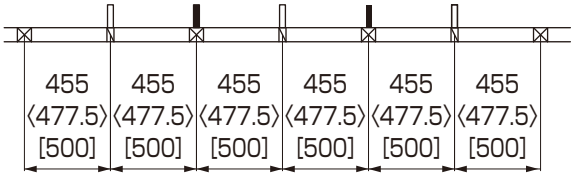


図4-2　1.5間

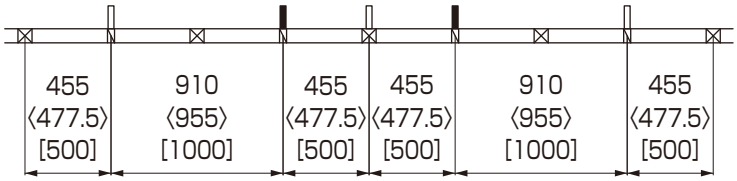
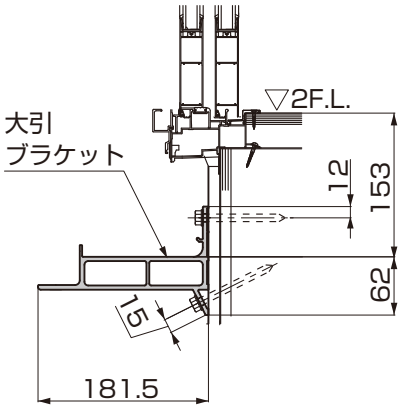
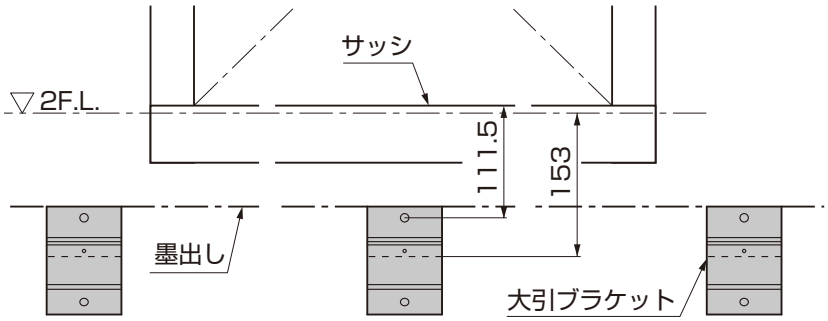


図4-3　2.0間





①大引ブラケットの取付位置を確認してください。

ポイント

●大引ブラケットの取付高さをすべて合わせて取付けます。

2 大引き、雨樋の加工

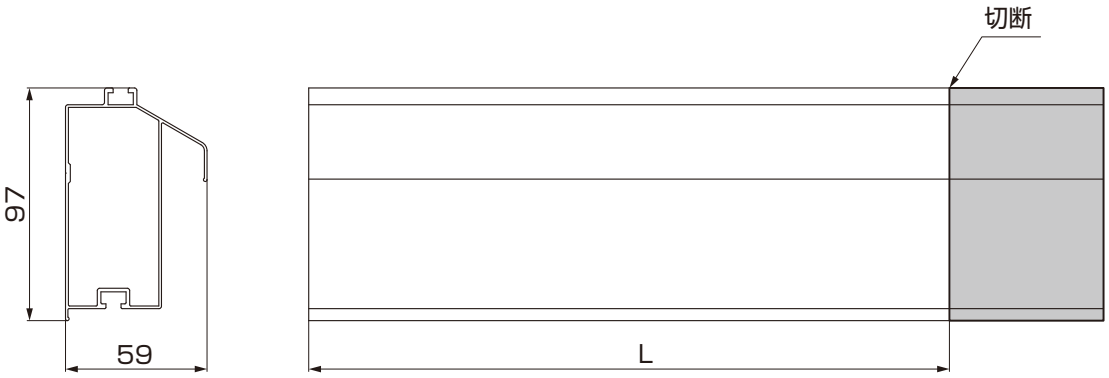


図4-4　大引き

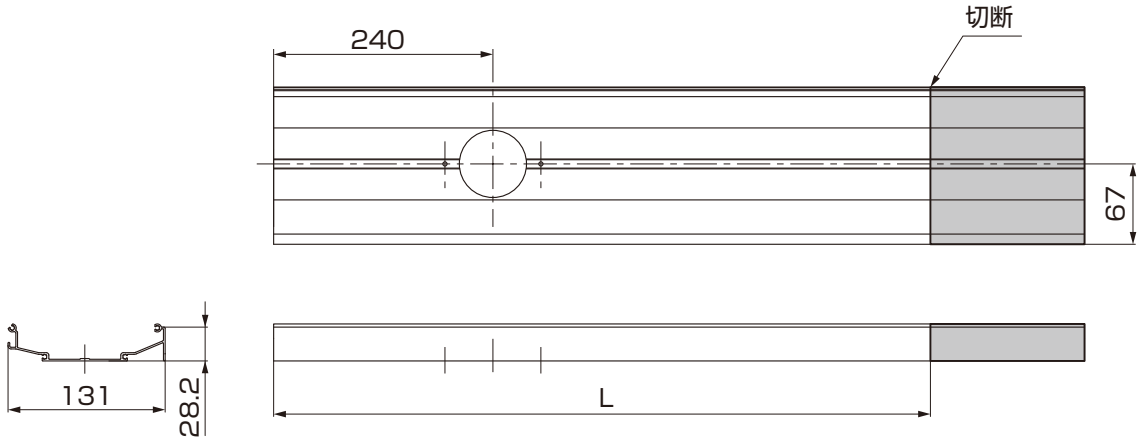


図4-5　雨樋

表4-1　L寸法

		L	
		大引き	雨樋
関東間	1.0間	1539	1540
	1.5間	2449	2450
	2.0間	3359	3360
メーターモジュール	2000	切断加工不要	切断加工不要
	3000		
	4000		
九州四国間	1.0間	1629	1630
	1.5間	2584	2585
	2.0間	3539	3540

①大引きと雨樋を切断加工してください。

4 大引き、雨樋の取付け（つづき）

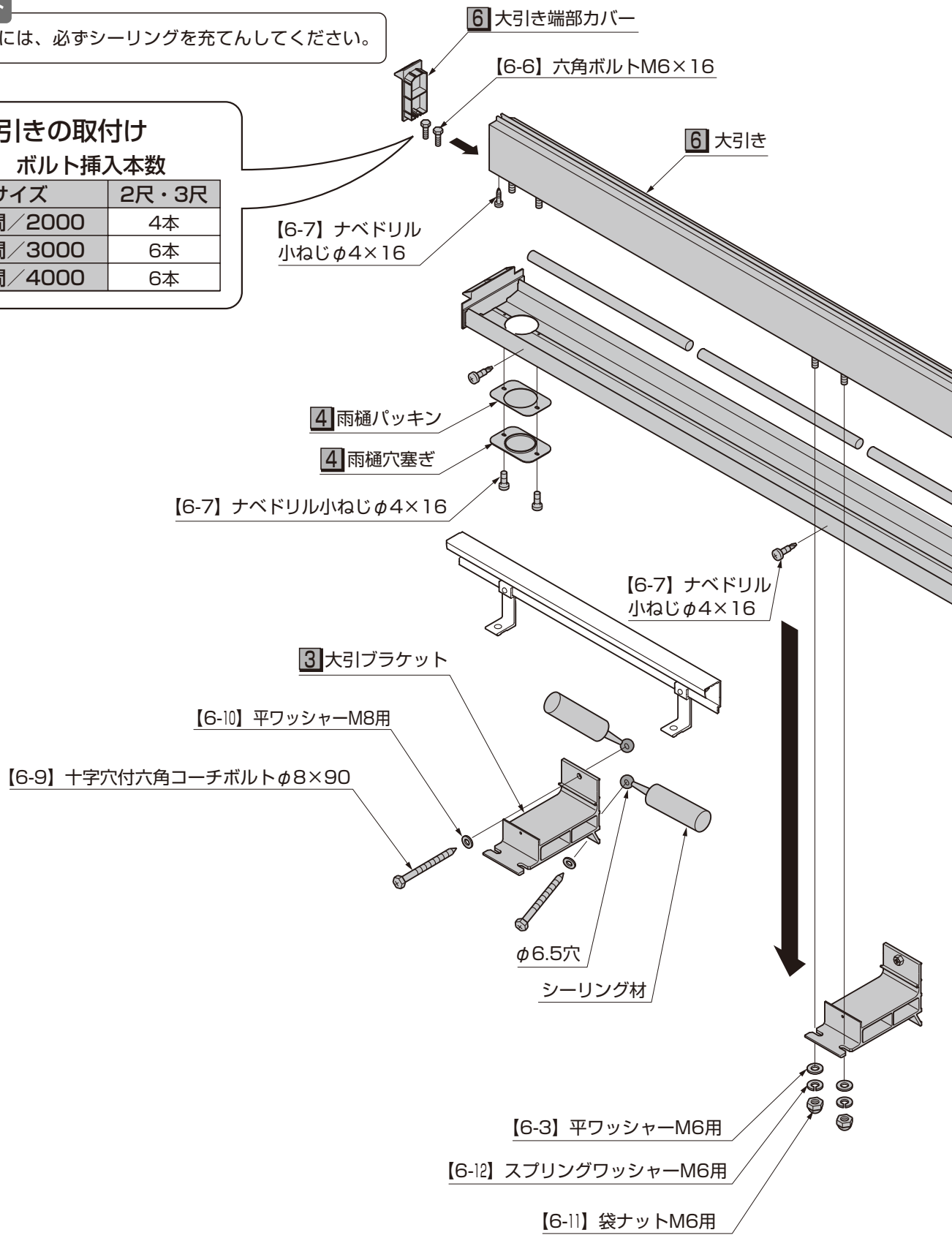
ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

6 大引きの取付け

表4-2　ボルト挿入本数

サイズ	2尺・3尺
1.0間／2000	4本
1.5間／3000	6本
2.0間／4000	6本



3 大引ブラケットの取付け

①φ6.5の穴を躯体にあけ、下穴にシーリングをしてください。
②大引ブラケットを躯体に【6-9】【6-10】で取付けてください。

4 雨樋の組立て

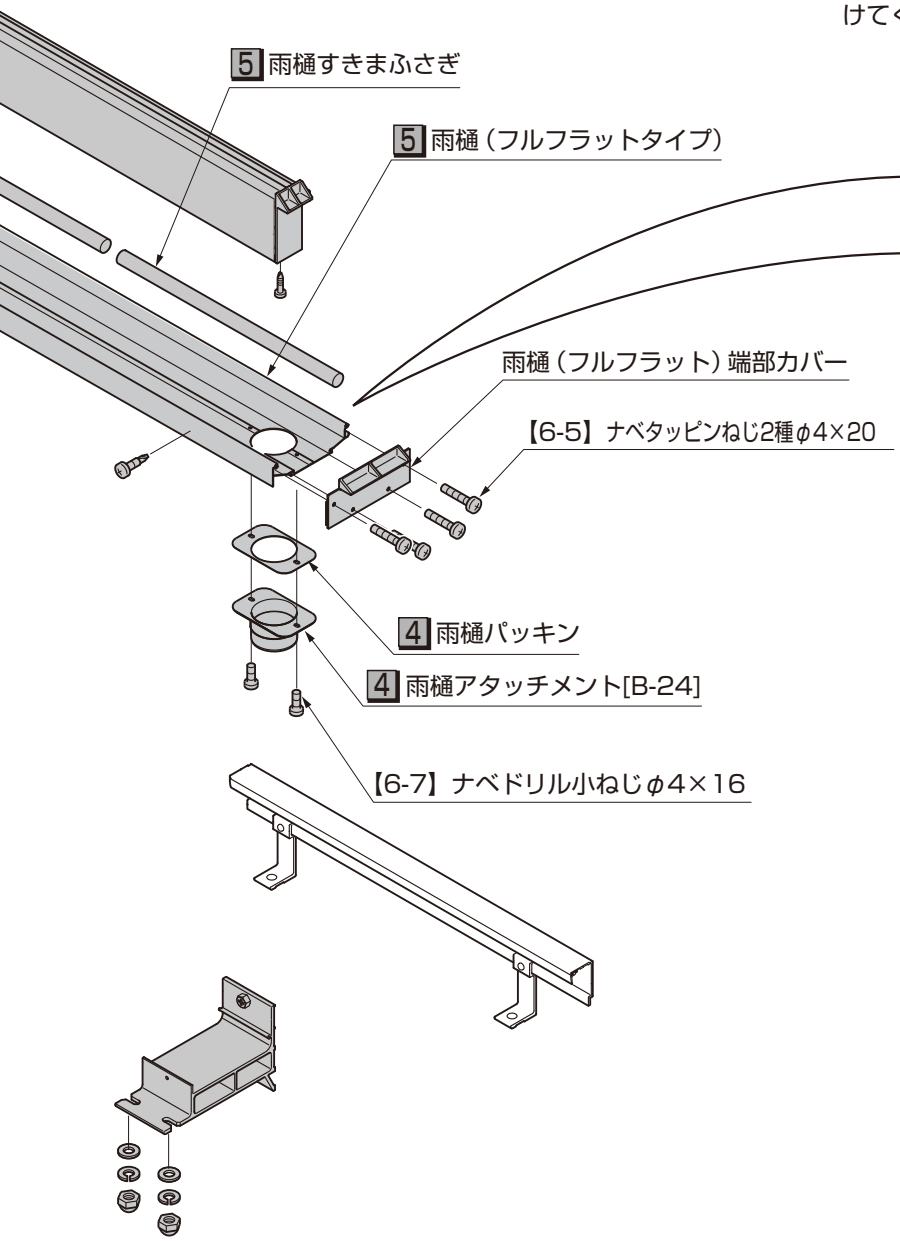
①雨樋アタッチメント[B-24]、雨樋パッキンを水下側の水抜き穴に【6-7】で取付けてください。
②雨樋穴塞ぎ、雨樋パッキンをもう一方の水抜き穴に【6-7】で取付けてください。
③雨樋(フルフラット)端部カバーを雨樋に【6-5】で取付けてください。

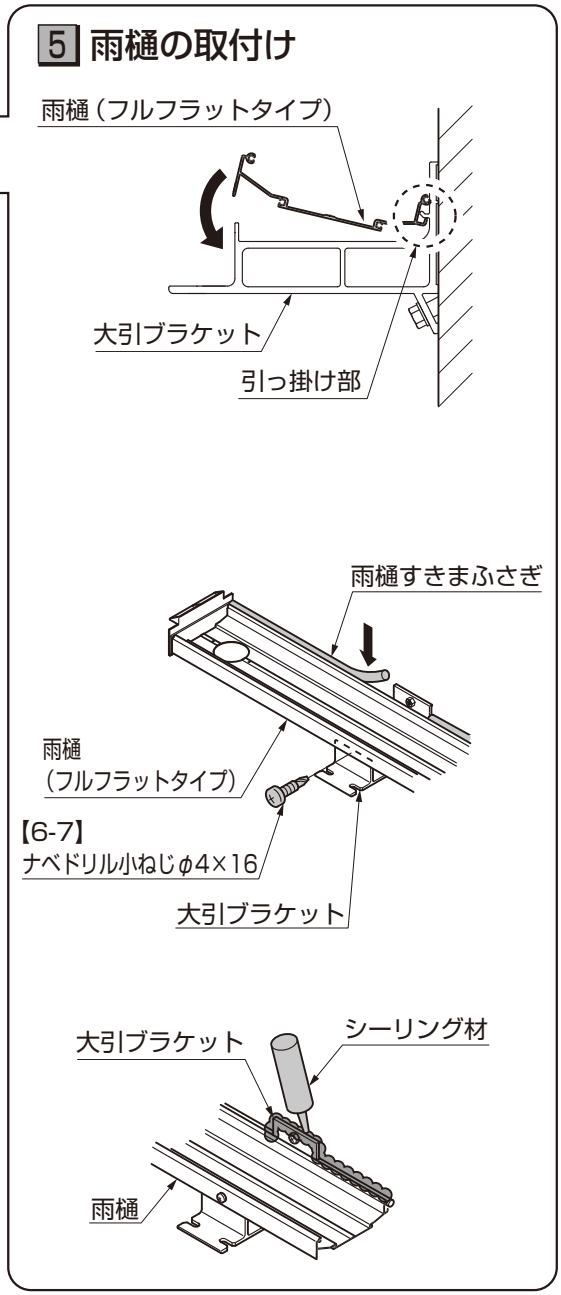
5 雨樋の取付け

①雨樋（フルフラットタイプ）を大引ブラケットに引っ掛けてください。
②雨樋（フルフラットタイプ）を大引ブラケットに【6-7】で取付けてください。
③雨樋すきまふさぎを雨樋と躯体の間に詰めてください。
④雨樋すきまふさぎの上、大引ブラケットの周辺にシーリングしてください。

6 大引きの取付け

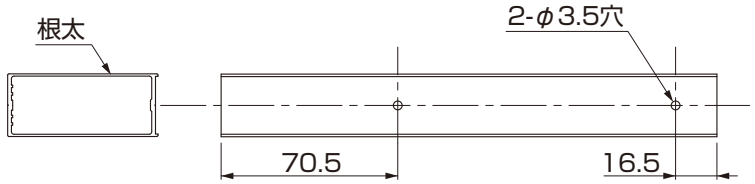
①【6-6】を大引きの下側のボルトホールに必要本数挿入してください。(表4-2参照)
②大引き端部カバーを大引きに【6-7】で取付けてください。
③大引きを大引ブラケットに【6-3】【6-11】【6-12】で取付けてください。

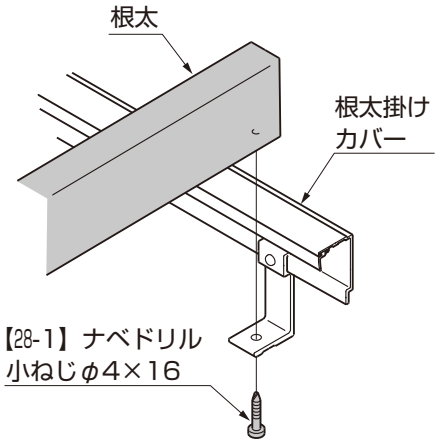




5 根太、前桁-柱の取付け　※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けになります。

1 根太の取付け





①根太にφ3.5の穴加工をしてください。

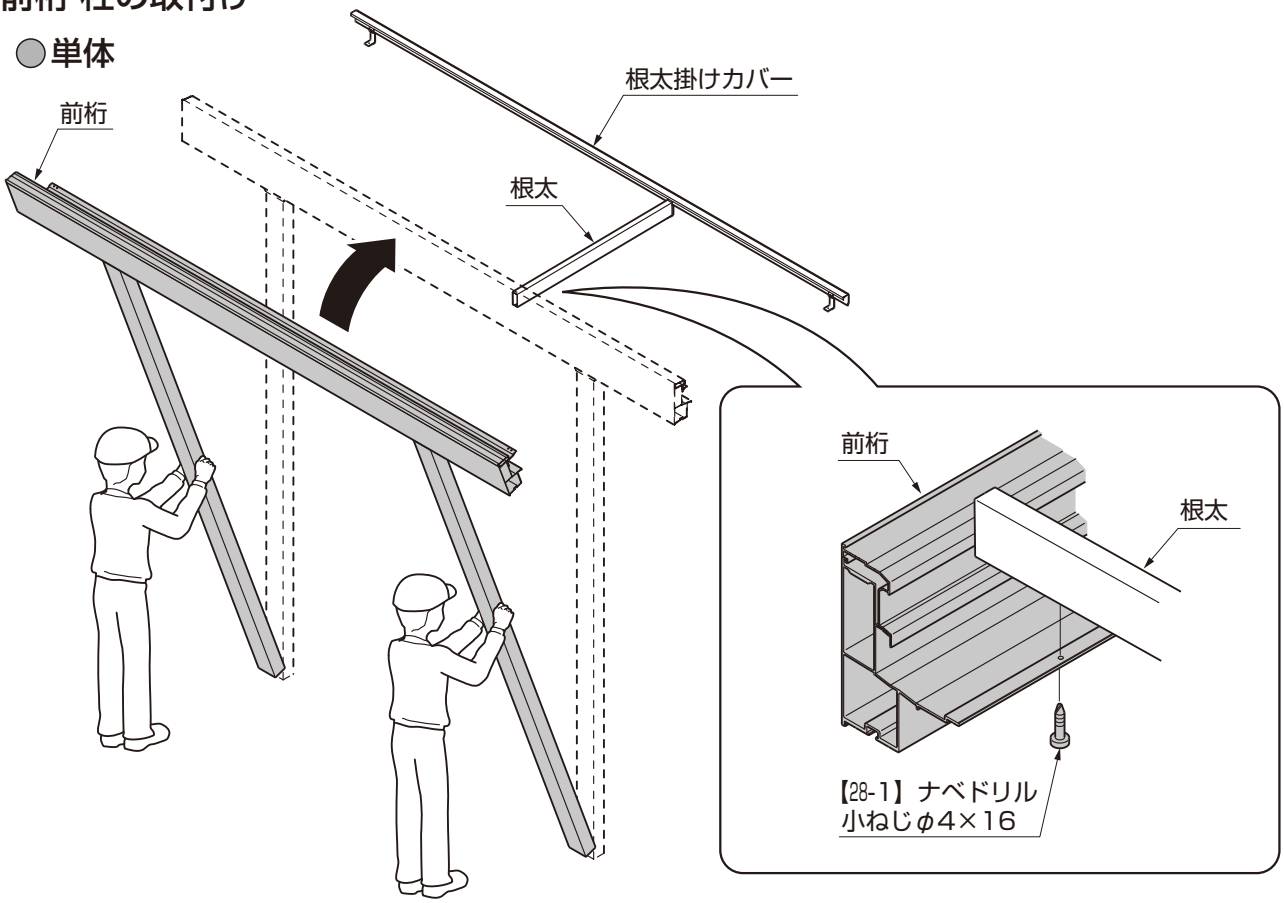
ポイント

●根太の加工本数は単体1本、2連棟2本、3連棟3本となります。

②加工した根太を根太掛けカバーに【28-1】で取付けてください。

2 前桁-柱の取付け

●単体



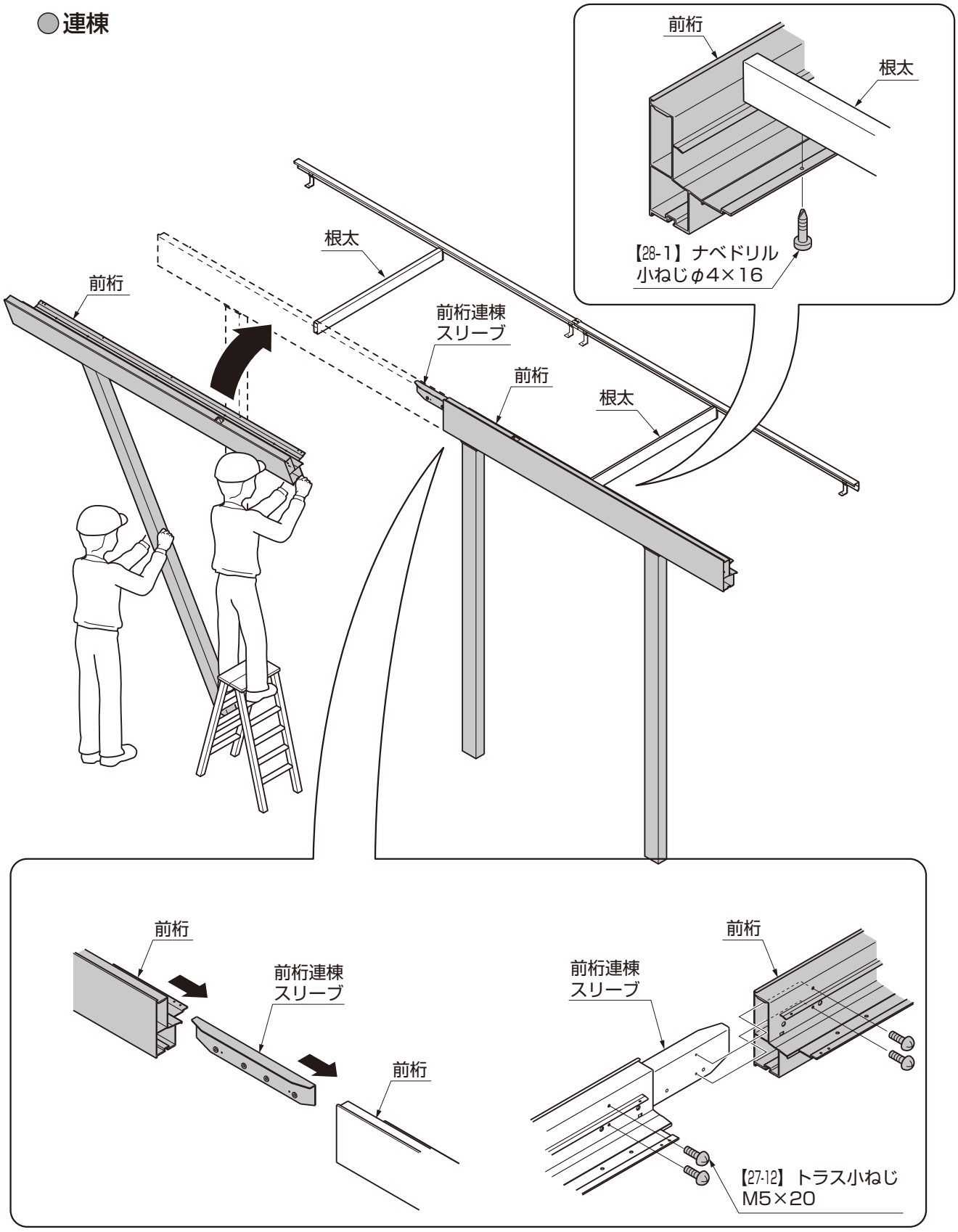
①門型に組立てた前桁-柱を持ち上げ、根太に【28-1】で取付けてください。

ポイント

●次の取付け手順を確認してください。

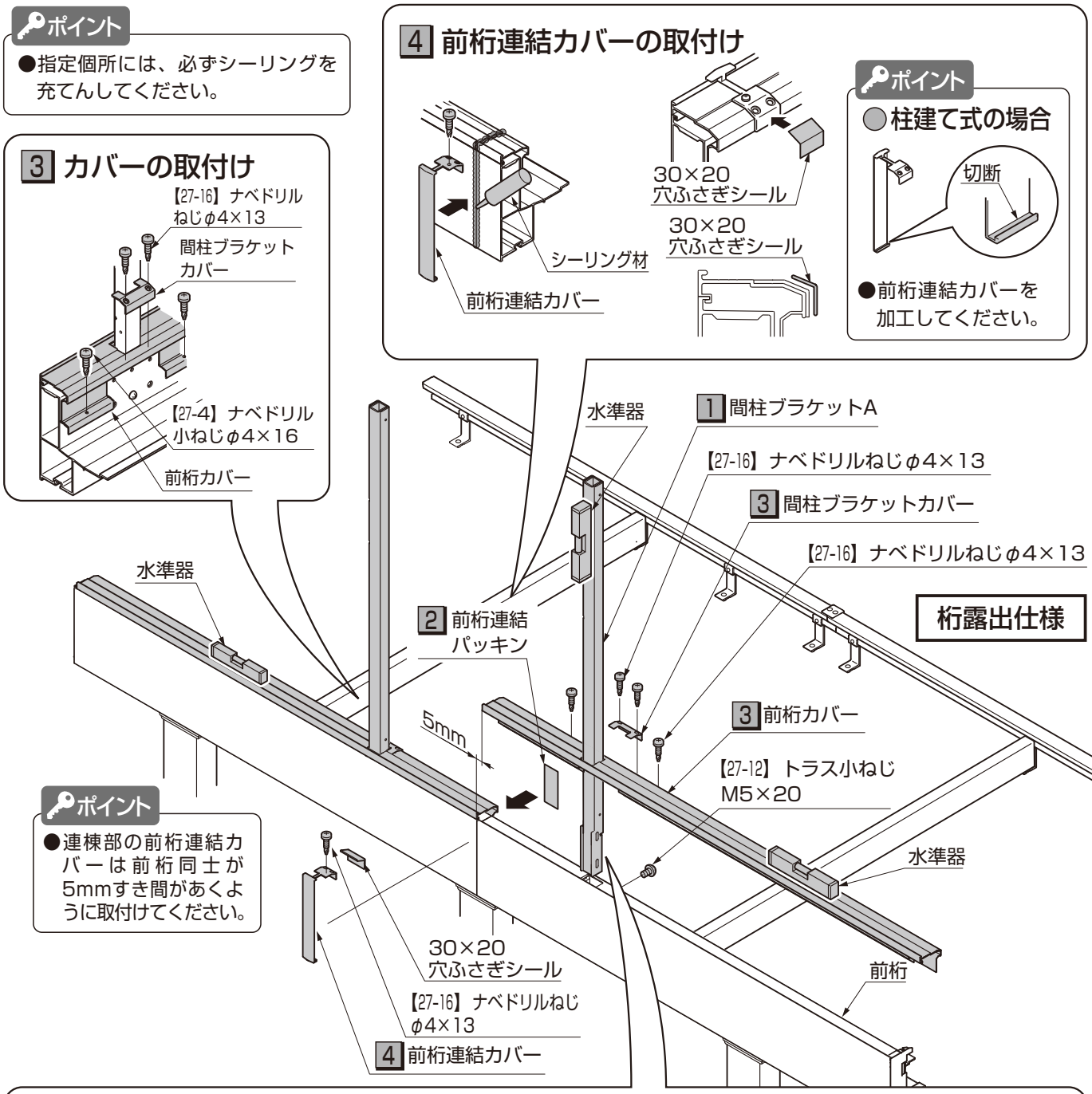
本手順完了 → 7妻梁の取付け（P.110）

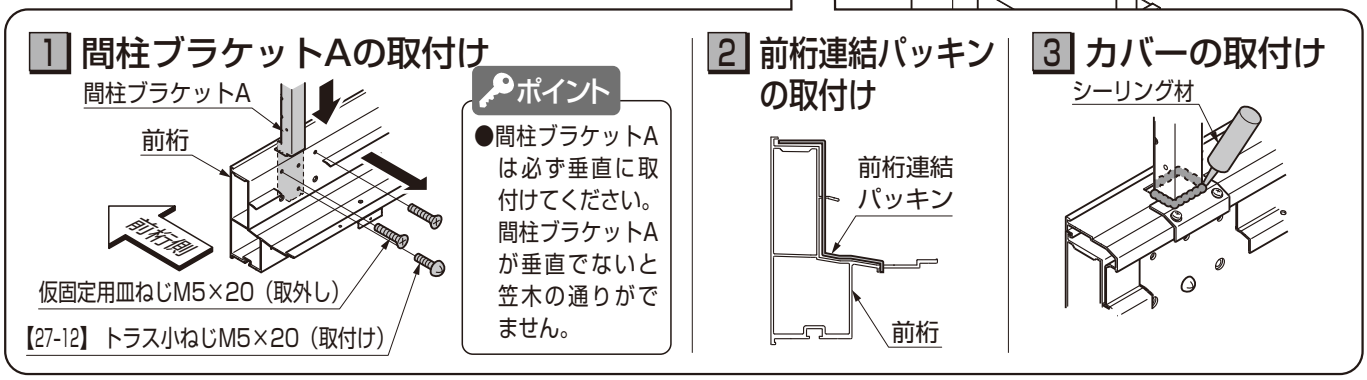
●連棟



①門型に組立てた前桁-柱を持ち上げ、根太に【28-1】取付けてください。
②先に門型に組んだ方に前桁連棟スリーブを【27-12】で取付けてください。
③連結する側の前桁を前桁連棟スリーブと根太に【27-12】【28-1】で取付けてください。

6 連棟部の取付け





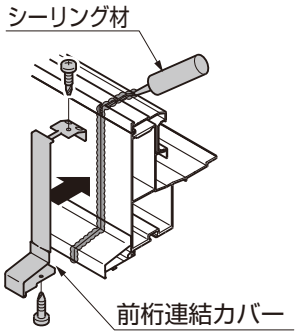
1 間柱ブラケットAの取付け

①皿小ねじM5×20を取外してください。
②間柱ブラケットAを前桁に差込んで【27-12】で取付けてください。

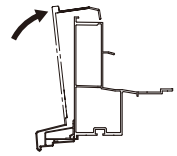
2 前桁連結パッキンの取付け

①前桁連結パッキンを前桁連結部に取付けてください。

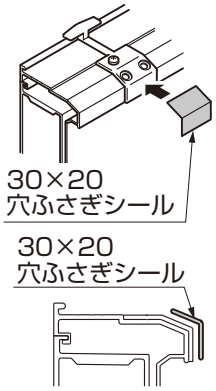
4 前桁連結カバーの取付け



ポイント

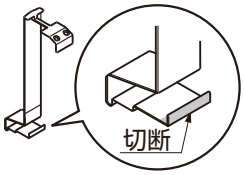


●前桁連結カバーは下部からはめてください。

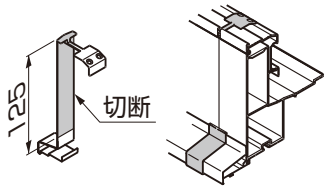


ポイント

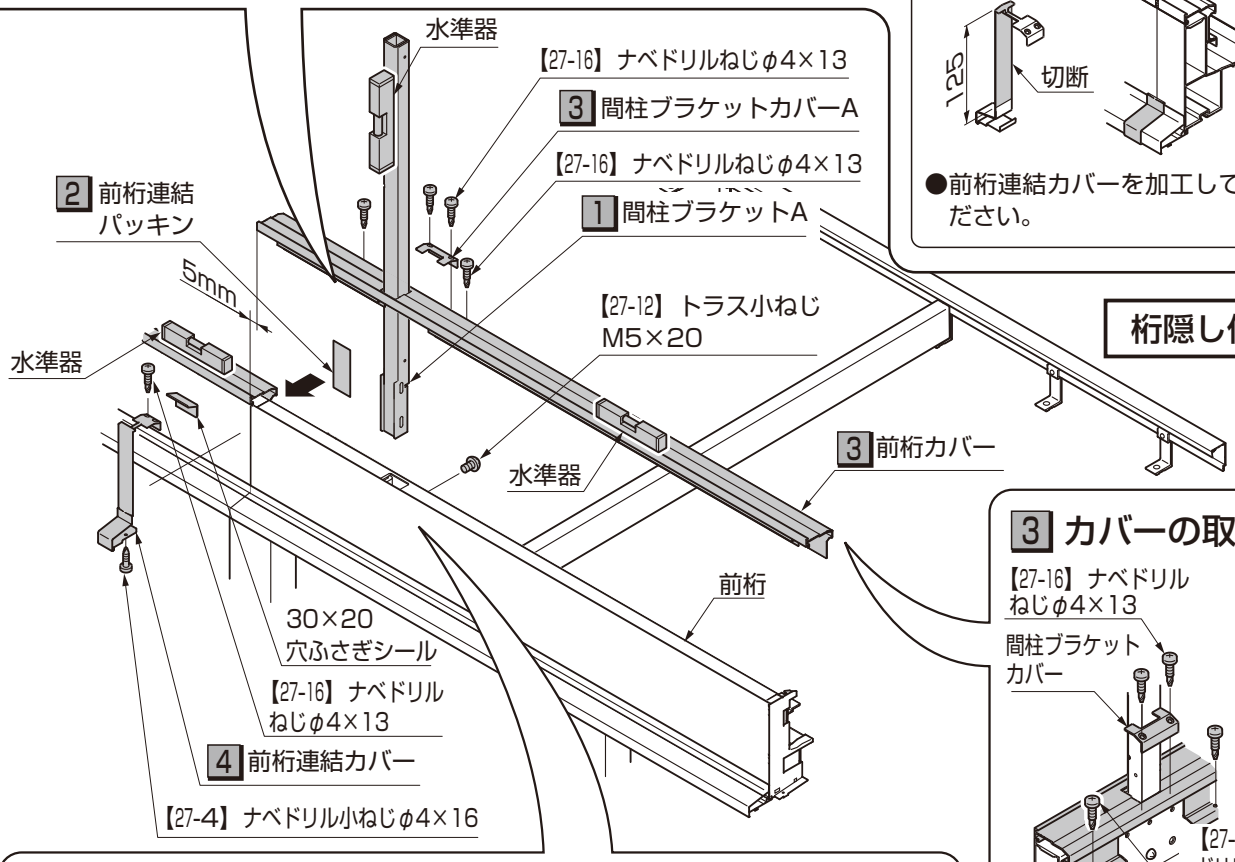
●柱建て式の場合



●連棟部にサイディングパネルを取付ける場合

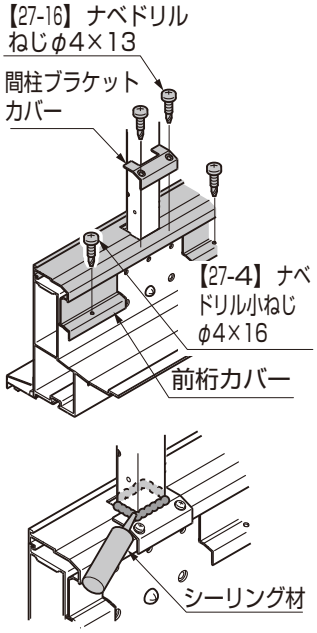


●前桁連結カバーを加工してください。

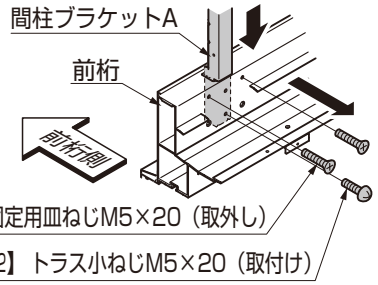


桁隠し仕様

3 カバーの取付け



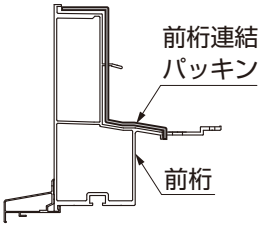
1 間柱ブラケットAの取付け



ポイント

●間柱ブラケットAは必ず垂直に取付けてください。間柱ブラケットAが垂直でないと笠木の通りがでません。

2 前桁連結パッキンの取付け



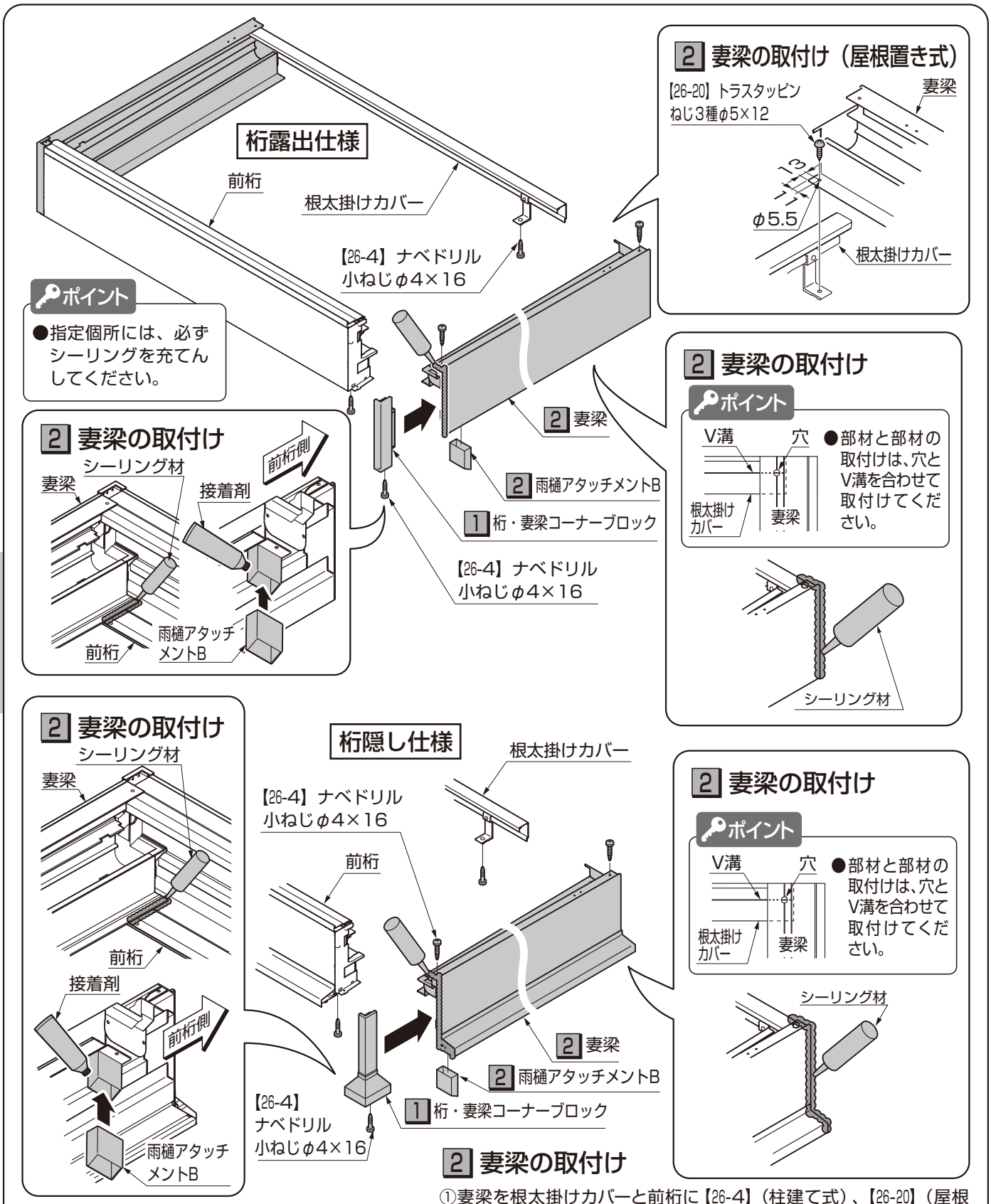
3 カバーの取付け

①前桁カバーを間柱ブラケットAに差込み、前桁に【27-4】で取付けてください。
②間柱ブラケットカバーを前桁カバーに【27-16】で取付けてください。
③間柱と間柱ブラケットカバーまわりをシーリングしてください。

4 前桁連結カバーの取付け

①前桁連結部にシーリングをしてください。
②前桁連結カバーを前桁に【27-16】（桁隠し：【27-4】【27-16】）で取付けてください。
③30×20穴ふさぎシールを前桁連結カバーに張付けてください。

7 妻梁の取付け



1 コーナーブロックの取付け

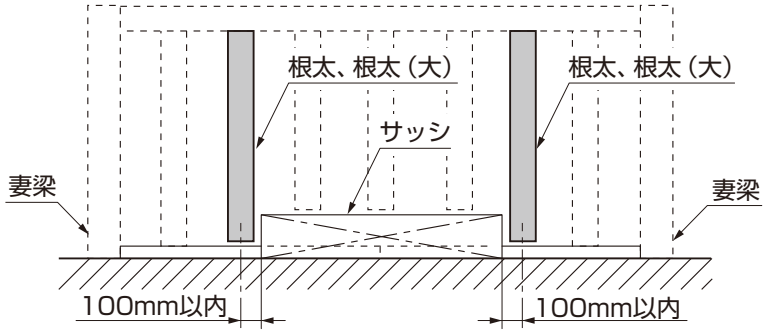
①妻梁にシーリングをしてください。
②桁・妻梁コーナーブロックを妻梁に差込んでください。

2 妻梁の取付け

①妻梁を根太掛けカバーと前桁に【26-4】（柱建て式）、【26-20】（屋根置き式）で取付けてください。
（根太掛けカバー上部に障害物がある場合は、根太掛けカバーに下穴をあけてください）
②妻梁の前桁側にシーリングをしてください。
③躯体接合部にシーリングをしてください。
④接着剤を妻梁に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。

8 根太、根太（大）の加工

1 根太、根太（大）の取付け位置の確認　※フルフラット納まりの場合

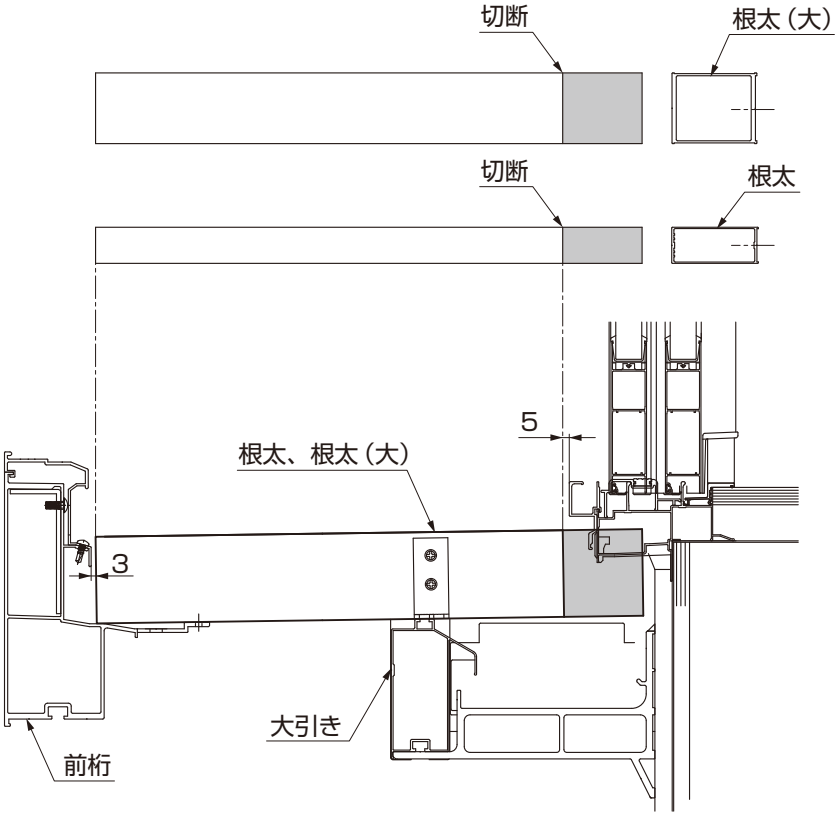


①根太、根太（大）の取付け位置を確認してください。

ポイント

●サッシ枠から根太、根太（大）までの距離が100mm以内になるように根太、根太（大）を取付けてください。（アルミ床、スリット床の場合）

2 根太、根太（大）の加工　※フルフラット納まりの場合



①根太、根太（大）をサッシ枠の出幅に合わせて切断してください。

ポイント

●サッシ枠に干渉する部分に取付ける根太、根太（大）のみ切断してください。
●切断位置はサッシ下枠外面より5mm外側の位置としてください。

9 根太、根太（大）の取付け

※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けとなります。

●柱建て式納まりの場合

◯基本の場合

1 根太（大）

根太掛けカバー

1 根太

前桁

【28-1】ナベドリル小ねじφ4×16

◯フルフラット納まりの場合

【6-1】ターンナットM5

【6-4】六角ナットM6用

【6-3】平ワッシャーM6用

φ9写し穴

後付け用梁固定金具

【6-2】ナベタッピンねじ3種φ5×25

根太

大引き

前桁

◯基本の場合

①根太と根太（大）を前桁と根太掛けカバーに【28-1】で取付けてください。

◯フルフラット納まりの場合

②根太と根太（大）にφ9の写し穴をあけてください。

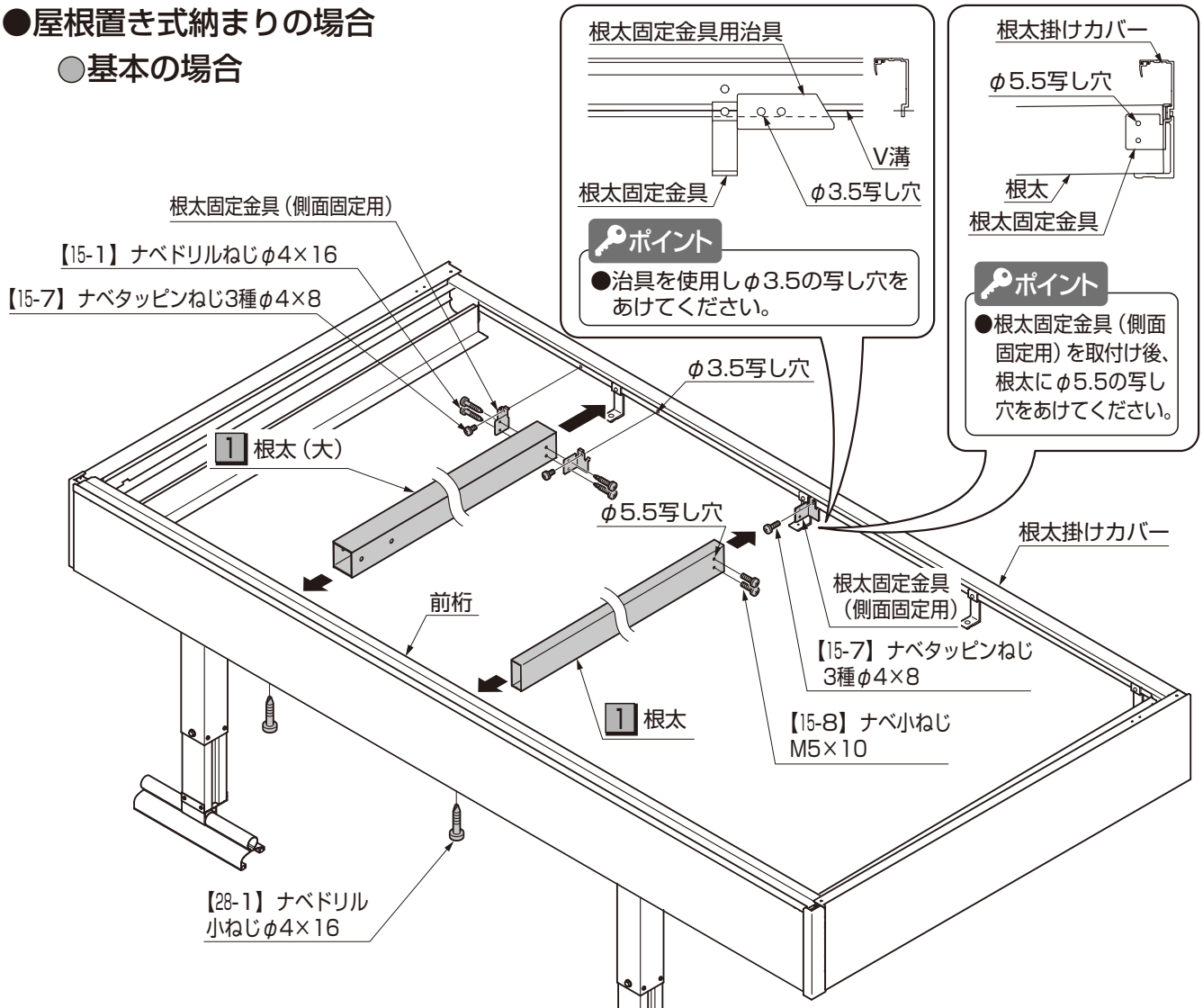
③根太と根太（大）を大引きに後付け用梁固定金具と【6-1】【6-2】【6-3】【6-4】で取付けてください。

ポイント

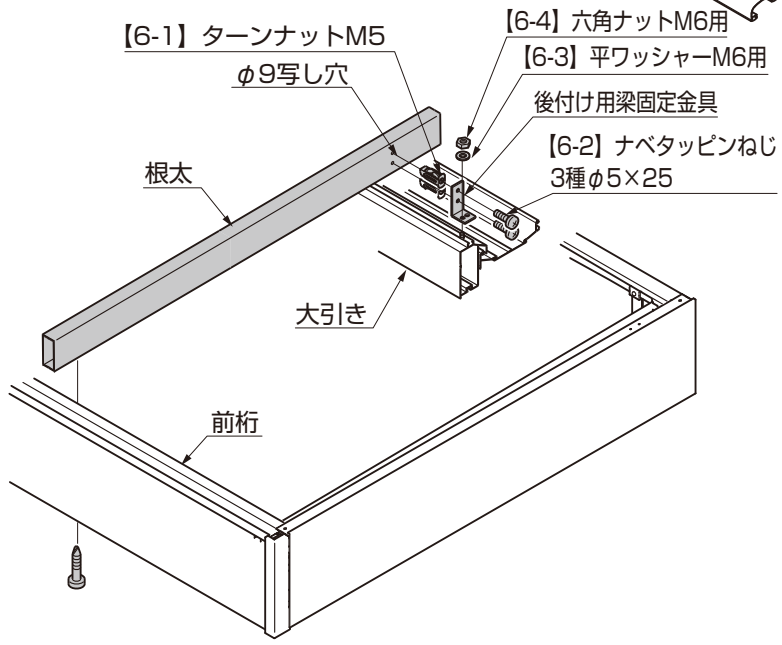
●根太（大）がサッシ枠に干渉する場合も同様に加工・取付けを行ってください。

●屋根置き式納まりの場合

◯基本の場合



◯フルフラット納まりの場合



◯基本の場合

○根太の取付け

①根太を前桁に【28-1】で取付けてください。
②根太固定金具用治具を根太固定金具に当て、根太掛けカバーのV溝上にφ3.5の写し穴をあけてください。
③根太掛けカバーに根太固定金具を引掛け、根太にφ5.5の写し穴をあけてください。
④根太固定金具を根太に【15-7】で取付けてください。
⑤根太を根太固定金具に【15-8】で取付けてください。

○根太（大）の取付け

⑥根太（大）を前桁に【28-1】で取付けてください。
⑦根太固定金具を根太掛けカバーに引掛け、根太掛けカバーにφ3.5の写し穴をあけてください。
⑧根太固定金具を根太（大）、根太掛けカバーに【15-1】【15-7】で取付けてください。

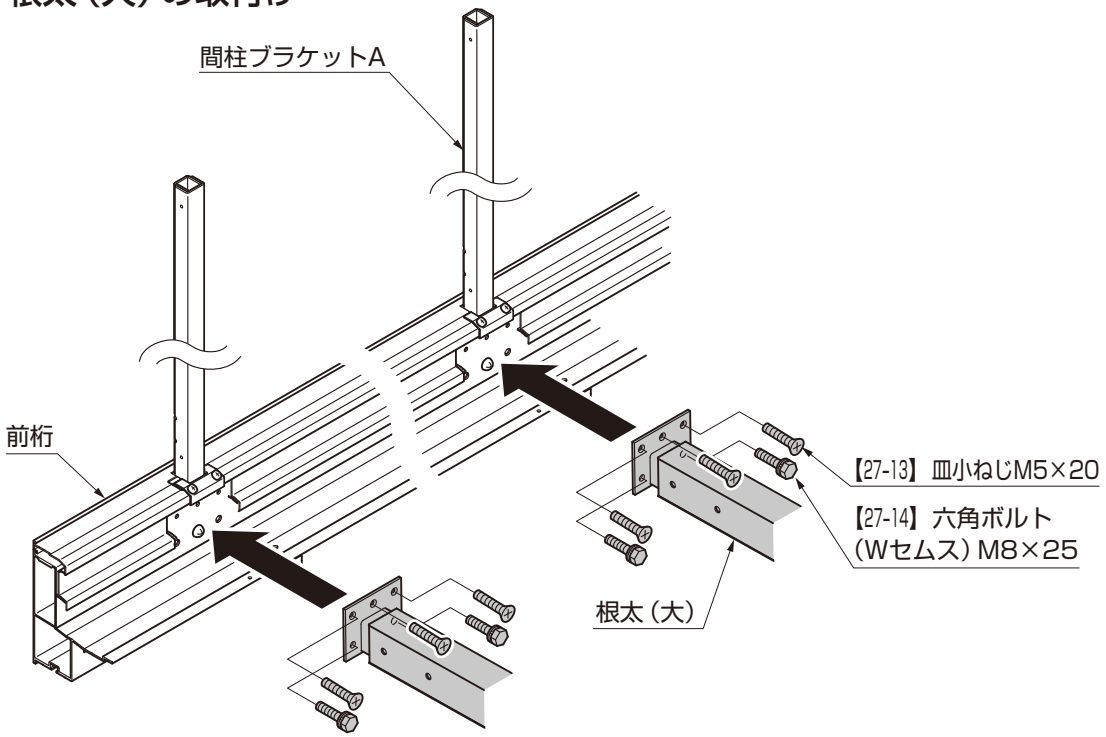
◯フルフラット納まり

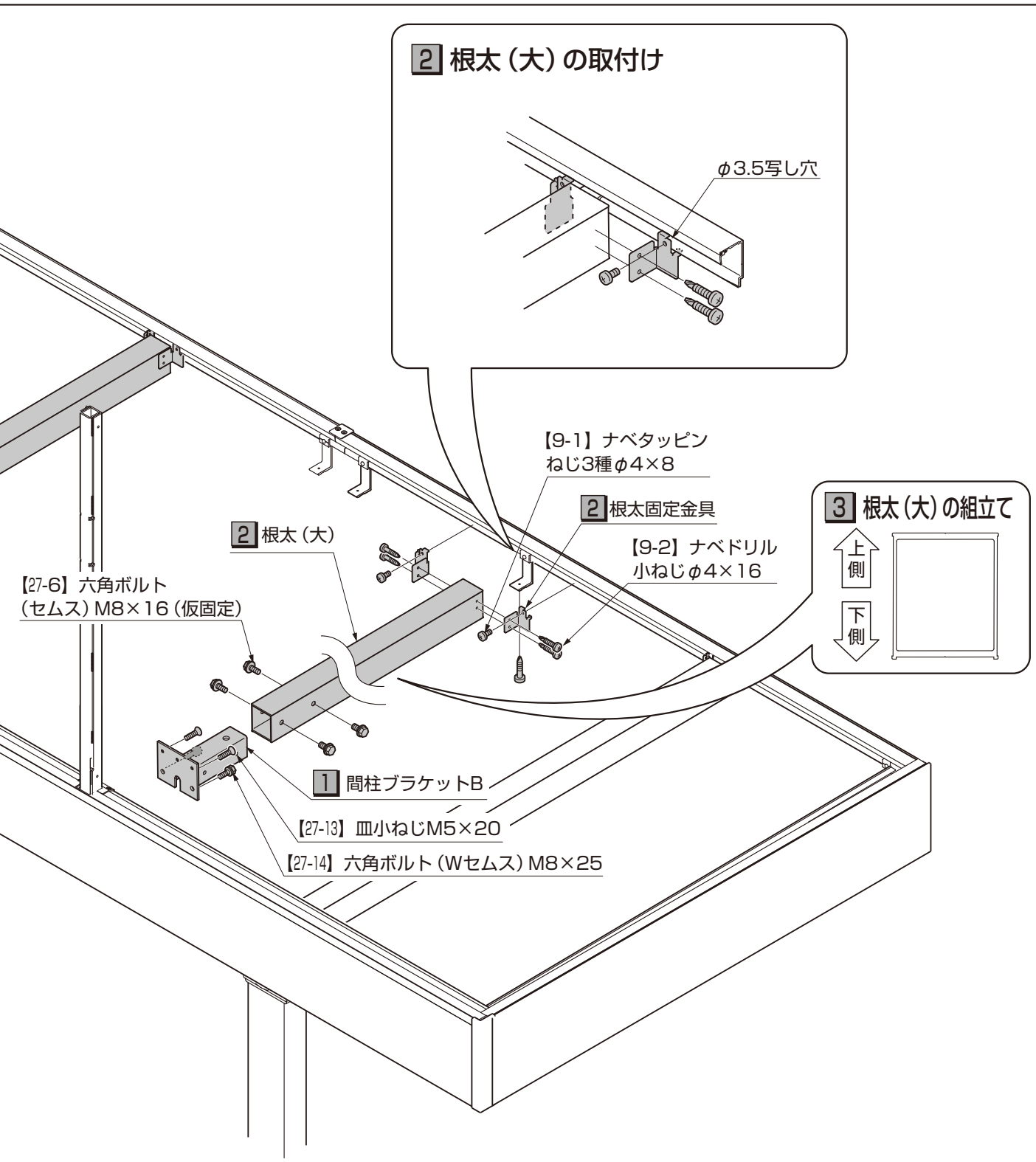
⑨根太にφ9の写し穴をあけてください。
⑩根太を大引きに後付け用梁固定金具と【6-1】【6-2】【6-3】【6-4】で取付けてください。

10 根太（大）連棟部の取付け

※連棟の場合の作業です。
※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けとなります。

2 根太（大）の取付け





1 根太（大）の組立て

①間柱ブラケットBを根太（大）に【27-6】で取付けてください。

2 根太（大）の取付け

①根太（大）を前桁に【27-13】【27-14】で取付けてください。
②根太固定金具を根太掛けカバーに引掛け、根太掛けカバーにφ3.5の写し穴をあけてください。
③根太固定金具を根太（大）、根太掛けカバーに【9-1】【9-2】で取付けてください。

11 柱の補強　※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けとなります。

●柱建て式納まりの場合

火打ち
主柱
前桁
【14-5】六角ボルト
（セムス）M8×16
【14-2】平ワッシャーM8用
【14-4】袋ナットM8用

●2階設置

連結部
前桁
【14-2】平ワッシャー
M8用
【14-4】袋ナットM8用
主柱
火打ち
【14-5】六角ボルト
（セムス）M8×16

●1階設置

連結部
前桁
【14-2】平ワッシャー
M8用
主柱
【14-4】袋ナットM8用
火打ち
【14-5】六角ボルト
（セムス）M8×16

①火打ちを主柱と前桁に【14-2】【14-4】【14-5】で取付けてください。

●屋根置き式納まりの場合

【15-5】六角ナットM8用
【15-4】平ワッシャーM8用
筋かい
【15-6】六角ボルトM8×60
根太（大）
調整脚
筋かい取付アングル
【15-3】六角ボルトM8×20

調整脚
【15-4】
平ワッシャーM8用
【15-5】
六角ナットM8用
筋かい取付
アングル

【15-6】六角ボルトM8×60
φ10貫通穴
根太（大）
【15-4】
平ワッシャーM8用
筋かい
【15-5】
六角ナットM8用
調整脚
【15-3】六角ボルト
M8×20
【15-4】平ワッシャーM8用
【15-5】六角ナットM8用

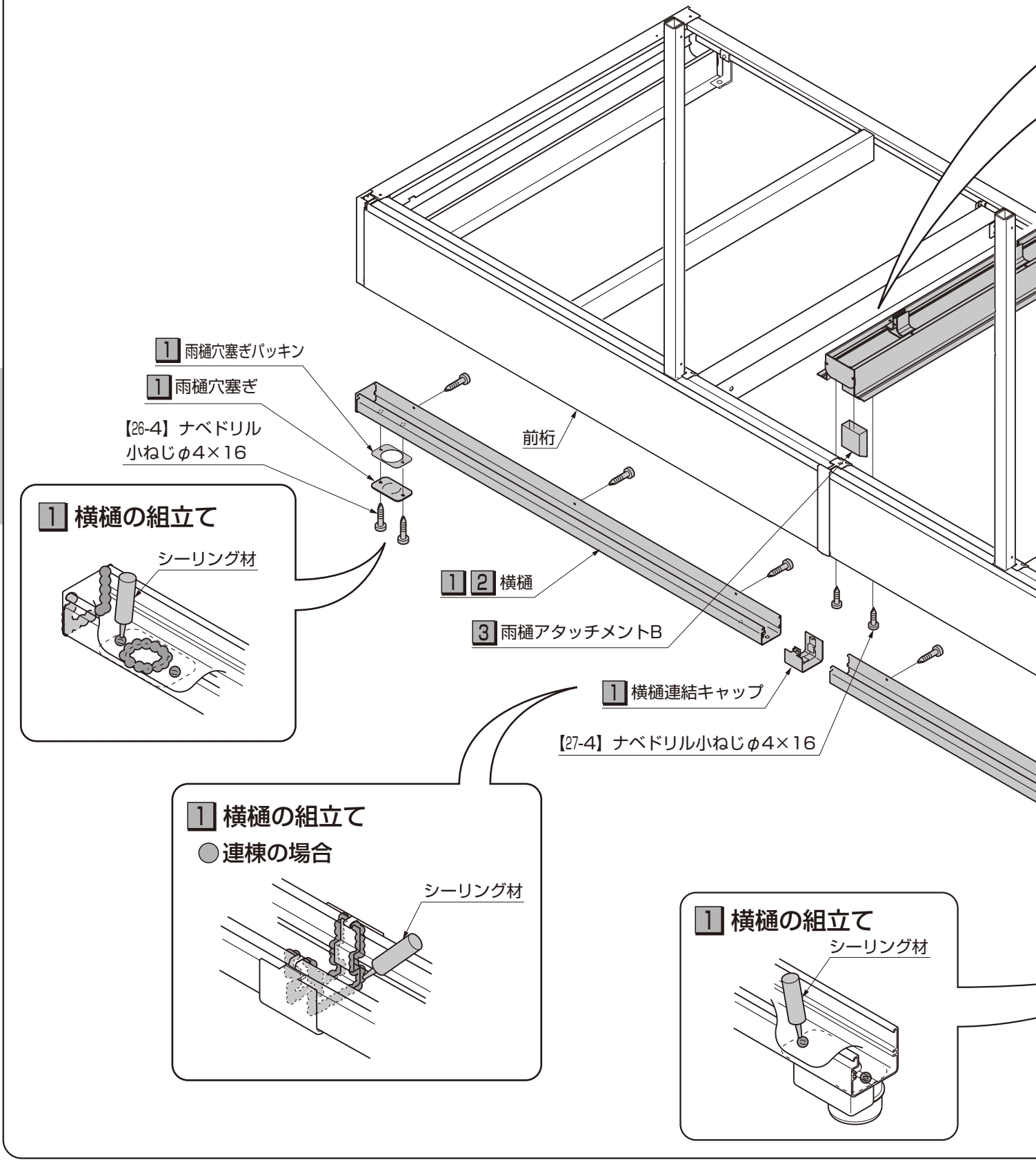
①筋かい取付アングルを調整脚に【15-4】、【15-5】で取付けてください。
②根太（大）にφ10の貫通穴をあけてください。
③筋かいを調整脚と根太（大）に【15-3】【15-4】【15-5】【15-6】で取付けてください。

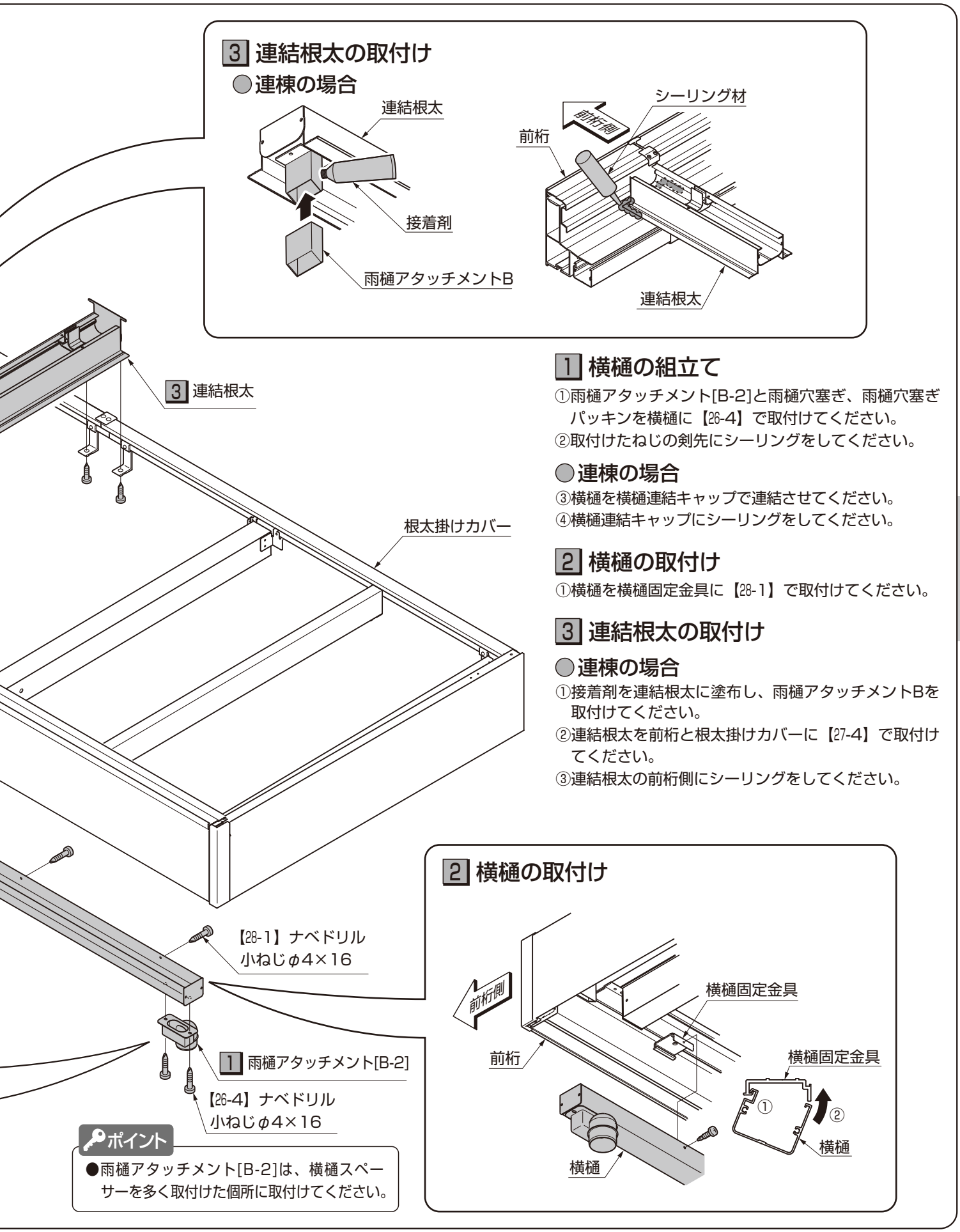
12 横樋、連結根太の取付け

※図は桁露出仕様を示します。桁隠し仕様も同様の取付けになります。

ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。





1 横樋の組立て

①雨樋アタッチメント[B-2]と雨樋穴塞ぎ、雨樋穴塞ぎパッキンを横樋に【26-4】で取付けてください。
②取付けたねじの剣先にシーリングをしてください。

●連棟の場合

③横樋を横樋連結キャップで連結させてください。
④横樋連結キャップにシーリングをしてください。

2 横樋の取付け

①横樋を横樋固定金具に【28-1】で取付けてください。

3 連結根太の取付け

●連棟の場合

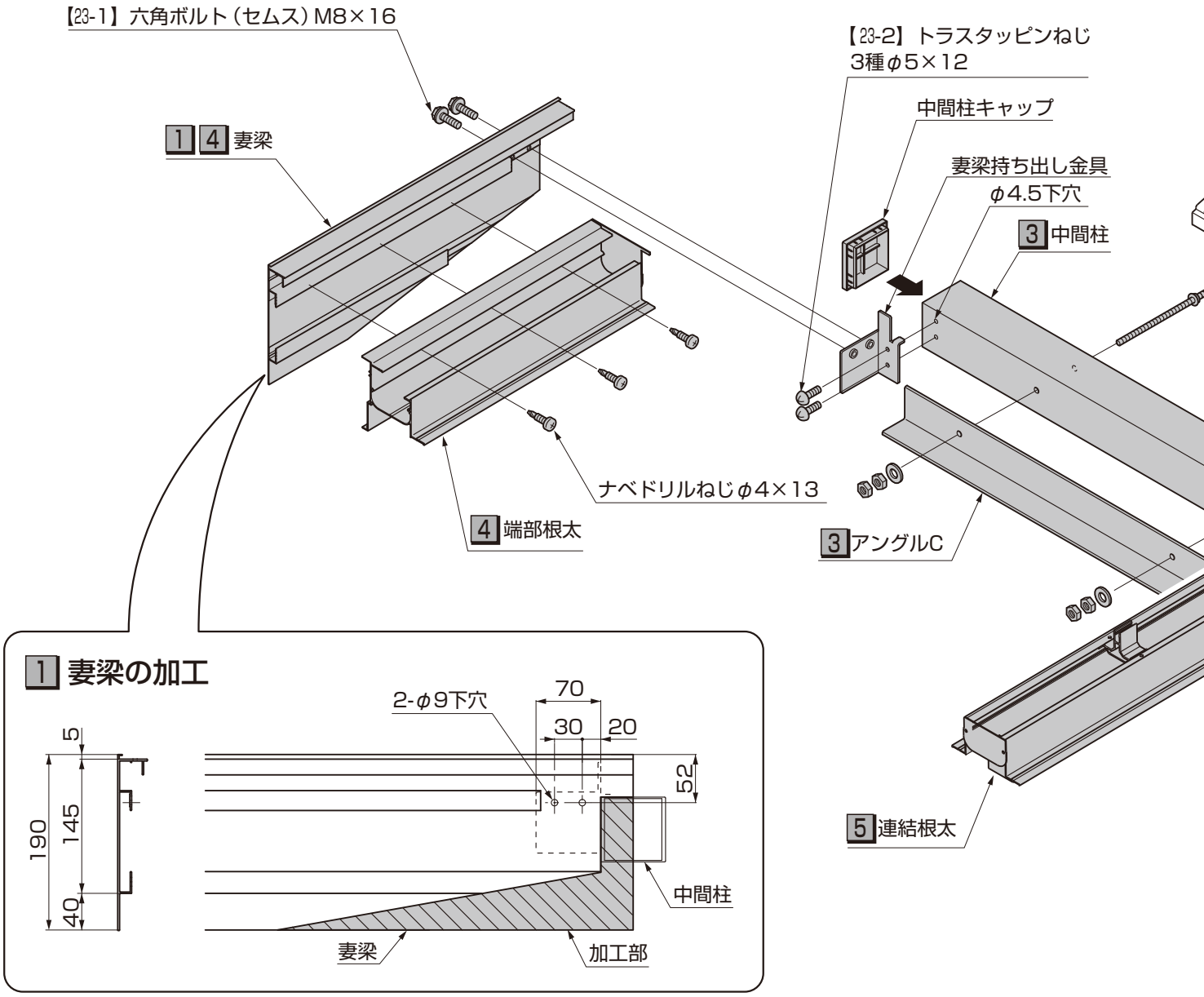
①接着剤を連結根太に塗布し、雨樋アタッチメントBを取付けてください。
②連結根太を前桁と根太掛けカバーに【27-4】で取付けてください。
③連結根太の前桁側にシーリングをしてください。

ポイント

●雨樋アタッチメント[B-2]は、横樋スペーサーを多く取付けた個所に取付けてください。

13 屋根置き式施工手順（オプション）

●妻梁持ち出し金具を使用する場合



1 妻梁の加工

①妻梁から端部根太を外してください。
②妻梁を中間柱および屋根勾配に合わせて加工してください。
③妻梁を切詰め長さ分を端部根太を躯体側から切詰めてください。

2 根太掛け持出しボルトの取付け

①根太掛け持出しボルト取付け位置にφ6.5の下穴をあけてください。
②根太掛け持出しボルトをダブルナット等でしっかり締込んでください。

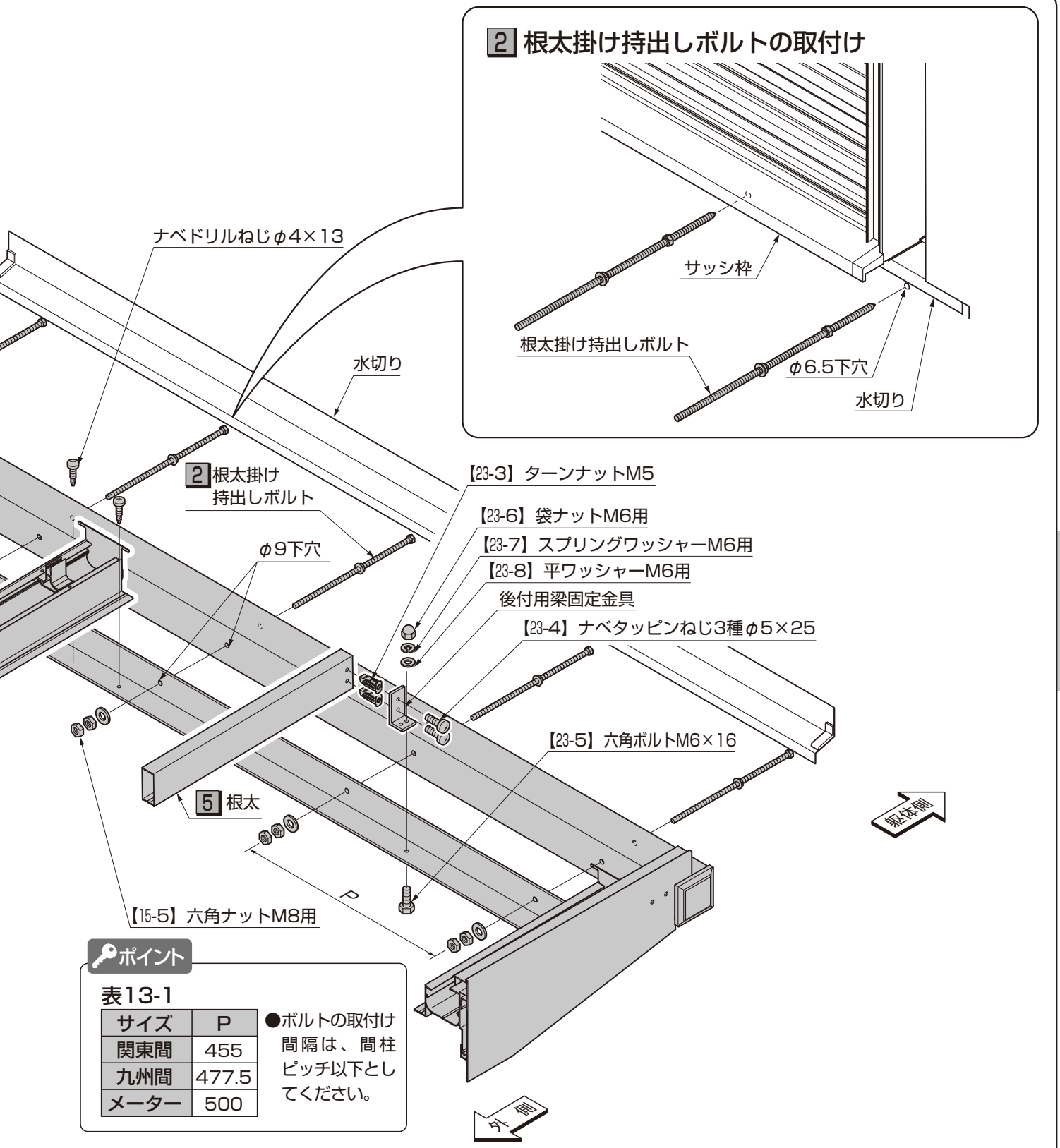
3 中間柱、アングルCの取付け

①中間柱・アングルCにφ9の穴をあけてください。

ポイント

●中間柱は肉厚の厚い面に下穴をあけてください。

②中間柱とアングルCを根太掛け持出しボルトに【15-5】で取付けてください。



ポイント

表13-1

サイズ	P
関東間	455
九州間	477.5
メーター	500

●ボルトの取付け間隔は、間柱ピッチ以下としてください。

4 妻梁、端部根太の取付け

①中間柱に妻梁持ち出し金具取付け用の下穴(φ4.5)をあけてください。
②妻梁持ち出し金具を中間柱に【23-2】で取付けてください。
③妻梁を妻梁持ち出し金具に【23-1】で取付けてください。
④端部根太を妻梁に「ナベドリルねじ」で取付けてください。

5 根太、連結根太の取付け

①後付用梁固定金具を根太に【23-3】【23-4】で取付けてください。
②根太をアングルCに【23-5】【23-6】【23-7】【23-8】で取付けてください。
③連結根太をアングルCに「ナベドリルねじ」で取付けてください。

1 床材の取付け

●デッキボードの取付け

ポイント

●フルフラット納まりの場合は加工があります。
P.128を参照してください。

1 配置確認

◯切詰めが必要な場合

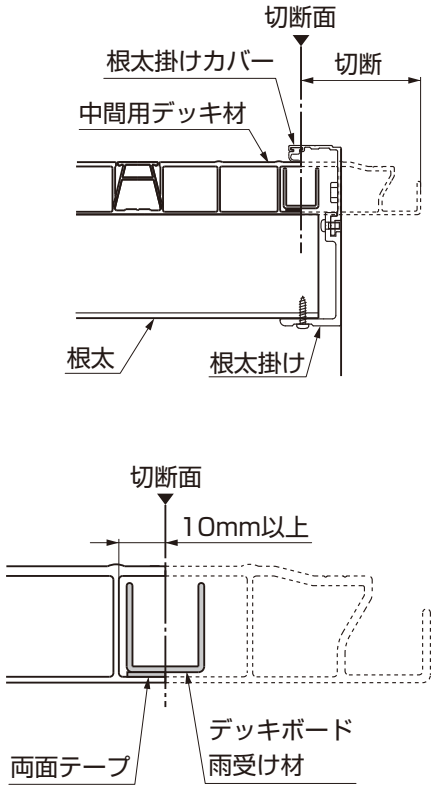


図1-1　切断部詳細図

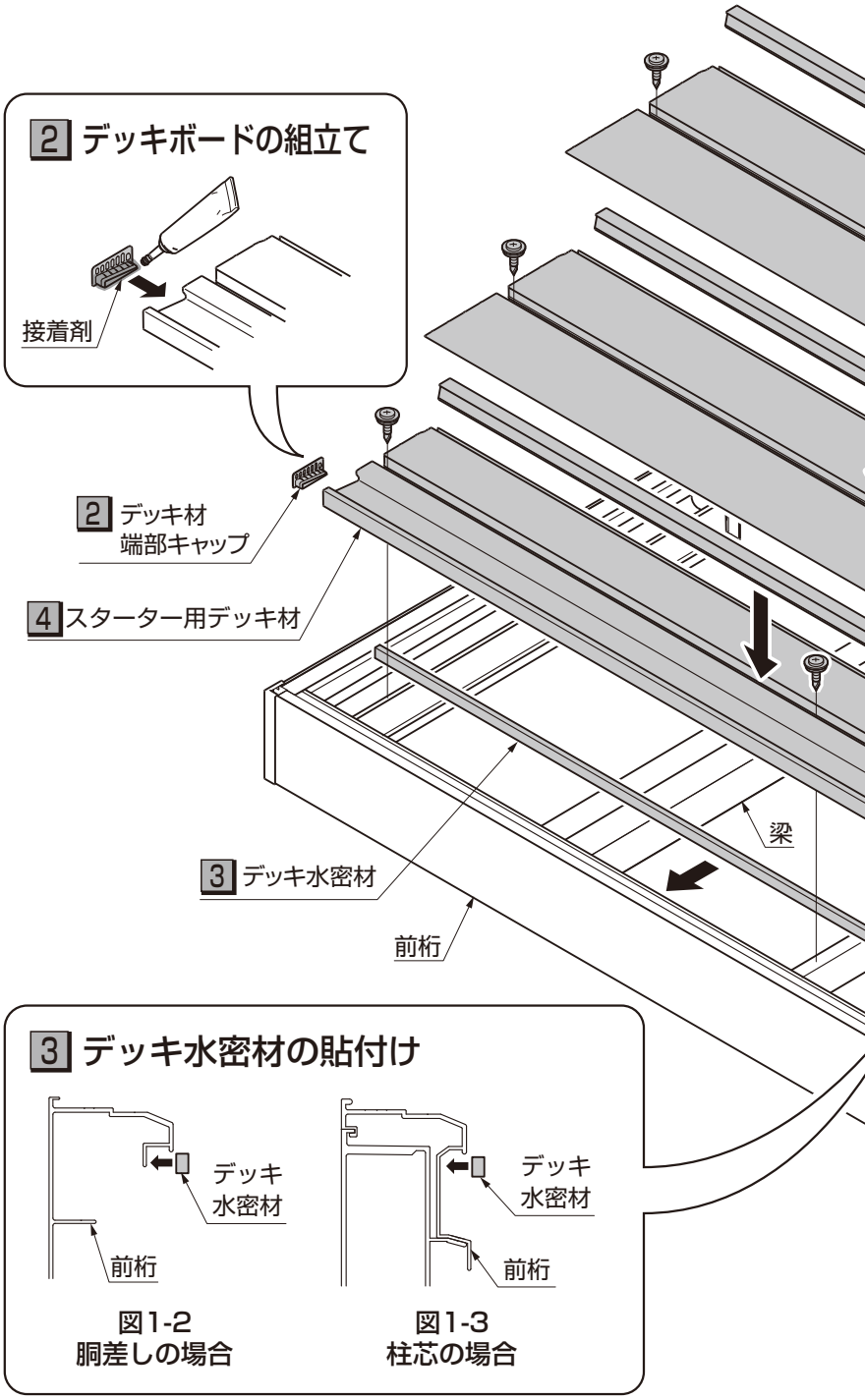


図1-2
胴差しの場合

図1-3
柱芯の場合

1 配置確認

①デッキボードの配置位置を確認してください。

◯切詰めが必要な場合

②デッキボードの加工を行ってください。
③デッキボード雨受け材に両面テープを張付け、デッキボードに張付けてください。

2 デッキボードの組立て

①デッキ材端部キャップをスターター用デッキ材に接着剤で取付けてください。

3 デッキ水密材の貼付け

①デッキ水密材を前桁に張付けてください。

4 デッキボードの取付け

①スターター用デッキ材を前桁に突き当て、根太、妻梁に【28-4】で取付けてください。
②中間用デッキ材を根太、妻梁に【28-4】で取付けてください。

【28-4】AZ特平ドリルねじφ4×16

4 中間用デッキ材

5 デッキ材カバー

根太

4 デッキボードの取付け

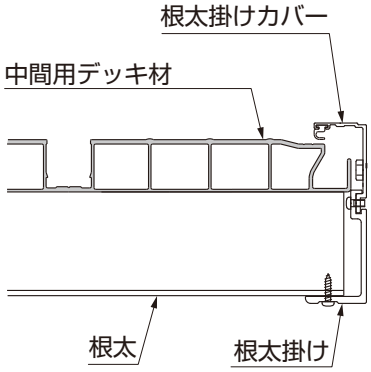


図1-6　側面（躯体側）通常の場合

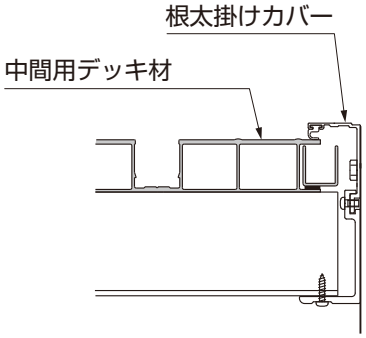


図1-7　側面（躯体側）切詰めの場合

5 デッキ材カバーの取付け

①デッキ材カバーをスターター用デッキ材と中間用デッキ材に取付けてください。

4 デッキボードの取付け

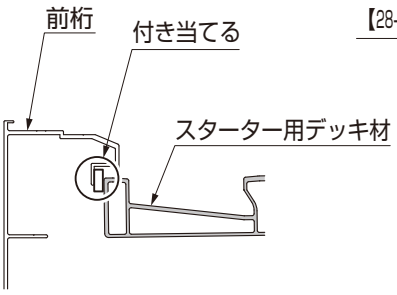


図1-4　側面（前桁側）

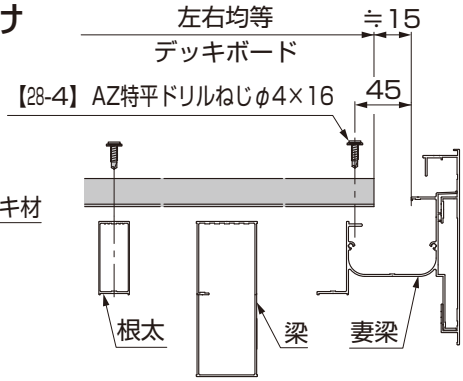


図1-5　正面

ポイント

- ●スターター用デッキ材は前桁に突き当ててください。
- ●デッキボードは根太と妻梁に取付けてください。梁には取付けないでください。

1 床材の取付け（つづき）

●スリット床

1 スリット床取付け位置の確認

◯スリット床の種類

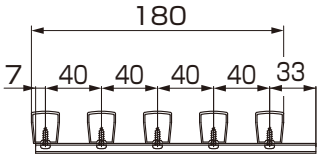


図1-8 中間用：5本格子

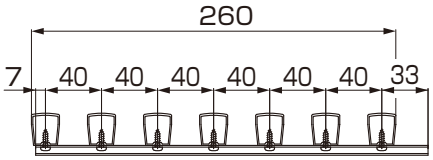


図1-9 中間用：7本格子

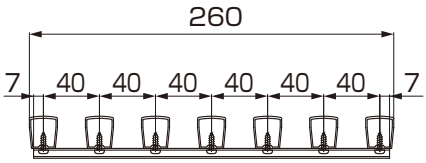


図-10 躯体側用

◯スリット床の取付け位置（※図は胴差し納まりを示します。柱芯納まりも同様となります。）

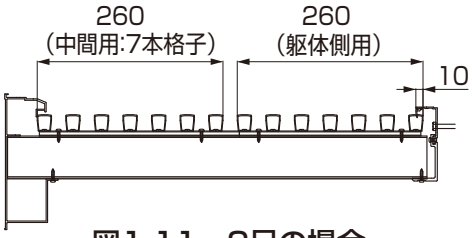


図1-11　2尺の場合

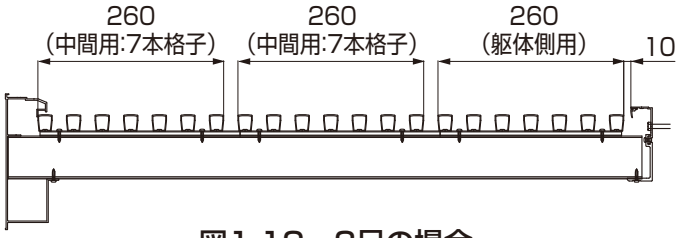


図1-12　3尺の場合

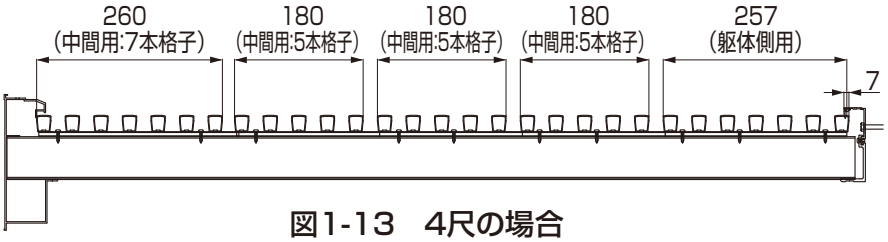


図1-13　4尺の場合

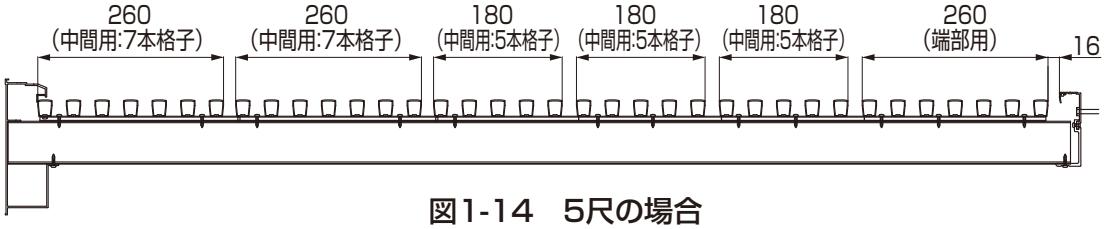


図1-14　5尺の場合

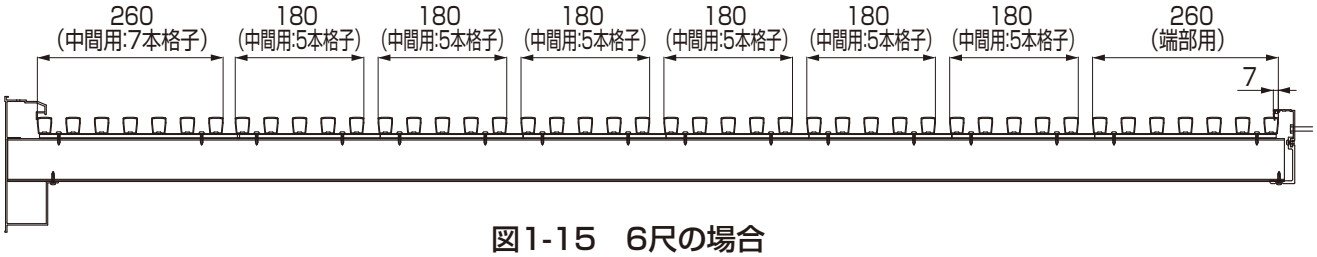


図1-15　6尺の場合

①スリット床の取付け位置を確認してください。

ポイント

●スリット床は3種類あります。
●出幅サイズによりスリット床の種類、枚数が異なります。

2 スリット床の取付け

ポイント

●フルフラット納まりの場合は加工があります。P.128を参照してください。

スリット床

【10-1】ナベドリルねじφ4×19

スリット床（躯体側用）

スリット床
（中間用：7本格子）

根太

梁

妻梁

【10-1】ナベドリルねじφ4×19

スリット床

ねじ先カバー

根太

梁

妻梁

ねじ先カバー

前桁

前桁行側

妻梁

ポイント

●スリット床は根太と妻梁に取付けてください。梁・根太（大）には取付けないでください。
（柱建ての場合は根太（大）にも取付けてください。

●ねじ先カバーを妻梁-前桁接合部、妻梁-根太掛け接合部のねじ先に差し込んでください。

①スリット床を根太、妻梁に【10-1】で取付けてください。

1 床材の取付け（つづき）

●ジョーブ床の場合

ポイント

●フルフラット納まりの場合は加工があります。
P.128を参照してください。

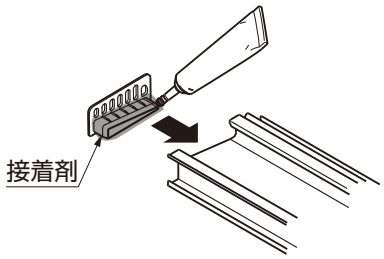
3 アルミ床（中間）

【11-1】AZ特平ドリルねじφ4×16

3 アルミ床（樋）

1 デッキ材端部キャップ

1 アルミ床の組立て



2 デッキ水密材の張付け

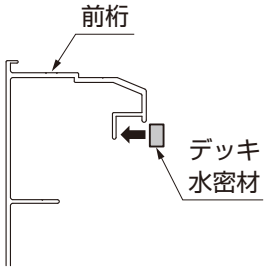


図1-16
胴差しの場合

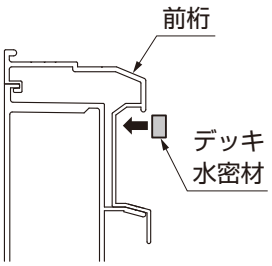


図1-17
柱芯の場合

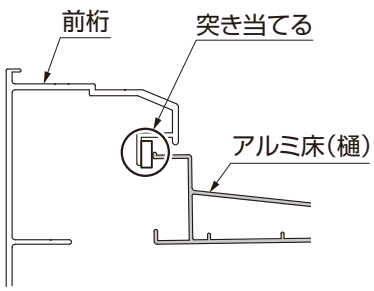
梁

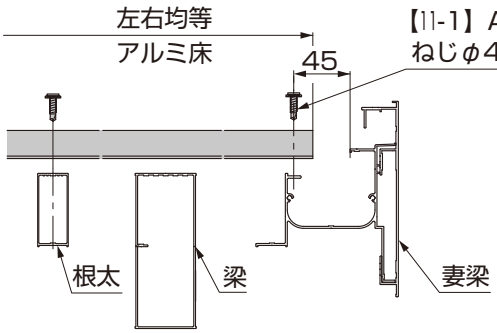
2 デッキ水密材

根太

前桁

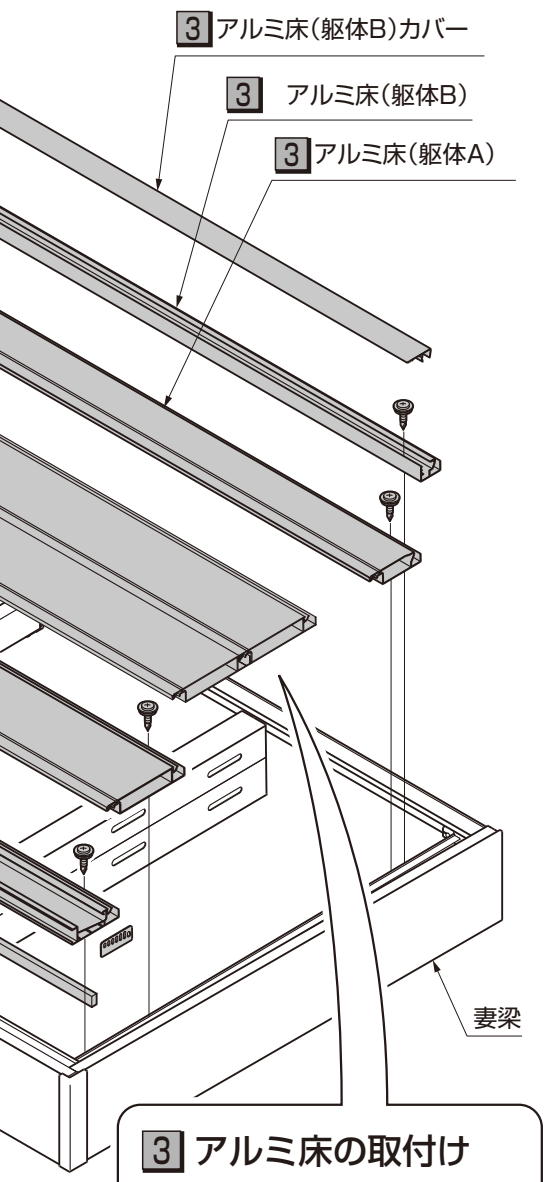
3 アルミ床の取付け

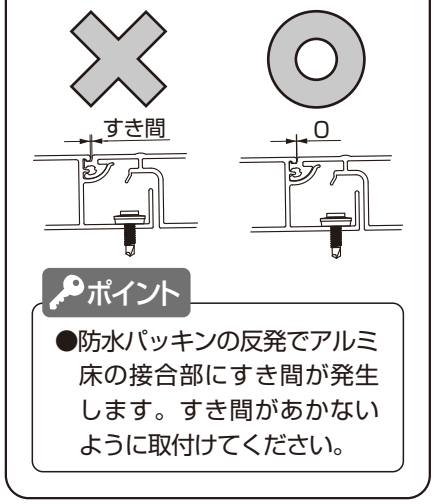


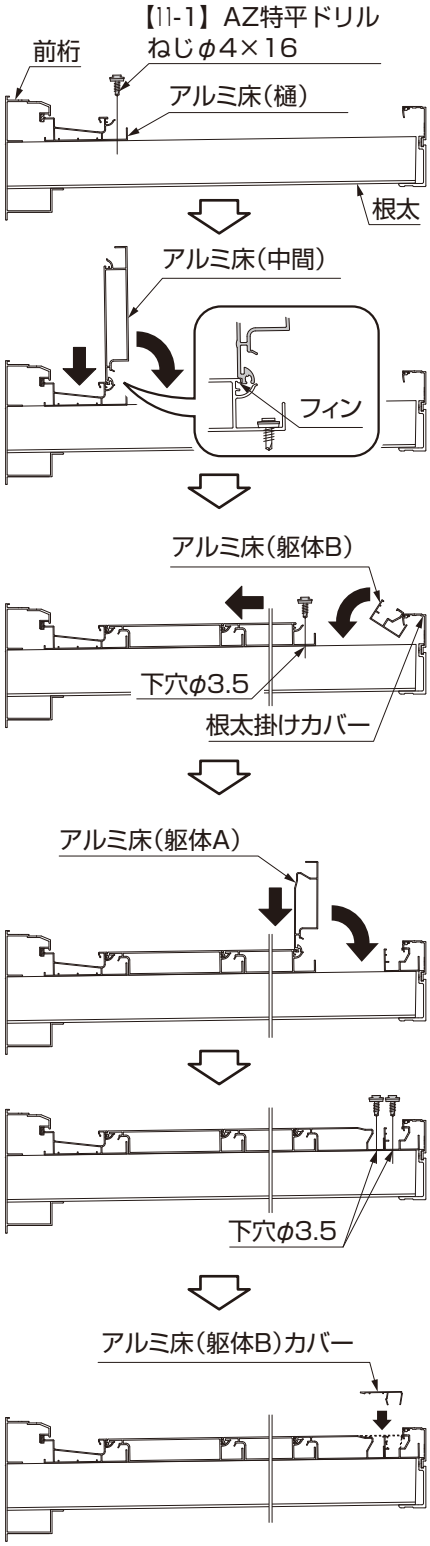


ポイント

●アルミ床は根太と妻梁に取付けてください。梁及び根太（太）には取付けないでください。







1 アルミ床の組立て

①デッキ材端部キャップをアルミ床（樋）に接着剤で取付けてください。

2 デッキ水密材の張付け

①デッキ水密材を前桁に張付けてください。

3 アルミ床の取付け

①アルミ床（樋）を前桁に突き当てて根太、妻梁に【11-1】で取付けてください。

②アルミ床（中間）をアルミ床（樋）または、アルミ床（中間）のフィン部に垂直にのせ、回転させながら設置してください。

③アルミ床（中間）を前桁側に押付けながら、φ3.5の下穴をあけ、根太と妻梁に【11-1】で取付けてください。

④アルミ床（躯体側B）を根太掛けカバーの下に、回転させながら設置してください。

⑤アルミ床（躯体側A）をアルミ床（中間）のフィン部に垂直にのせ、回転させながら設置してください。

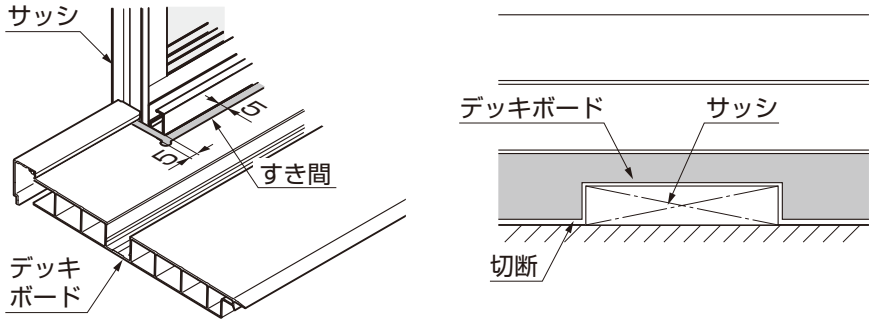
⑥アルミ床（躯体側A、B）にφ3.5の下穴をあけて、根太と妻梁に【11-1】で取付けてください。

⑦アルミ床（躯体側B）カバーをアルミ床（躯体側B）に取付けてください。

2 床材の取付け フルフラット納まり

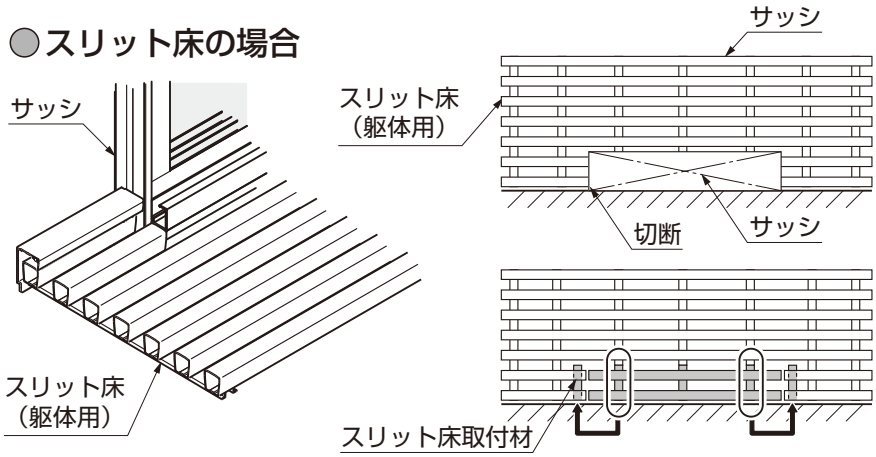
1 床材の切断と取付け

●デッキボードの場合



①デッキボードをサッシに合せて切断してください。

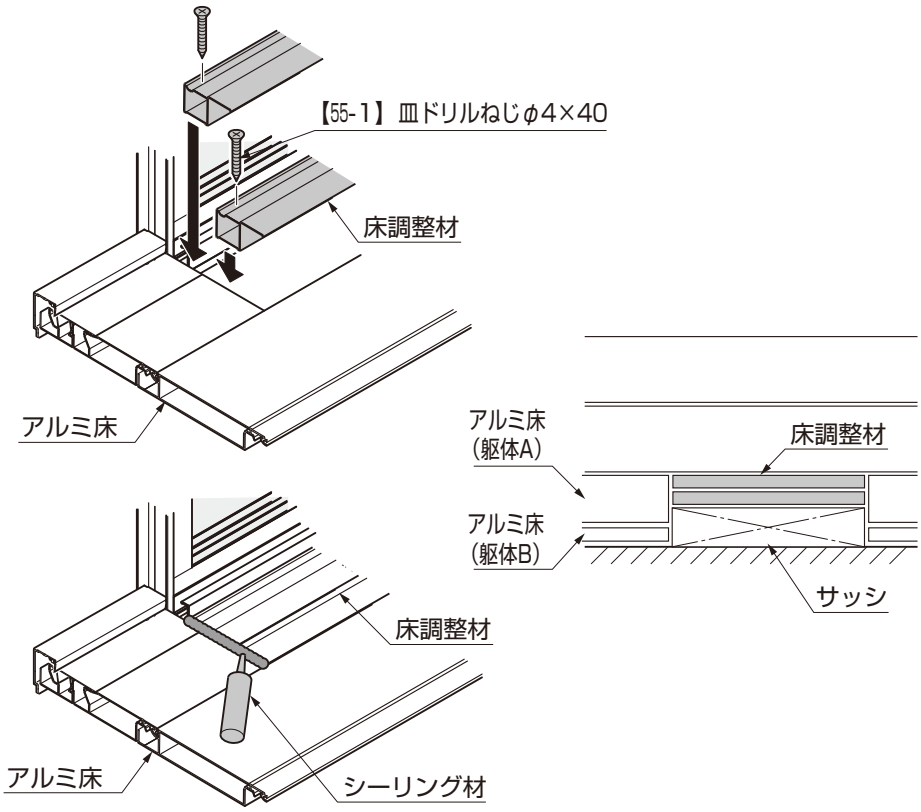
●スリット床の場合



①スリット床をサッシに合せて切断してください。

②切断したスリット床取付材を切断したスリット床の端部に取付けてください。

●ジョーブ床の場合



①アルミ床と床調整材をサッシに合せて切断してください。

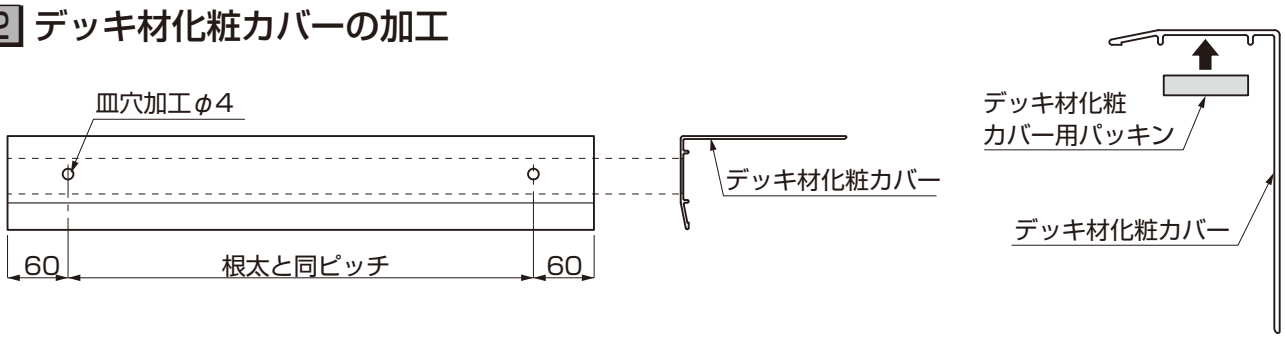
②床調整材を根太に【55-1】で取付けてください。

③アルミ床と床調整材の継ぎ目にシーリングをしてください。

メモページ

2 床材の取付け フルフラット納まり（つづき）

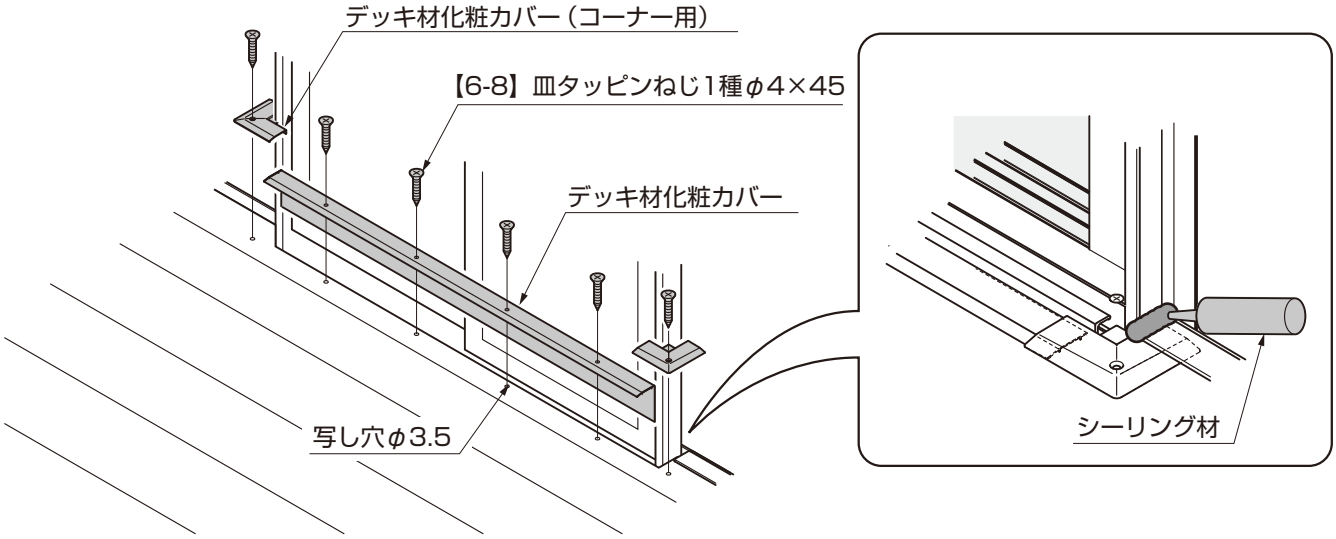
2 デッキ材化粧カバーの加工



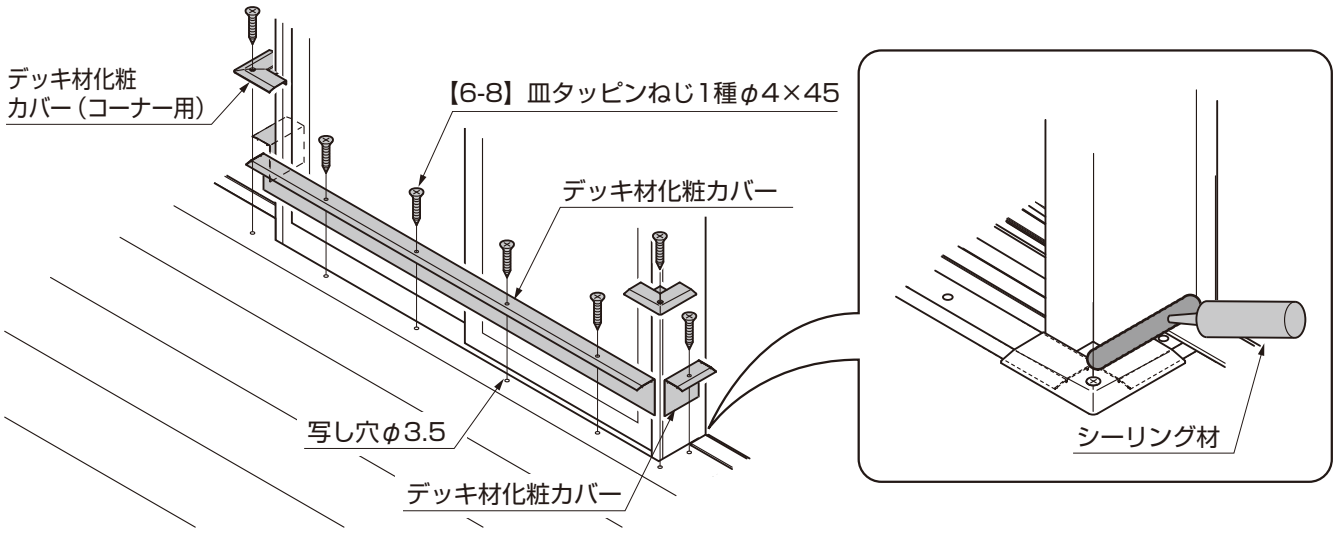
3 デッキ材化粧カバーの取付け

【サッシから妻梁までの距離が標準な場合】

●シャッターなし



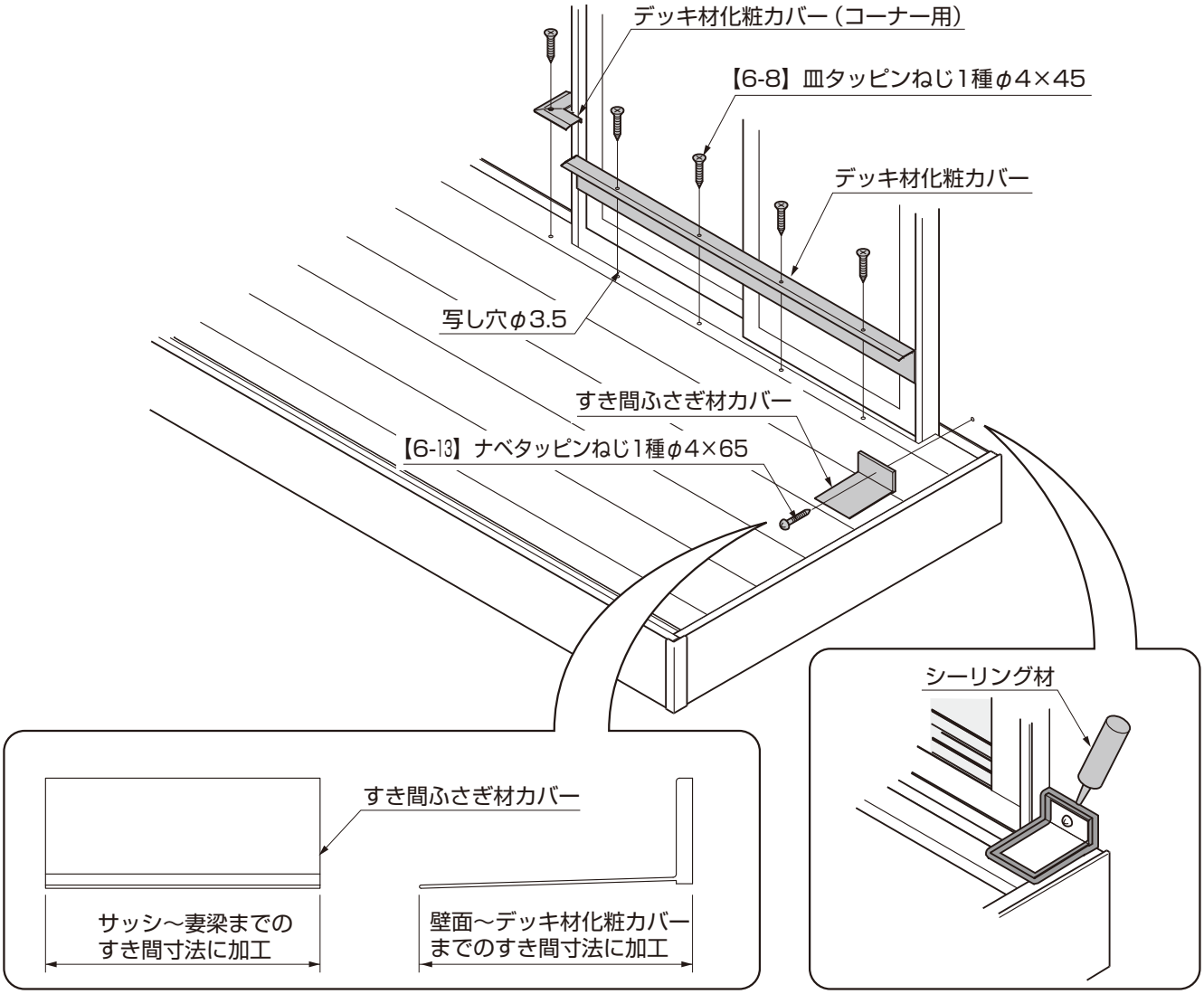
●シャッター付き



①デッキ材化粧カバーを床材の切欠き部に乗せ、床材と根太にφ3.5の写し穴をあけてください。
②デッキ材化粧カバーを床材、根太に【6-8】で取付けてください。
③デッキ材化粧カバー（コーナー用）を床材に【6-8】で取付けてください。
④サッシ枠の側面部にシーリングしてください。

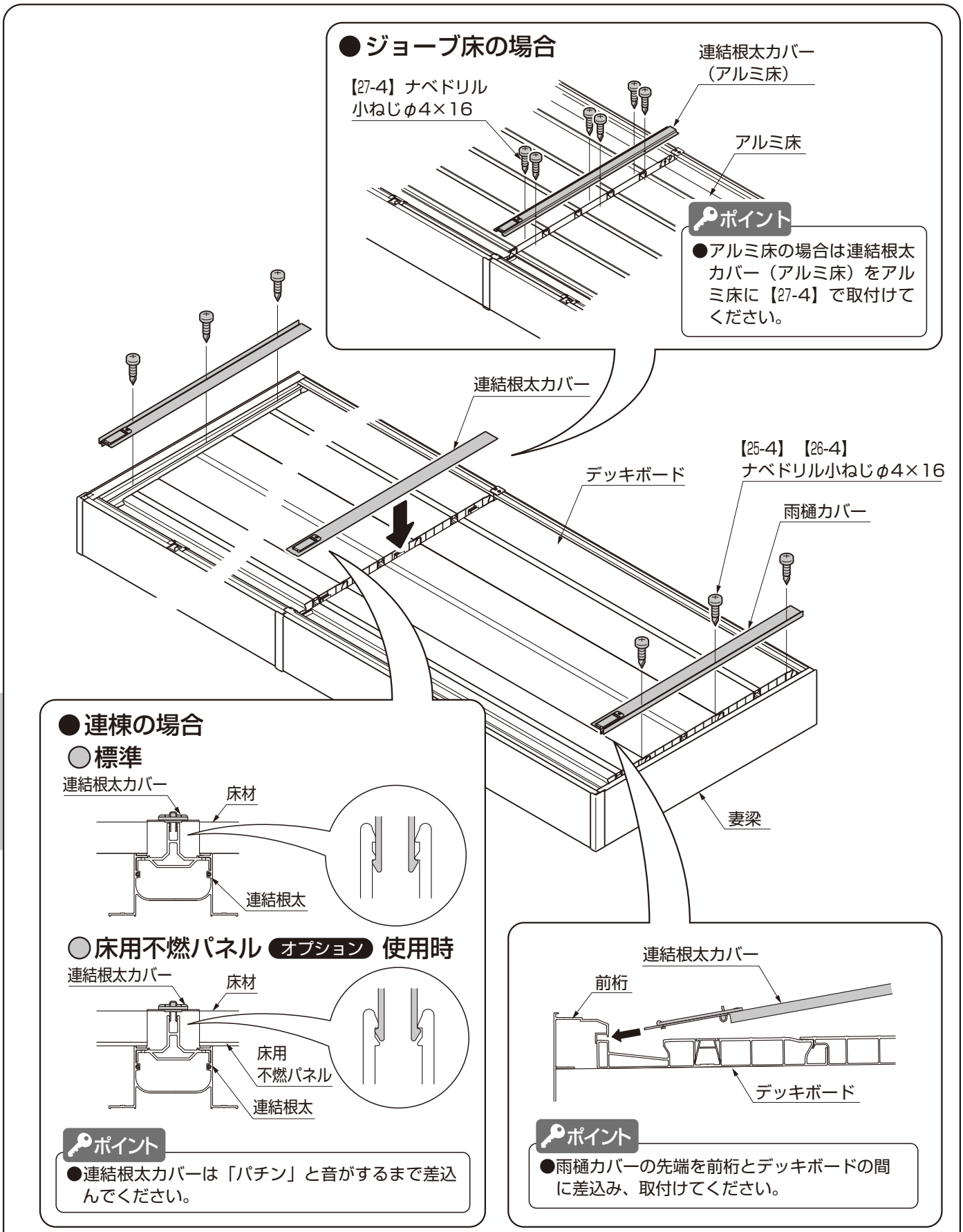
①デッキ材化粧カバーを床材の切欠き部に合わせて加工してください。
②デッキ材化粧カバー用パッキンをデッキ材化粧カバーに張付けてください。

【サッシから妻梁までの距離が狭い場合】



①デッキ材化粧カバーを床材の切欠き部に乗せ、床材と根太にφ3.5の写し穴をあけてください。
②デッキ材化粧カバーを床材、根太に【6-8】で取付けてください。
③すき間ふさぎカバーを加工して、躯体に【6-13】で取付けてください。
④すき間ふさぎカバーの周囲にシーリングしてください。

3 雨樋カバーの取付け



①雨樋カバーを妻梁に【25-4】、【26-4】で取付けてください。
●連棟の場合
②連結根太カバーを連結根太に取付けてください。

4 床化粧材の取付け　※ジョーブ床の場合の作業です。

1 事前確認

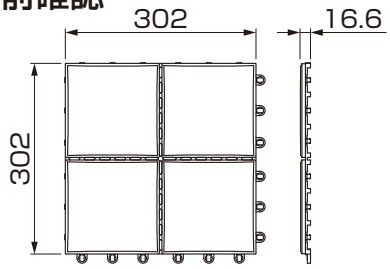


図4-1　プラスチックタイプ

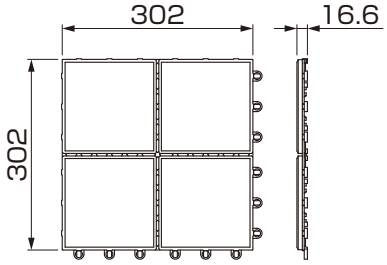


図4-2　タイルタイプ

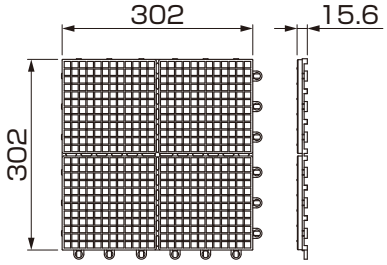


図4-3　幅調整材

表4-1　プラスチックタイプ 単体 必要枚数

ローカル	サイズ	プラスチックタイプ					幅調整材				
		2尺	3尺	4尺	5尺	6尺	2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
関東間	1.0間	12	18	24	30	36	9	9	10	11	12
	1.5間	18	27	36	45	54	12	12	13	14	15
	2.0間	24	36	48	60	72	15	15	16	17	18
	2.5間	30	45	-	-	-	18	18	-	-	-
メーター	2000	13	20	27	34	41	10	12	14	16	18
	3000	20	30	40	50	60	12	12	12	12	12
	4000	26	39	52	65	78	15	16	17	18	19
	5000	33	50	-	-	-	20	22	-	-	-
九州・四国間	1.0間	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
	1.5間	19	29	39	49	59	13	15	17	19	21
	2.0間	25	38	51	64	77	16	18	20	22	24
	2.5間	32	48	-	-	-	19	21	-	-	-

表4-2　タイルタイプ 単体 必要枚数

ローカル	サイズ	タイルタイプ					幅調整材				
		2尺	3尺	4尺	5尺	6尺	2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
関東間	1.0間	12	18	24	30	36	9	9	10	11	12
	1.5間	18	27	36	45	54	12	12	13	14	15
	2.0間	24	36	48	60	72	15	15	16	17	18
	2.5間	30	45	-	-	-	18	18	-	-	-
メーター	2000	13	20	27	34	41	10	12	14	16	18
	3000	20	30	40	50	60	12	12	12	12	12
	4000	26	39	52	65	78	15	16	17	18	19
	5000	33	50	-	-	-	20	22	-	-	-
九州・四国間	1.0間	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
	1.5間	19	29	39	49	59	13	15	17	19	21
	2.0間	25	38	51	64	77	16	18	20	22	24
	2.5間	32	48	-	-	-	19	21	-	-	-

表4-3　プラスチックタイプ 連棟 必要枚数

ローカル		サイズ	プラスチックタイプ					幅調整材				
			2尺	3尺	4尺	5尺	6尺	2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
連棟端部	関東間	1.0間	12	18	24	30	36	7	7	7	7	7
		1.5間	18	27	36	45	54	10	10	10	10	10
		2.0間	24	36	48	60	72	13	13	13	13	13
	メーター	2000	13	20	27	34	41	10	11	12	13	14
		3000	20	30	40	50	60	12	13	14	15	16
		4000	26	39	52	65	78	15	16	17	18	19
	九州・四国間	1.0間	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
		1.5間	18	27	36	45	54	11	12	13	14	15
		2.0間	25	38	51	64	77	16	17	18	19	20
連棟中間	関東間	1.0間	12	18	24	30	36	6	6	6	6	6
		1.5間	18	27	36	45	54	9	9	9	9	9
		2.0間	24	36	48	60	72	12	12	12	12	12
	メーター	2000	14	21	28	35	42	7	7	7	7	7
		3000	20	30	40	50	60	10	10	10	10	10
		4000	28	42	56	70	84	14	14	14	14	14
	九州・四国間	1.0間	14	21	28	35	42	7	7	7	7	7
		1.5間	20	30	40	50	60	10	10	10	10	10
		2.0間	26	39	52	65	78	13	13	13	13	13

表4-4　タイルタイプ 連棟 必要枚数

ローカル		サイズ	タイルタイプ					幅調整材				
			2尺	3尺	4尺	5尺	6尺	2尺	3尺	4尺	5尺	6尺
連棟端部	関東間	1.0間	12	18	24	30	36	7	7	7	7	7
		1.5間	18	27	36	45	54	10	10	10	10	10
		2.0間	24	36	48	60	72	13	13	13	13	13
	メーター	2000	13	20	27	34	41	10	11	12	13	14
		3000	20	30	40	50	60	12	13	14	15	16
		4000	26	39	52	65	78	15	16	17	18	19
	九州・四国間	1.0間	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
		1.5間	18	27	36	45	54	11	12	13	14	15
		2.0間	25	38	51	64	77	16	17	18	19	20
連棟中間	関東間	1.0間	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
		1.5間	18	27	36	45	54	11	12	13	14	15
		2.0間	24	36	48	60	72	14	15	16	17	18
	メーター	2000	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
		3000	20	30	40	50	60	12	13	14	15	16
		4000	26	39	52	65	78	15	16	17	18	19
	九州・四国間	1.0間	12	18	24	30	36	8	9	10	11	12
		1.5間	18	27	36	45	54	11	12	13	14	15
		2.0間	24	36	48	60	72	14	15	16	17	18

※プラスチックタイプ3連棟以上の場合、連棟中央部の幅調整材のかわりに幅調整材の枚数分タイルを追加してください。
※幅調整材は１枚から２つ切り出す場合もあります。
※季節や連結すき間寸法によっては、端部のチリ寸法が変わるため幅調整材を使用しない場合もあります。

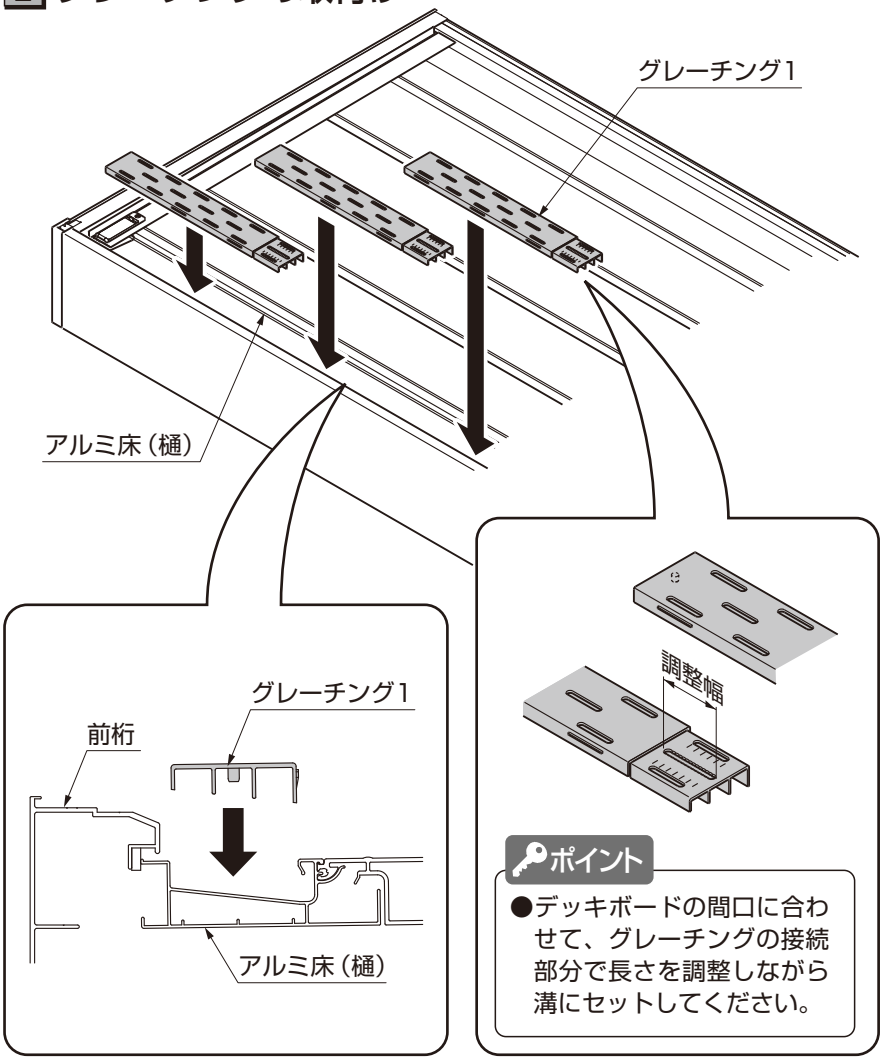
①タイルタイプ、プラスチックタイプ、幅調整材の必要枚数を確認してください。（表4-1、表4-2、表4-3、表4-4参照）

ポイント

●床化粧材はタイルタイプとプラスチックタイプの2種類あります。

4 床化粧材の取付け（つづき）

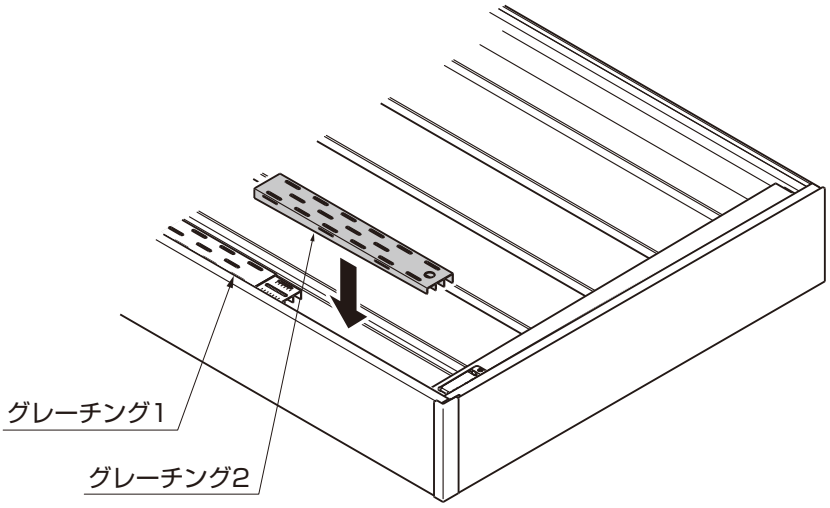
2 グレーチングの取付け



①グレーチング1をアルミ床（樋）に取付けてください。

ポイント

●デッキボードの間口に合わせて、グレーチングの接続部分で長さを調整しながら溝にセットしてください。



②グレーチング2を端部に合わせて取付けてください。

3 プラスチックタイプ、タイルタイプ1列目の配置

1 配置前の確認事項

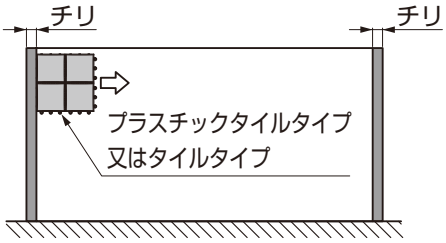


図4-4　単体の場合

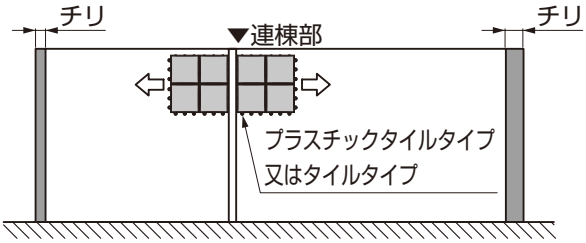


図4-5　2連棟の場合

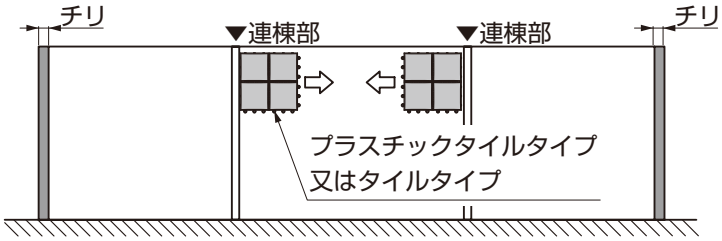


図4-6　3連棟の場合

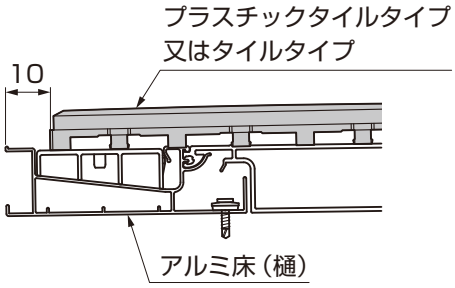


図4-7

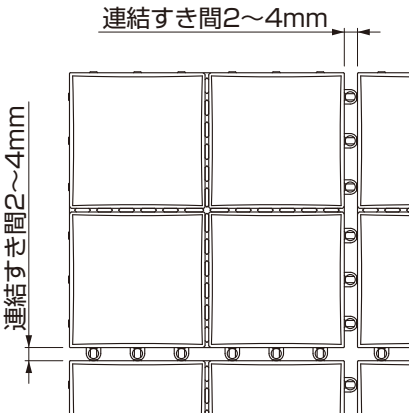


図4-8

①配置方法を確認してください。

ポイント

- 先端は10mmあけてください。（図4-7参照）
- 冬場（気温10℃以下）は連結のすき間を完全に（4mm）あけてください。その他の季節（気温10℃以上）は連結すき間を2mmあけてください。（図4-8参照）

3 プラスチックタイプ、タイルタイプ1列目の配置（つづき）

2 1列目の配置

タイル
（プラスチックタイプ又はタイルタイプ）

凸部

凹部

A部

図4-9

雨樋清掃キャップ

図4-10

ポイント

●端部に配置するタイルはA部を切断してください。（図4-9参照）
●雨樋清掃キャップと床化粧材が干渉しないようにしてください。（図4-10参照）

①タイルの凸部と凹部を連結させて配置してください。

ポイント

●単体の場合は前桁側端部から敷き詰めてください。
●連棟の場合は前桁側連棟部から敷き詰めてください。

4 プラスチックタイプ、タイルタイプ2列目以降の配置

1 配置前の確認事項

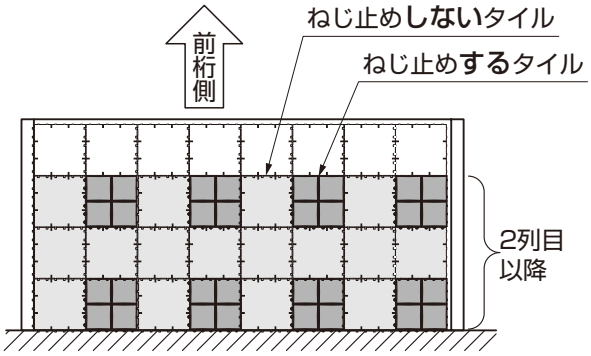


図4-11　タイルねじ止め位置

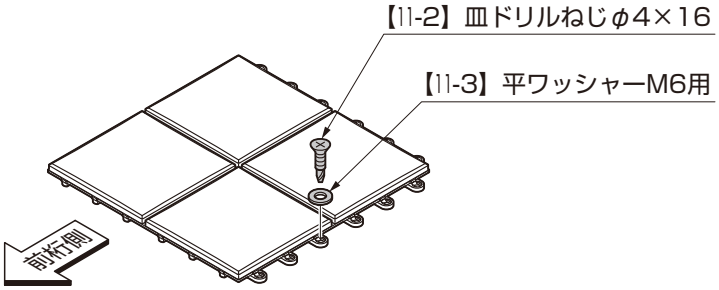


図4-12　ねじ止め位置

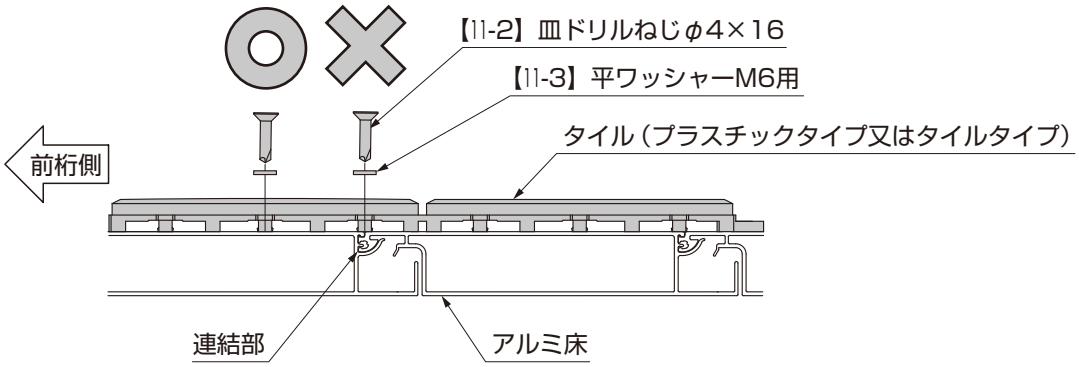


図4-13　アルミ床の連結部がくる場合

①ねじで固定するタイルの位置を確認してください。

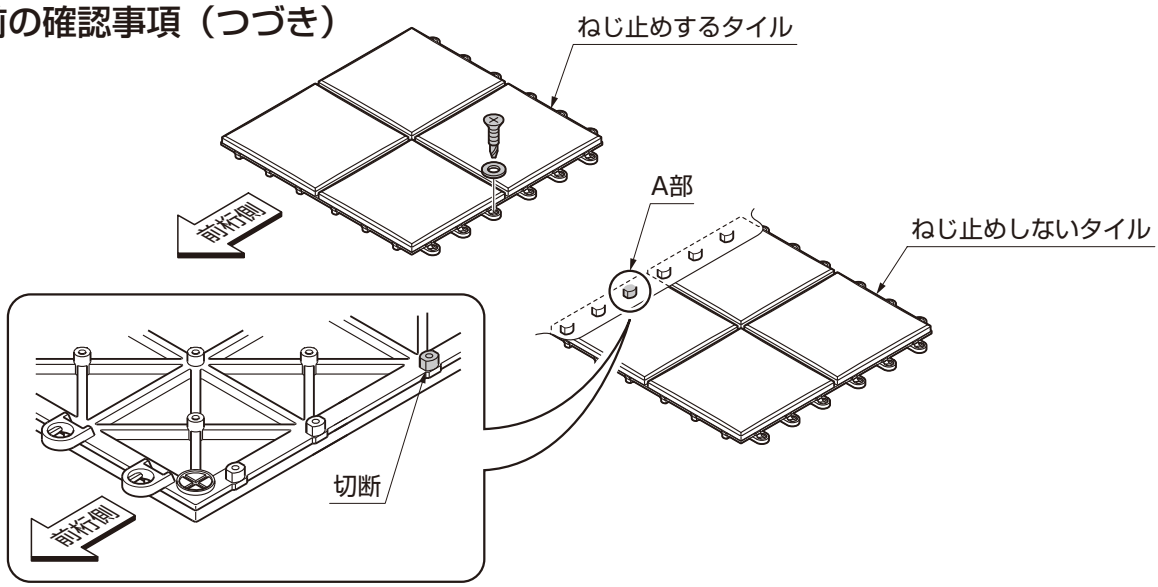
ポイント

●タイルは前桁側から3本目の凹部に固定を基本とし、3本目の位置にアルミ床連結部がくる場合は2本目の位置で固定してください。4,6尺の場合はどちらも連結部などがくるため、1本目の位置で固定してください。
（4分割タイルの半分以下のサイズで2本目又は3本目に連結部などがくる場合、1本目の位置で固定してください。）

4 床化粧材の取付け（つづき）

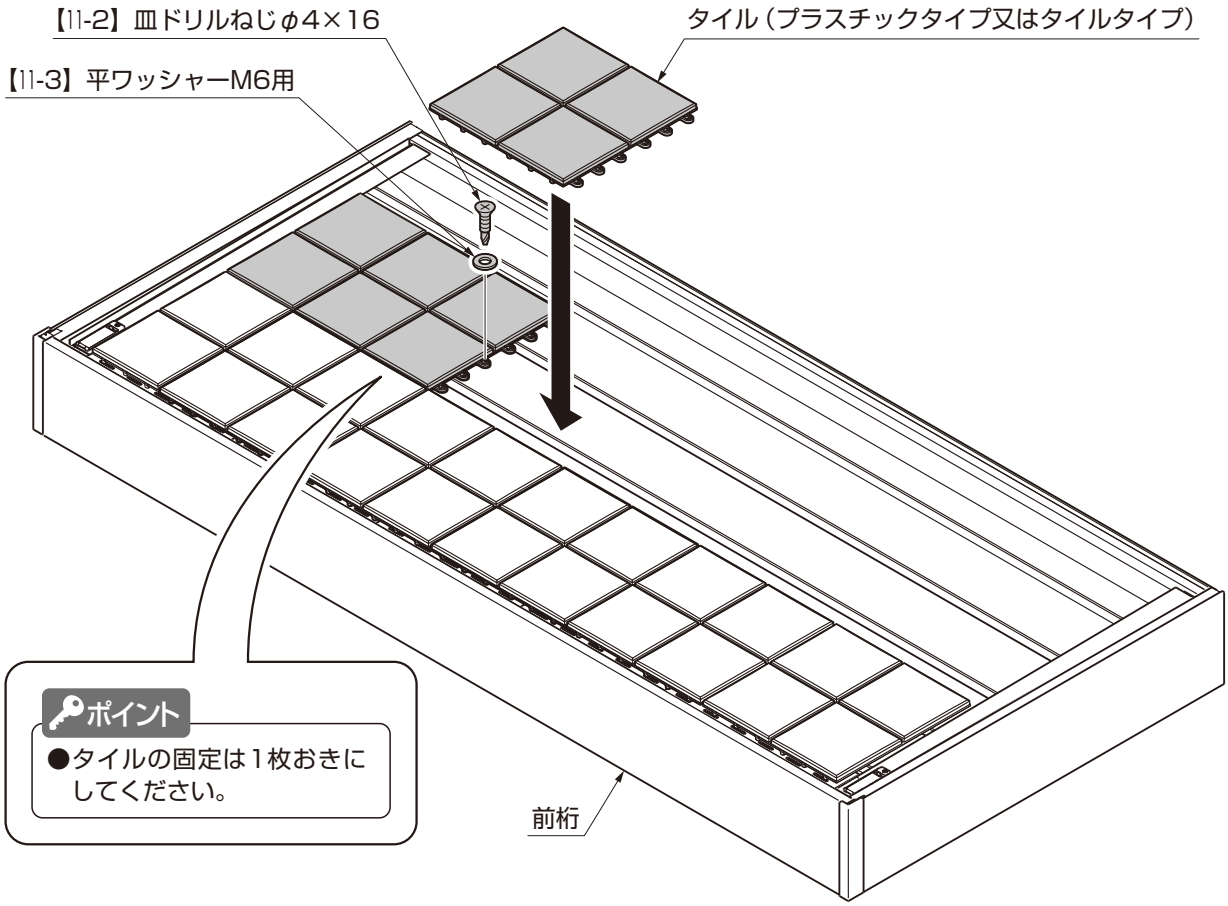
4 プラスチックタイプ、タイルタイプ2列目以降の配置（つづき）

1 配置前の確認事項（つづき）



②ねじ止めしないタイルのねじ部（A部）を切断してください。

2 2列目以降の取付け

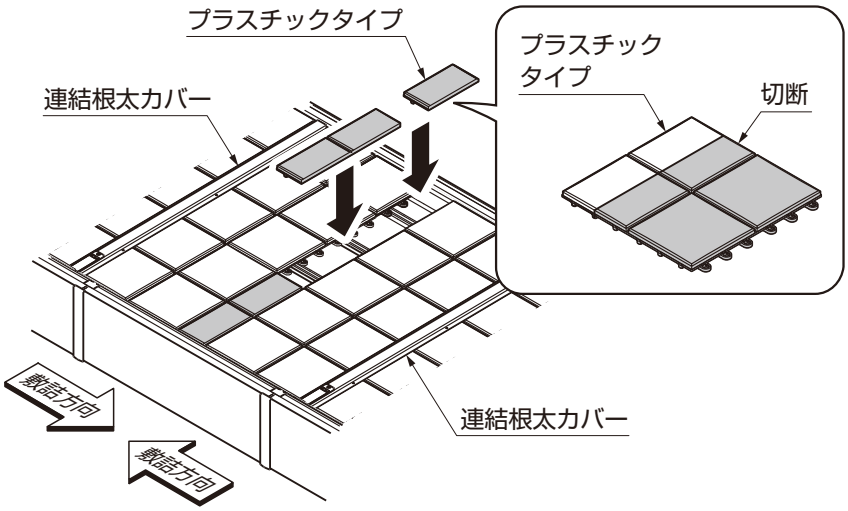


①タイルの前桁から2列目以降を配置しながら、アルミ床に【11-2】【11-3】で取付けてください。

4 すき間の調整

1 連棟中間部

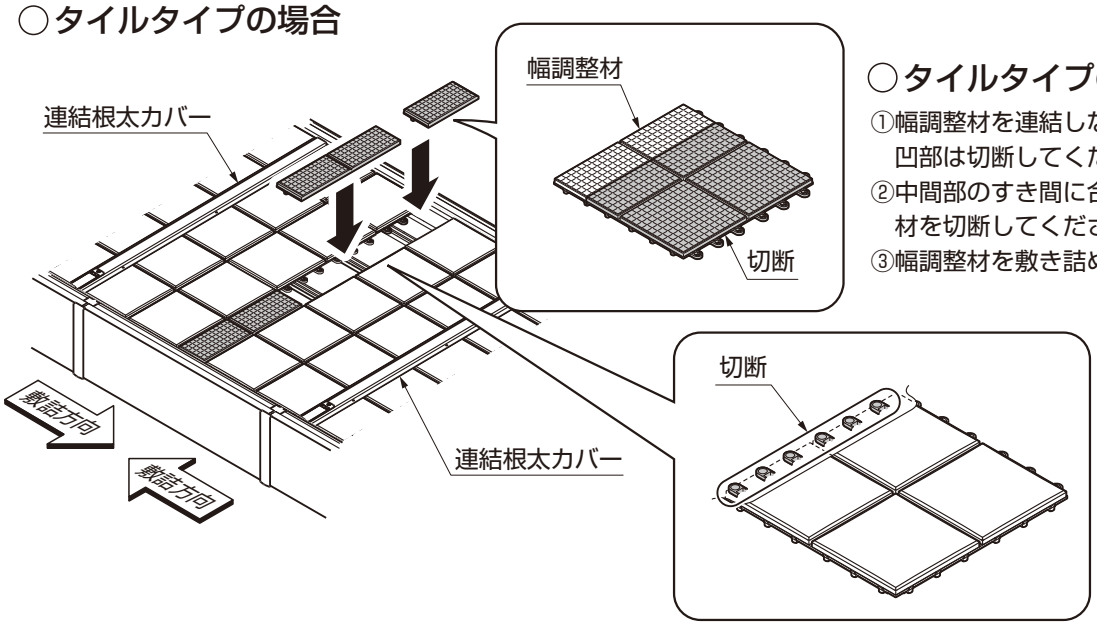
○プラスチックタイプの場合



○プラスチックタイプの場合

①中間部のすき間に合わせて、プラスチックタイプを切断してください。
②プラスチックタイプを敷き詰めてください。

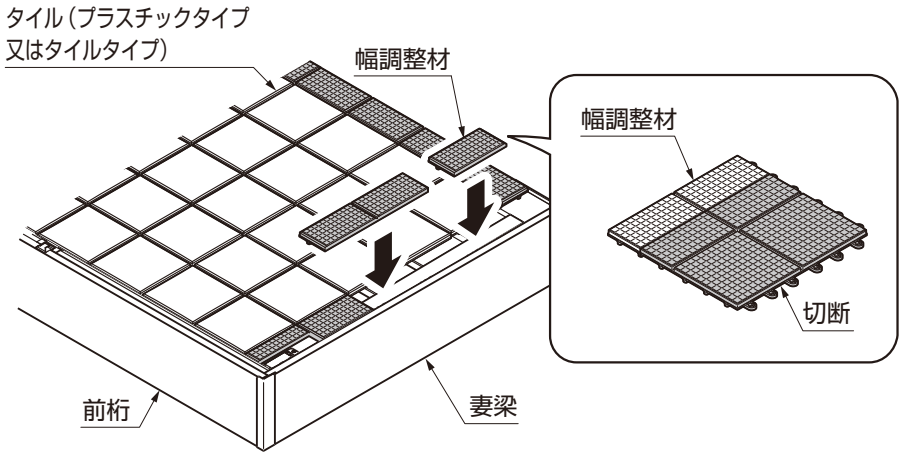
○タイルタイプの場合



○タイルタイプの場合

①幅調整材を連結しない側のタイルの凹部は切断してください。
②中間部のすき間に合わせて、幅調整材を切断してください。
③幅調整材を敷き詰めてください。

2 端部（すき間が20mmをこえる場合）



①アルミ床端部のチリに合わせて、幅調整材を切断してください。
②幅調整材を敷き詰めてください。

5 床用不燃パネルの取付け オプション

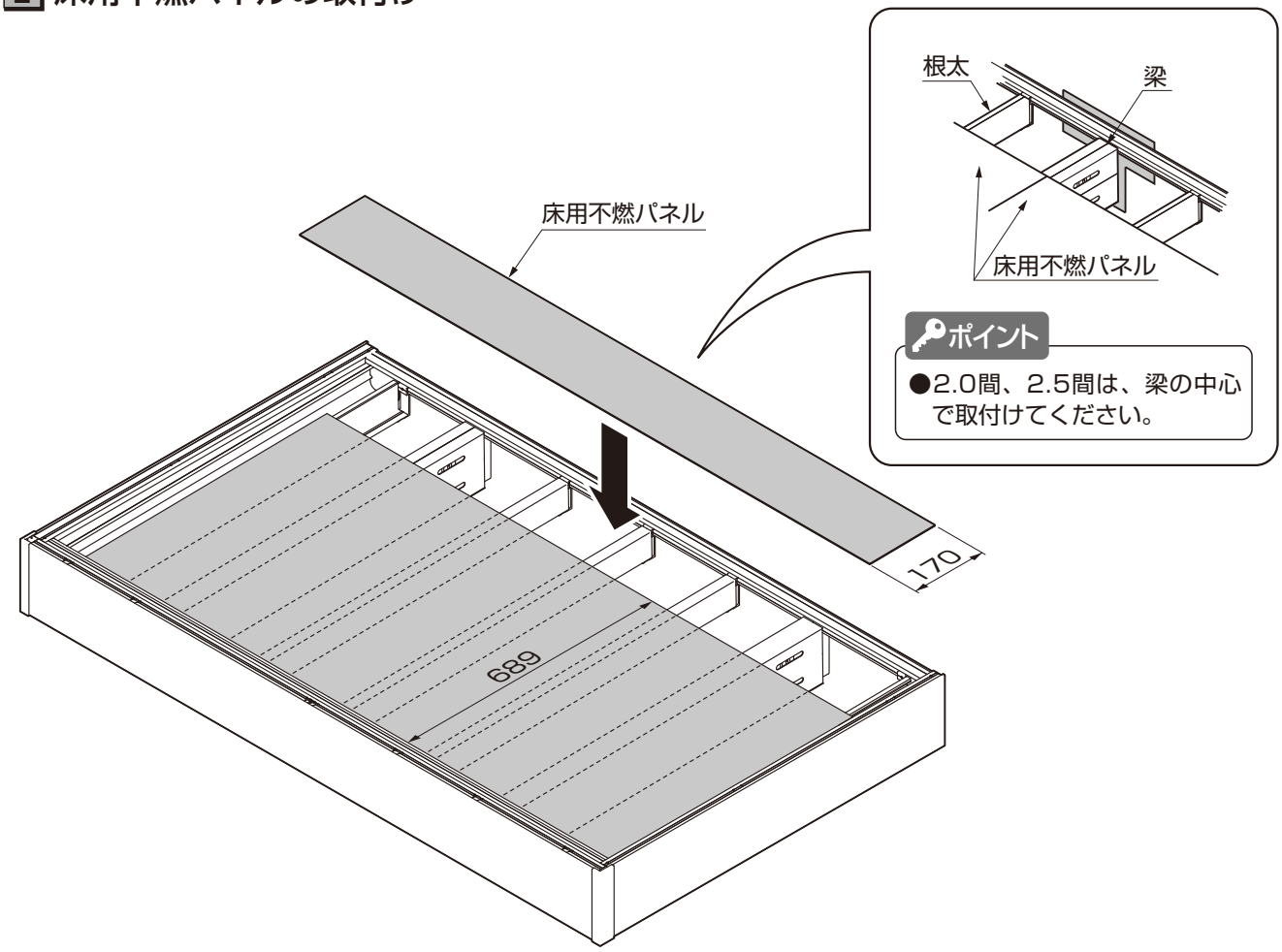
1 床用不燃パネルの切断

表5-1　切断加工表（■: 切断部）

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間
2尺	1790 559	2694 559	1805 559 ×2	2260 559 ×2
3尺	1790 689 1790 170	2694 689 2694 170	1805 689 ×2 170 1805 170	2260 689 ×2 170 2260 170
4尺	1790 689 1790 470	2694 689 2694 470	1805 689 ×2 1805 470 ×2	2260 689 ×2 2260 470 ×2
5尺	1790 689 ×2 1790 81	2694 689 ×2 2694 81	1805 689 ×4 81 1805 81	2260 689 ×4 81 2260 81
6尺	1790 689 ×2 1790 381	2694 689 ×2 2694 381	1805 689 ×4 1805 381 ×2	2260 689 ×4 2260 381 ×2

①床用不燃パネルを切断してください。

2 床用不燃パネルの取付け



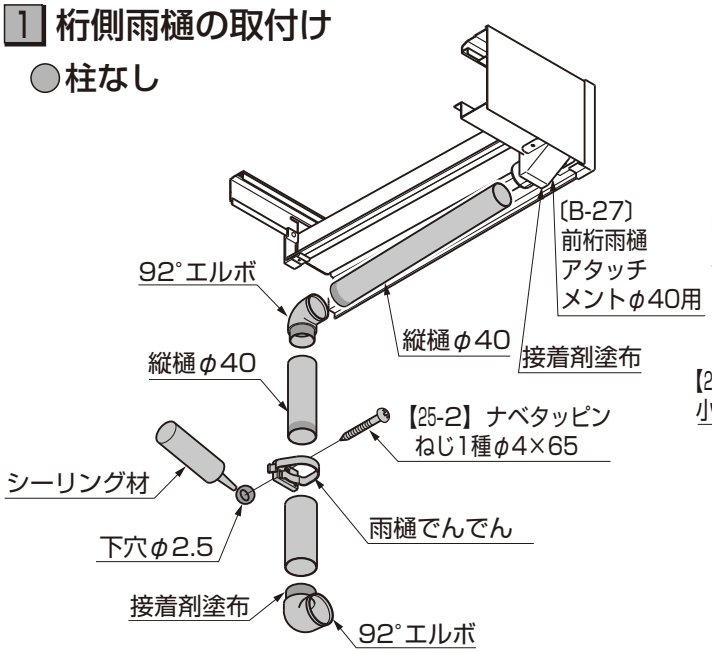
①床用不燃パネルを取付けてください。

メモ

1 共通施工手順

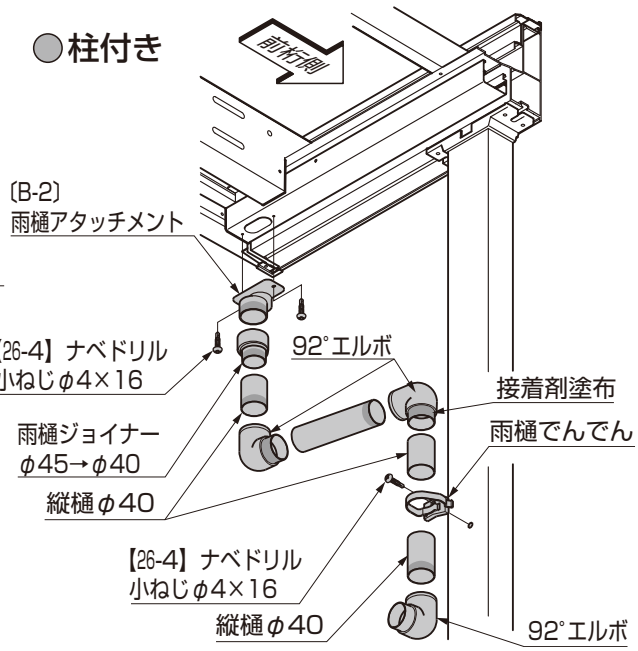
1 桁側雨樋の取付け

●柱なし



①雨樋を取付けてください。

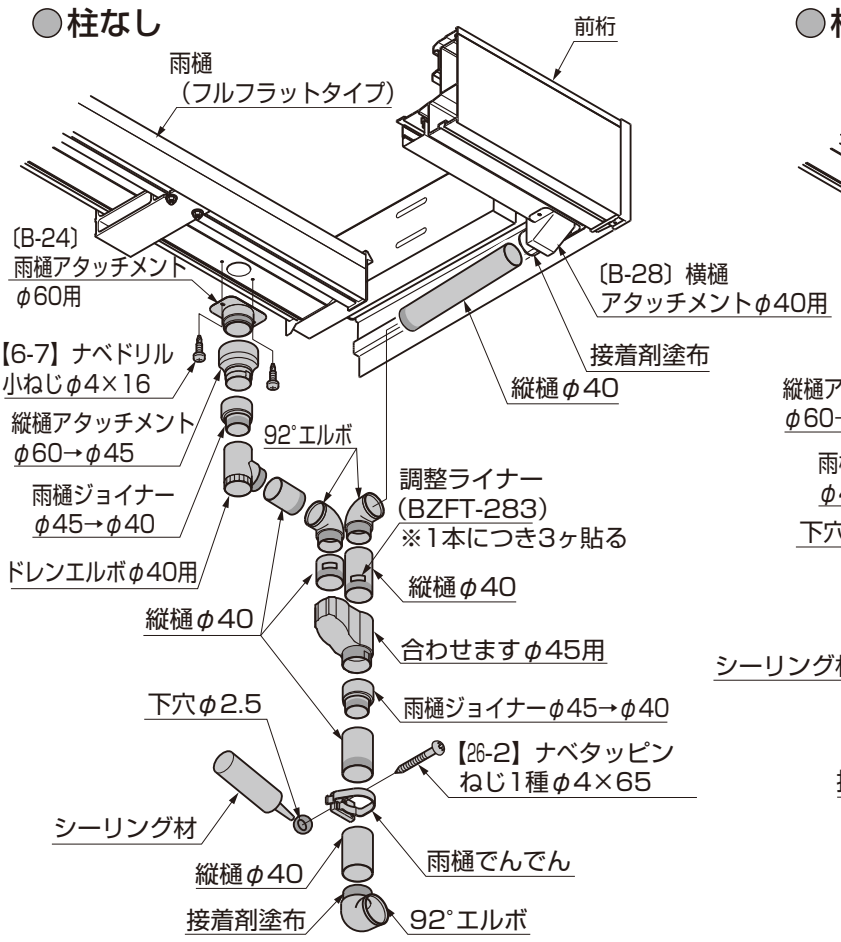
●柱付き



2 フルフラット施工手順

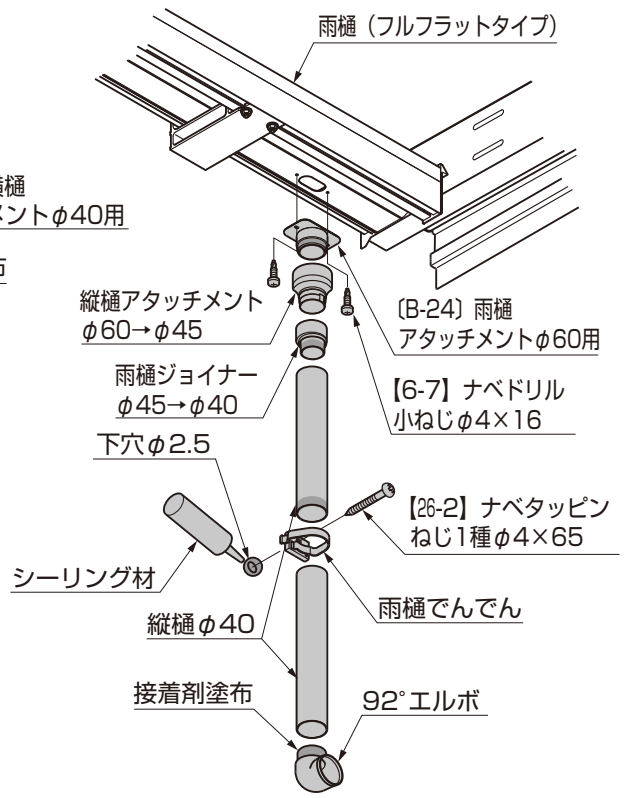
1 躯体側雨樋の取付け

●柱なし



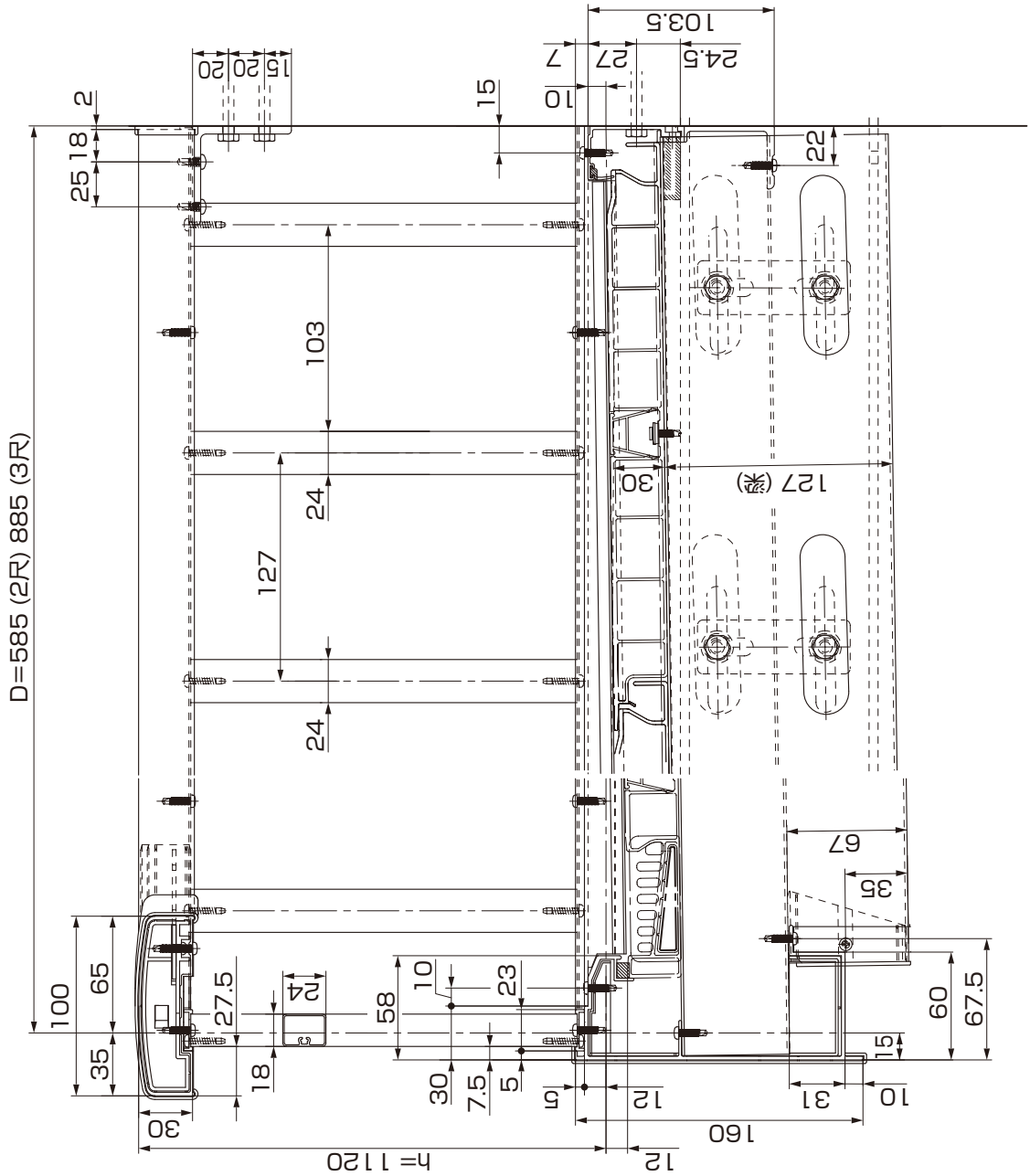
①雨樋を取付けてください。

●柱付き

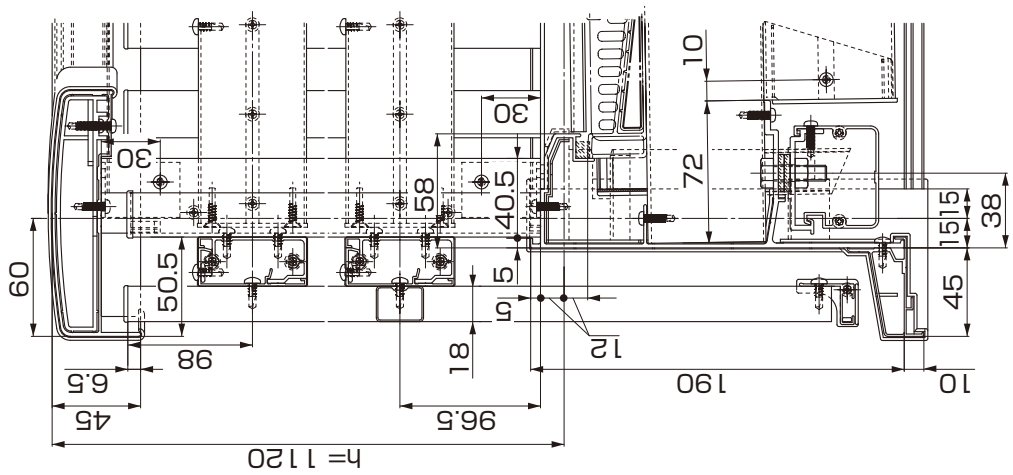


MAM-64F_201902
M002_201902G

1 胴差し納まり



桁露出仕様



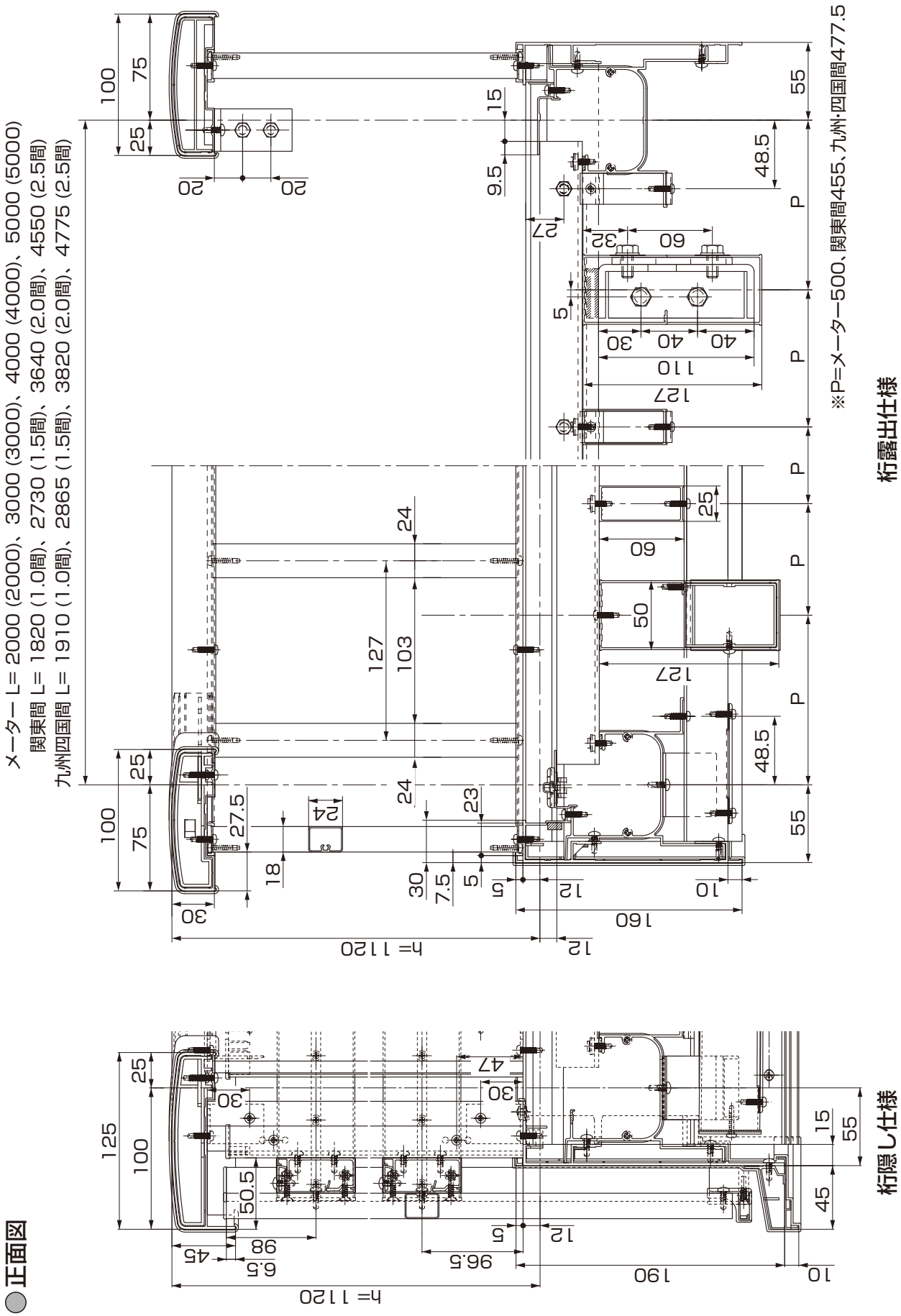
桁隠し仕様

1 単体
●側面図

1 胴差し納まり（つづき）

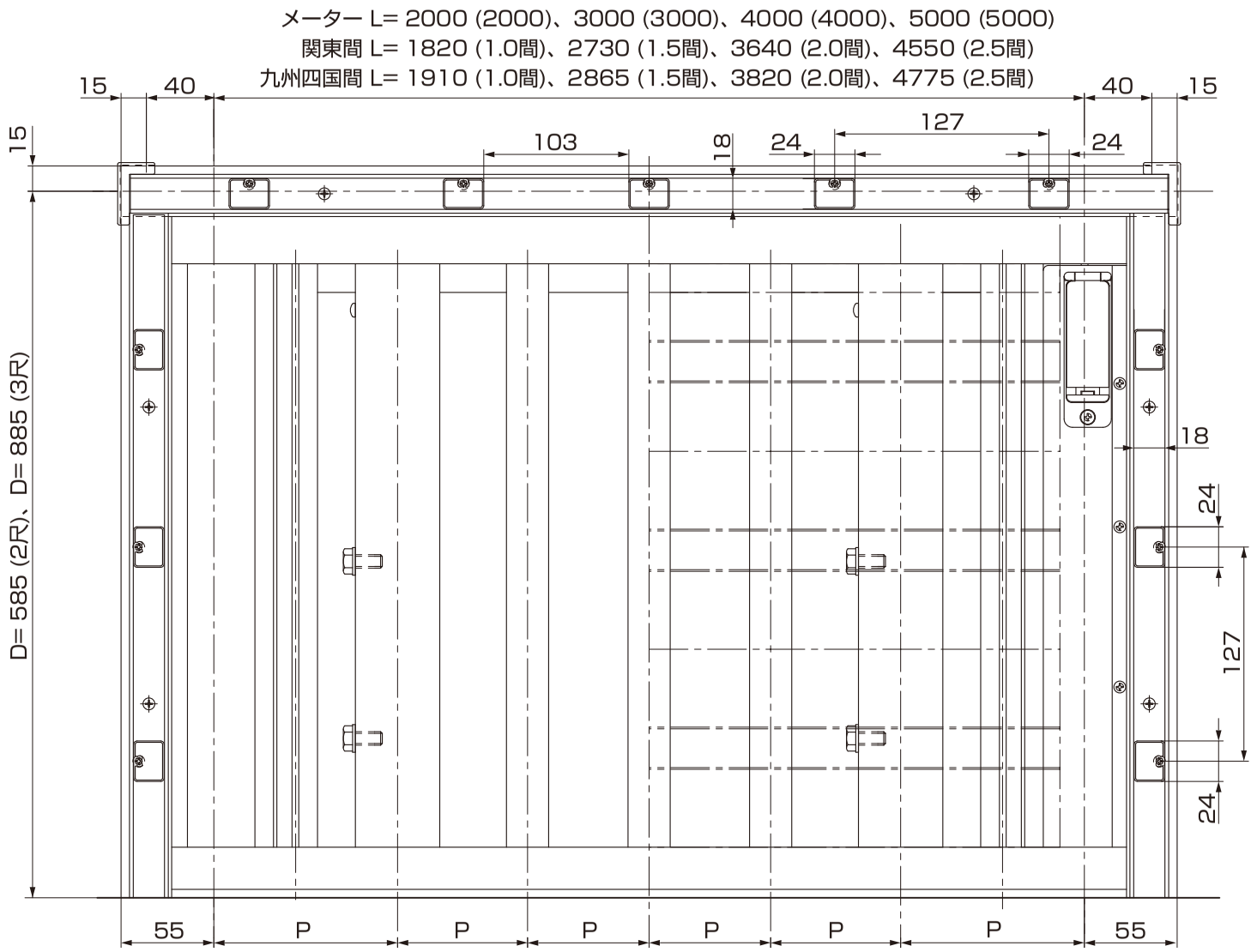
1 単体（つづき）

●正面図



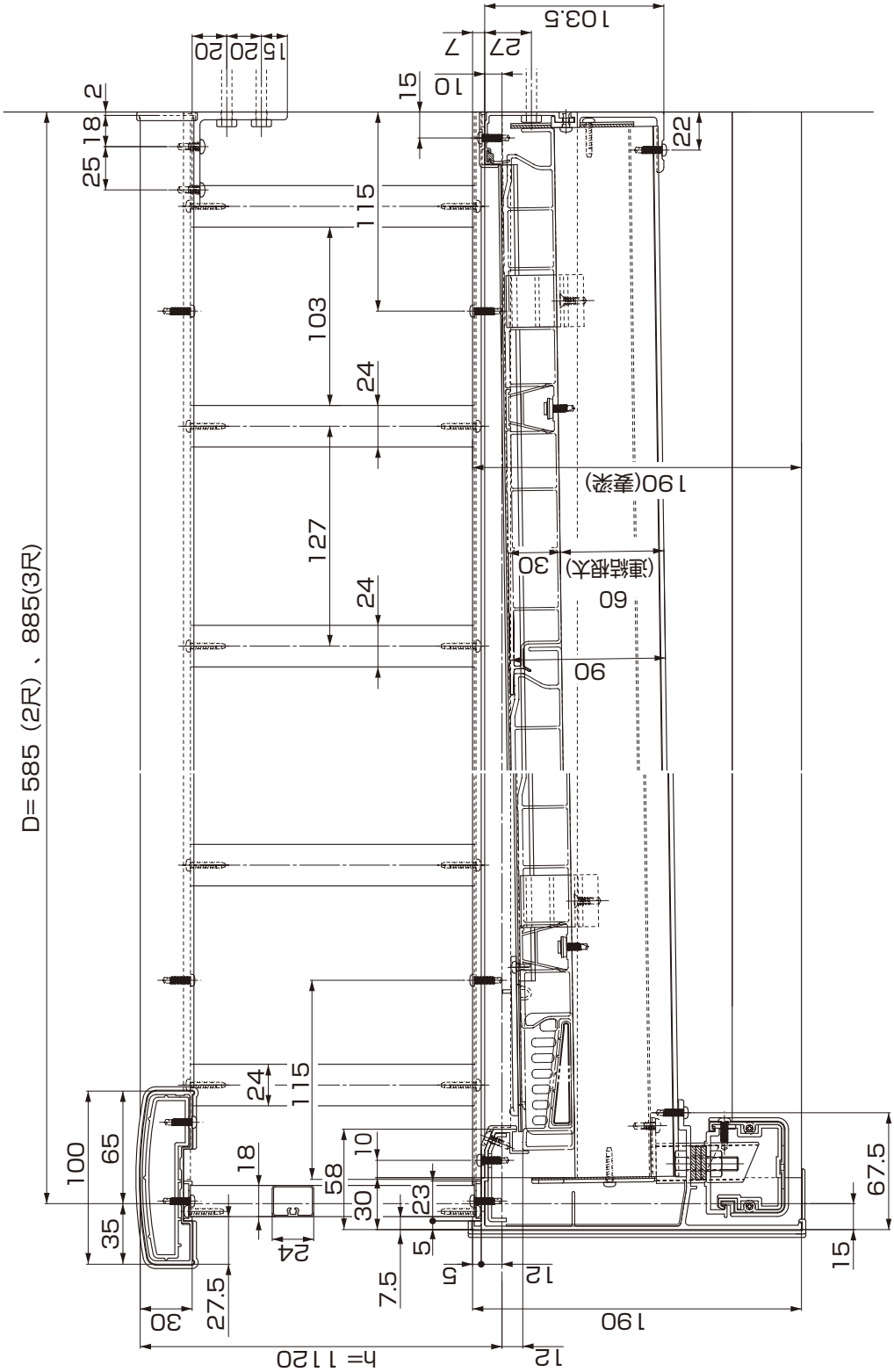
MAM-64_201301
M002_201301A

●平面図



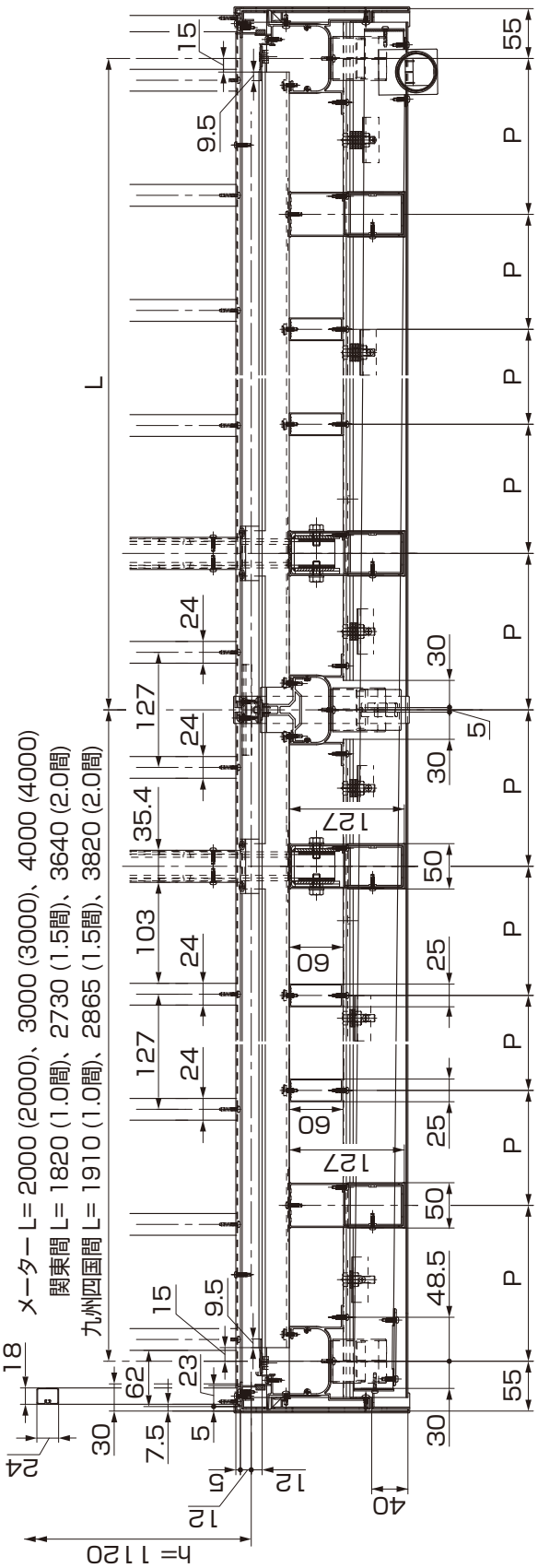
※P=メーター500、関東間455、九州･四国間477.5

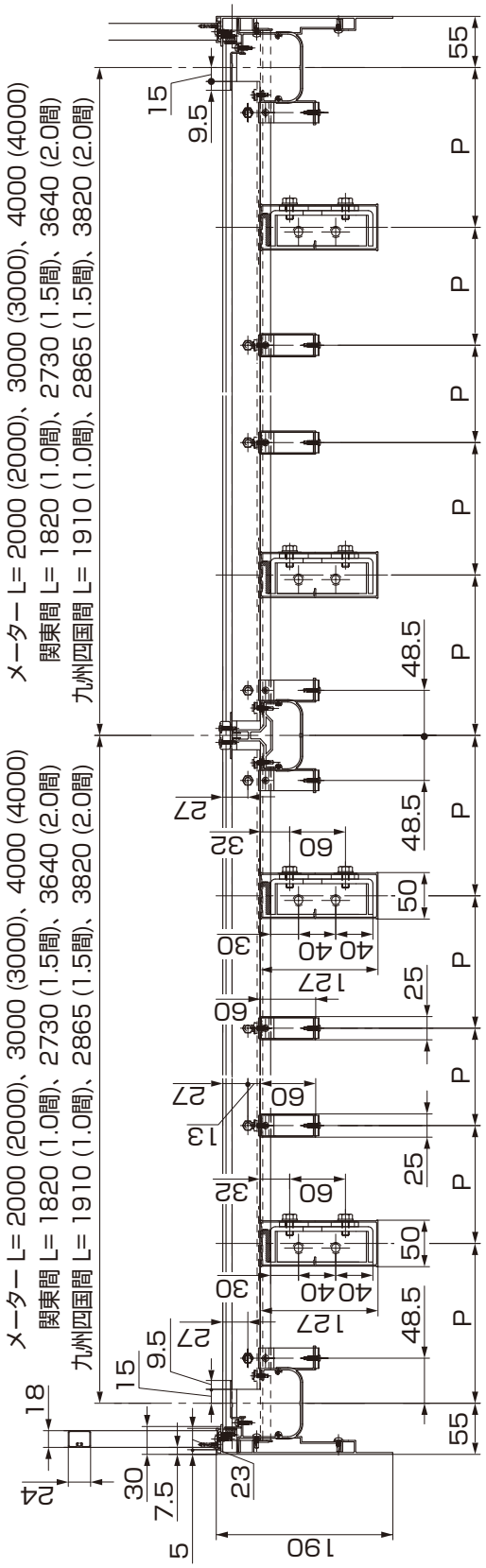
1 胴差し納まり（つづき）



2 連棟
●側面図

●正面図



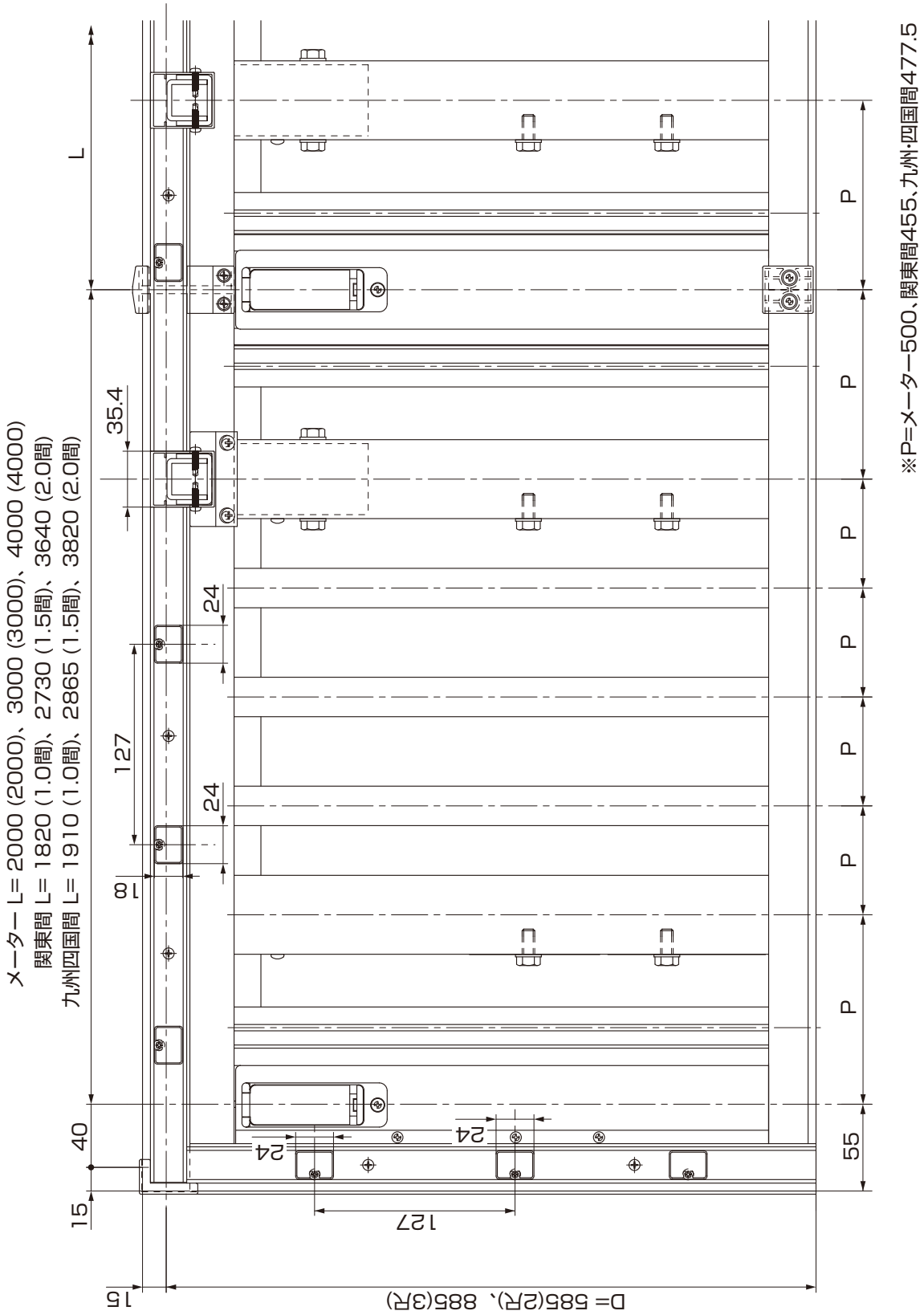


※P=メーター500、関東間455、九州・四国間477.5

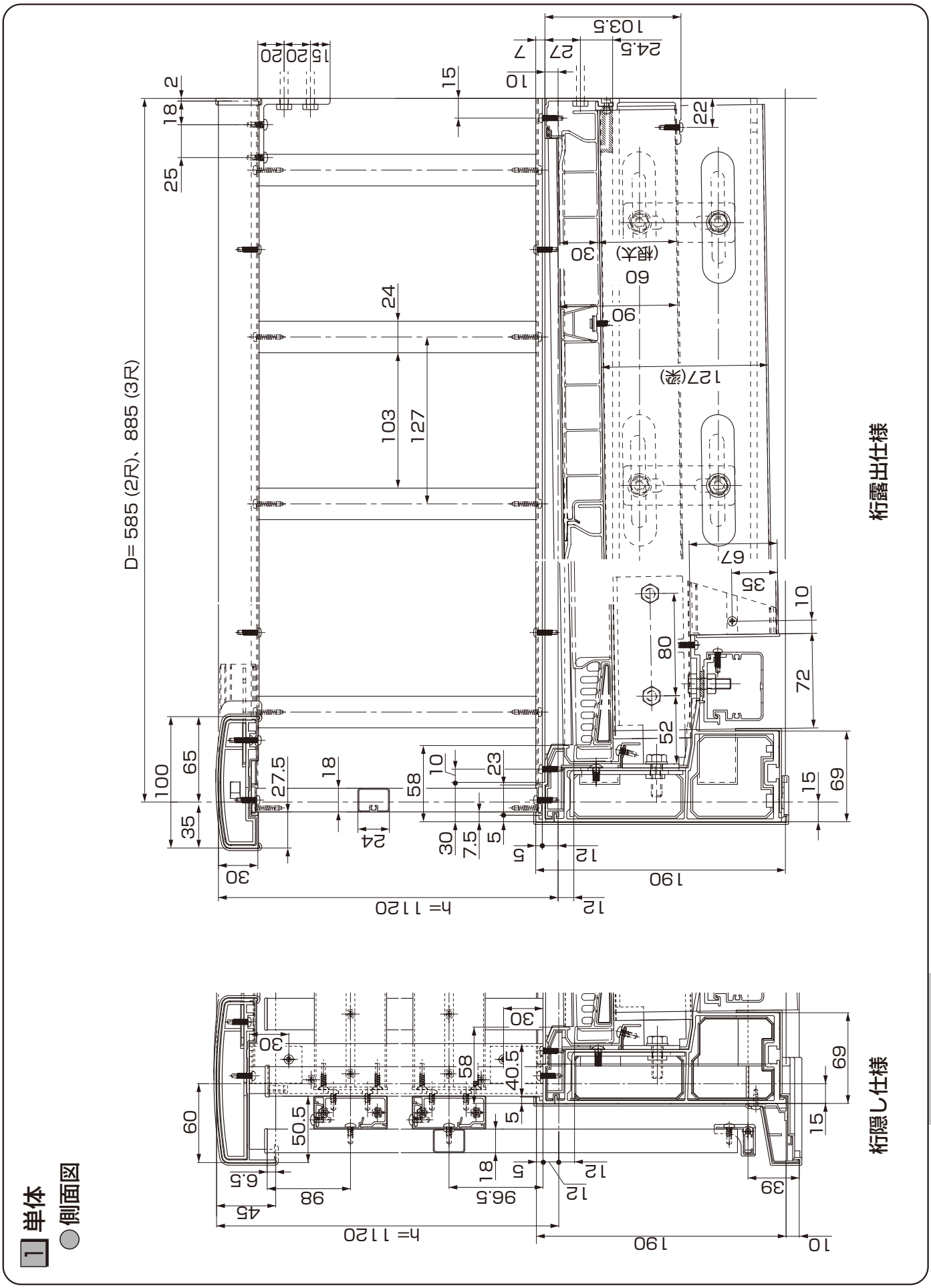
MAM-64_201301
M002_201301A

2 連棟（つづき）

●平面図


メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)
L
35.4
24
127
24
18
40
15
24
24
127
15
D= 585(2尺)、885(3尺)
P
P
P
P
P
P
P
55
※P=メーター500、関東間455、九州・四国間477.5

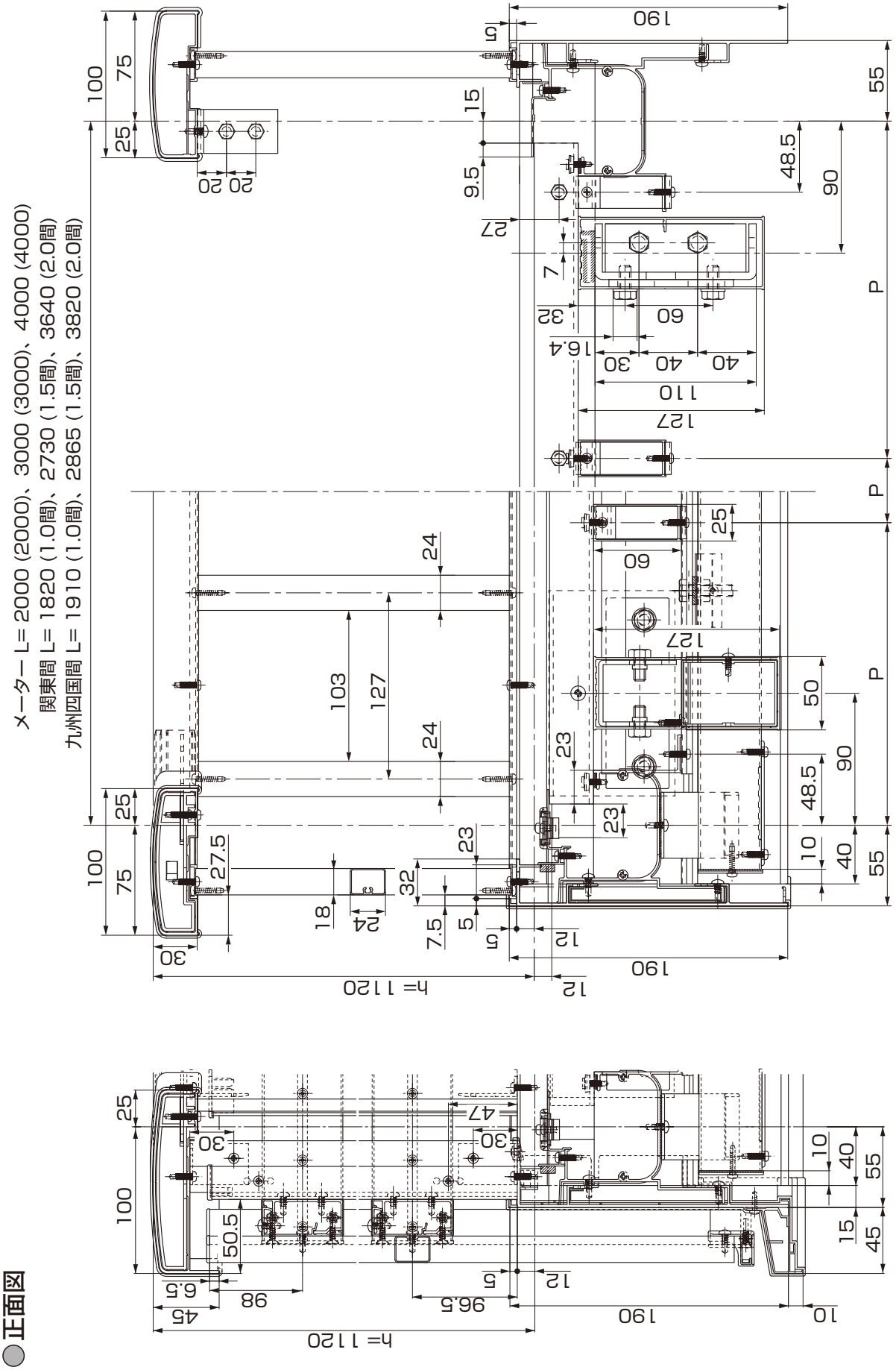
2 柱芯納まり



2 柱芯納まり（つづき）

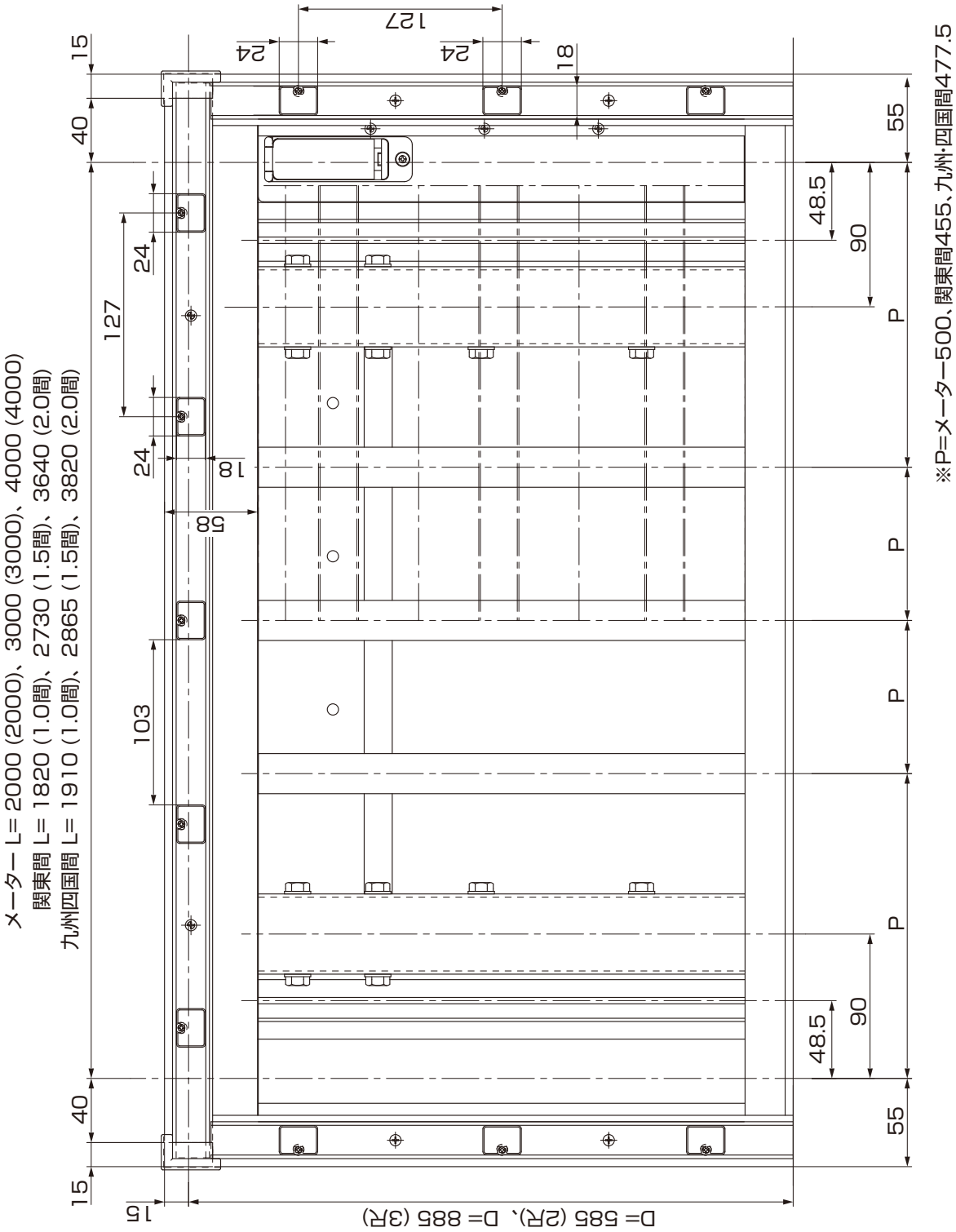
1 単体（つづき）

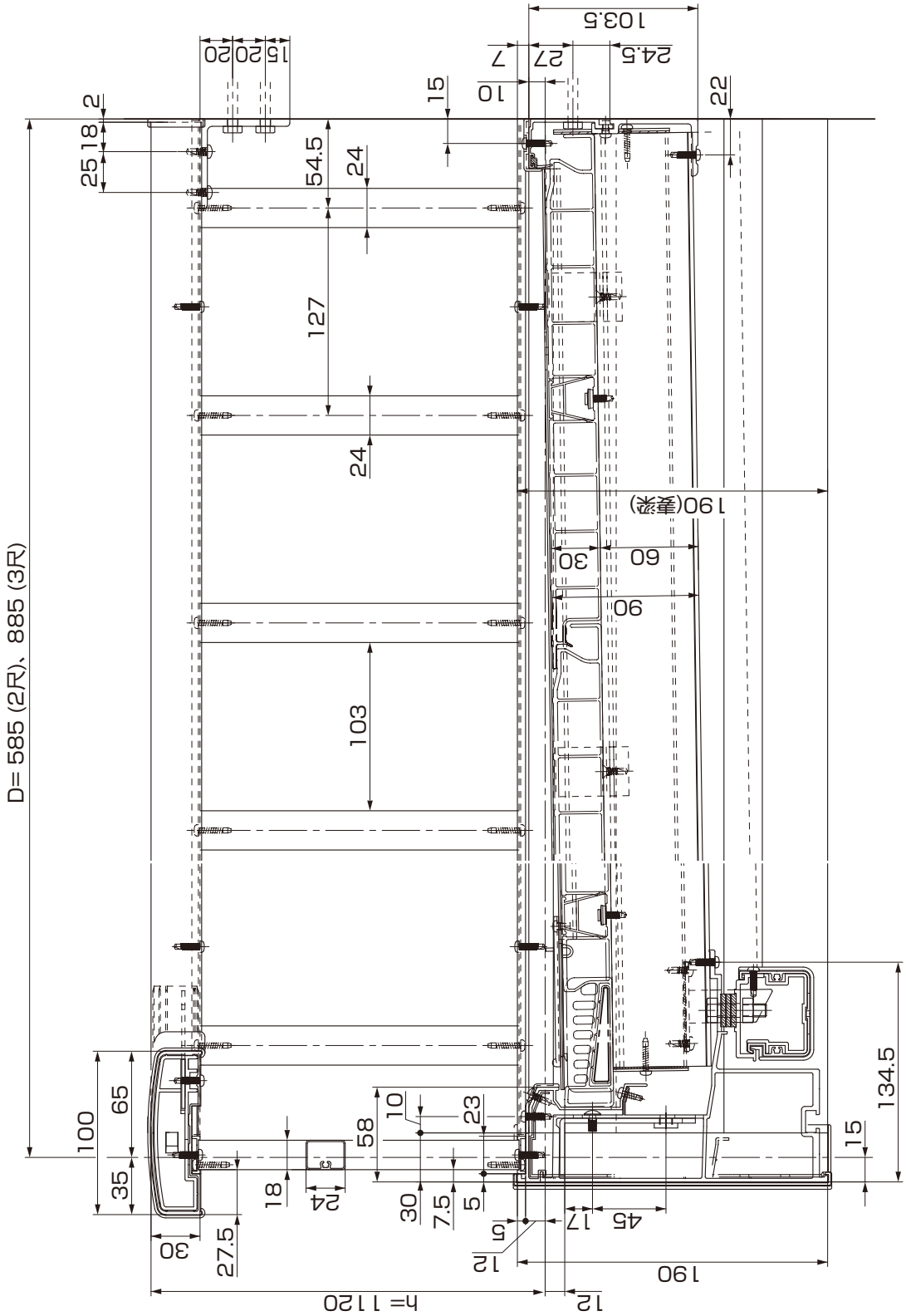
●正面図



MAM-64_201301
M002_201301A

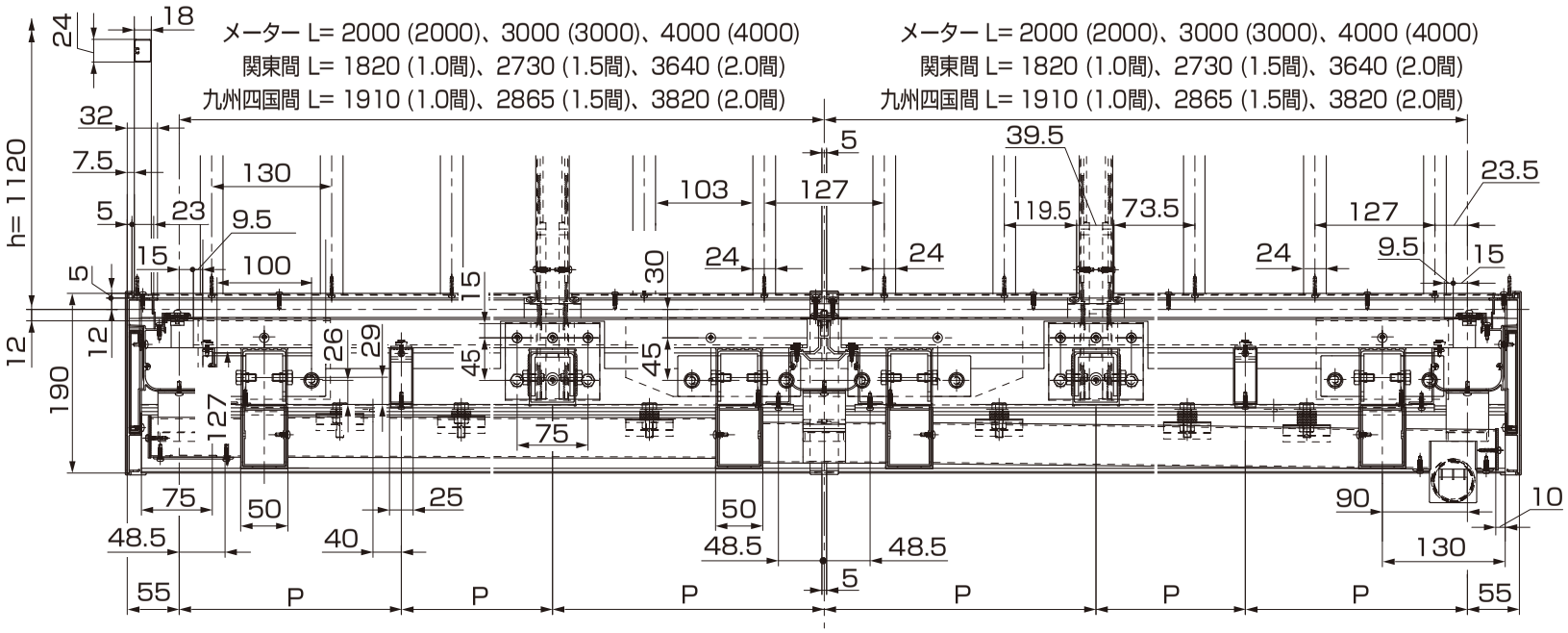
●平面図


メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)
D= 585 (2尺)、D= 885 (3尺)
※P=メーター500、関東間455、九州・四国間477.5
15
40
127
24
18
58
103
48.5
90
55
P

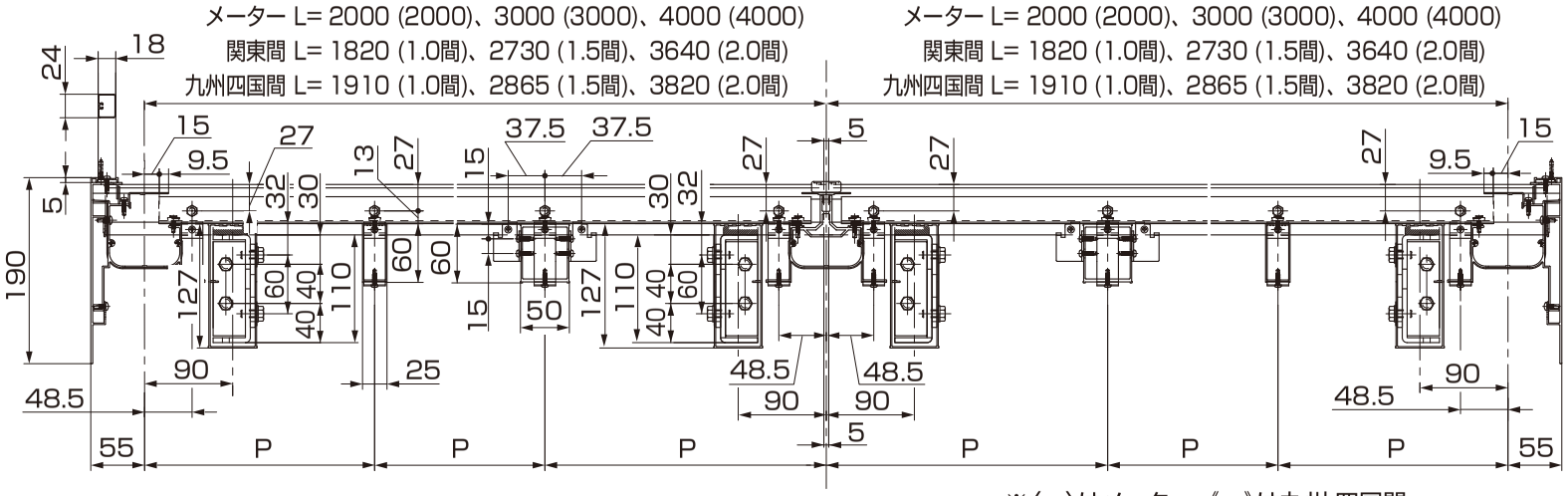

D= 585 (2尺)、885 (3尺)
h= 1120
103.5
24.5
27
7
15
20
20
2
18
25
15
10
22
54.5
24
127
24
190(裏梁)
30
60
90
103
100
65
35
30
27.5
18
24
58
10
23
30
7.5
5
5
12
17
45
190
12
134.5
15

2 連棟
●側面図

●正面図

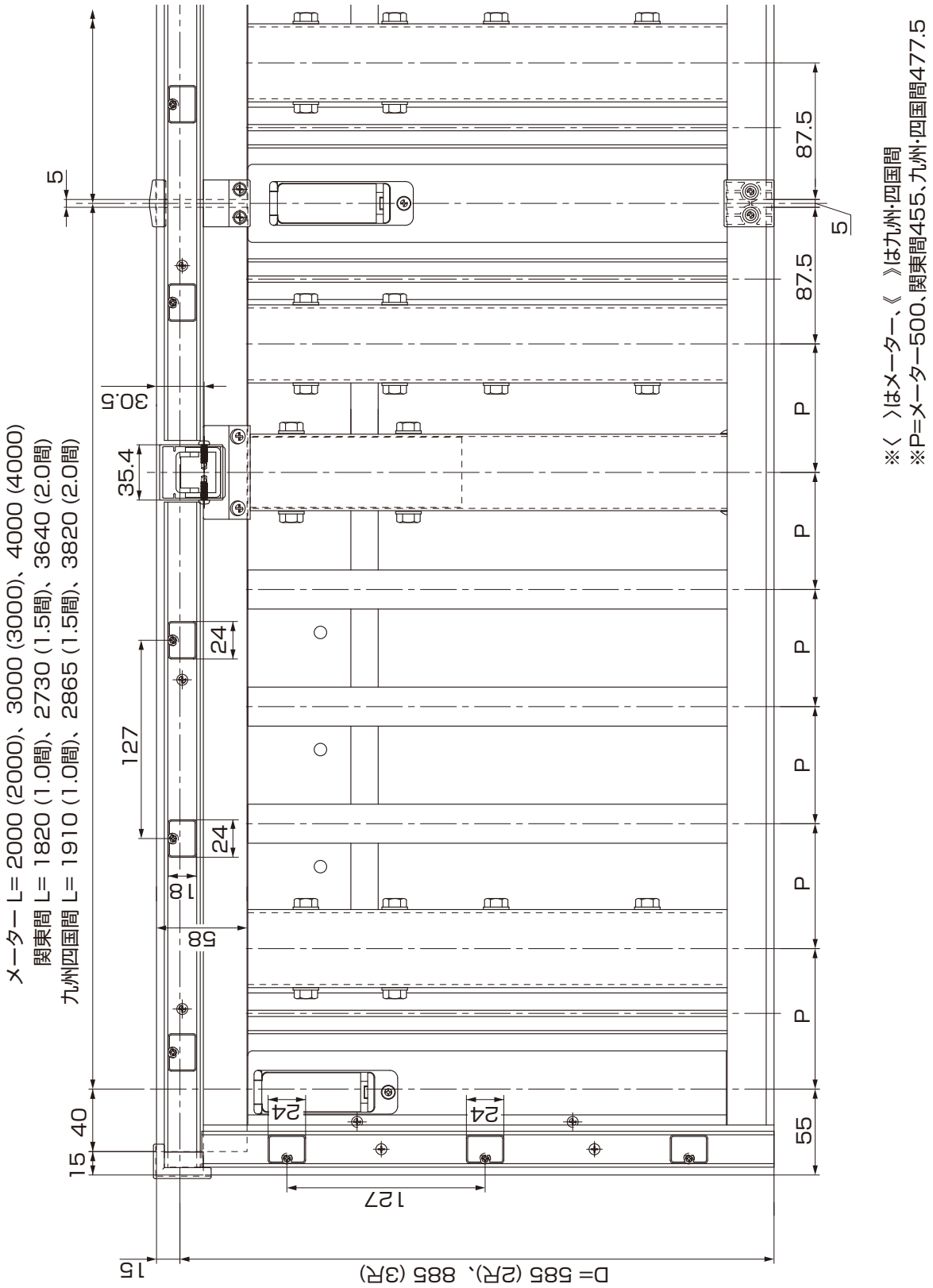


前桁側



躯体側

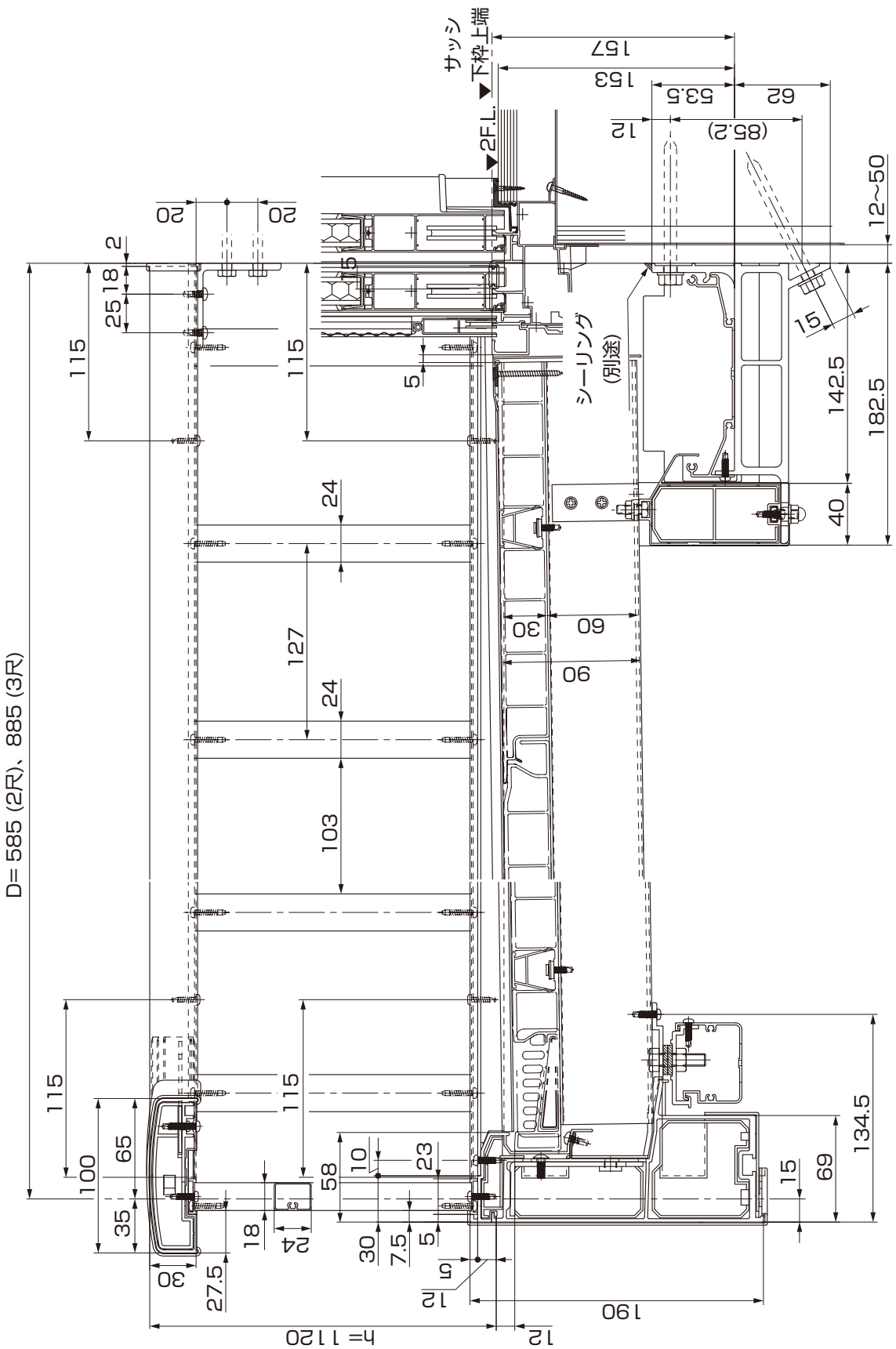
※〈　〉はメーター、《　》は九州･四国間
※P=メーター500、関東間455、九州･四国間477.5


メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)
D= 585 (2尺)、885 (3尺)
※〈 〉はメーター、《 》は九州・四国間
※P=メーター500、関東間455、九州・四国間477.5

2 連棟（つづき）

●平面図

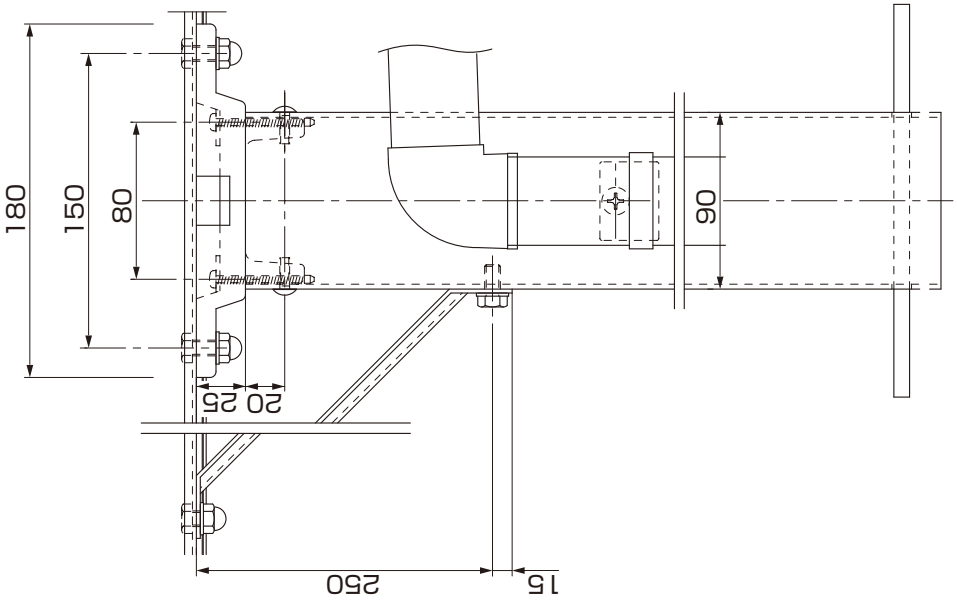
3 フルフラット納まり



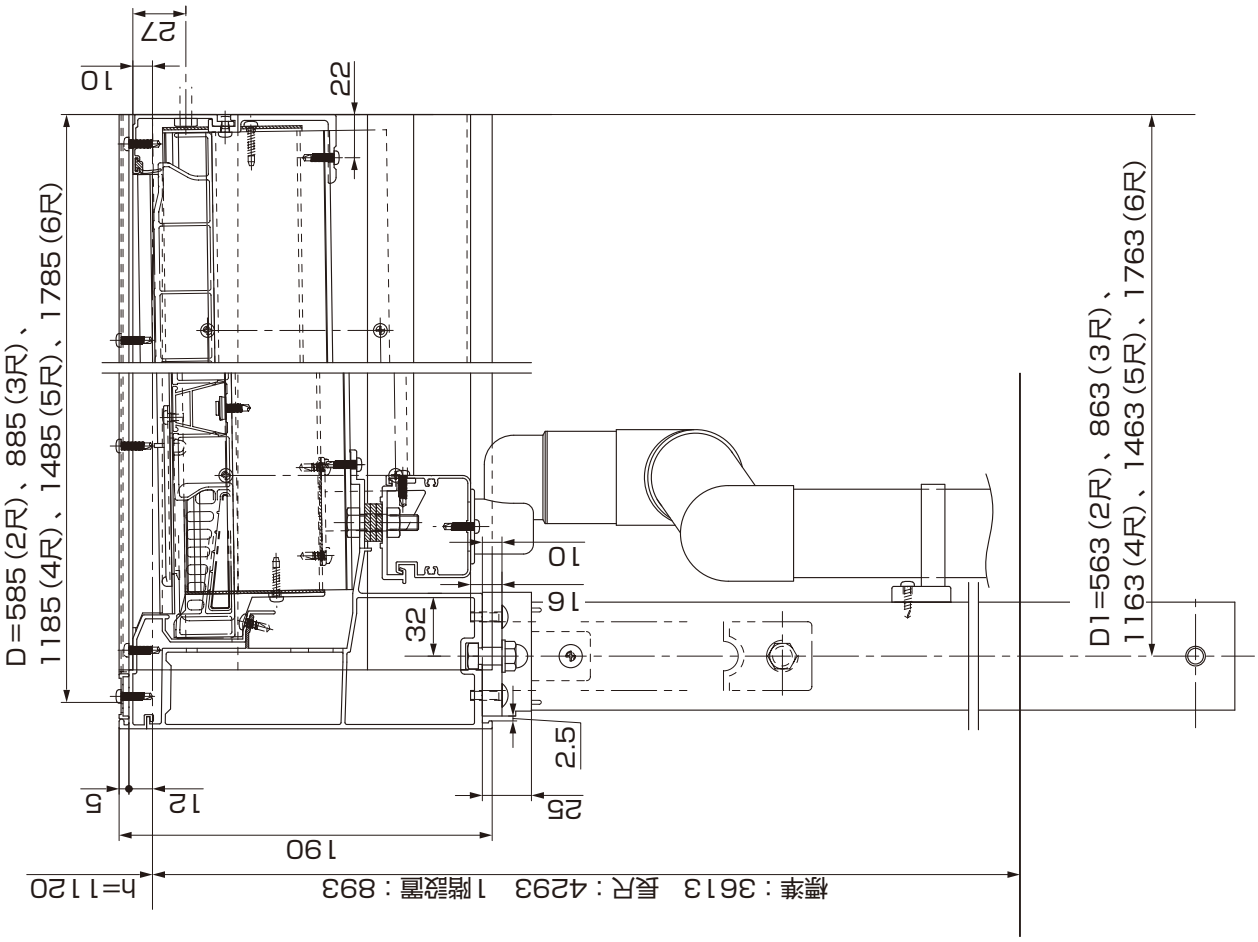
●側面図

4 柱建て式納まり

●正面図

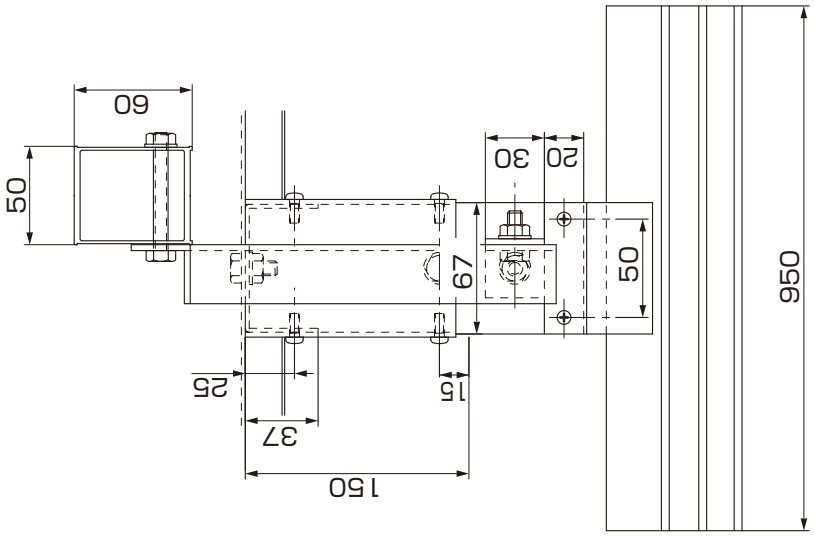


●側面図

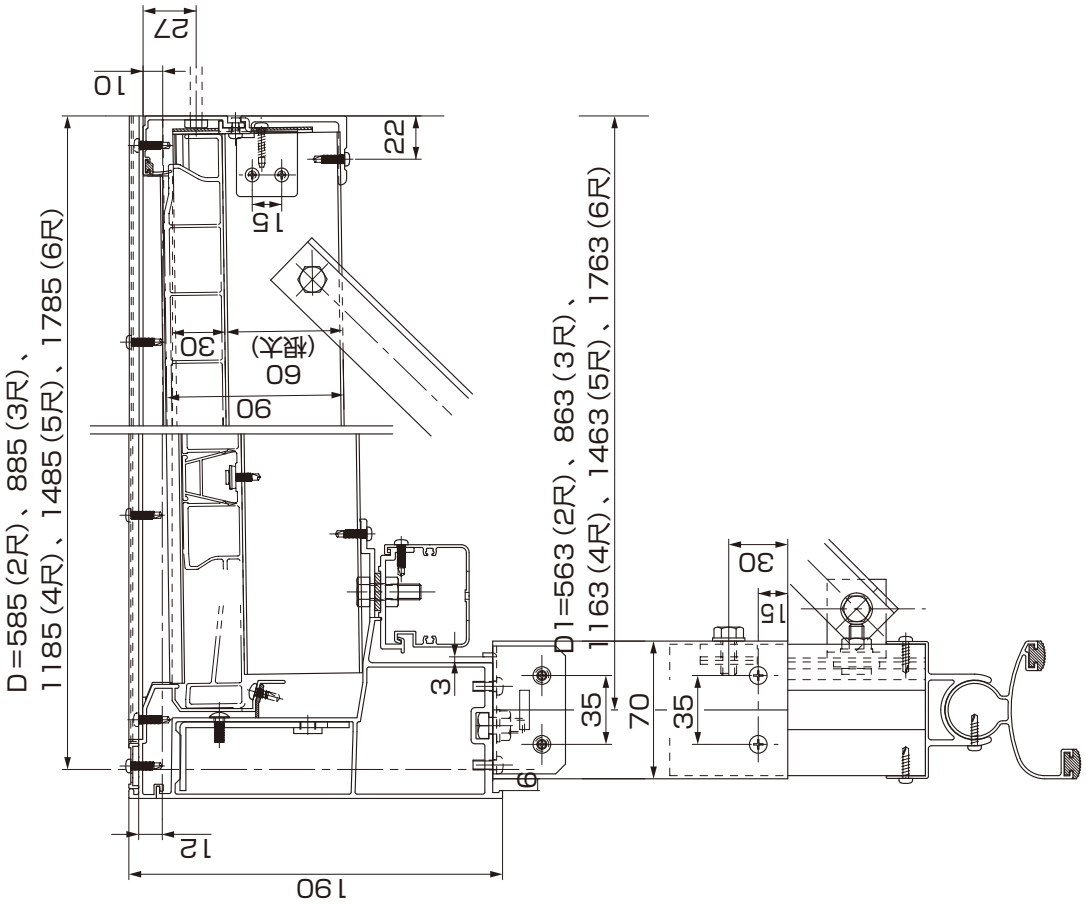


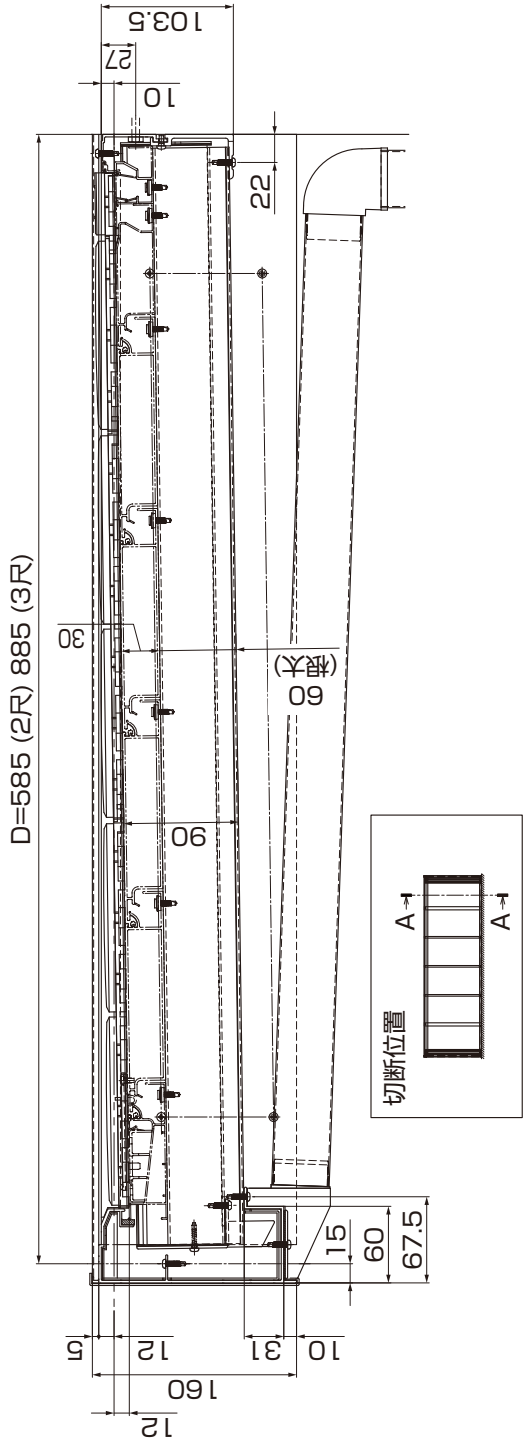
5 屋根置き式納まり

●正面図

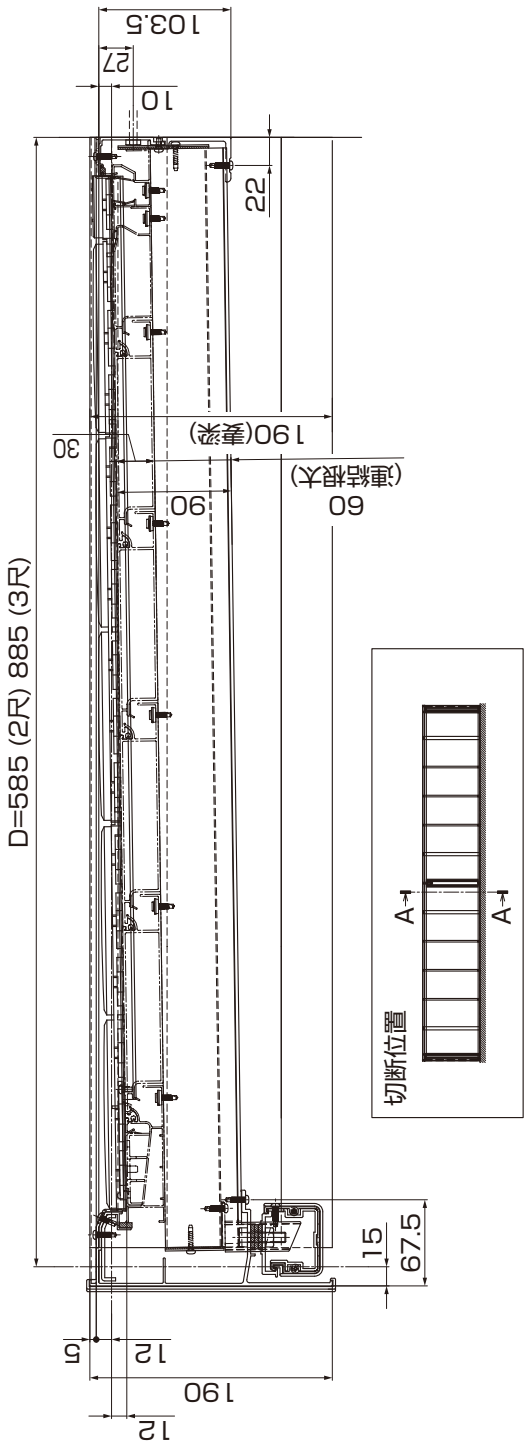


●側面図




D=585 (2尺) 885 (3尺)
103.5
27
10
22
30
60
(根太)
90
切断位置
A
A
15
60
67.5
5
12
31
10
160
12

単体

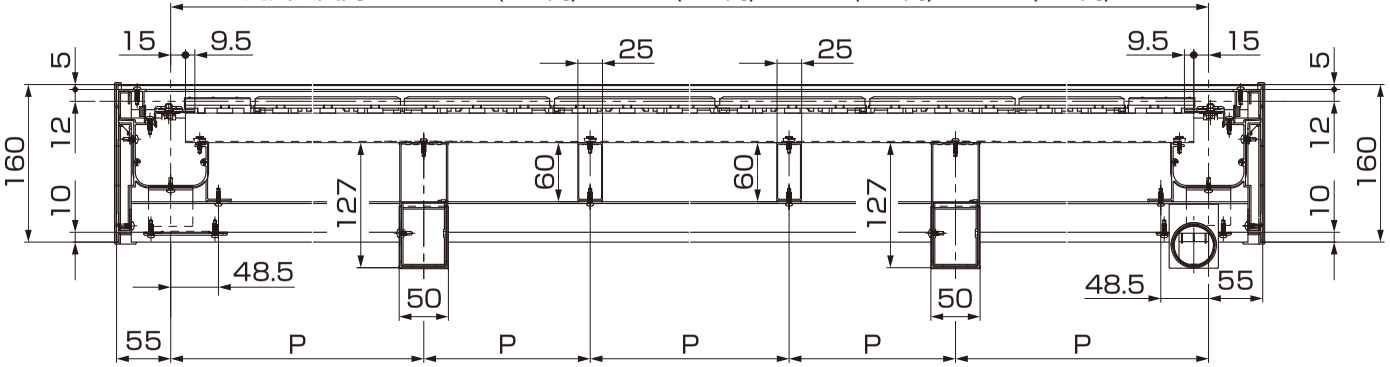

D=585 (2尺) 885 (3尺)
103.5
27
10
22
30
190(妻梁)
60
(連結根太)
90
切断位置
A
A
15
67.5
5
12
190
12

連棟

●側面図

●正面図

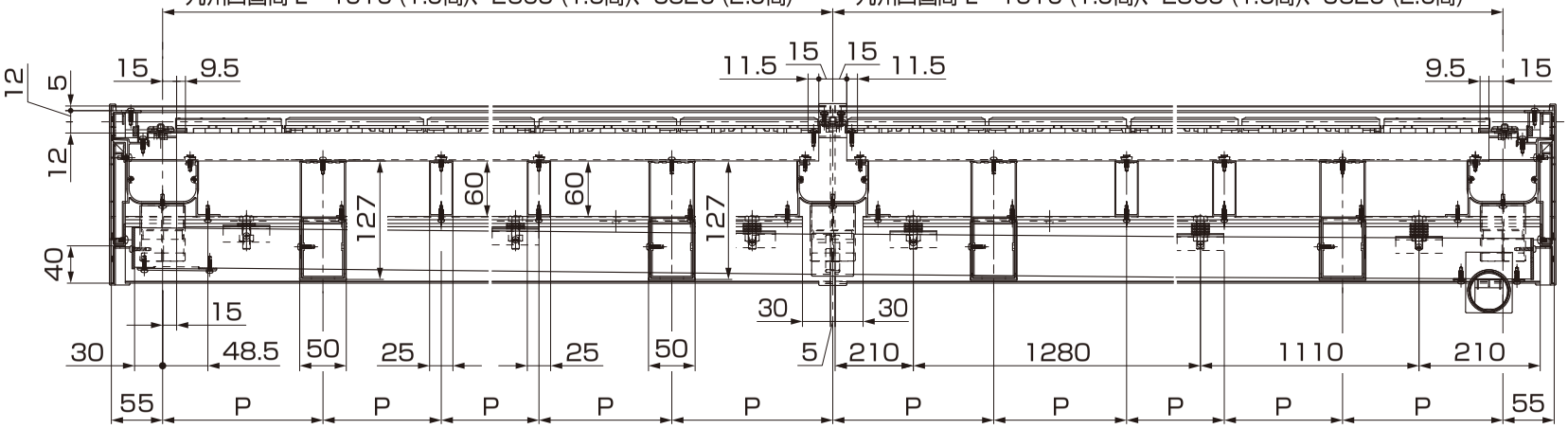
メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)、5000 (5000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)、4550 (2.5間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)、4775 (2.5間)



単体

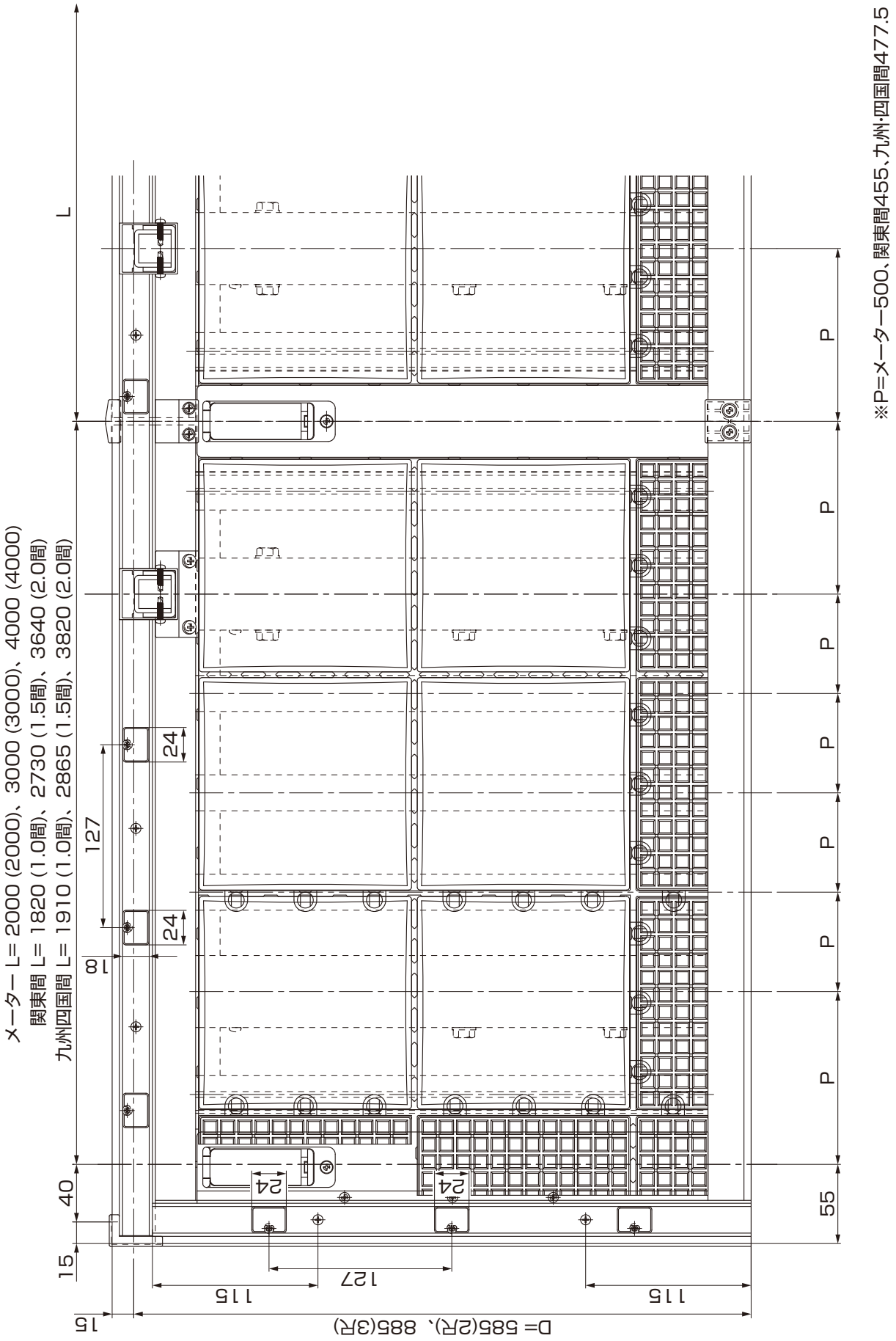
メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)

メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)



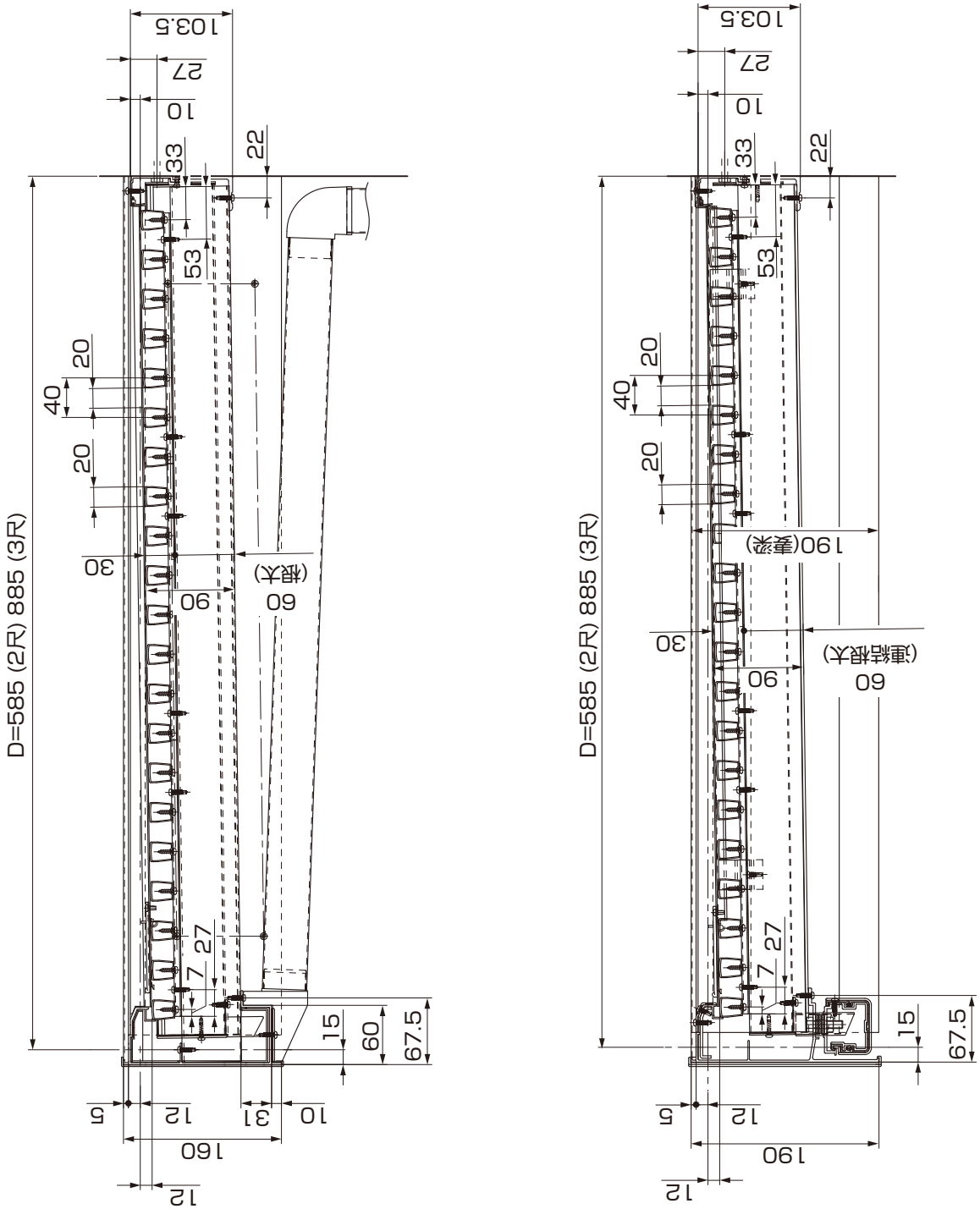
連棟

※P=メーター500、関東間455、九州･四国間477.5



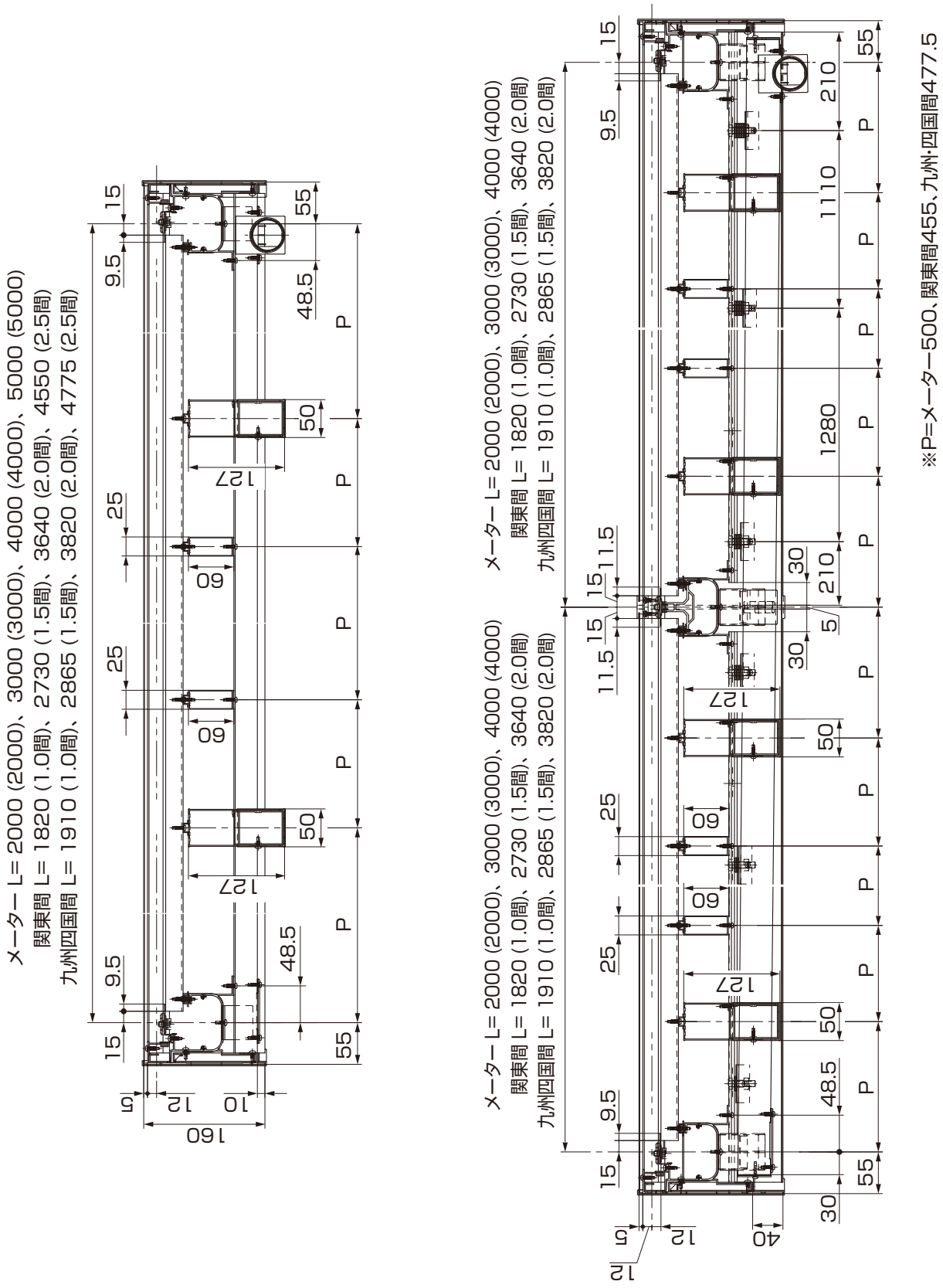
※P=メーター500、関東間455、九州・四国間477.5

●平面図

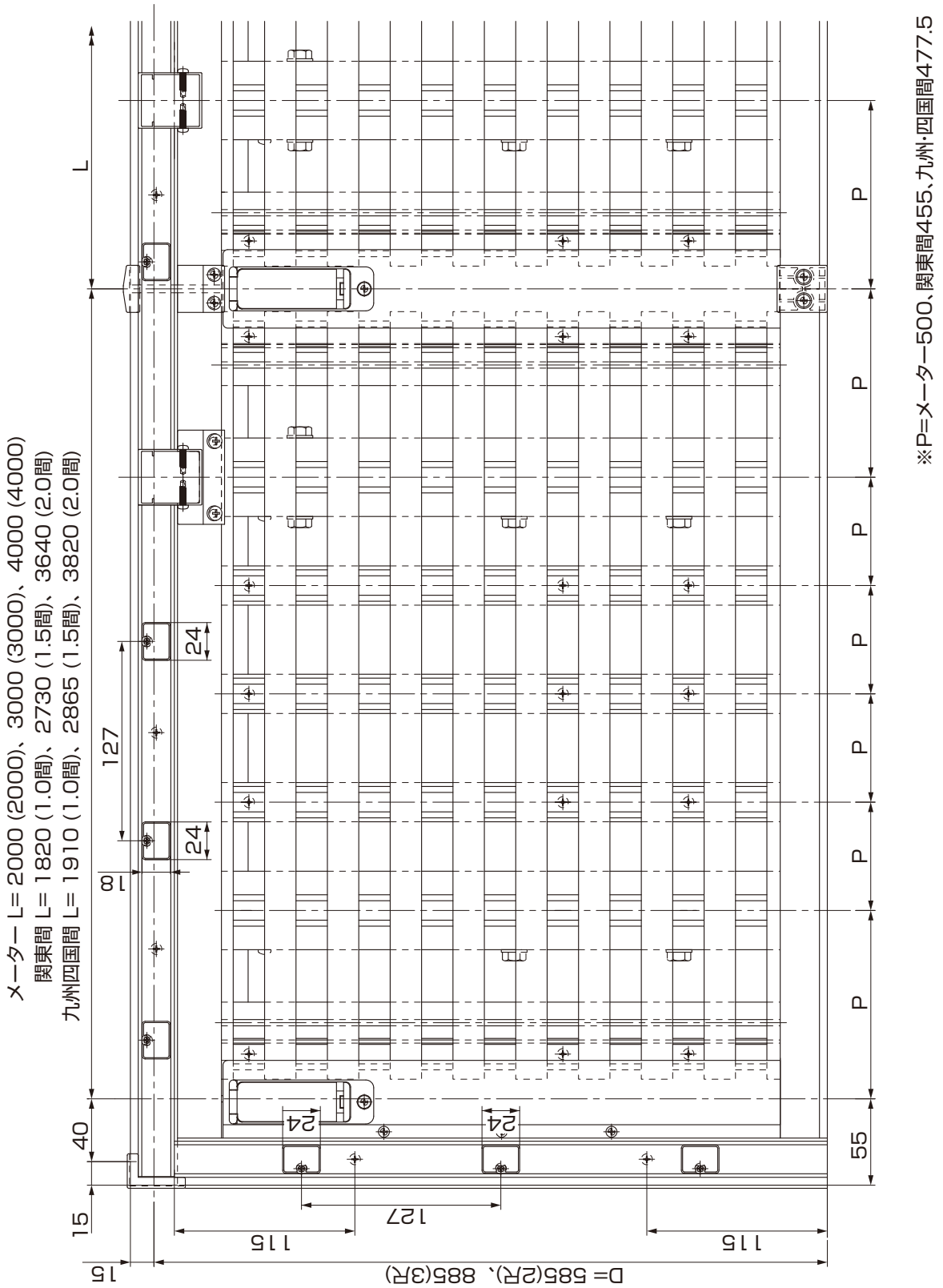

D=585 (2尺) 885 (3尺)
103.5
27
10
22
33
53
20
40
20
30
90
60
(根太)
27
7
15
60
67.5
5
12
31
10
160
12
D=585 (2尺) 885 (3尺)
103.5
27
10
22
33
53
20
40
20
190(妻梁)
30
90
60
(連結根太)
27
7
15
67.5
5
12
190
12

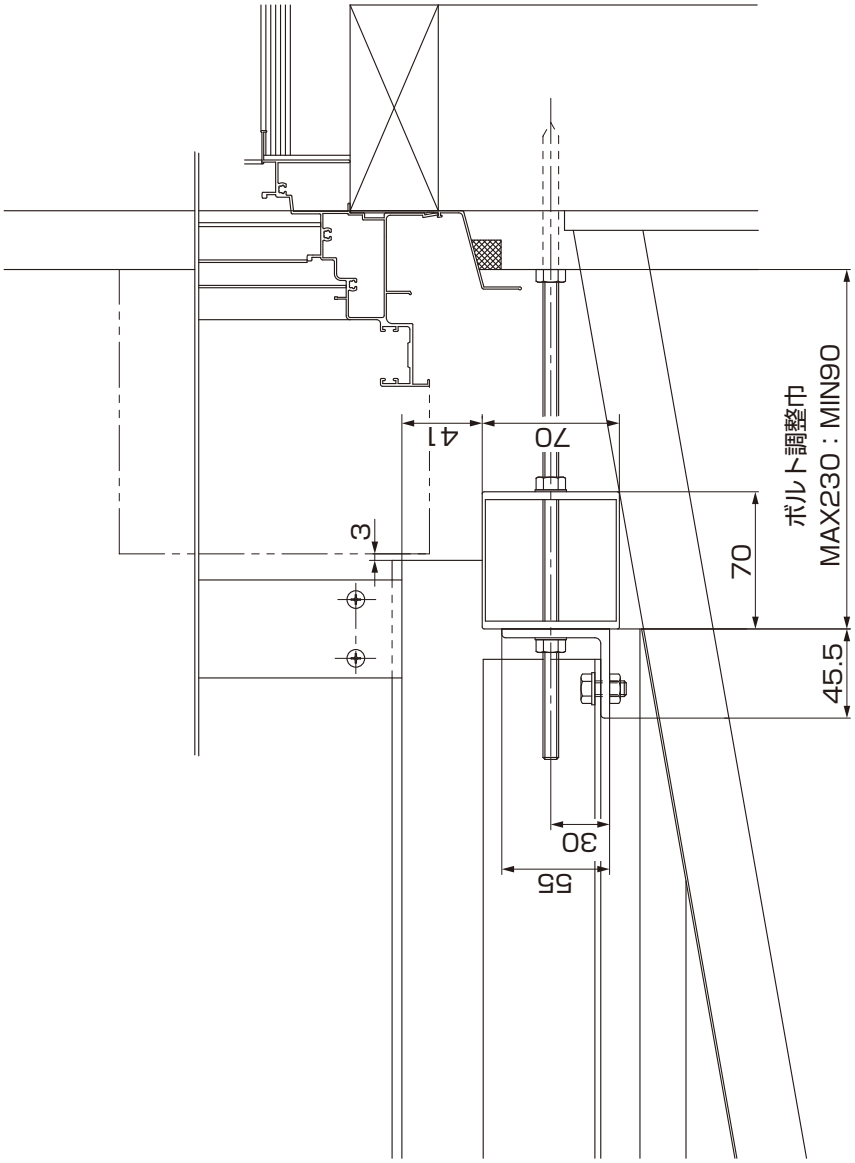
●側面図

●正面図


メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)、5000 (5000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)、4550 (2.5間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)、4775 (2.5間)
メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)
関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)
九州四国間 L= 1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)
※P=メーター500、関東間455、九州･四国間477.5

●平面図



※P=メーター500、関東間455、九州・四国間477.5

8 根太掛け持出し金具納まり